

「三春町こども計画」
策定のためのアンケート調査
調査結果報告書

令和6年9月

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査の方法	1
4 調査の実施時期	1
5 配布・回収の結果	2
6 報告書の表記及び注意点について.....	2
II 「子ども・子育てニーズ調査」 調査結果.....	3
就学前児童 調査結果	3
1 お住いの地域について	3
2 お子さんご家族の状況について.....	3
3 子どもの育ちをめぐる環境について.....	6
4 保護者の就労状況について	10
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	17
6 地域の子育て支援拠点事業の利用状況について.....	24
7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	30
8 お子さんの病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方のみ】.....	34
9 不定期の教育・保育事業や一時預かりの利用について.....	41
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について【5歳以上のみ】	47
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	55
12 子育て環境などについて	61
小学生 調査結果	63
2 お子さんご家族の状況について.....	63
3 子どもの育ちをめぐる環境について.....	66
4 保護者の就労状況について	70
5 放課後児童クラブの利用について.....	76

6	放課後の過ごし方について	79
7	お子さんの病気の際の対応について	87
8	不定期の教育・保育事業や一時預かりの利用について	93
9	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	98
12	子育て環境などについて	104
Ⅲ	「こども・若者意識調査」 調査結果	107
2	あなたの暮らしについて	111
3	あなたの居場所について	114
4	あなたの日頃の意識と生活について	115
5	結婚観について	120
6	三春町やあなた自身について	135
Ⅲ	「こどもの生活に関する実態調査」 こども用調査 調査結果	139
1	あなたのことについて	139
2	学業や進学について	140
3	ふだんの生活状況について	146
Ⅳ	「こどもの生活に関する実態調査」 保護者用調査 調査結果	159
1	あなたの世帯のことについて	159
2	お子さんの食事について	162
3	健康状態について	164
4	家庭・学校生活について	167
5	お子さんとの関りについて	170
6	就業状況などについて	179
7	収入の状況などについて	181
8	公的支援の利用などについて	184
Ⅴ	調査結果まとめ	187
1	調査結果のまとめ	187

I 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度を始期とする「三春町こども計画」を策定するにあたり、子育て支援に関する実態や意見・要望、今後の保育サービス等のニーズの把握、こども・若者の普段の生活状況や教育状況、子育て世帯の経済状況等についてお聞きし、課題や新たなニーズを把握するため、「子ども・子育てニーズ調査」「こども・若者意識調査」と「こどもの生活に関する実態調査」を実施しました。

2 調査の対象

(1) 子ども・子育てニーズ調査

調査対象については、令和6年6月1日現在、本町在住の就学前児童の保護者、小学1年生から3年生までの保護者としました。

(2) こども・若者意識調査

調査対象については、令和6年6月1日現在、本町在住の15歳から29歳までの方としました。

(3) こどもの生活に関する実態調査

調査対象については、令和6年6月1日現在、本町在住の小学5年生児童・中学2年生生徒本人とその保護者としました。

3 調査の方法

(1) 子ども・子育てニーズ調査

保育園・幼稚園・認定こども園、学校などを通じた配布・回収
(郵送による配布回収も含む)

(2) こども・若者意識調査

・郵送による配布回収とWeb調査

(3) こどもの生活に関する実態調査

・小学5年生児童・中学2年生生徒本人	学校を通じた配布回収（一部郵送）
・小学5年生児童・中学2年生生徒保護者	学校を通じた配布回収（一部郵送）

4 調査の実施時期

令和6年7月

5 配布・回収の結果

区 分	配布数	有効回答数	有効回答率
子ども・子育てニーズ調査 就学前児童 保護者	427 件	249 件	58.3%
子ども・子育てニーズ調査 小学生 保護者	413 件	178 件	43.1%
こども・若者意識調査	1,000 件	204 件 (Web : 96 件)	20.4%
子どもの生活に関する実態調査 小学5年生	140 件	61 件	43.6%
子どもの生活に関する実態調査 中学2年生	133 件	60 件	45.1%
子どもの生活に関する実態調査 保護者	300 件	122 件	40.7%

6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超えます。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者、該当者数を「n」と表記し、その数を表しています。

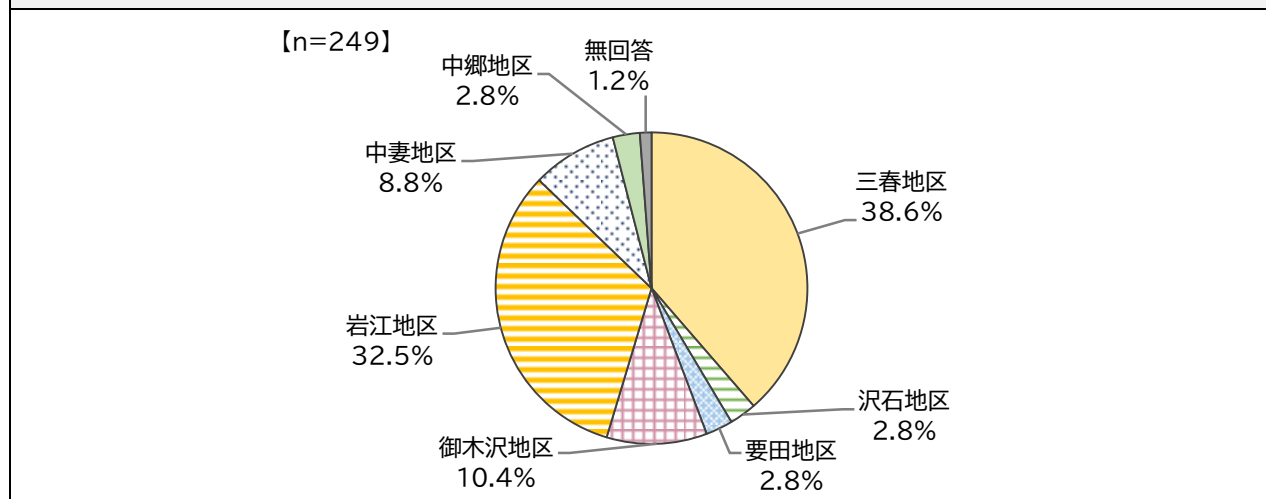
Ⅱ 「子ども・子育てニーズ調査」 調査結果

就学前児童 調査結果

1 お住いの地域について

(1) 居住地域

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。（1つに○）

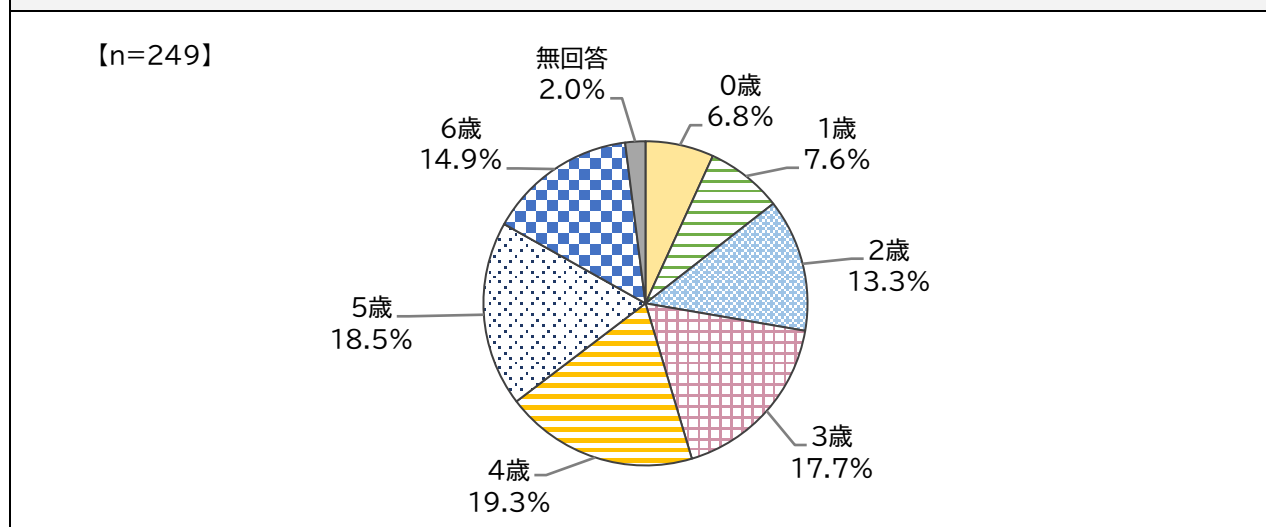


回答者の居住地域は「三春地区」が38.6%と最も多く、次いで「岩江地区」（32.5%）、「御木沢地区」（10.4%）、「中妻地区」（8.8%）、「沢石地区」、「要田地区」（ともに2.8%）と続いています。

2 お子さんご家族の状況について

(1) 年齢・学年

問2 【就学前児童】入園児童のうち年齢の低いお子さんの生年月を西暦でご記入ください。



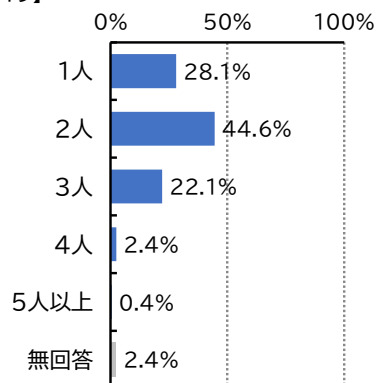
お子さんの年齢は、「4歳」が19.3%と最も多く、次いで「5歳」（18.5%）、「3歳」（17.7%）、「6歳」（14.9%）、「2歳」（13.3%）、「1歳」（7.6%）、「0歳」（6.8%）と続いています。

(2) きょうだいの人数

問3 問2のお子さんを含め、きょうだいは何人いますか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。(□内に数字を記入)

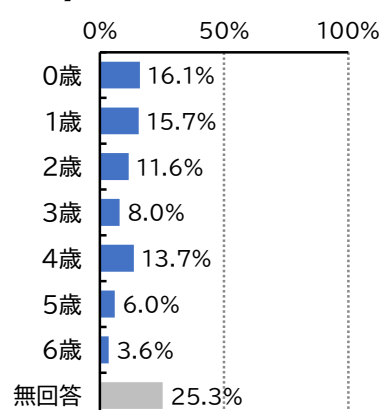
①きょうだいの人数

【n=249】



②一番下のお子さんの生年月

【n=249】



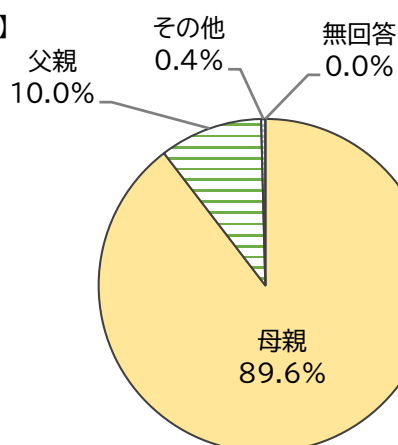
きょうだいの人数と、一番下のお子さんの年齢について、就学前児童では、「2人」が44.6%と最も多く、次いで「1人」(28.1%)、「3人」(22.1%)などと続いています。

また、きょうだいの一番下のお子さんの年齢は、「0歳」が16.1%と最も多く、次いで「1歳」(15.7%)、「4歳」(13.7%)、「2歳」(11.6%)などと続いています。

(3) 調査票回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

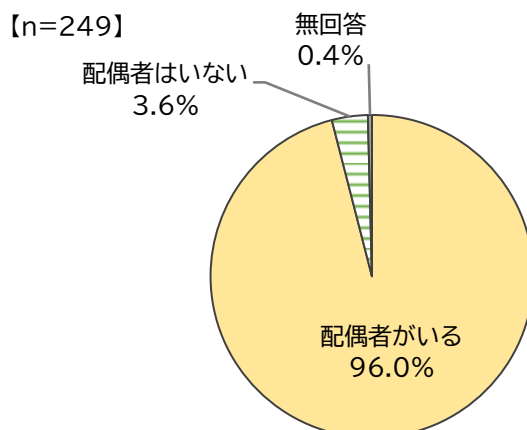
【n=249】



調査票の回答者は、「母親」が約9割と圧倒的に多くなっています。

(4) 調査票回答者の配偶関係

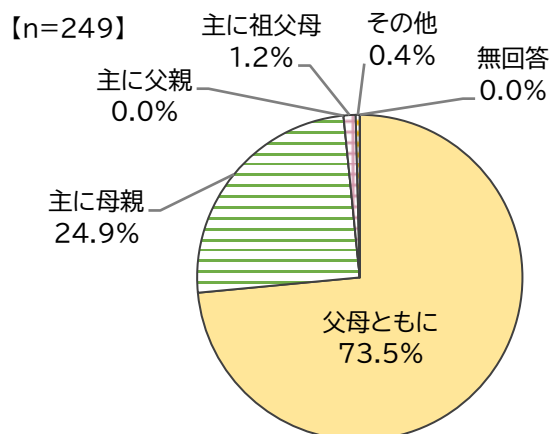
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)



調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が96.0%、「配偶者がいない」が3.6%となっています。

(5) 子育てを主に行っている人

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

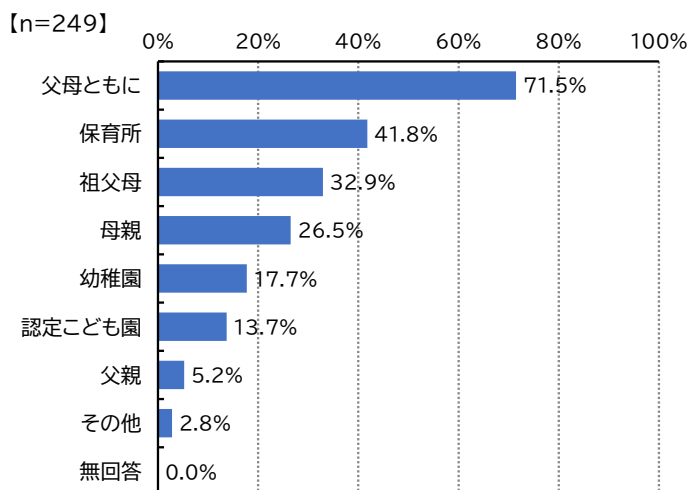


子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が73.5%と最も多く、次いで「主に母親」(24.9%)、「主に祖父母」(1.2%)となっています。

3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

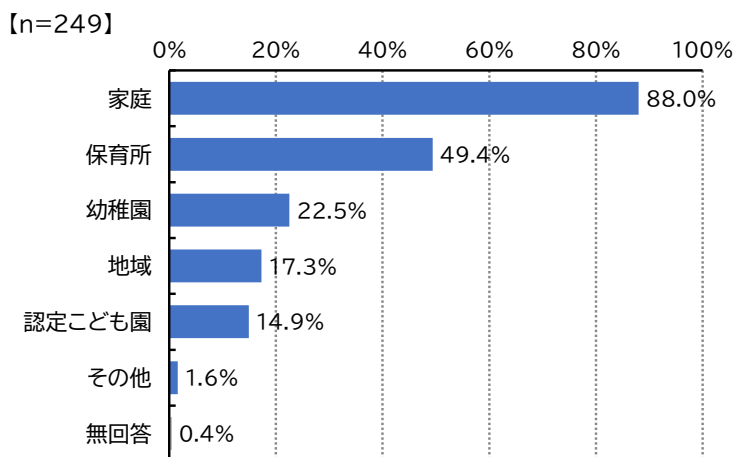
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）



子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が71.5%と最も多く、次いで「保育所」(41.8%)、「祖父母」(32.9%)、「母親」(26.5%)、「幼稚園」(17.7%)と続いています。

(2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

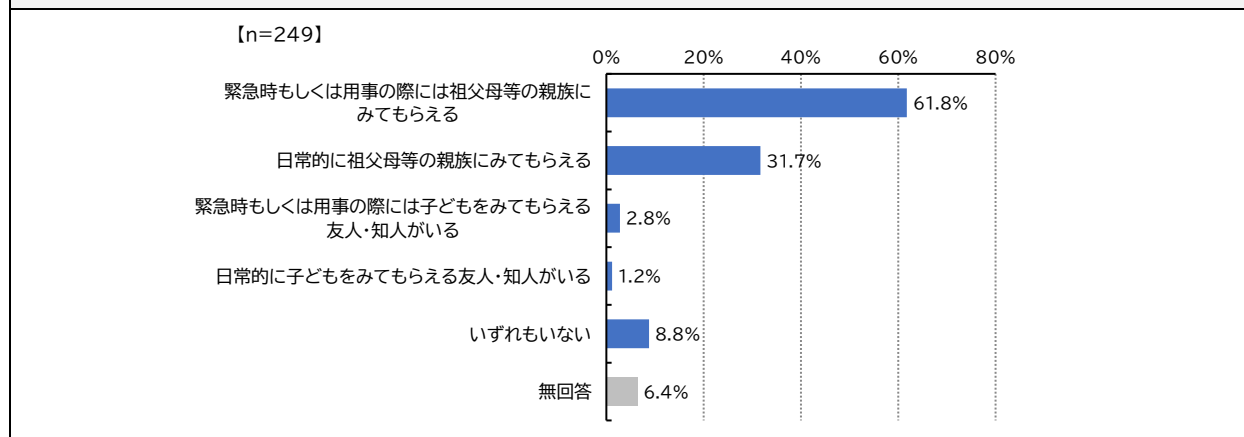
問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。（あてはまるものすべてに○）



子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が88.0%と最も多く、次いで「保育所」(49.4%)、「幼稚園」(22.5%)、「地域」(17.3%)、「認定こども園」(14.9%)と続いています。

(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



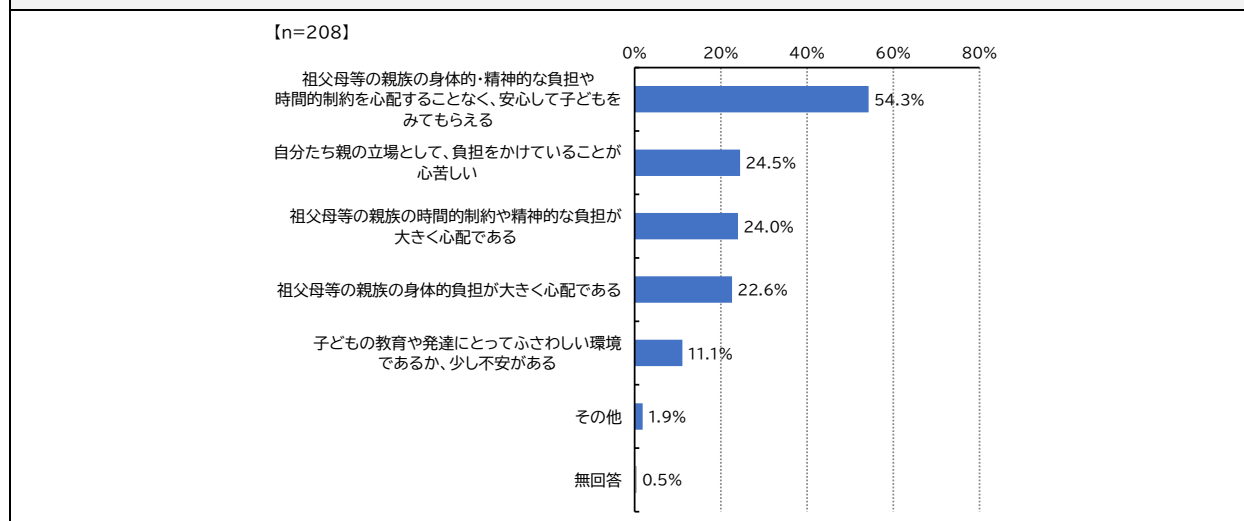
日頃、子どもを預かってもらえる親族がいるかは、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(31.7%)となっています。また、「友人・知人」にみてもらえるとの回答は、「親族」にみてもらえると比較すると圧倒的に少なくなっています。

なお、「いずれもない」との回答は 8.8%となっています。

(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

問9-1 【問9で「1.」、「2.」に○をつけた方のみ】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

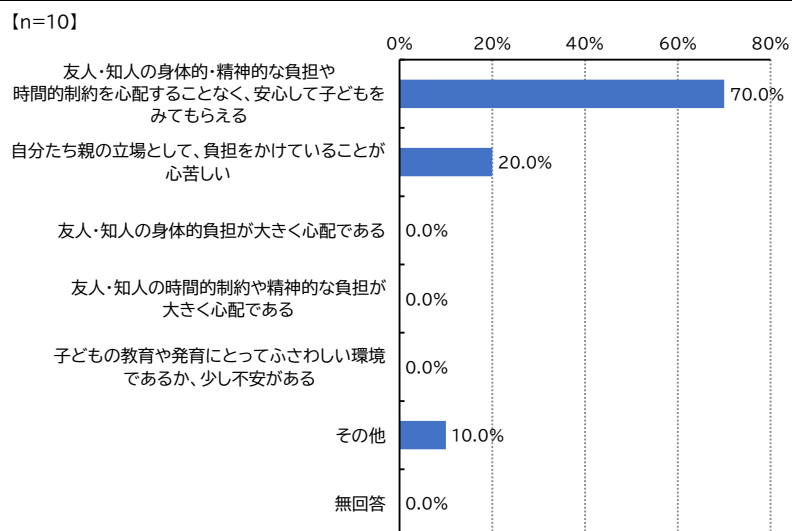


子どもを預けられる祖父母等の親族がいると回答した 208 人に、みてもらっている状況を尋ねると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 54.3%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(24.5%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(24.0%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(22.6%)、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」(11.1%)と続いています。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

問9-1 【問9で「3.」、「4.」に○をつけた方のみ】

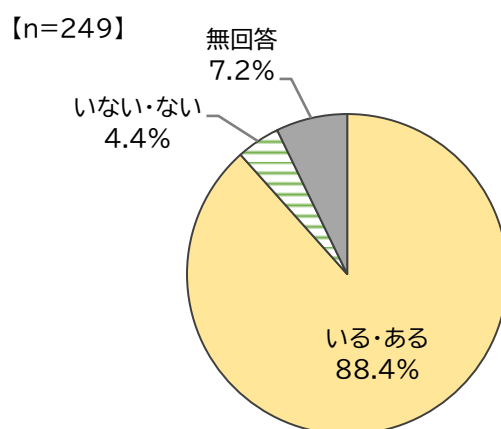
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)



子どもを預けられる友人・知人がいると回答した10人に、みてもらっている状況を尋ねると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が70.0%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(20.0%)と続いています。

(6) 子育てに関する相談相手の有無

問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

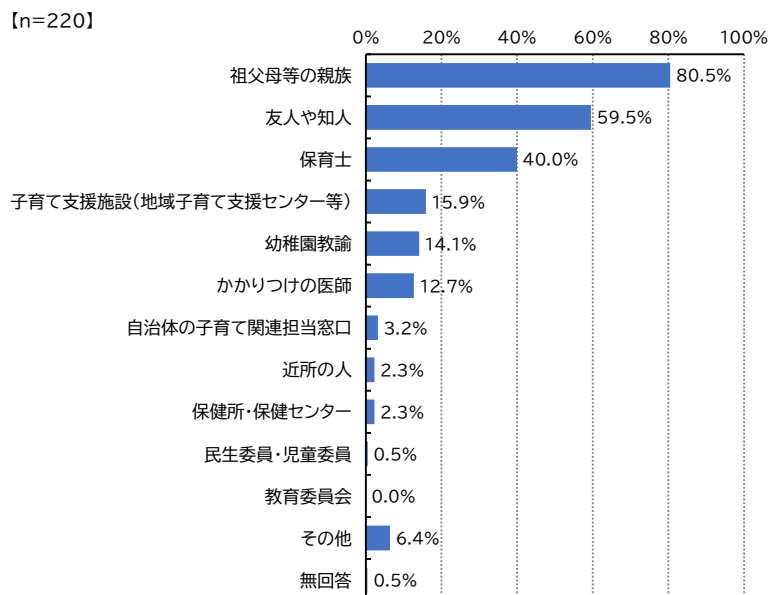


子育てをする上で、気軽に相談できる人がいるかは、「いる・ある」が88.4%、「いない・ない」が4.4%となっています。

(7) 子育てに関する相談先

問 10-1 【問 10「1. いる・ある」に○をつけた方のみ】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)



子育てをする上で、気軽に相談できる人がいると回答した 220 人に、相談先を尋ねると、「祖父母等の親族」が 80.5%と最も多く、次いで「友人や知人」(59.5%)、「保育士」(40.0%)、「子育て支援施設(地域子育て支援センター等)」(15.9%)、「幼稚園教諭」(14.1%)と続いています。

問 11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な回答内容

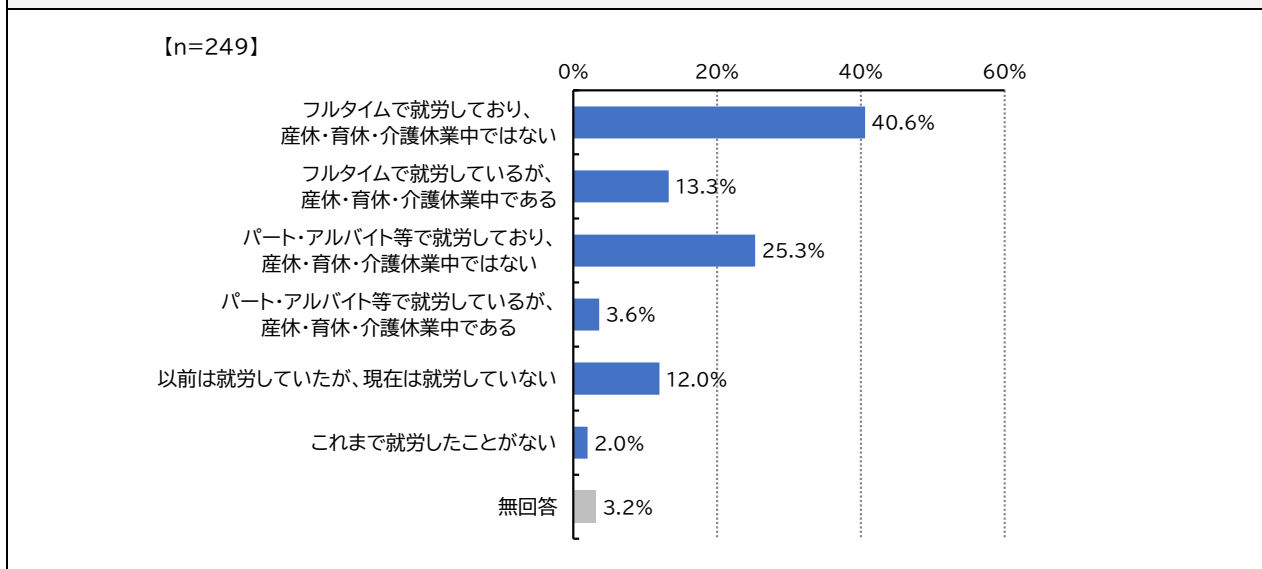
- ・ 病児保育
- ・ 子育てに関する金銭的サポート
- ・ 土、日、祝日や親の急な用事の際に預けられる場所
- ・ 公園など子どもの遊び場
- ・ 気軽に相談できる場所
- ・ LINE などを活用した非対面で相談できる環境

…etc

4 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

問 12 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。



母親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、53.9%が『フルタイムでの就労』となっています。

また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、28.9%が『パート・アルバイト等での就労』となっています。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせた、14.0%は『就労していない』と回答しています。

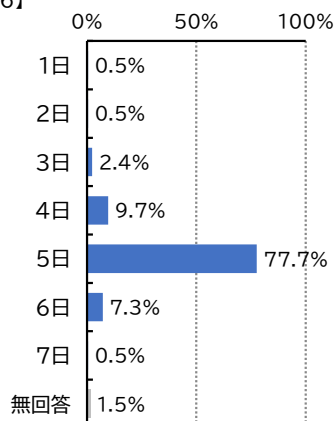
(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

問 12-1 【問 12 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字を記入）

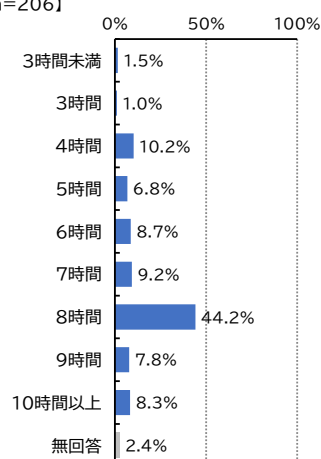
・ 1 週あたりの就労日数

【n=206】



・ 1 日あたりの就労時間

【n=206】



母親が就労していると回答した 206 人の 1 週あたりの就労日数は「5 日」、1 日あたりの就労時間は「8 時間」が最も多くなっています。

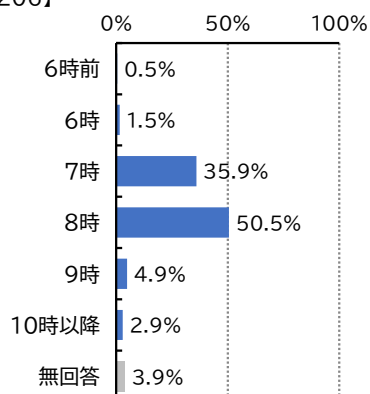
(3) 就労している母親の出勤・帰宅時間

問 12-2 【問 12 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に時間を[例]18 時のように 24 時間制で記入）

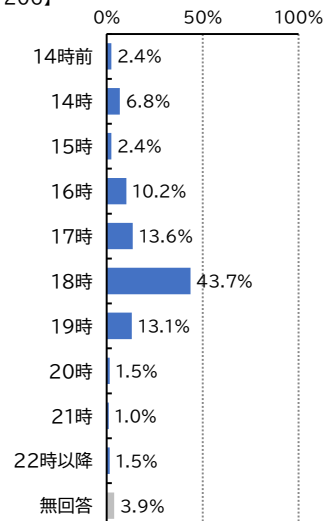
・ 家を出る時刻

【n=206】



・ 帰宅時刻

【n=206】



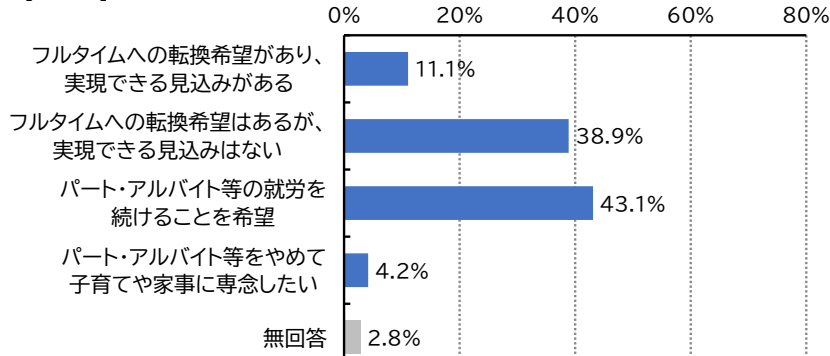
母親が就労していると回答した 206 人の家を出る時刻は、「8 時」、帰宅時間は「18 時」が最も多くなっています。

(4) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問 12-3 【問 12 で「3.」～「4.」（パート・アルバイト等で就労）に○をつけた方のみ】

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

【n=72】



母親がパートタイム、アルバイト等で就労している 72 人にフルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 43.1%と最も多くなっています。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた、50.0%が『フルタイムへの転換希望がある』と回答しています。

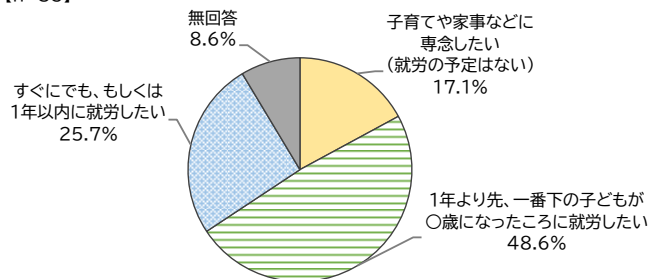
なお、4.2%は「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」と回答しています。

(5) 現在就労していない母親の就労希望

問 12-4 【問 12 で「5.」～「6.」（就労していない）に○をつけた方のみ】

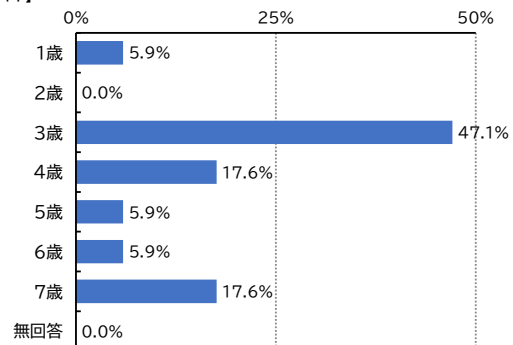
就労したいという希望はありますか。（それぞれ1つに○、就労したい場合は該当する記号1つに○、□内に数字を記入）

【n=35】



・一番下の子どもが何歳になったころに就労したいか

【n=17】

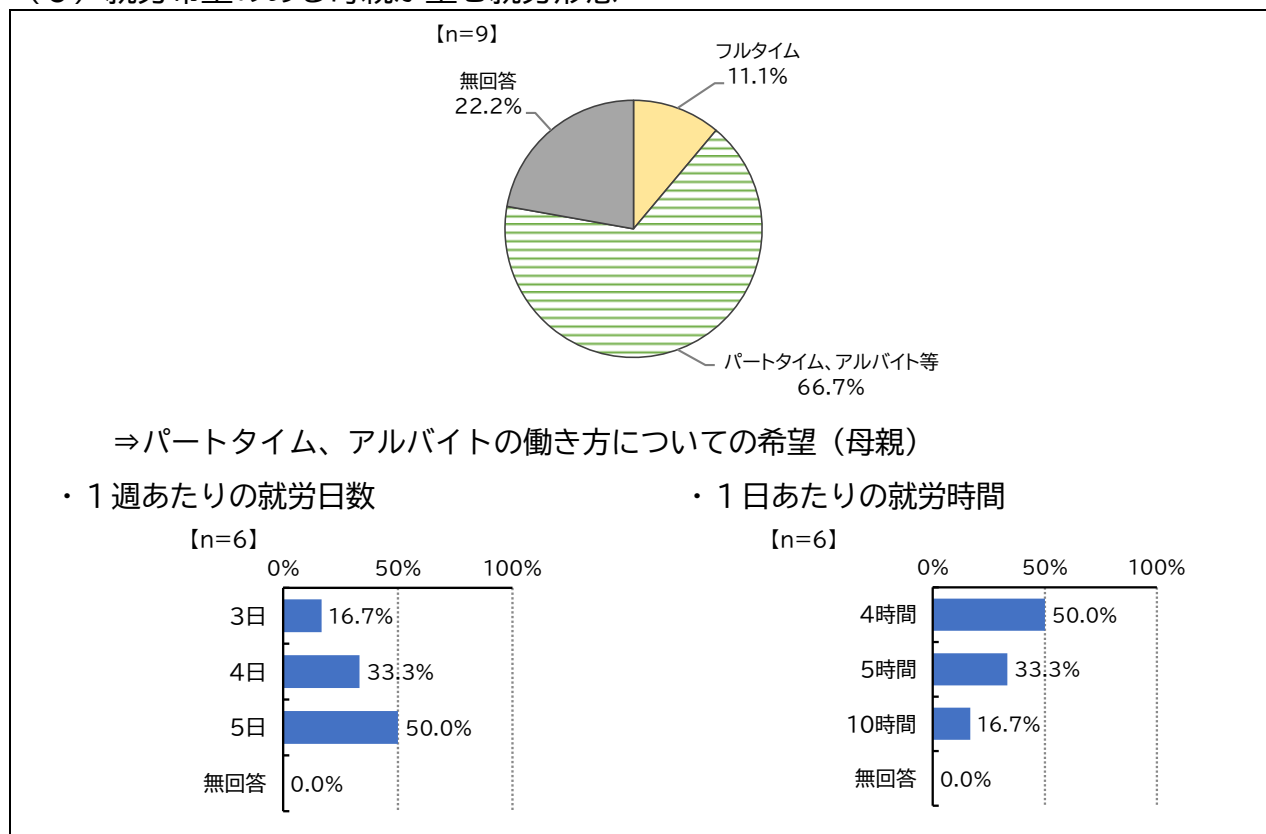


母親が現在就労していない 35 人に、就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」を合わせた、74.3%が『就労したい』と回答しています。

なお、17.1%は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」と回答しています。

また、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」と回答した 17 人、に一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するかを尋ねると、「3歳」（47.1%）が最も多くなっています。

(6) 就労希望のある母親が望む就労形態

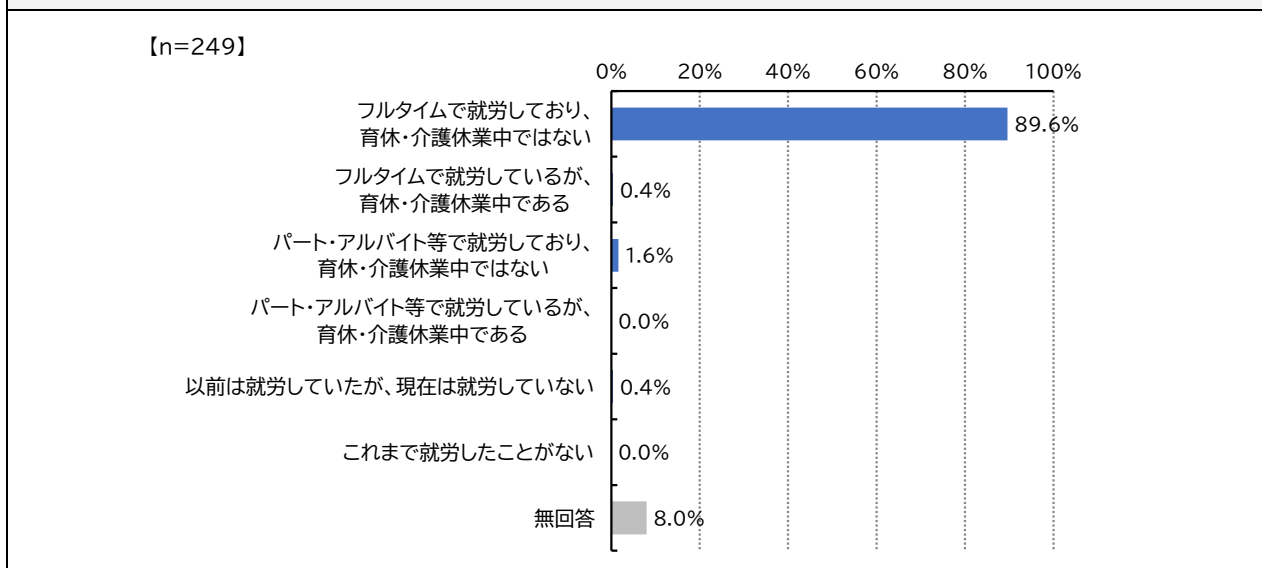


母親が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した9人に希望する就労形態を尋ねると、「フルタイム」が11.1%、「パートタイム、アルバイト等」が66.7%となっています。

また、「パートタイム、アルバイト等」での就労を希望する6人に、希望の就労日数と就労時間を尋ねると、就労日数は1週あたり「5日」、就労時間は「4時間」が最も多くなっています。

(7) 父親の就労状況

問 13 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。



父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、90.0%が『フルタイムでの就労』となっています。

また、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、1.6%が『パート・アルバイト等での就労』となっています。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせた、0.4%は『就労していない』と回答しています。

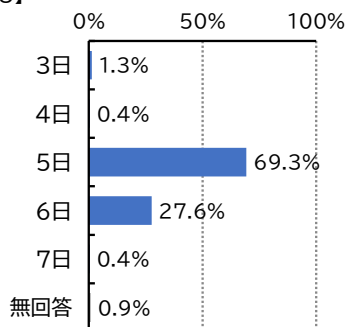
(8) 就労している父親の就労日数・就労時間

問 13-1 【問 13 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字を記入）

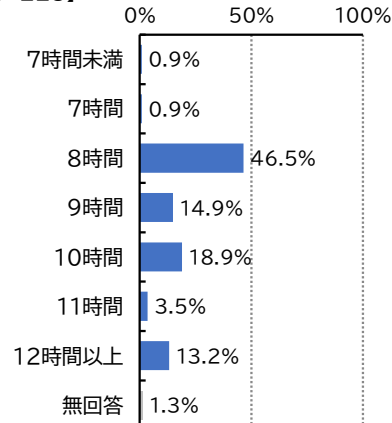
・ 1 週あたりの就労日数

【n=228】



・ 1 日あたりの就労時間

【n=228】



父親が就労していると回答した 228 人の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」、1 日あたりの就労時間は「8 時間」が最も多くなっています。

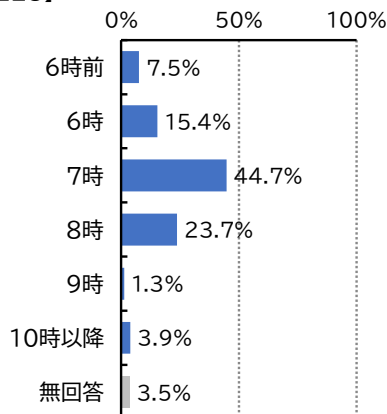
(9) 就労している父親の出勤・帰宅時間

問 13-2 【問 13 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に時間を[例]18 時のように 24 時間制で記入）

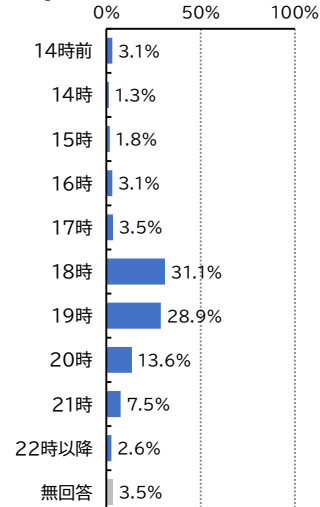
・ 家を出る時刻

【n=228】



・ 帰宅時刻

【n=228】



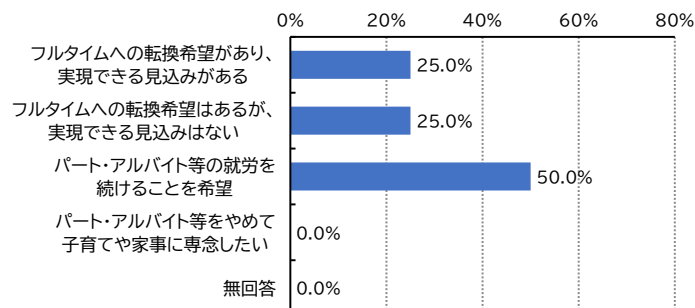
父親が就労していると回答した 228 人の家を出る時刻は、「7 時」、帰宅時間は「18 時」が最も多くなっています。

(10) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問 13-3 【問 13 で「3.」～「4.」（パート・アルバイト等で就労）に○をつけた方のみ】

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

【n=4】



父親がパートタイム、アルバイト等で就労している4人にフルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」50.0%と最も多くなっています。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」はともに25.0%となっています。

(11) 現在就労していない父親の就労希望

問 13-4 【問 12 で「5.」～「6.」（就労していない）に○をつけた方のみ】

就労したいという希望はありますか。（それぞれ1つに○、就労したい場合は該当する記号1つに○、□内に数字を記入）

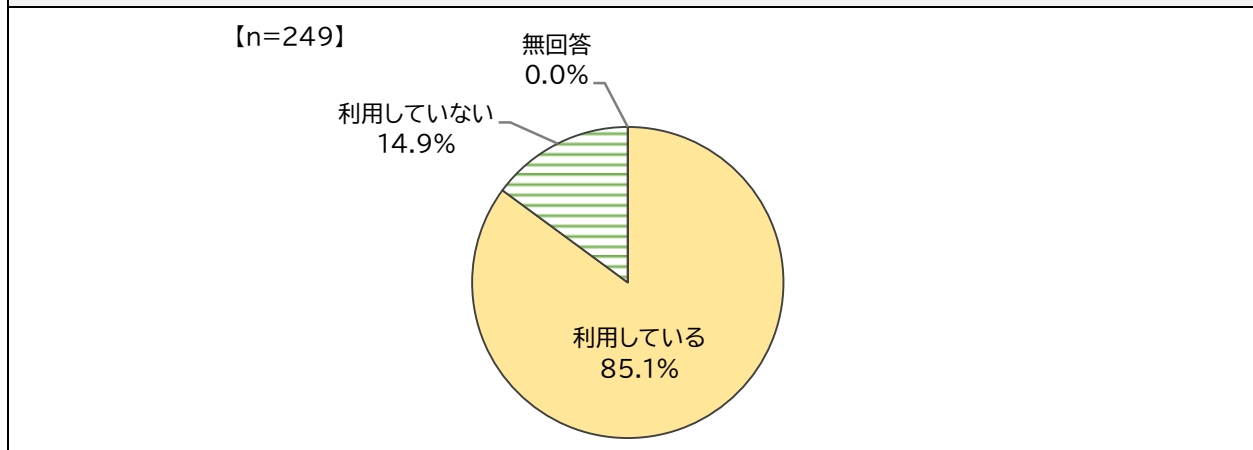
回答者1名 →すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
希望する勤務形態については「無回答」

父親が現在就労していない就学前児童1人に就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 「定期的な教育・保育の事業」を利用しているか

問 14 お子さんは現在、認定こども園や保育園の「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

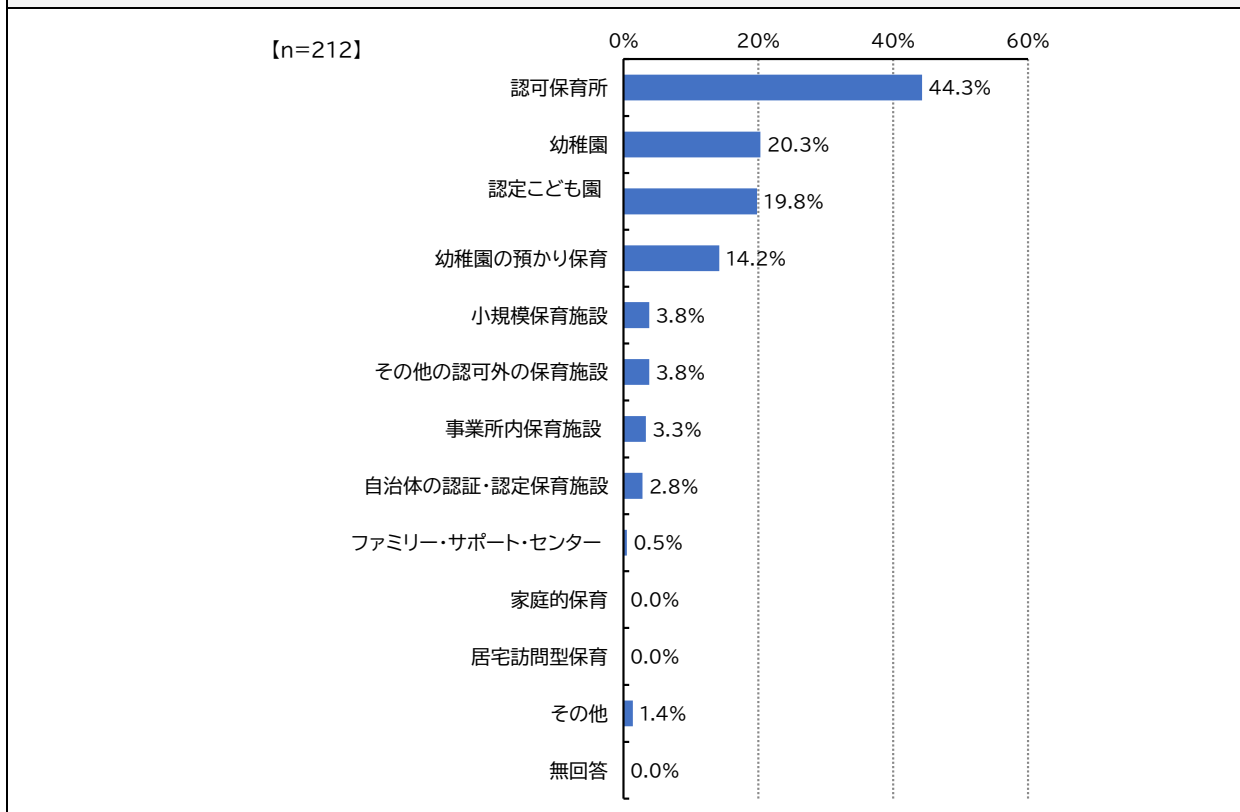


平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 85.1%、「利用していない」が 14.9%となっています。

(2) 現在利用している「定期的な教育・保育の事業」

問 14-1 【問 14で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



平日の教育・保育事業を利用していると回答した 212 人に、どのような事業を利用しているか尋ねると、「認可保育所」が 44.3%で最も多く、次いで「幼稚園」(20.3%)、「認定こども園」(19.8%)、「幼稚園の預かり保育」(14.2%)と続いています。

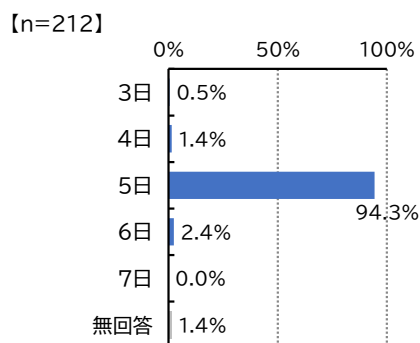
(3)「定期的な教育・保育の事業」の利用状況と利用希望

問 14-2 【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

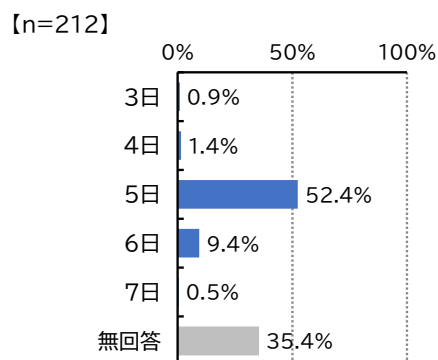
平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（□内に数字、時間帯は[例]18 時のように 24 時間制で記入）

■ 1 週あたりの日数

【 現在 】

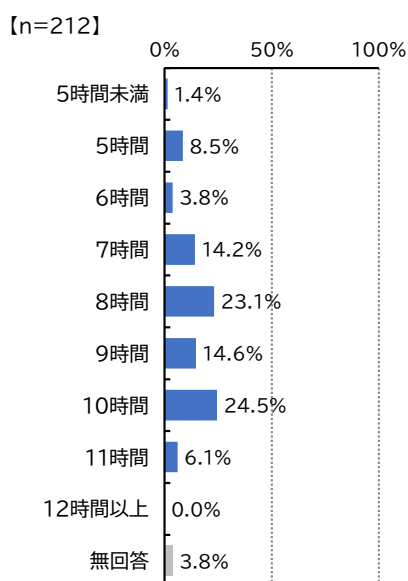


【 希望 】

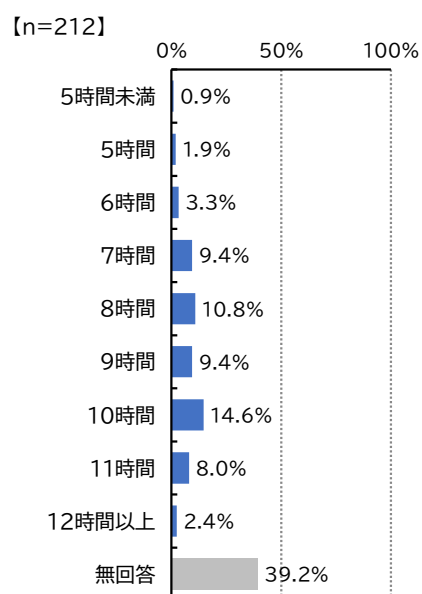


■ 1 日あたりの時間

【 現在 】

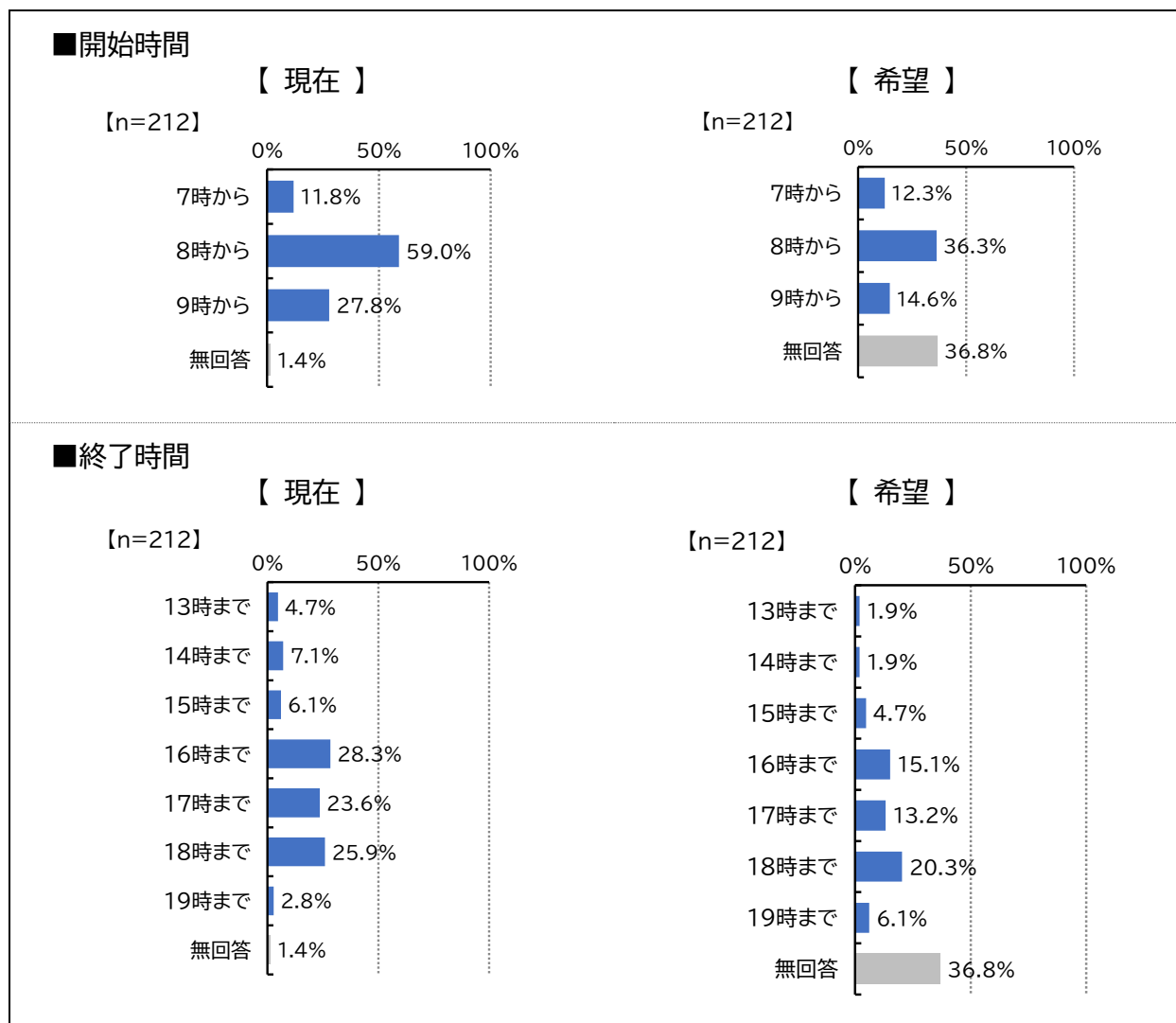


【 希望 】



平日、定期的に教育・保育事業を利用していると回答した 212 人に、1 週あたりの利用日数を尋ねると、現状では「5 日」が 94.3%と最も多く、希望としても「5 日」が 52.4%と最も多くなっています。

1 日あたりの利用時間は、現状では「10 時間」が 24.5%と最も多く、次いで「8 時間」(23.1%)、「9 時間」(14.6%)と続いており、希望としても「10 時間」が 14.6%と最も多く、次いで「8 時間」(10.8%)、「9 時間」、「7 時間」(ともに 9.4%)と続いています。



平日、定期的に教育・保育事業を利用していると回答した 212 人に、現在利用している事業の利用開始時間を尋ねると、現状では「8時から」が 59.0%と最も多く、次いで「9時から」（27.8%）、「7時から」（11.8%）となっており、希望としても「8時から」が 36.3%と最も多く、次いで「9時から」（14.6%）、「7時から」（12.3%）となっています。

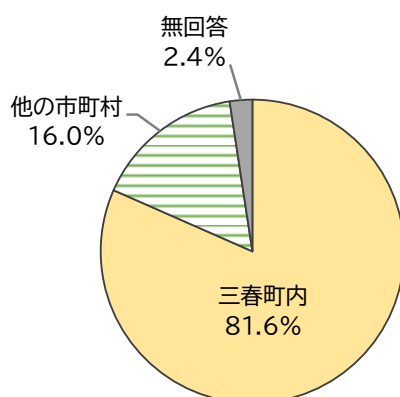
また、現在利用している事業の利用終了時間を尋ねると、現状では、「16時まで」が 28.3%と最も多く、次いで「18時まで」（25.9%）、「17時まで」（23.6%）となっており、希望としては「18時まで」が 20.3%と最も多く、次いで「16時まで」（15.1%）、「17時まで」（13.2%）、となっています。

(4) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所

問 14-3 【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

【n=212】



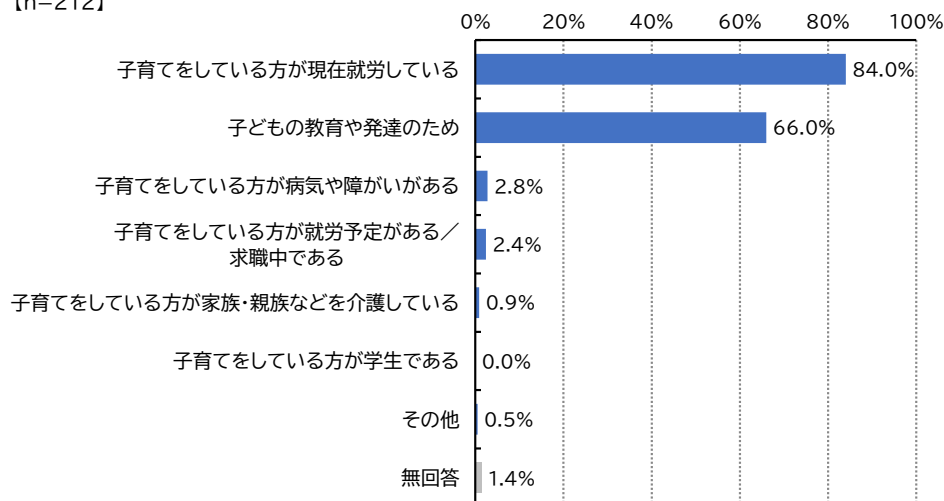
平日、定期的に教育・保育事業を利用していると回答した 212 人に、現在、利用している教育・保育の事業の実施場所を尋ねると、「三春町内」が 81.6%、「他の市町村」が 16.0%となっています。

(5) 「定期的な教育・保育の事業」を利用している理由

問 14-4 【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【n=212】

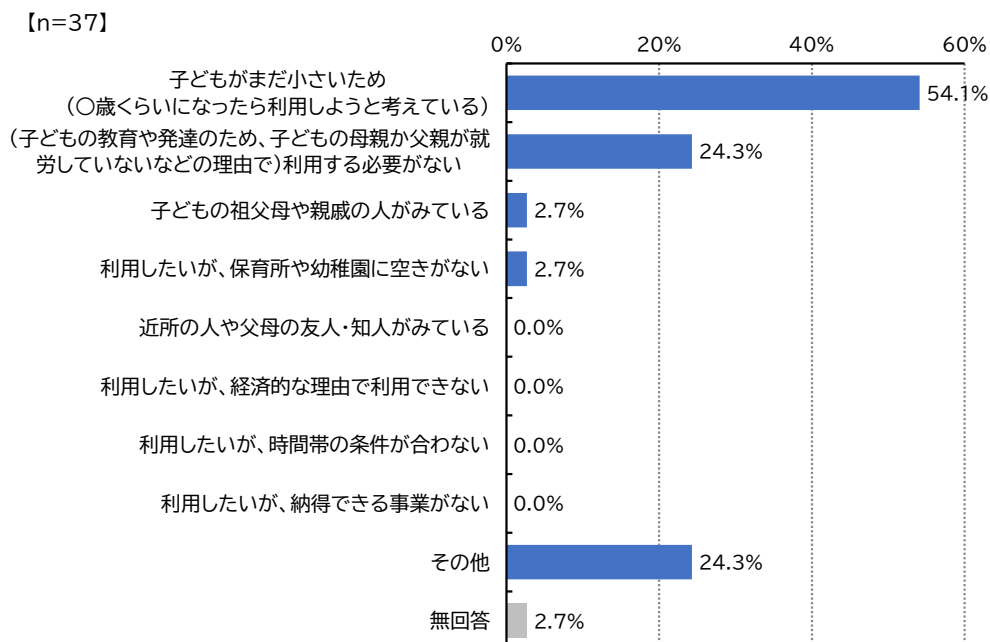


平日、定期的に教育・保育事業を利用していると回答した 212 人に、平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由を尋ねると、「子育てをしている方が現在就労している」が 84.0%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(66.0%)、「子育てをしている方が病気や障がいがある」(2.8%)、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」(2.4%)、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」(0.9%)と続いています。

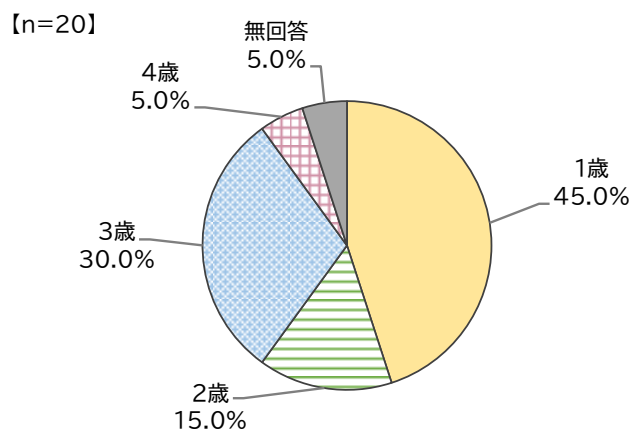
(6)「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由

問 14-5 【問 14で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ】

利用していない理由としてもっともあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)



・子どもがまだ小さいため → 何歳くらいになったら利用したいか

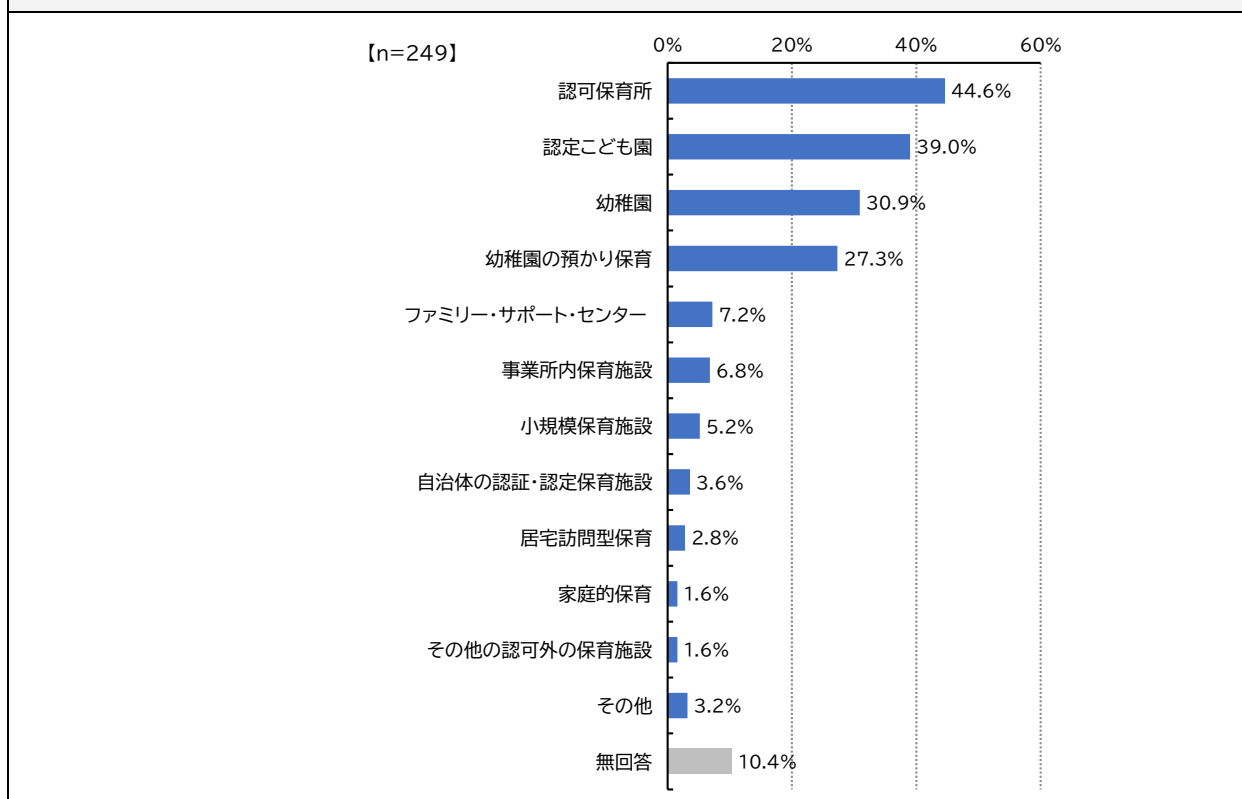


平日、定期的に教育・保育事業を利用していないと回答した 37 人に、利用していない理由を尋ねると、「子どもがまだ小さいため (○歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 54.1%と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」(24.3%)、「その他」(24.3%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」、「利用したいが、保育所や幼稚園に空きがない」(ともに 2.7%)と続いています。

また、「子どもがまだ小さいため」と回答した 20 人に、子どもが何歳くらいになったら預けようとするか尋ねると、「1 歳」が 45.0%と最も多く、次いで「3 歳」(30.0%)、「2 歳」(15.0%)となっています。

(4) 今後、平日において「定期的な」利用を希望する教育・保育事業

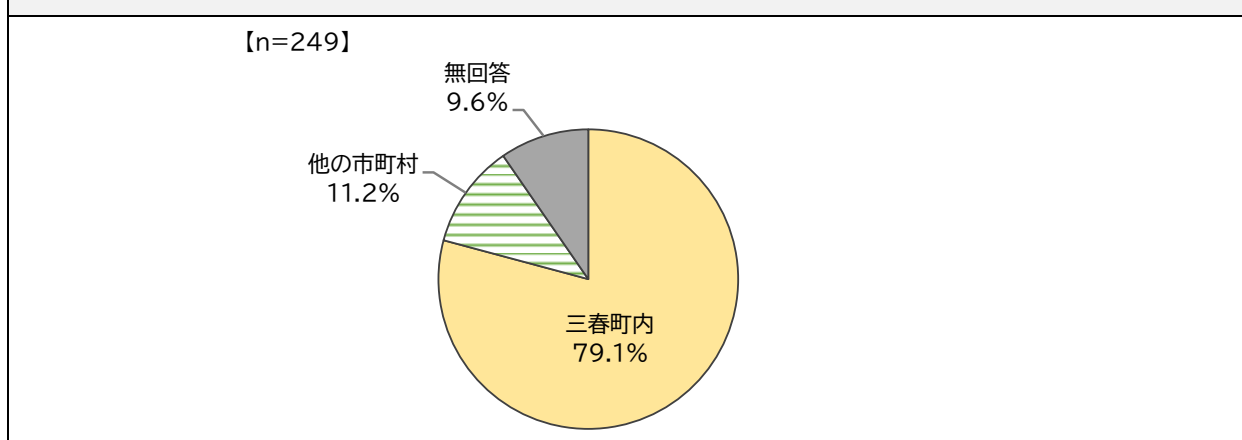
問 15 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(あてはまるものすべてに○)



平日の教育・保育の事業として「定期的な」利用したいと考える教育・保育事業は、「認可保育所」が44.6%と最も多く、次いで「認定こども園」(39.0%)、「幼稚園」(30.9%)、「幼稚園の預かり保育」(27.3%)、「ファミリー・サポート・センター」(7.2%)と続いています。

(5) 教育・保育事業を利用したい場所

問 15-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(1つに○)



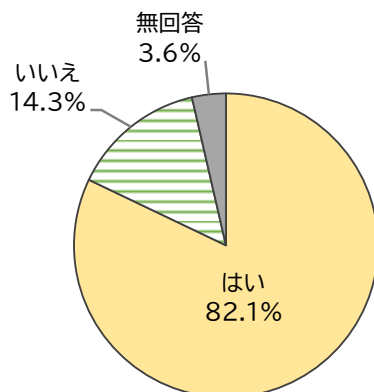
平日の教育・保育の事業を利用したい場所を尋ねると、「三春町内」が79.1%、「他の市町村」が11.2%となっています。

（６）幼稚園の利用希望

問 15-2 【問 15 で「１．幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「２．幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「３．」～「12．」のいずれかにも○をつけた方のみ】

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（１つに○）

【n=56】



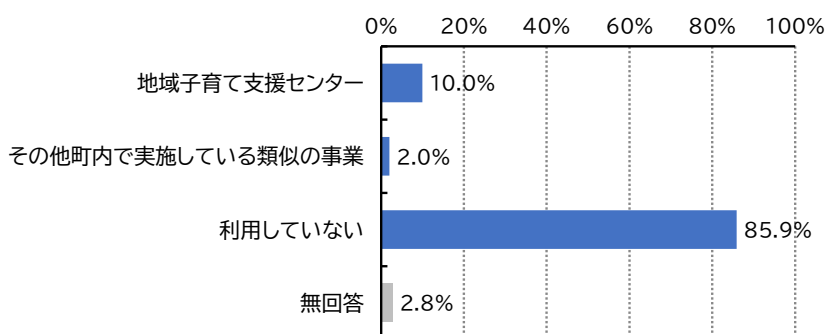
問 15 で幼稚園とその他の教育・保育事業を選択した 56 人に、特に幼稚園の利用を希望するかを尋ねると、「はい」が 82.1%、「いいえ」が 14.3%となっています。

６ 地域の子育て支援拠点事業の利用状況について

（１）地域子育て支援拠点事業を利用しているか

問 16 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（三春町では、三春町地域子育て支援センター（旧三春中央児童館）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○、□内におおよその利用回数（頻度）を記入）

【n=249】



現在、利用している地域子育て支援拠点事業は、「地域子育て支援センター」が 10.0%、「その他町内で実施している類似の事業」が 2.0%となっています。

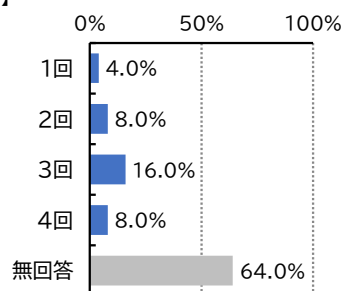
なお、85.9%は「利用していない」と回答しています。

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用頻度

①地域子育て支援センター

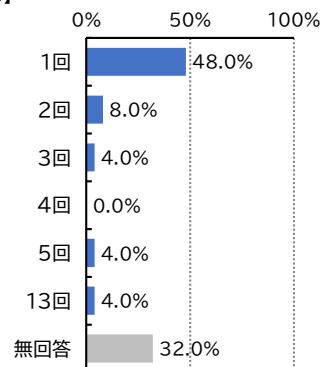
・ 1 週あたりの回数

【n=25】



・ 1 か月あたりの回数

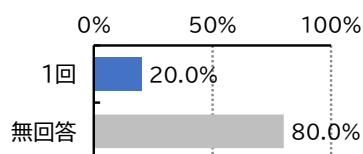
【n=25】



②その他町内で実施している類似の事業

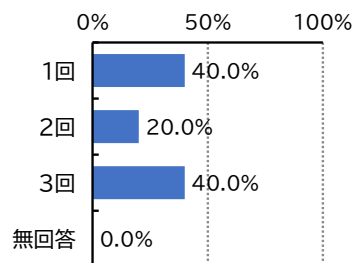
・ 1 週あたりの回数

【n=5】



・ 1 か月あたりの回数

【n=5】

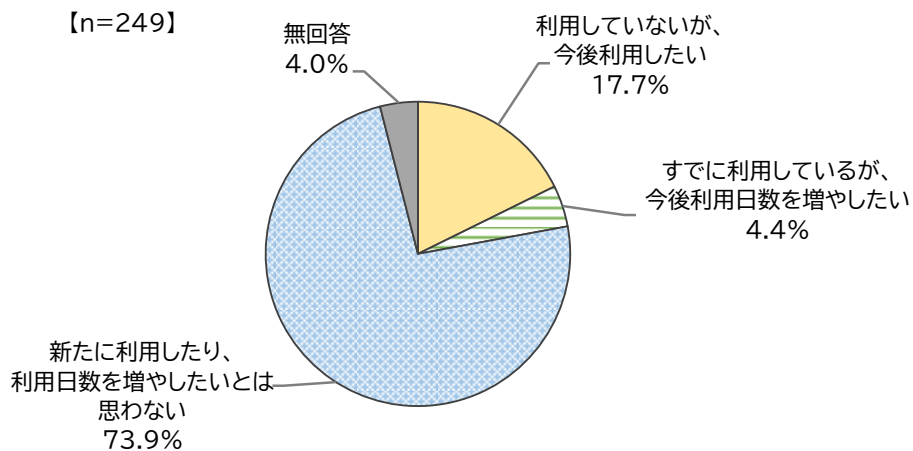


地域子育て支援センターを「利用している」と回答した 25 人に、現在の利用頻度を尋ねると、1 週あたりでは「3 回」が 16.0%と最も多くなっており、1 か月あたりでは「1 回」が 48.0%と最も多くなっています。

また、その他町内で実施している類似の事業を「利用している」と回答した 5 人に、現在の利用頻度を尋ねると、1 週あたりでは「1 回」が 20.0%、1 か月あたりでは「1 回」、「3 回」がともに 40.0%となっています。

(3) 三春町地域子育て支援センターの今後の利用意向

問 17 三春町地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(1つに○、□内におおよその利用回数(頻度)を記入)



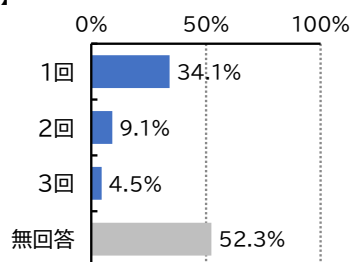
三春町地域子育て支援センターの今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 73.9%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(17.7%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(4.4%)となっています。

(4) 三春町地域子育て支援センターの利用希望回数

①「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望

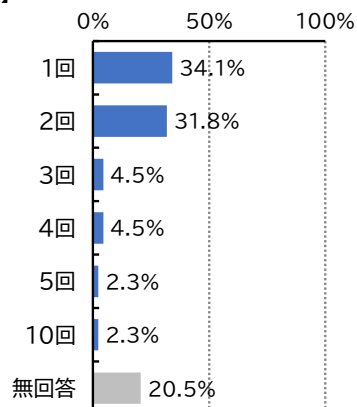
・ 1 週あたりの回数

【n=44】



・ 1 か月あたりの回数

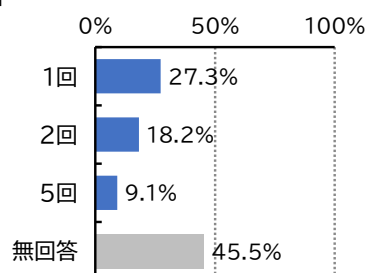
【n=44】



②「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望

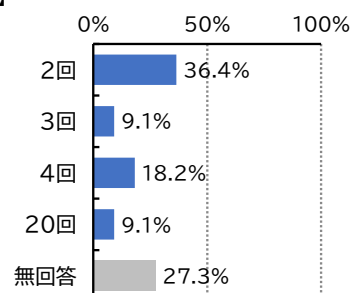
・ 1 週あたりの回数

【n=11】



・ 1 か月あたりの回数

【n=11】



三春町地域子育て支援センターを現在「利用していないが今後利用したい」と回答した 44 人に、希望利用頻度を尋ねると、1 週あたりでは「1 回」が 34.1%、1 か月あたりでも「1 回」が 34.1%となっています。

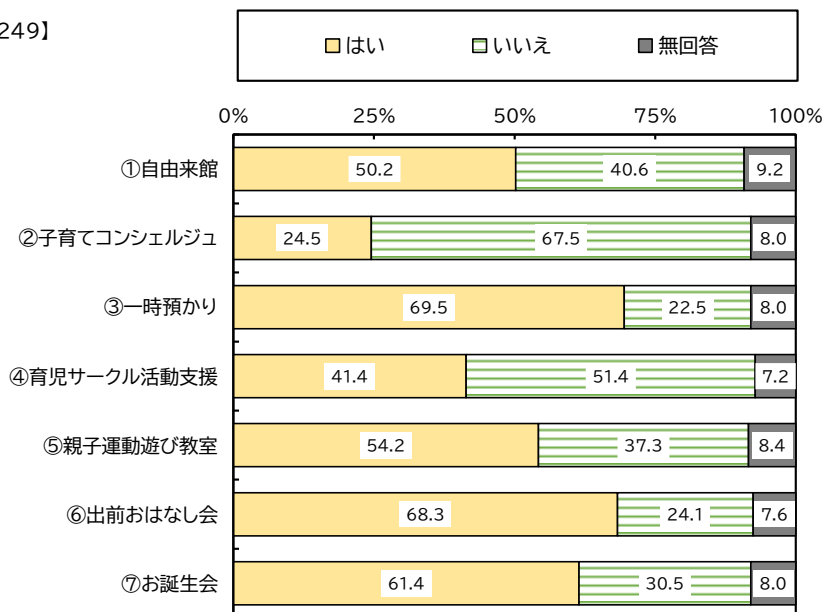
また、現在「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した 11 人に、どのくらい増やしたいか尋ねると、1 週あたりでは「1 回」が 27.3%、1 か月あたりでも「1 回」が 36.4%となっています。

(5) 実施事業の認知度

問 18 下記の事業で知っているものや、利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。①～⑦のサービスごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

・知っている

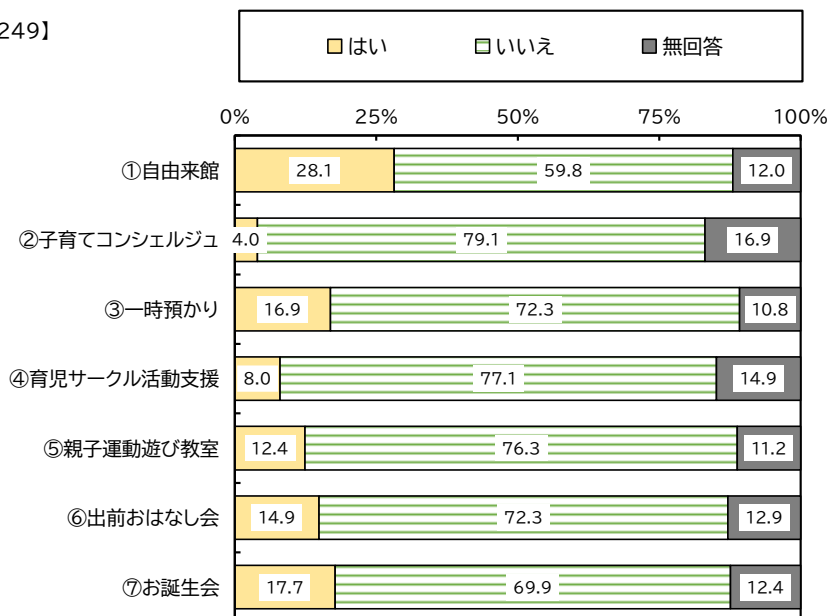
【n=249】



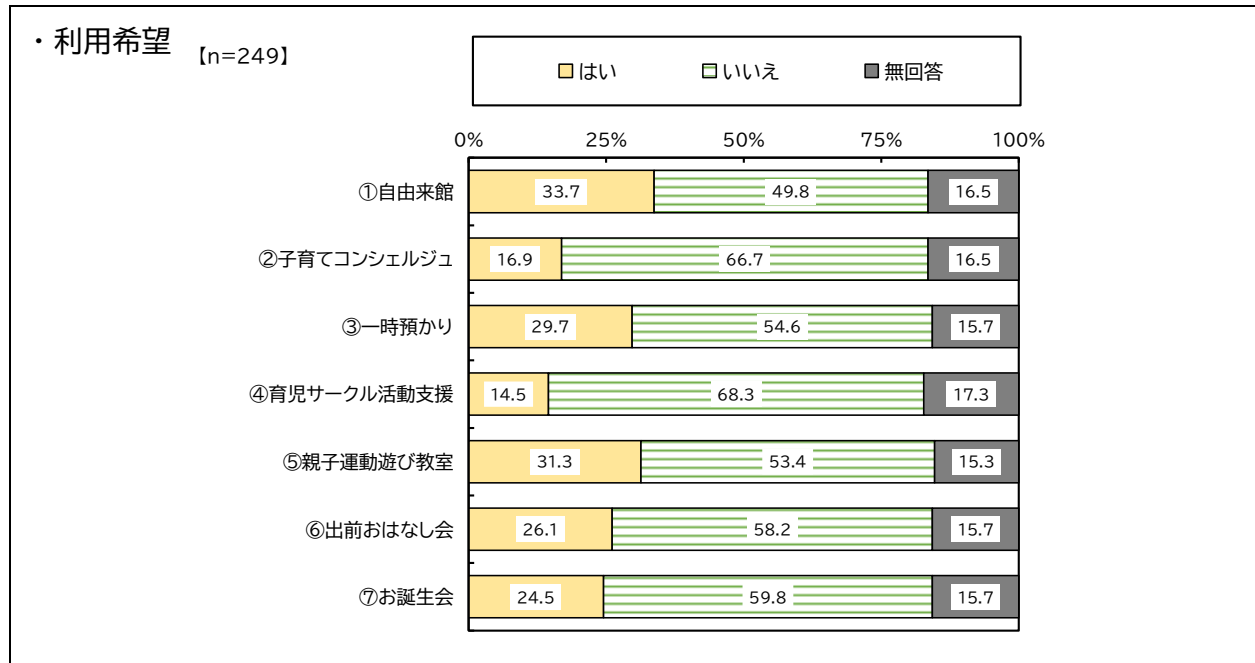
実施事業で認知度が高かった事業は、「③一時預かり」が69.5%と最も多く、次いで「⑥出前おはなし会」(68.3%)、「⑦お誕生会」(61.4%)と続いています。

・利用実績

【n=249】



実施事業で利用したことがあるものは、「①自由来館」が28.1%で最も多く、次いで「⑦お誕生会」(17.7%)、「③一時預かり」(16.9%)、「⑥出前おはなし会」(14.9%)と続いています。

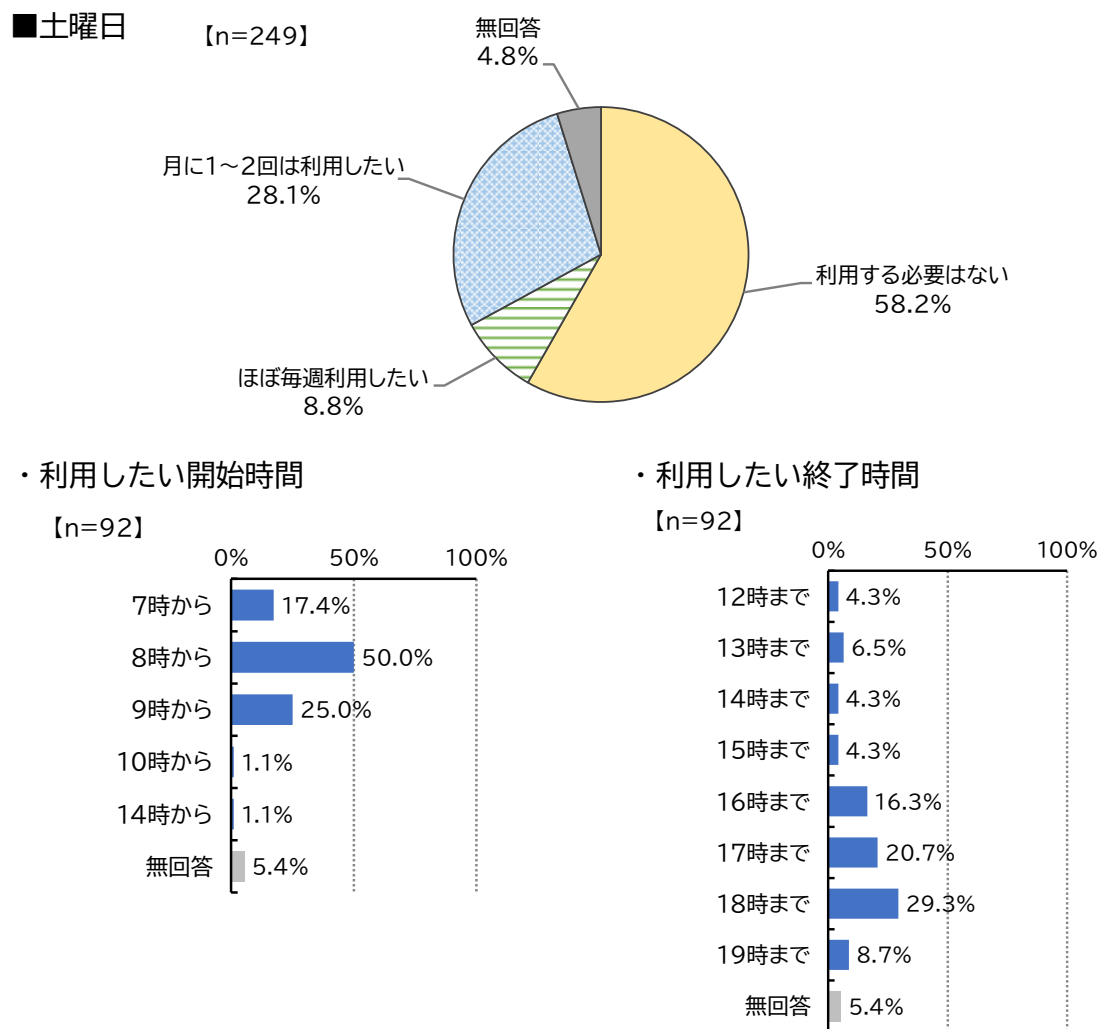


実施事業で今後利用してみたいものは、「①自由来館」が33.7%で最も多く、次いで「⑤親子運動遊び教室」(31.3%)、「③一時預かり」(29.7%)、「⑥出前おはなし会」(26.1%)と続いています。

7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 19 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ1つに○、希望がある場合は□内に利用したい時間帯を[例]18時のように24時間制で記入）

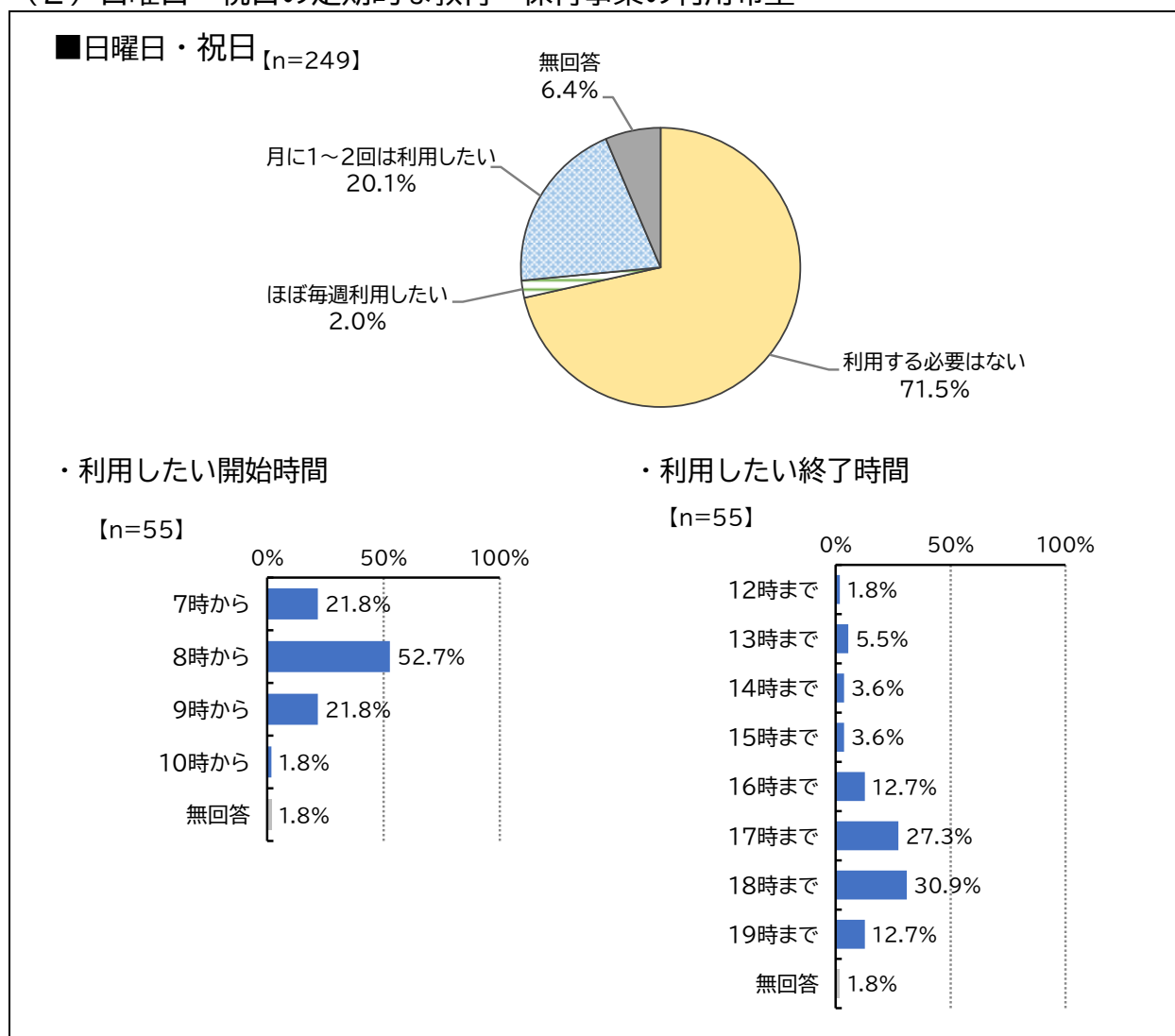


土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が28.1%、「ほぼ毎週利用したい」が8.8%となっており、合わせると36.9%が『利用希望がある』と回答しています。

なお、58.2%は「利用する必要はない」と回答しています。

土曜日に利用したいと回答した92人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が50.0%と最も多く、終了時間は、「18時まで」が29.3%と最も多くなっています。

(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が20.1%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%となっており、合わせると22.1%が『利用希望がある』と回答しています。

なお、71.5%は「利用する必要がある」と回答しています。

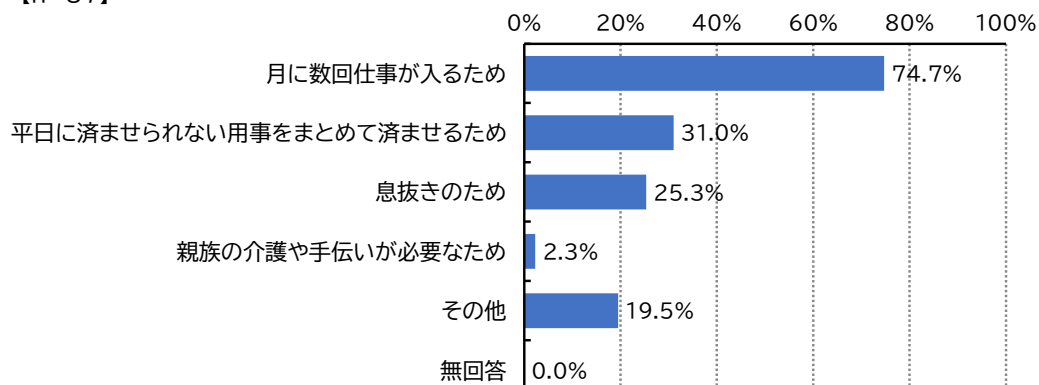
日曜日・祝日に利用したいと回答した55人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が52.7%と最も多く、終了時間は「18時まで」が30.9%と最も多くなっています。

(3) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問 19－1 【問 19 の (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方のみ】

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【n=87】

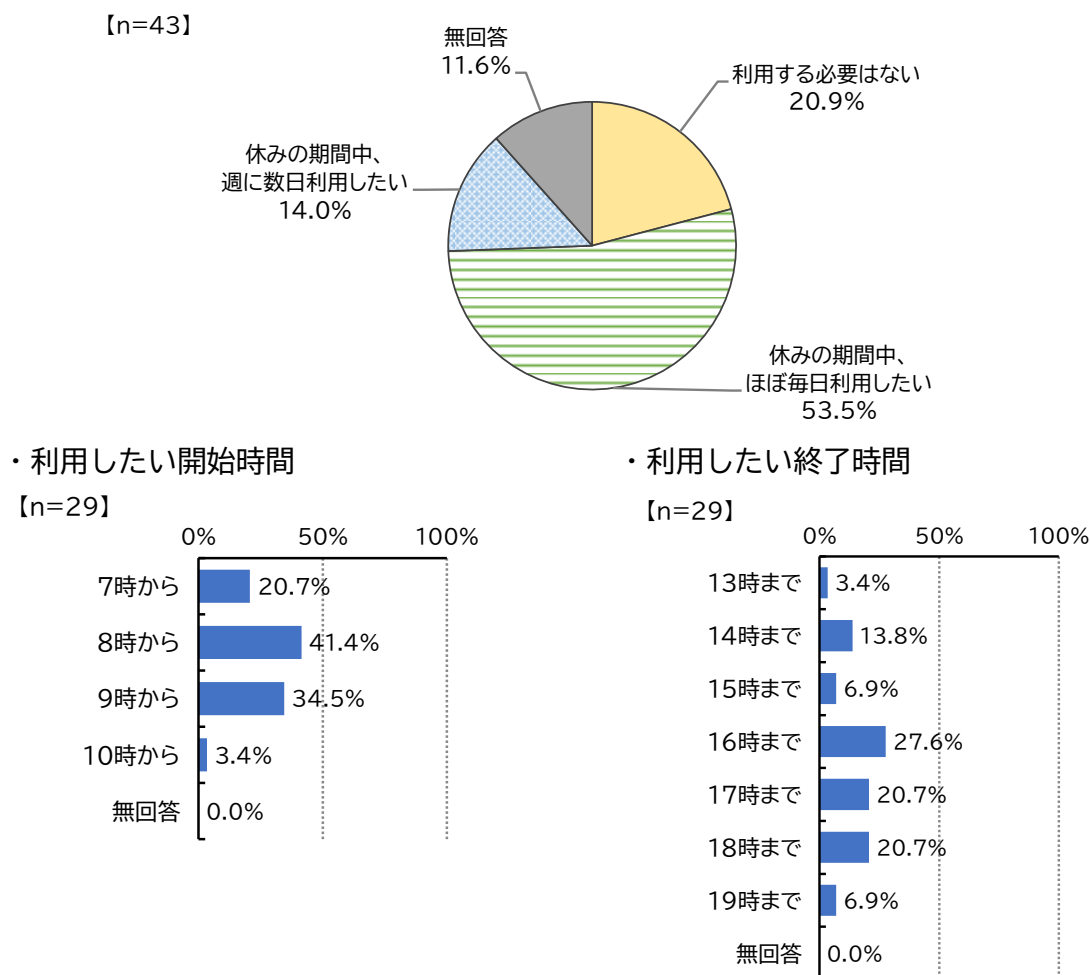


土曜日や日曜日・祝日に、毎週ではなく「月に 1～2 回は利用したい」と回答した 87 人に、その理由を尋ねると、「月に数回仕事が入るため」が 74.7%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(31.0%)、「息抜きのため」(25.3%)、「その他」(19.5%)、「親族の介護や手伝いが必要なため」(2.3%)と続いています。

(4) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

【幼稚園を利用されている方のみ】

問 20 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（1つに○、希望がある場合は□内に利用したい時間帯を[例]18時のように24時間制で記入）



幼稚園を利用している43人に、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望を尋ねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」が14.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が53.5%となっており、合わせると67.5%が『利用希望がある』と回答しています。

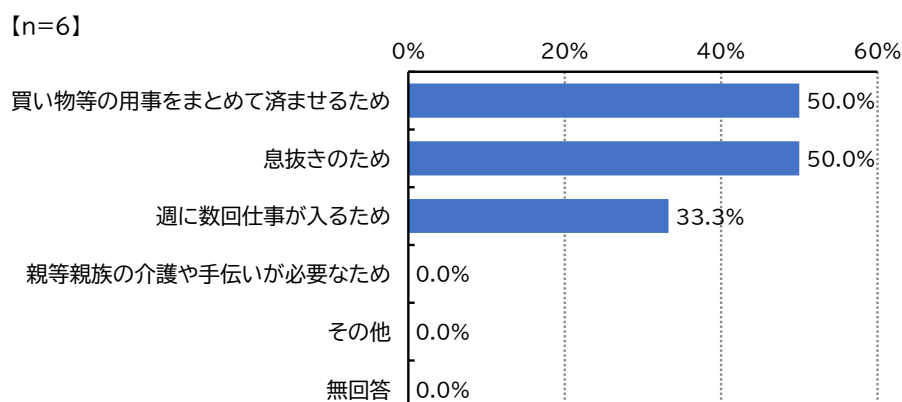
なお、20.9%は「利用する必要はない」と回答しています。

長期の休暇期間中に利用したいと回答した29人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が41.4%と最も多くなっており、終了時間は「16時まで」が27.6%と最も多くなっています。

(5) 長期休暇中の教育・保育事業をたまに利用したい理由

問 20-1 【問 20 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ】

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



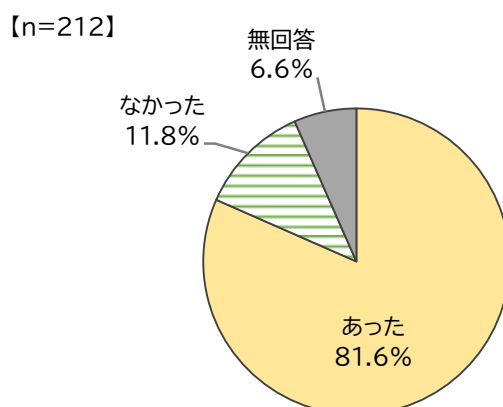
長期休暇中に、毎日ではなく「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した6人に、その理由を尋ねると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「息抜きのため」がともに50.0%、「週に数回仕事が入るため」(33.3%)となっています。

8 お子さんの病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方のみ】

(1) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験

問 21 【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

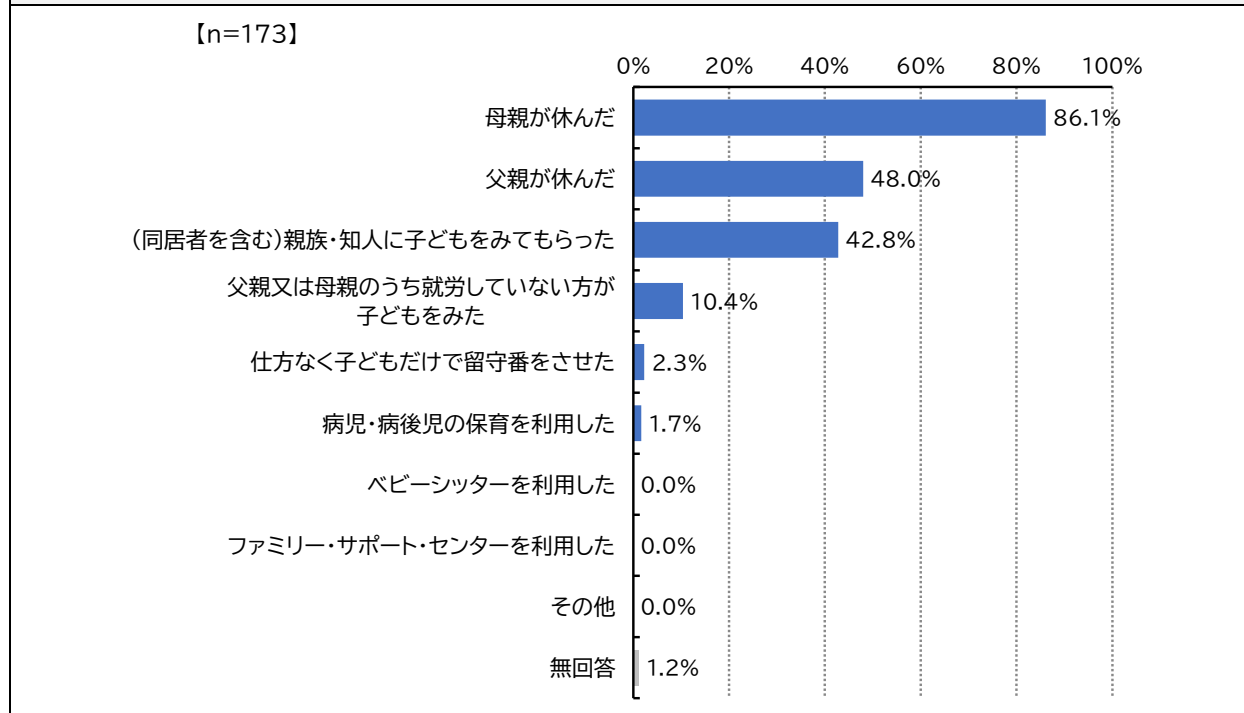


平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した212人に、子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがあったか尋ねると、「あった」が81.6%、「なかった」が11.8%となっています。

(2) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

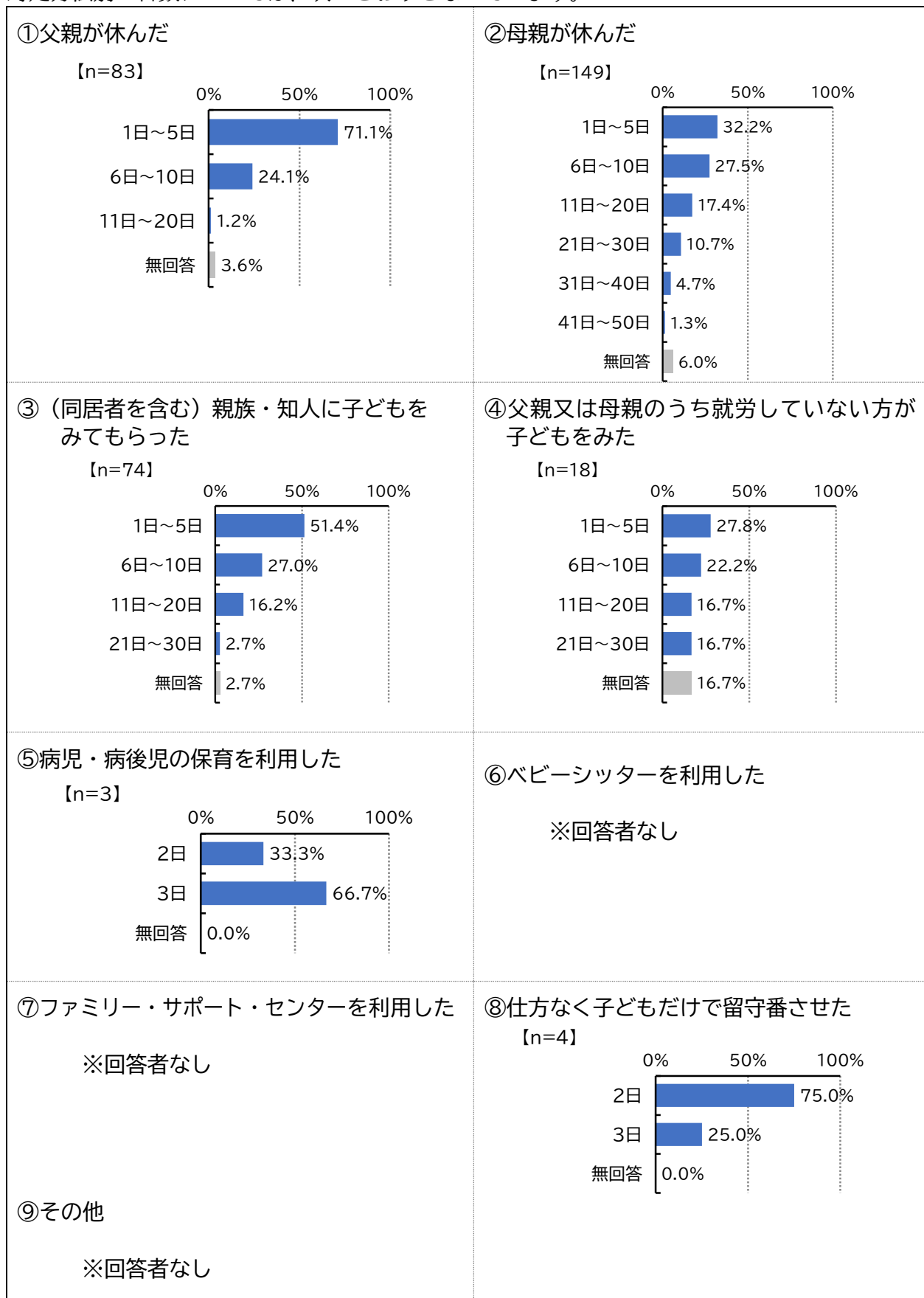
問 21-1 【問 21 で「1. あった」に○をつけた方のみ】

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、□内にそれぞれの日数を記入、半日程度の対応の場合も1日とカウントする)



子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と回答した173人に、1年間における対処方法を尋ねると、「母親が休んだ」が86.1%と最も多く、次いで「父親が休んだ」(48.0%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(42.8%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(10.4%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(2.3%)と続いています。

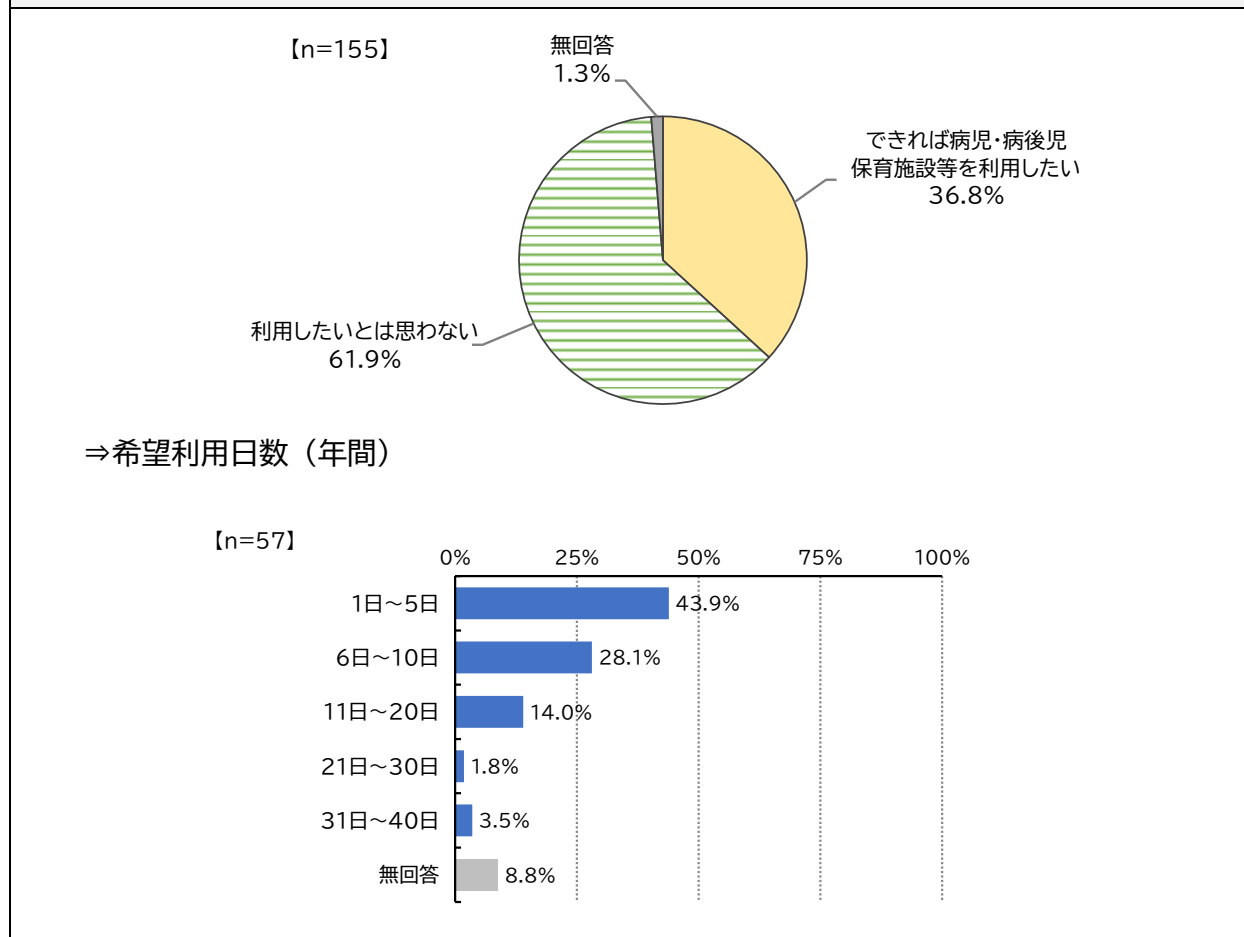
対処方法別の日数については、次のとおりとなっています。



(3) 病児・病後児保育を利用したいと思ったか

問 21-2 【問 21-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ】

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つに○、利用したい場合は□内に日数を記入）



子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んだと回答した 155 人に、その際に「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか尋ねると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 36.8%、「利用したいとは思わない」が 61.9%となっています。

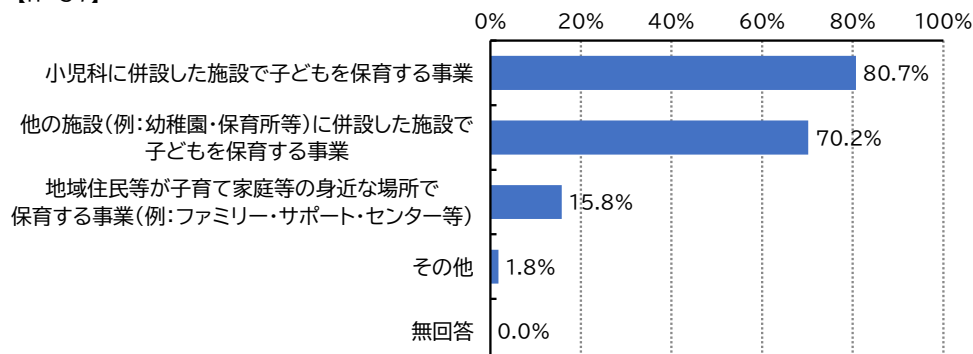
また、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した 57 人に、年間の希望利用日数を尋ねると、1 年あたり「1 日～5 日」が 43.9%と最も多く、次いで「6 日～10 日」(28.1%)、「11 日～20 日」(14.0%)となっています。

(4) 病児・病後児保育で望ましいと思われる事業形態

問 21-3 【問 21-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ】

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

【n=57】



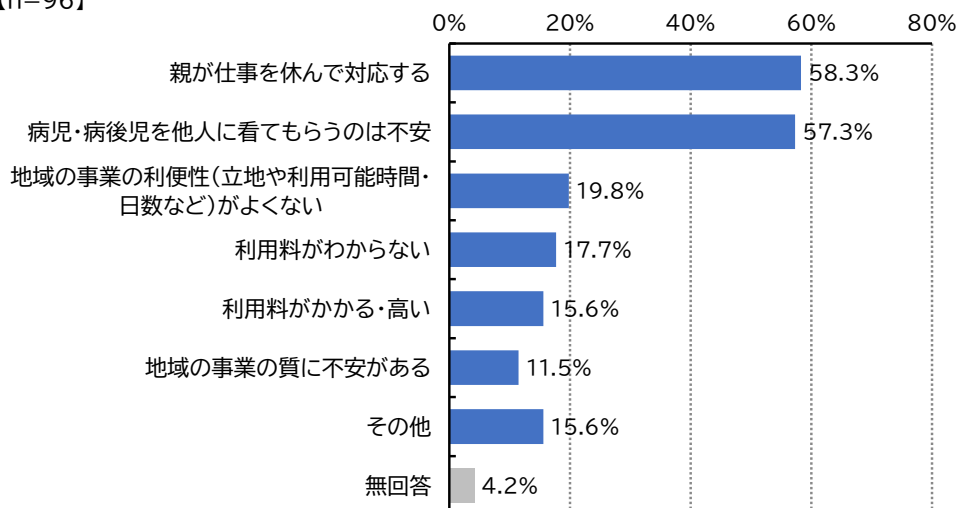
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した 57 人に、病児・病後児保育施設の望ましい事業形態について尋ねると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 80.7%と最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」(70.2%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」(15.8%)と続いています。

(5) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

問 21-4 【問 21-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ】

そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【n=96】

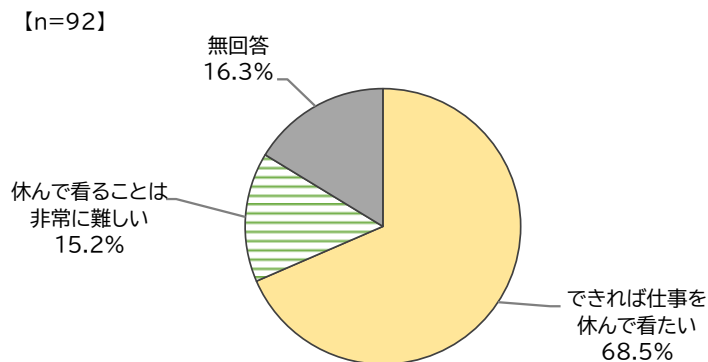


病児・病後児保育施設等を「利用したいとは思わない」と回答した 96 人に、その理由を尋ねると、「親が仕事を休んで対応する」が 58.3%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(57.3%)、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」(19.8%)、「利用料がわからない」(17.7%)、「利用料がかかる・高い」(15.6%)と続いています。

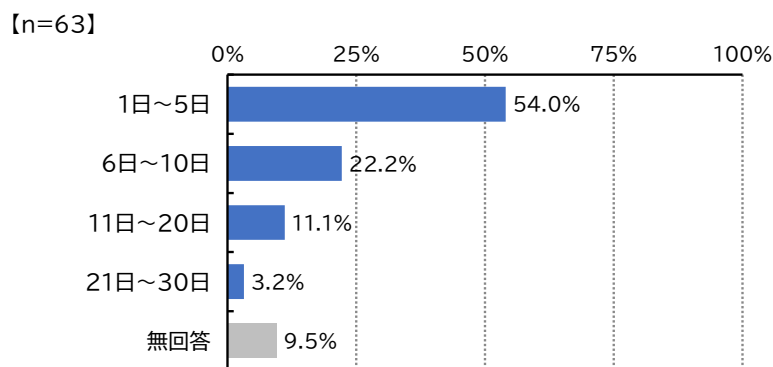
(6) 仕事を休んで病気やケガの子どもを看たいと思ったか

問 21-5 【問 21-1 で「3.」～「9.」に○をつけた方のみ】

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(1つに○、「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□内に記入)



⇒仕事を休んで看たい日数 (年間)



子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休むことはなかったと回答した 92 人に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか尋ねると、「できれば仕事を休んで看たい」が 68.5%、「休んで看することは非常に難しい」が 15.2%となっています。

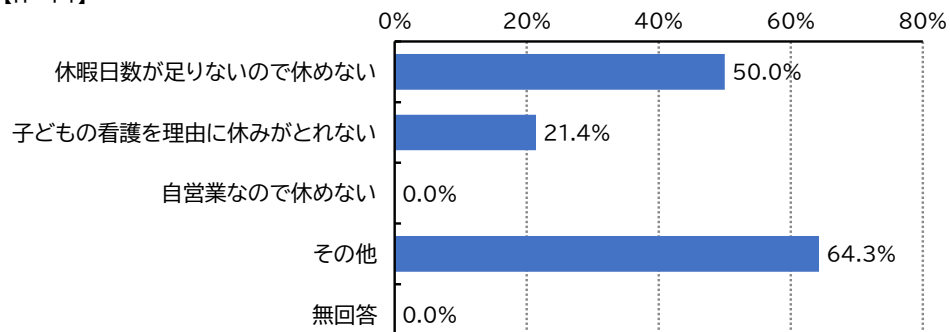
また、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した 63 人に、年間で仕事を休んで看たい日数を尋ねると、1 年あたり「1 日～5 日」が 54.0%と最も多く、次いで「6 日～10 日」(22.2%)、「11 日～20 日」(11.1%)、「21 日～30 日」(3.2%)となっています。

(7) 仕事を休んで病気やケガの子どもを看ることが難しい理由

問 21-6 【問 21-5 で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方のみ】

そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【n=14】



子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んで看することは非常に難しいと回答した 14 人に、その理由を尋ねると、「休暇日数が足りないので休めない」が 50.0%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(21.4%)となっています。

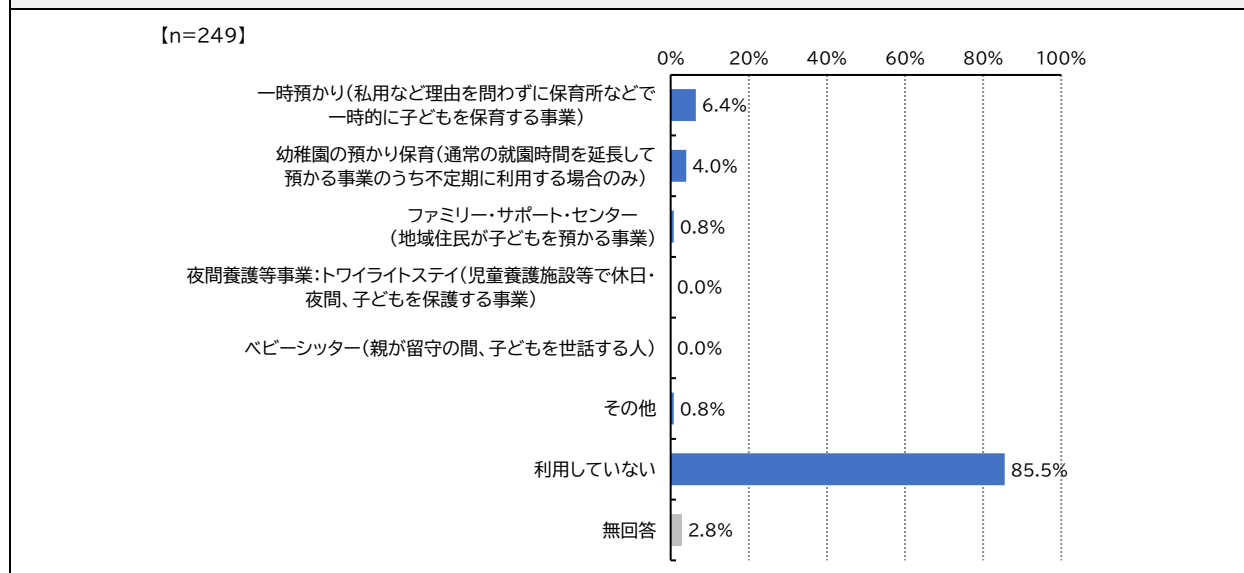
また、64.3%が「その他」と回答しており、その内容としては「仕事が忙しい」、「職場に迷惑がかかる」という回答がみられました。

9 不定期の教育・保育事業や一時預かりの利用について

(1) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用状況

問 22 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

(あてはまるものすべてに○、□内に1年間のおおよその利用日数を記入)



私用や親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)」が6.4%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)」が4.0%となっています。

また、85.5%は「利用していない」と回答しています。

●事業ごとの1年間の利用日数については、次のとおりとなっています。

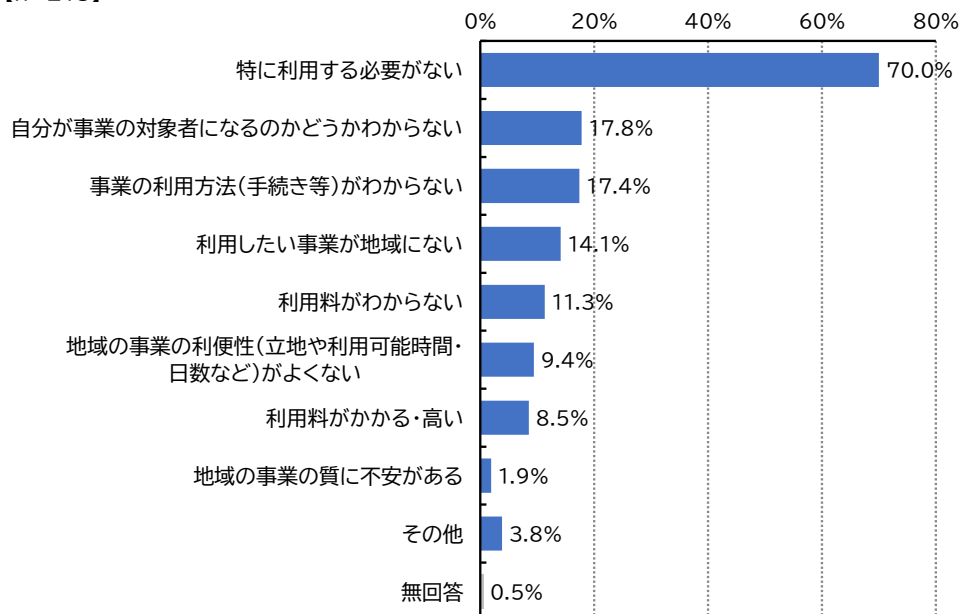
① 一時預かり 【n=16】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用日数</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日～5日</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>6日～10日</td> <td>6.3%</td> </tr> <tr> <td>11日～20日</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>21日～30日</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>51日～100日</td> <td>6.3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	利用日数	割合 (%)	1日～5日	43.8%	6日～10日	6.3%	11日～20日	25.0%	21日～30日	18.8%	51日～100日	6.3%	無回答	0.0%	② 幼稚園の預かり保育 【n=10】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用日数</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日～5日</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>6日～10日</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>11日～20日</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>41日～50日</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>51日～100日</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>	利用日数	割合 (%)	1日～5日	30.0%	6日～10日	10.0%	11日～20日	10.0%	41日～50日	10.0%	51日～100日	10.0%	無回答	30.0%
利用日数	割合 (%)																												
1日～5日	43.8%																												
6日～10日	6.3%																												
11日～20日	25.0%																												
21日～30日	18.8%																												
51日～100日	6.3%																												
無回答	0.0%																												
利用日数	割合 (%)																												
1日～5日	30.0%																												
6日～10日	10.0%																												
11日～20日	10.0%																												
41日～50日	10.0%																												
51日～100日	10.0%																												
無回答	30.0%																												
③ ファミリー・サポート・センター 回答者2人、 「1日」(2人、100.0%)	④ 夜間養護等事業 ⑤ ベビーシッター ※回答者なし																												
⑥ その他 回答者2人、 「5日」(2人、100.0%)																													

(2) 不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由

問 22-1 【問 22 で「7. 利用していない」に○をつけた方のみ】

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【n=213】

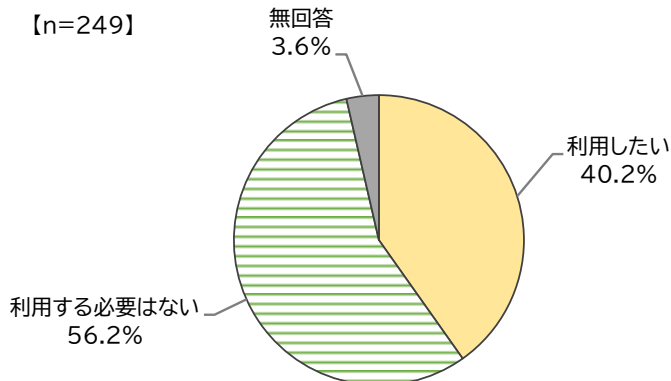


不定期の教育・保育の事業を利用していないと回答した 213 人に、その理由を尋ねると、「特に利用する必要がない」が 70.0%と最も多く、次いで「自分が事業の対象者になるのかわからない」(17.8%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(17.4%)、「利用したい事業が地域にない」(14.1%)、「利用料がわからない」(11.3%)と続いています。

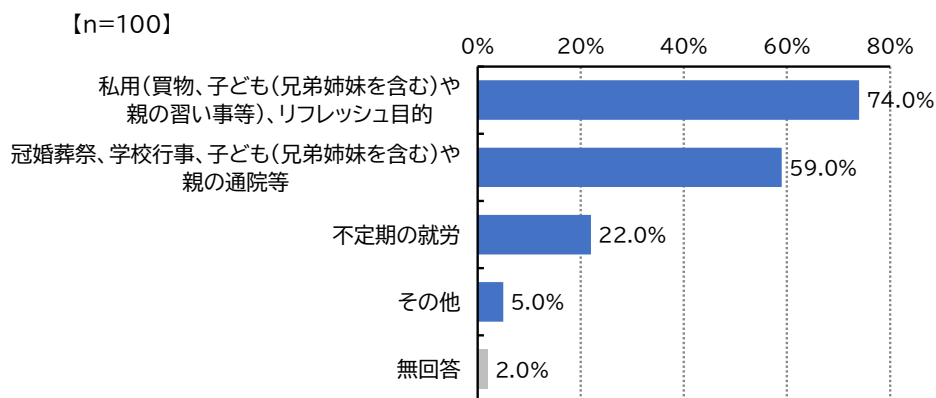
(3) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望

問 23 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。(あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は□内に日数の合計と目的別の内訳の日数を記入)

■利用希望



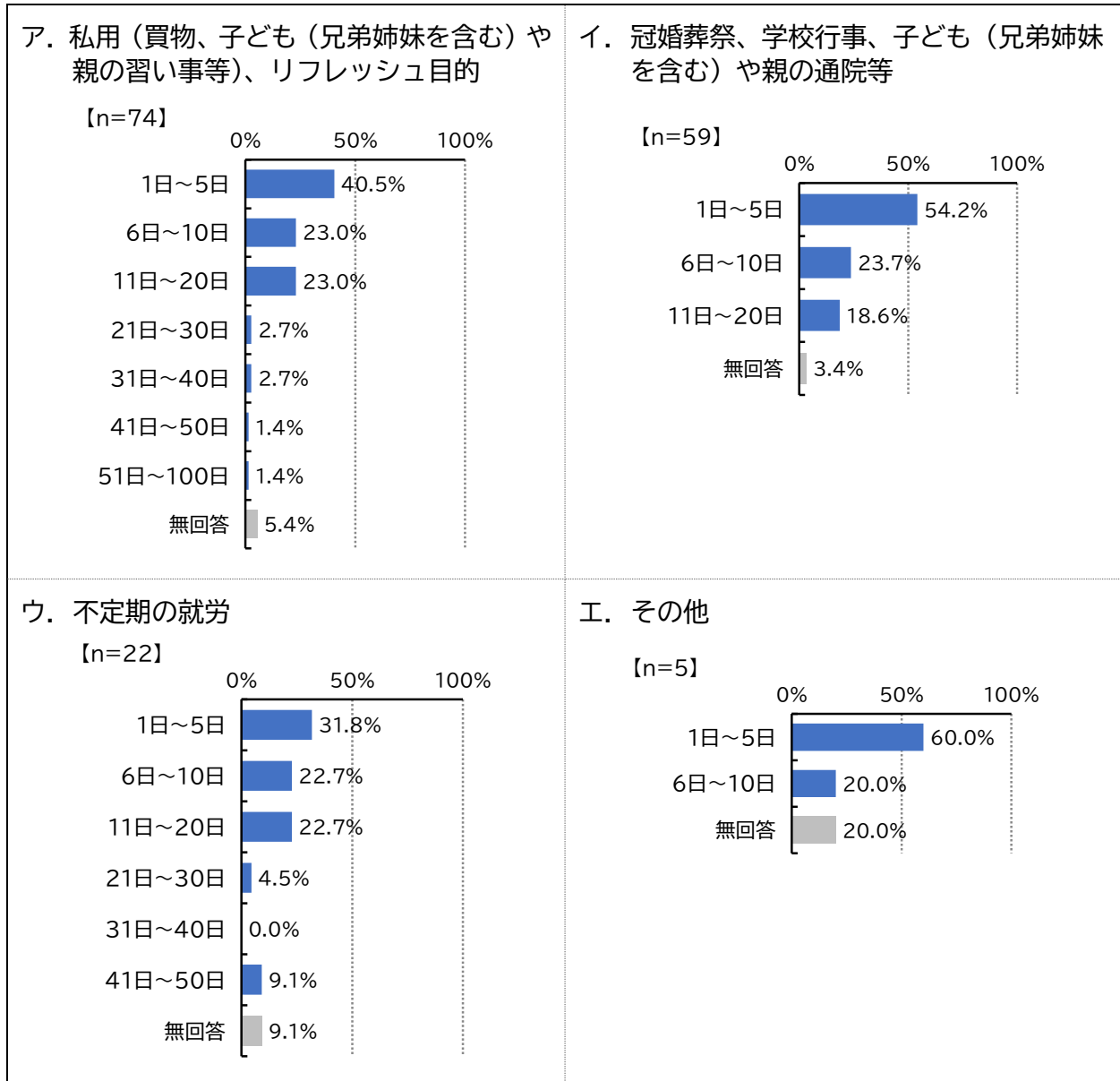
■不定期の教育・保育事業を利用したい目的



私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思うかは、「利用したい」が40.2%、「利用する必要はない」が56.2%となっています。

また、不定期の教育・保育事業の利用目的は、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が74.0%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(59.0%)、「不定期の就労」(22.0%)となっています。

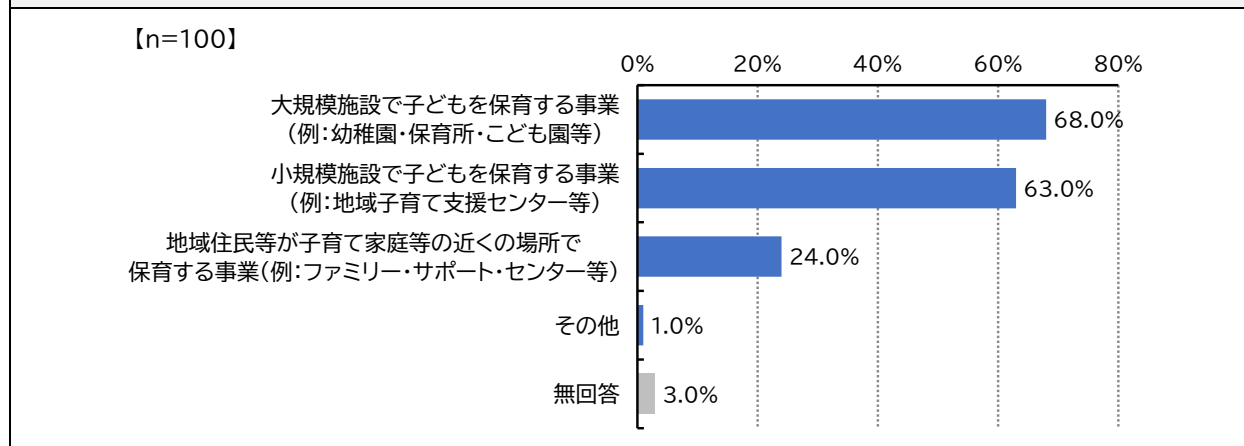
●目的別の年間希望利用日数については、次のとおりとなっています。



(4) 不定期の教育・保育事業の望ましいと思われる事業形態

問 23-1 【問 23 で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ】

問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



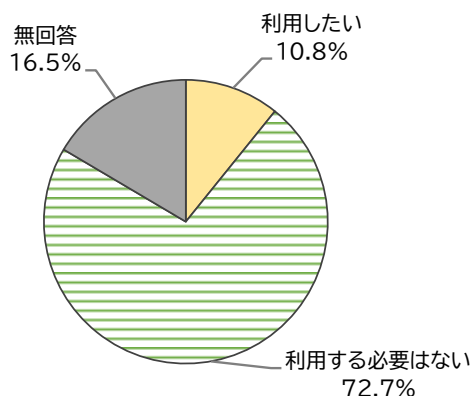
不定期の教育・保育事業を「利用したい」と回答した 100 人に、望ましい事業形態を尋ねると、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所・こども園等）」が 68.0%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援センター等）」（63.0%）、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」（24.0%）と続いています。

(5) 短期入所生活援助事業の利用希望

問 24 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業の利用希望をお答えください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
（あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は□内に泊数の合計と目的別の内訳の泊数を記入）

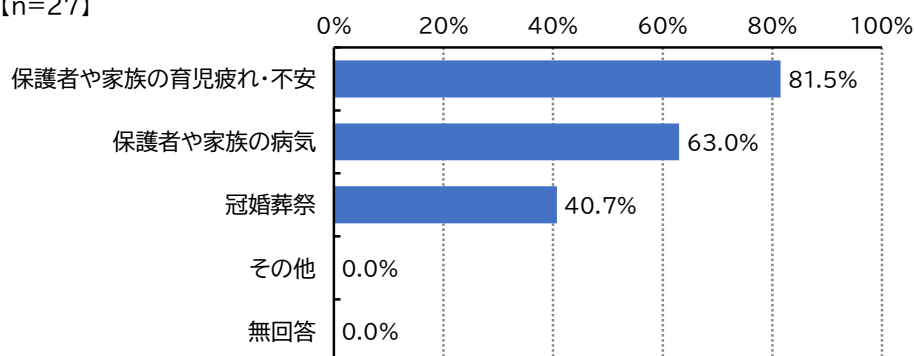
■利用希望

【n=249】



■短期入所生活援助事業を利用したい目的

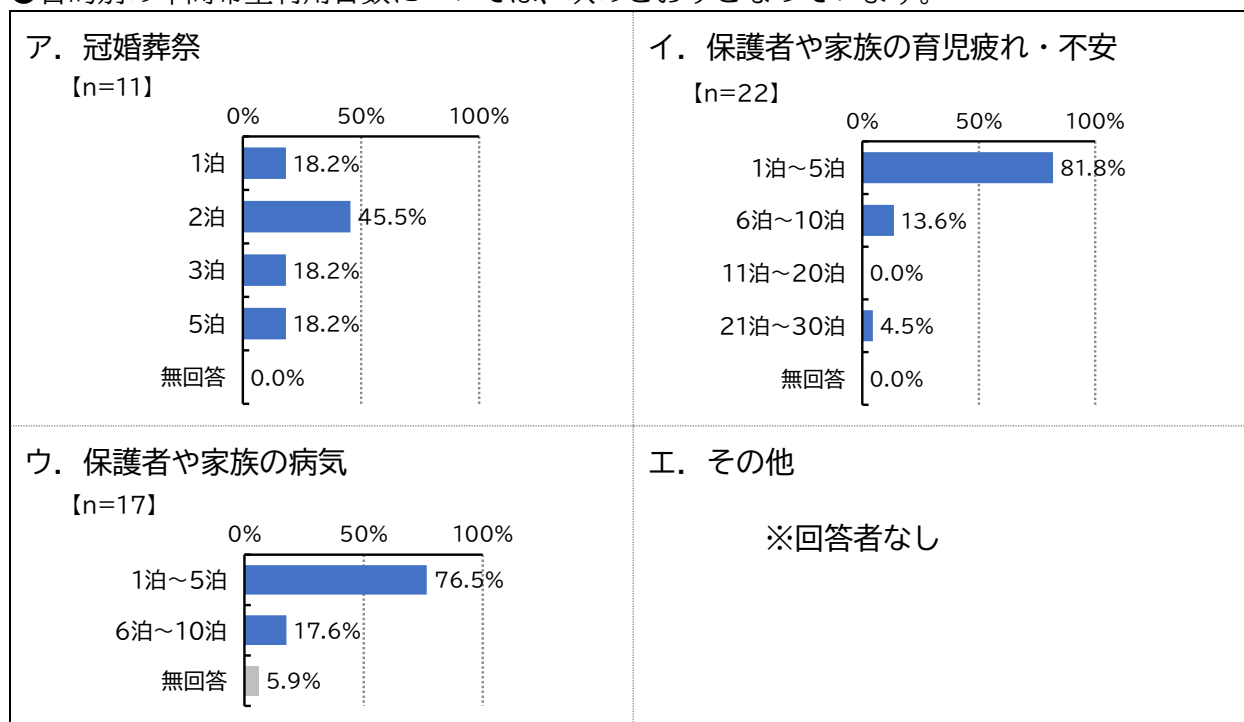
【n=27】



短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用したい」が 10.8%、「利用する必要はない」が 72.7%となっています。

また、短期入所生活援助事業を「利用したい」と回答した 27 人に、利用目的を尋ねると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 81.5%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」(63.0%)、「冠婚葬祭」(40.7%)となっています。

●目的別の年間希望利用日数については、次のとおりとなっています。

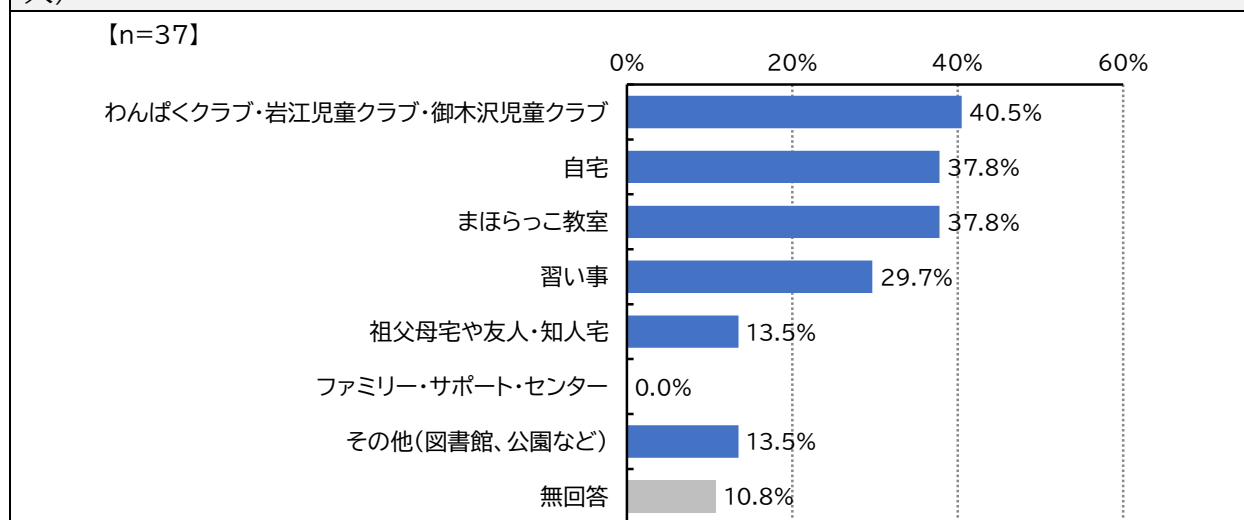


10 小学校就学後の放課後の過ごし方について【5歳以上のみ】

(1) 低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所

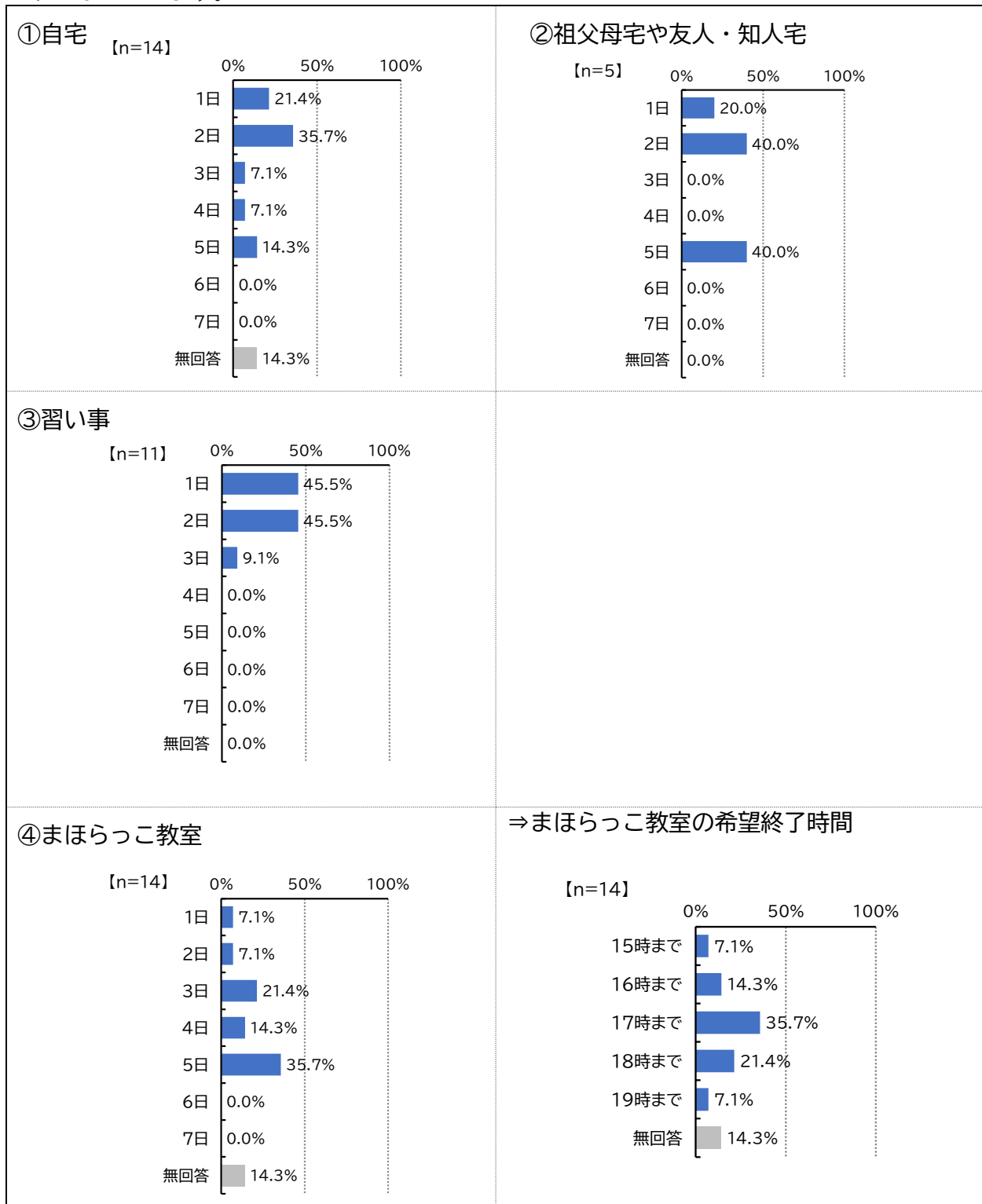
問 25 【宛名のお子さんが5歳以上である方のみ】

お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、□内に希望する週あたりの日数を記入、「4. まほらっこ教室」、「5. わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」の場合には利用を希望する時間帯[例]18時のように24時間制で記入）



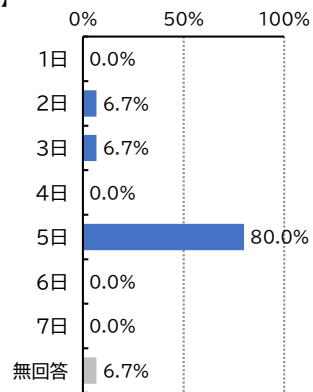
5歳以上の子どもの保護者 37 人に、小学校低学年（1～3年生）のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいか尋ねると、「わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」が 40.5%と最も多く、次いで「自宅」、「まほらっこ教室」（ともに 37.8%）、「習い事」（29.7%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（13.5%）と続いています。

●低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所ごとの1週あたりの日数については、次のとおりとなっています。



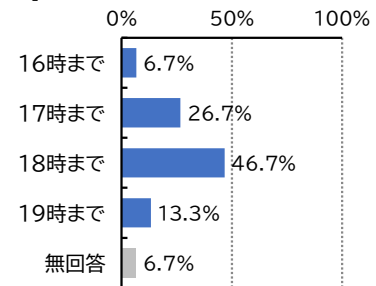
⑤わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ

【n=15】



⇒わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブの希望終了時間

【n=15】

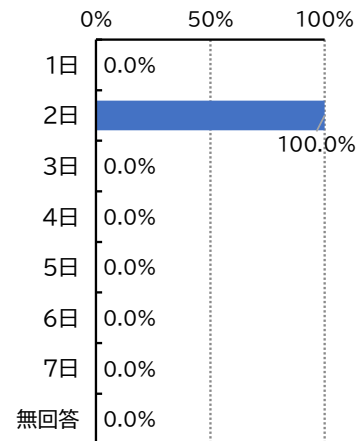


⑥ファミリー・サポート・センター

※回答者なし

⑦その他（図書館、公園など）

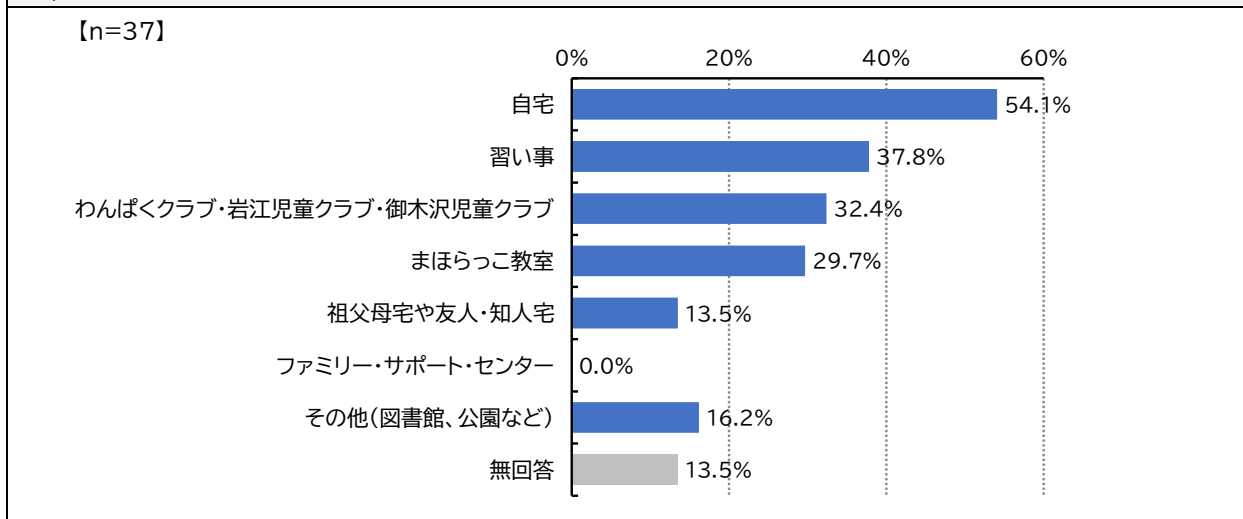
【n=5】



(2) 高学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所

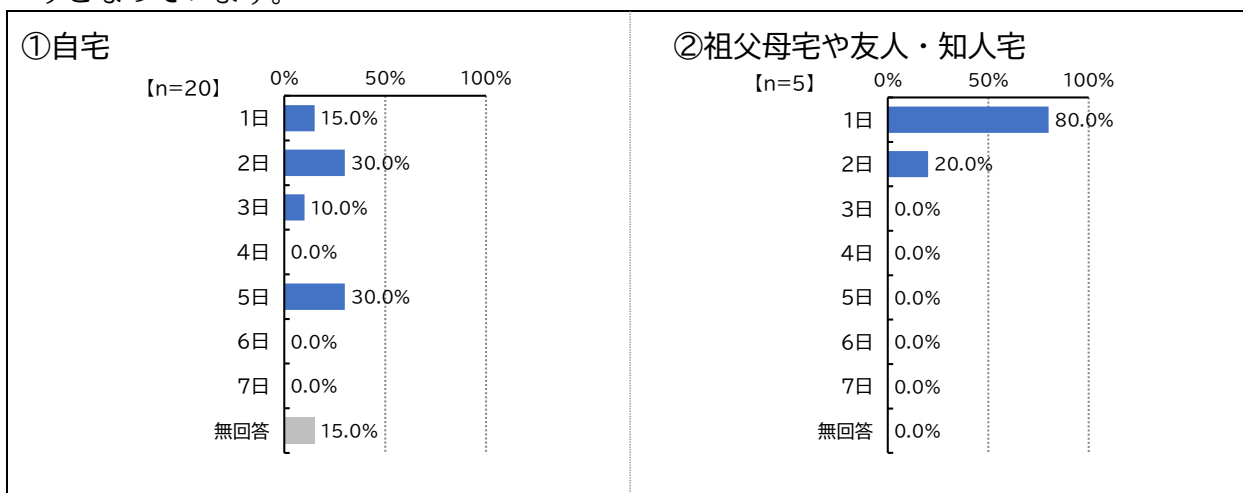
問 26 【お子さんが5歳以上である方のみ】

お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、□内に希望する週あたりの日数を記入、「4. まほらっこ教室」、「5. わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」の場合には利用を希望する時間帯[例]18時のように24時間制で記入）

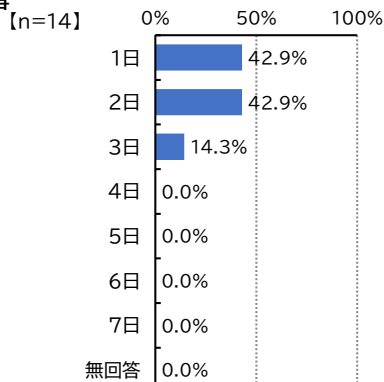


5歳以上の子どもの保護者 37 人に、小学校高学年（4～6年生）のうちは放課後の時間をどこで過ごさせたいか尋ねると、「自宅」が 54.1%と最も多く、次いで「習い事」（37.8%）、「わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」（32.4%）、「まほらっこ教室」（29.7%）、「その他（図書館、公園など）」（16.2%）と続いています。

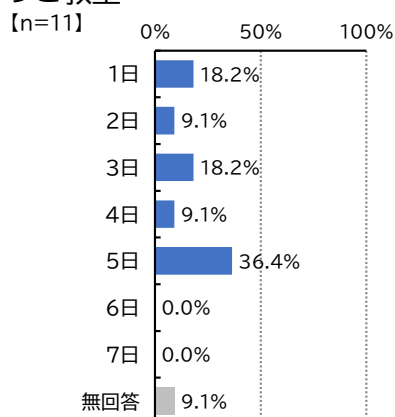
●高学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所ごとの1週あたりの日数については、次のとおりとなっています。



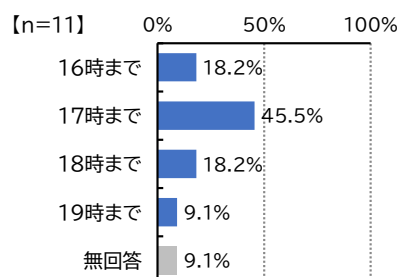
③習い事



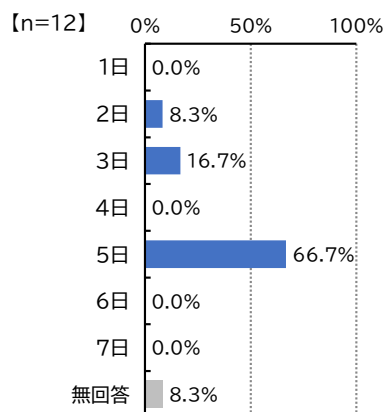
④まほらっこ教室



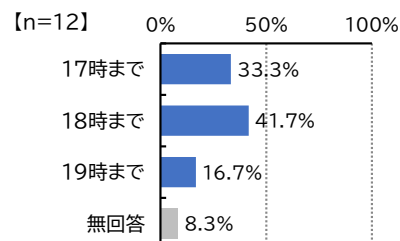
⇒まほらっこ教室の希望終了時間



⑤わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ



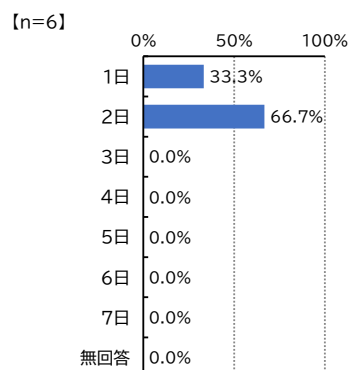
⇒わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブの希望終了時間



⑥ファミリー・サポート・センター

※回答者なし

⑦その他（図書館、公園など）



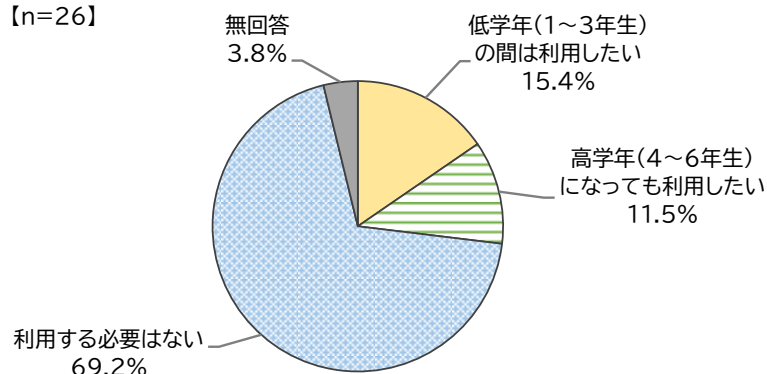
(3) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

問 27 【問 25 または問 26 で「4. まほらっこ教室」、「5. わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」に○をつけた方のみ】

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、利用したい場合は□内に時間帯を[例]18時のように24時間制で記入)

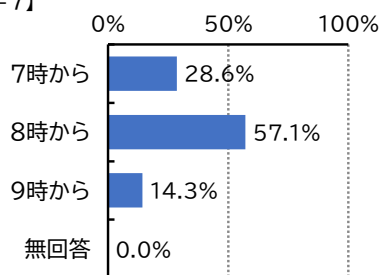
■土曜日

【n=26】



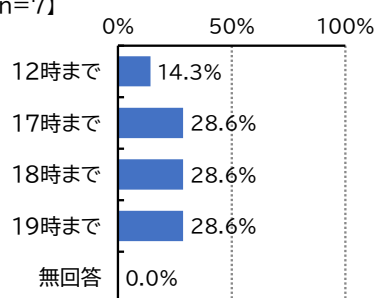
・利用したい開始時間

【n=7】



・利用したい終了時間

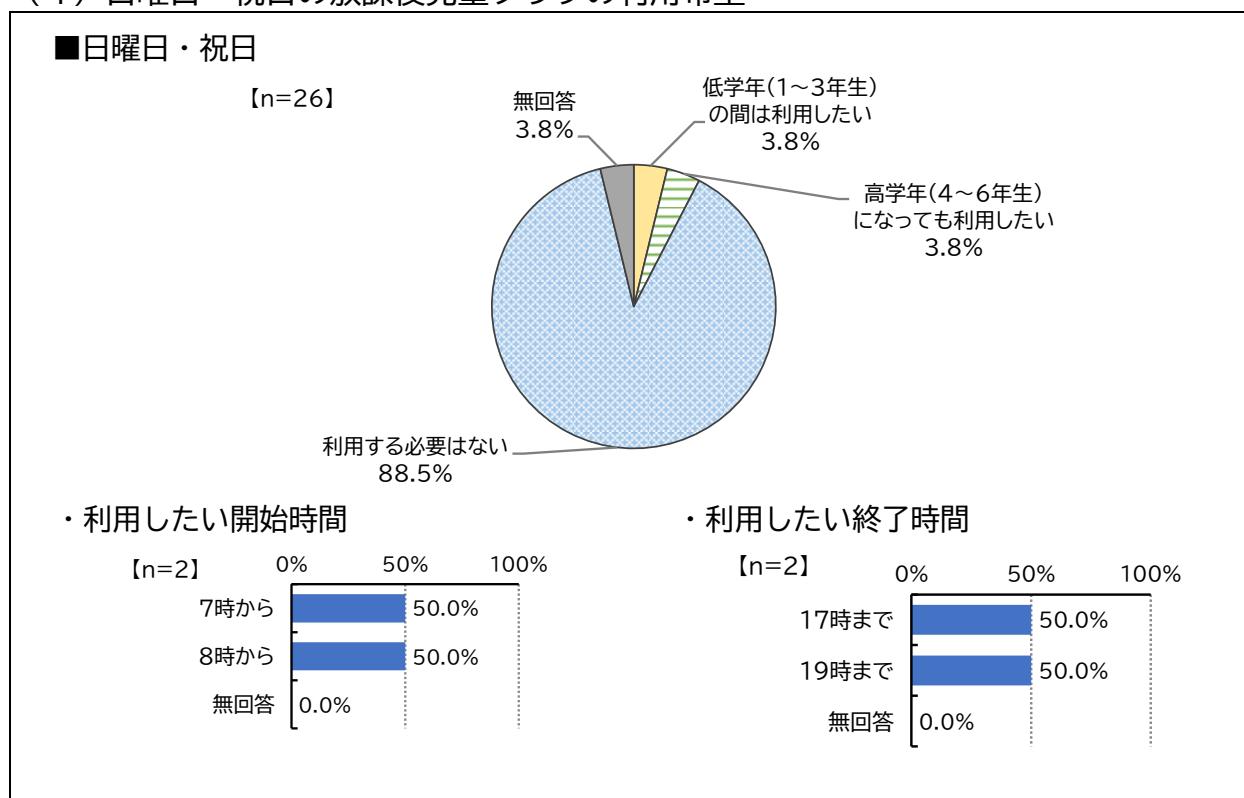
【n=7】



小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用させたいと回答した26人に、土曜日の利用希望を尋ねると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が15.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が11.5%と、全体の26.9%に土曜日の利用希望がみられます。なお、69.2%は「利用する必要はない」と回答しています。

また、土曜日に放課後児童クラブ(学童保育)を利用したいと回答した7人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が57.1%と最も多く、終了時間は「17時まで」、「18時まで」、「19時まで」がいずれも28.6%と最も多くなっています。

(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用させたいと回答した26人に、日曜日・祝日の利用希望を尋ねると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がともに3.8%と、全体の7.6%に、日曜日・祝日の利用希望がみられます。なお、88.5%は「利用する必要がある」と回答しています。

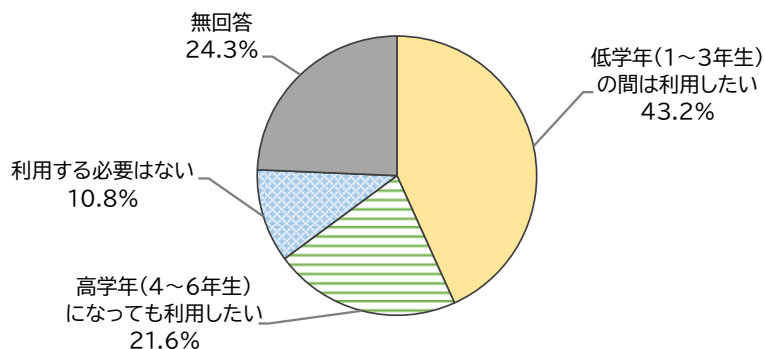
また、日曜日・祝日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した2人の希望の利用時間帯は、開始時間が「7時から」と「8時から」と回答し、終了時間は「17時まで」と「19時まで」と回答しています。

(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 28 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○、利用したい場合は□内に時間帯を[例]18時のように24時間制で記入)

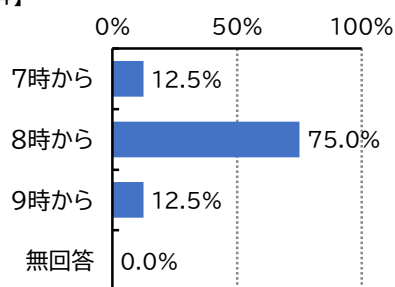
・利用希望

【n=37】



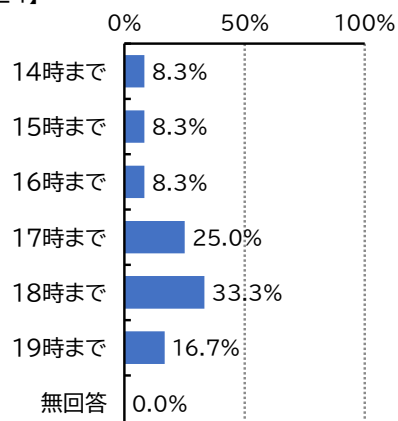
・利用したい開始時間

【n=24】



・利用したい終了時間

【n=24】



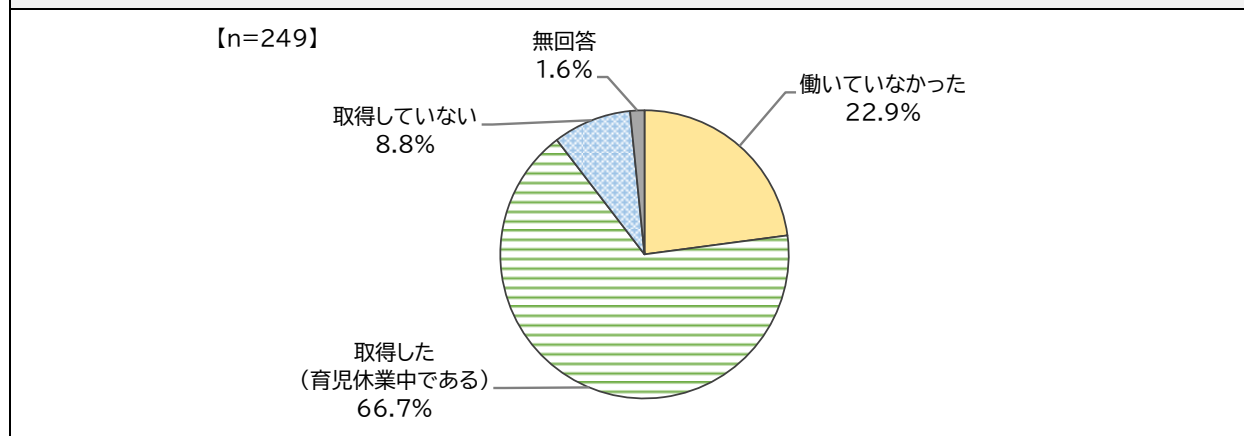
5歳以上の子どもの保護者 37 人に、長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望を尋ねると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が43.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が21.6%と、全体の64.8%に長期休暇期間中の利用希望がみられます。なお、10.8%は「利用する必要はない」と回答しています。

また、長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した24人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が75.0%で最も多く、希終了時間は「18時まで」が33.3%で最も多くなっています。

11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 母親の育児休業取得状況

問 29 お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(それぞれ1つに○)



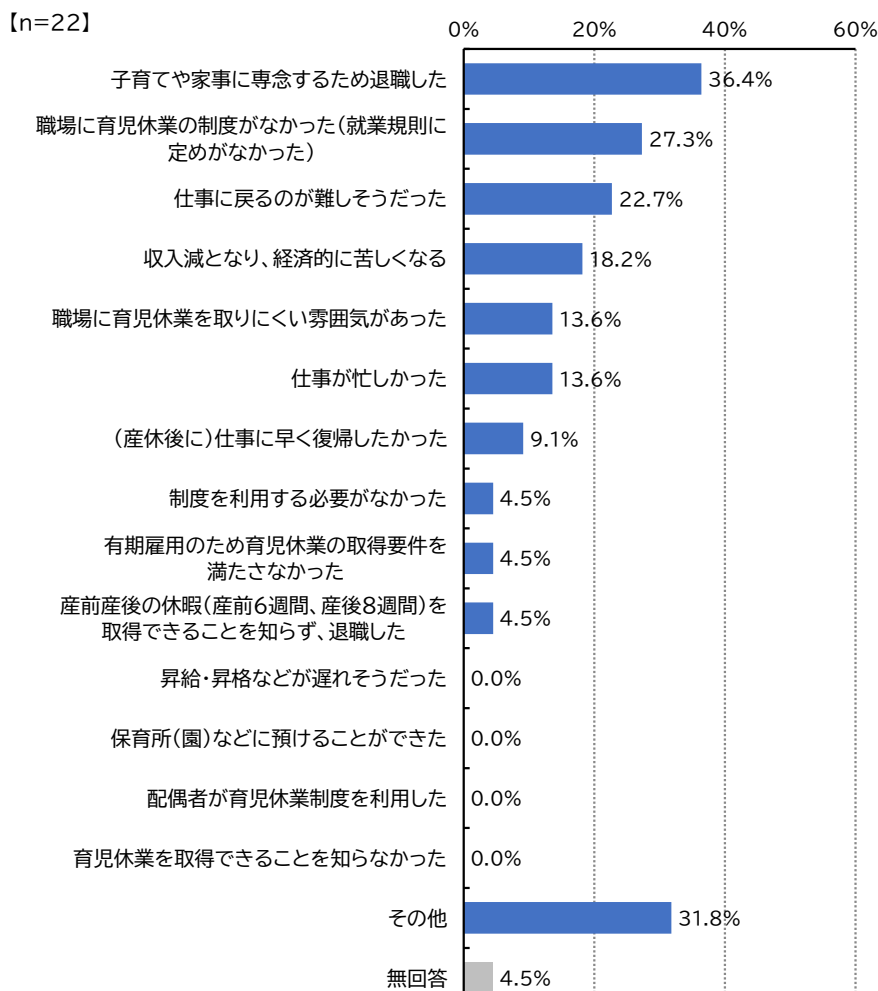
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中である）」が66.7%、「取得していない」が8.8%となっています。

なお、22.9%は「働いていなかった」と回答しています。

(2) 母親が育児休業を取得していない理由

問 29－1 【問 29 で「3. 取得していない」に○をつけた方のみ】

取得していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



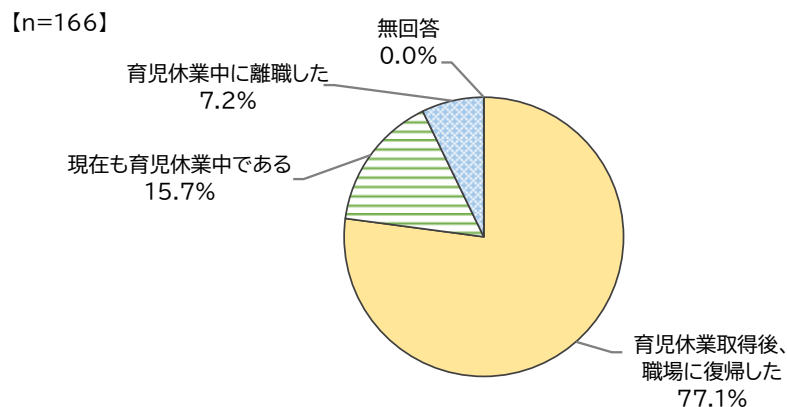
育児休業を取得していない母親 22 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 36.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」(27.3%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(22.7%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(18.2%)と続いています。

また、31.8%が「その他」と回答しており、その内容としては「自営業の為」、「出産時に退職した」などがみられました。

(3) 母親の育児休業後の職場復帰

問 29-2 【問 29 で「2. 取得した（育児休業中である）」に○をつけた方のみ】

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1 つに○)



育児休業を取得した母親 166 人に、育児休業取得後、職場に復帰したかを尋ねると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 77.1%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」(15.7%)、「育児休業中に離職した」(7.2%)となっています。

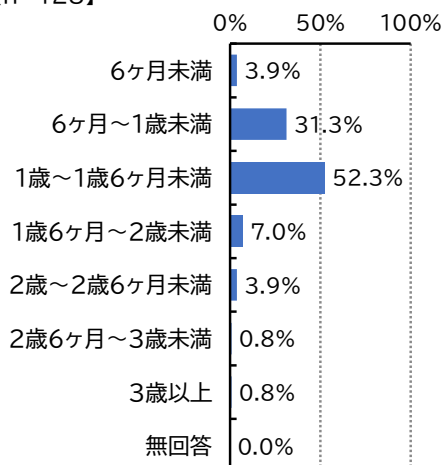
(4) 母親の職場復帰時期

問 29-3 【問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(□内に実際と希望の復帰時期を記入)

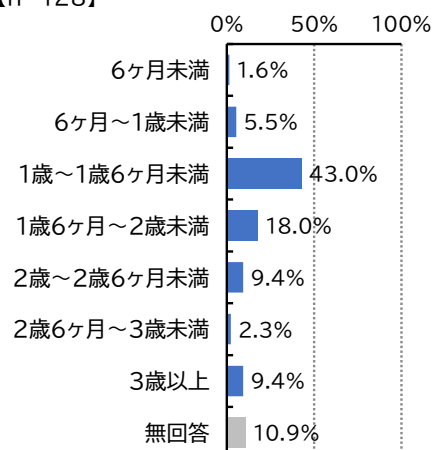
・ 実際に復帰した時期

【n=128】



・ 希望の復帰時期

【n=128】

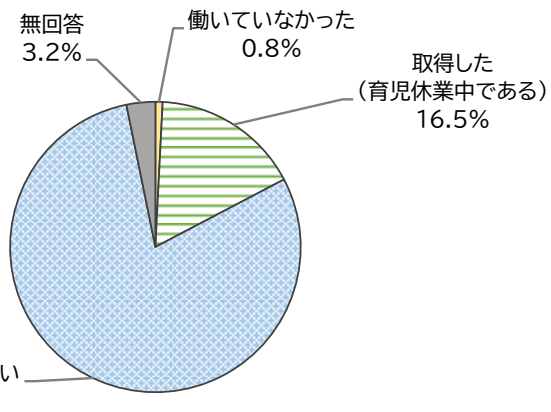


育児休業後に職場復帰した母親 128 人に、実際に復帰した時期と、希望の復帰時期を尋ねると、実際に復帰した時期は、「1 歳～1 歳 6 ヶ月未満」が 52.3%と最も多く、希望の復帰時期も「1 歳～1 歳 6 ヶ月未満」が 43.0%と最も多くなっています。

(5) 父親の育児休業取得状況

問 30 お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。(それぞれ1つに○)

【n=249】



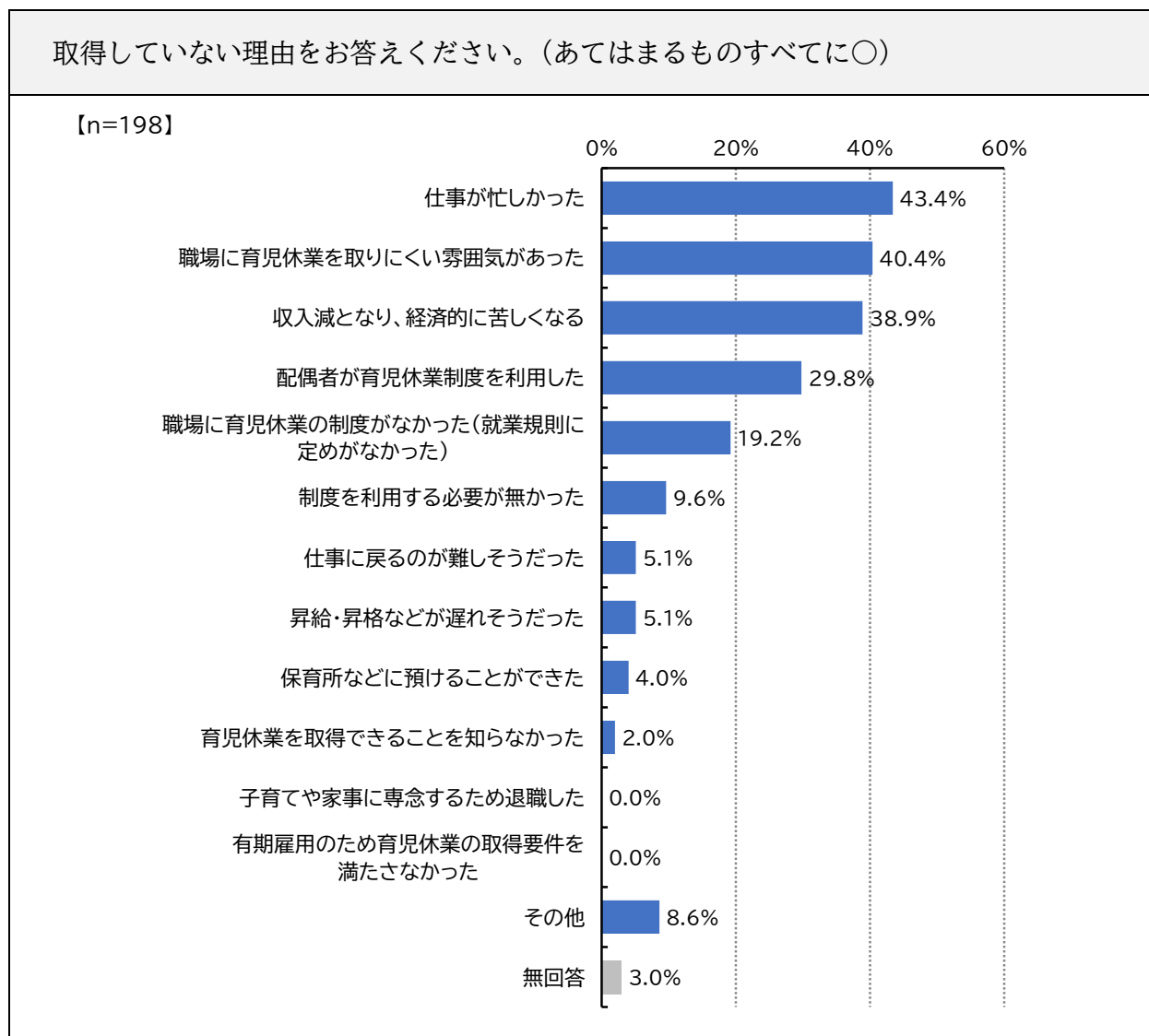
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中である）」が 16.5%、「取得していない」が 79.5%となっています。

なお、0.8%は「働いていなかった」と回答しています。

(6) 父親が育児休業を取得していない理由

問 30-1 【問 30 で「3. 取得していない」に○をつけた方のみ】

取得していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

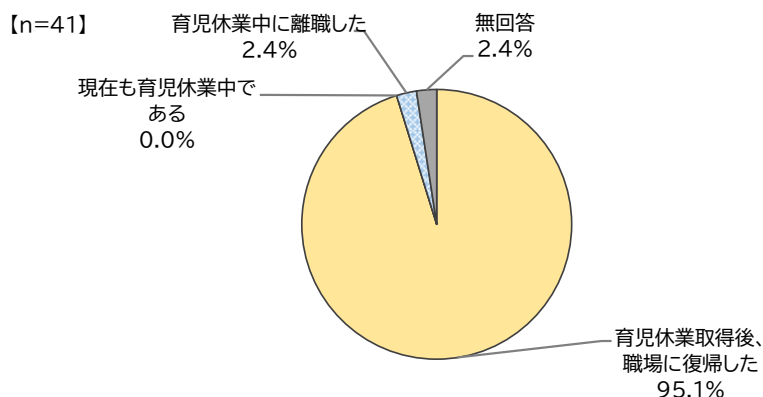


育児休業を取得していない父親 198 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「仕事が忙しかった」が 43.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(40.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(38.9%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(29.8%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(19.2%)と続いています。

(7) 父親の育児休業後の職場復帰

問 30-2 【問 30 で「2. 取得した（育児休業中である）」に○をつけた方のみ】

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1 つに○)



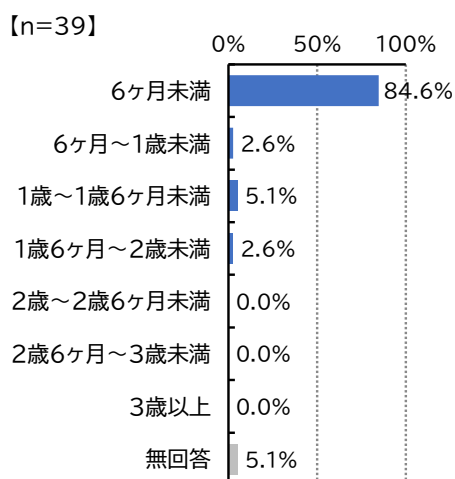
育児休業を取得した父親 41 人に、育児休業取得後、職場に復帰したかを尋ねると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 95.1%、「育児休業中に離職した」が 2.4%となっています。

(8) 父親の職場復帰時期

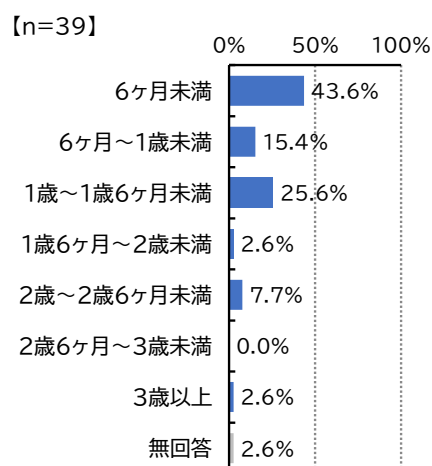
問 30-3 【問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(□内に実際と希望の復帰時期を記入)

・実際に復帰した時期



・希望の復帰時期



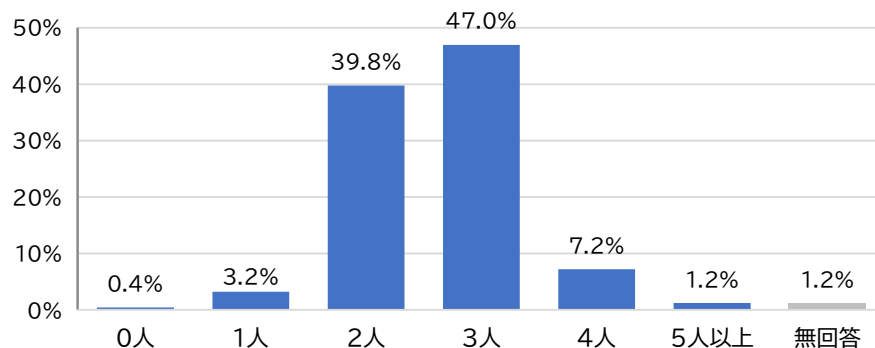
育児休業後に職場復帰した父親 39 人に、実際に復帰した時期と、希望の復帰時期を尋ねると、実際に復帰した時期は、「6ヶ月未満」が 84.6%と最も多く、希望の復帰時期も「6ヶ月未満」が 43.6%と最も多くなっています。

12 子育て環境などについて

(1) 理想の子どもの人数

問 31 理想的な子どもの人数を教えてください。(1つに○)

【n=249】

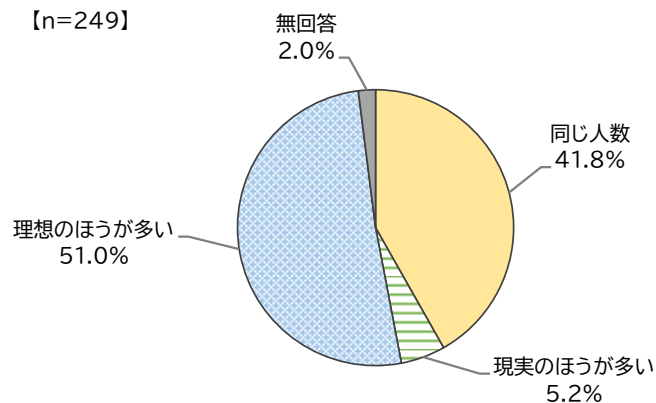


理想の子どもの人数は、「3人」が47.0%と最も多く、次いで「2人」(39.8%)、「4人」(7.2%)、「1人」(3.2%)、「5人以上」(1.2%)と続いています。

(2) 理想と現実の子どもの人数

問 32 子どもの人数について、理想と現実には差がありますか。(1つに○)

【n=249】

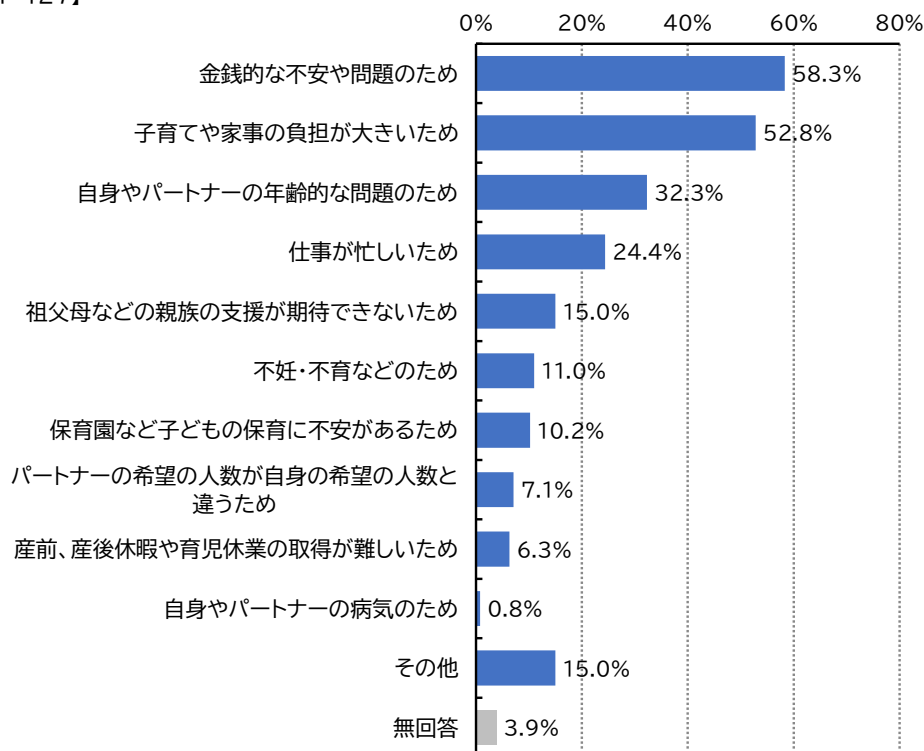


子どもの人数について、理想と現実には差があるかは、「理想のほうが多い」が51.0%と最も多く、次いで「同じ人数」(41.8%)、「現実のほうが多い」(5.2%)、となっています。

問 32－1 【問 32 で「3. 理想のほうが多い」に○をつけた方のみ】

理想のほうが多いと回答した理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

【n=127】



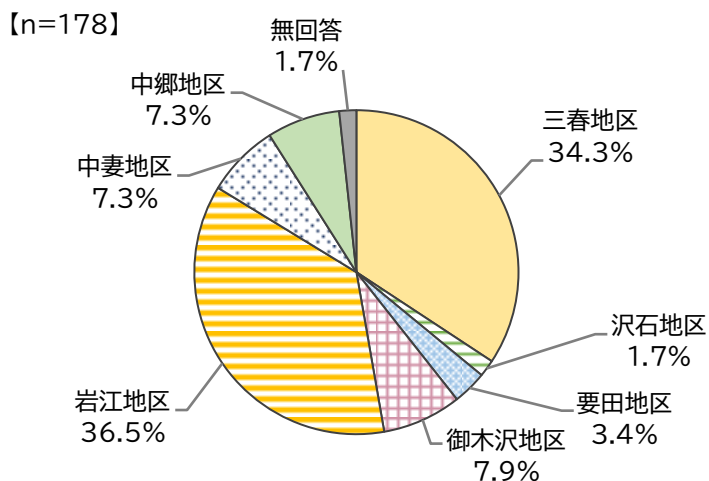
理想の現実の子どもの人数で、理想の方が多くと回答した 127 人にその理由を尋ねると、「金銭的な不安や問題のため」が 58.3%と最も多く、次いで「子育てや家事の負担が大きい」(52.8%)、「自身やパートナーの年齢的な問題のため」(32.3%)、「仕事が忙しいため」(24.4%)、「祖父母などの親族の支援が期待できないため」(15.0%)などと続いています。

小学生 調査結果

1 お住いの地域について

(1) 居住地域

問1 問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。（1つに○）

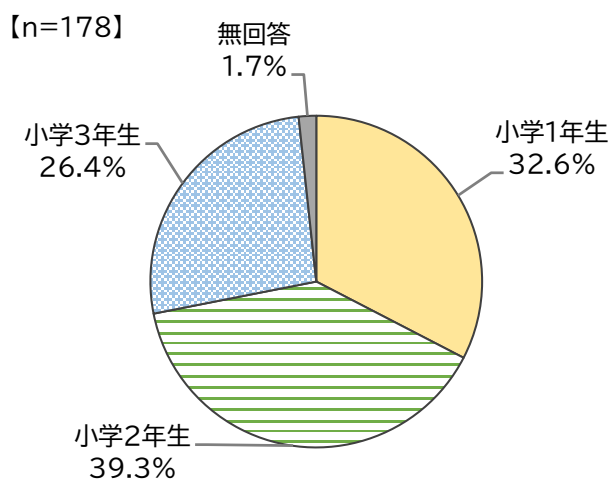


回答者の居住地域は、「岩江地区」が36.5%と最も多く、次いで「三春地区」（34.3%）、「御木沢地区」（7.9%）、「中妻地区」、「中郷地区」（ともに7.3%）、「要田地区」（3.4%）、「沢石地区」（1.7%）と続いています。。

2 お子さんご家族の状況について

(1) 年齢・学年

問2 お子さんの現在の学年をお答えください。



お子さんの学年は、「小学2年生」が39.3%と最も多く、次いで「小学1年生」（32.6%）、「小学3年生」（26.4%）となっています。

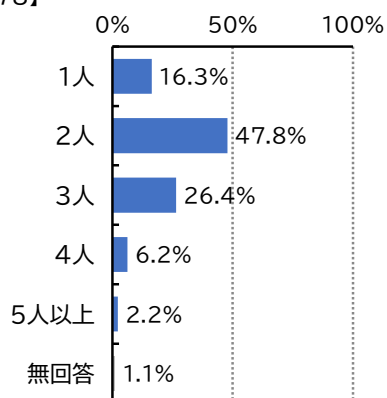
(2) きょうだいの人数

問3 問2のお子さんを含め、きょうだいは何人いますか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。(□内に数字を記入)

【就学前児童】

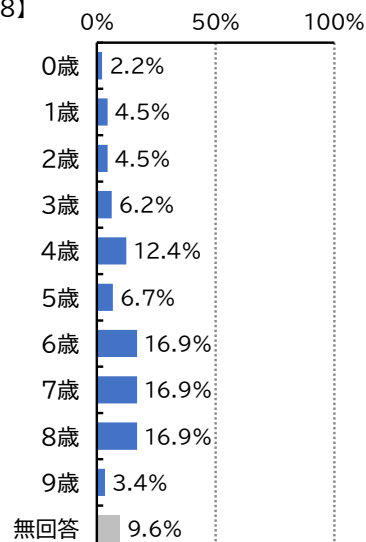
①きょうだいの人数

【n=178】



②一番下のお子さんの生年月

【n=178】

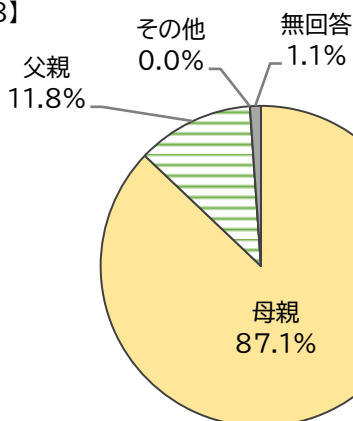


きょうだいの人数と一番下のお子さんの年齢について、「2人」が47.8%と最も多く、次いで「3人」(26.4%)、「1人」(16.3%)などと続いています。きょうだいの一番下のお子さんの年齢は、「6歳」が16.9%と最も多く、次いで「6歳」、「7歳」、「8歳」(いずれも16.9%)、「4歳」(12.4%)などと続いています。

(3) 調査票回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

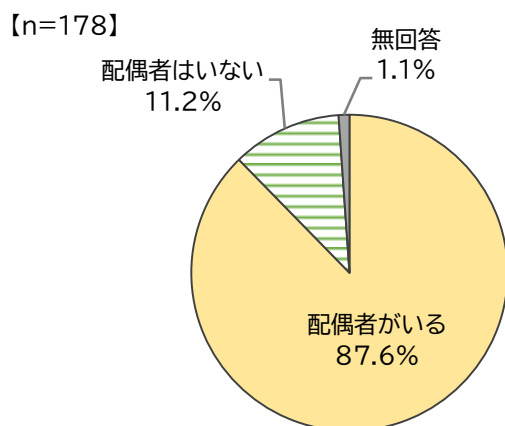
【n=178】



調査票の回答者は、「母親」約9割と圧倒的に多くなっています

(4) 調査票回答者の配偶関係

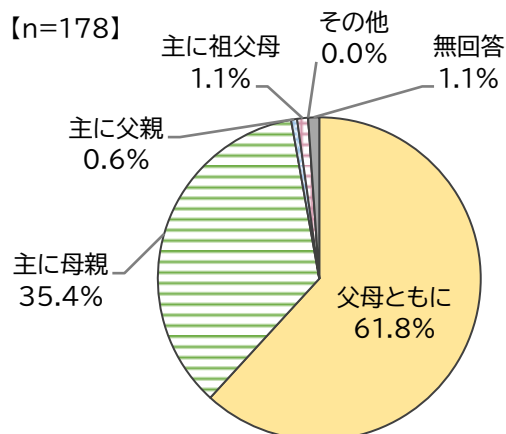
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)



調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が87.6%、「配偶者はいない」は11.2%となっています。

(5) 子育てを主に行っている人

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

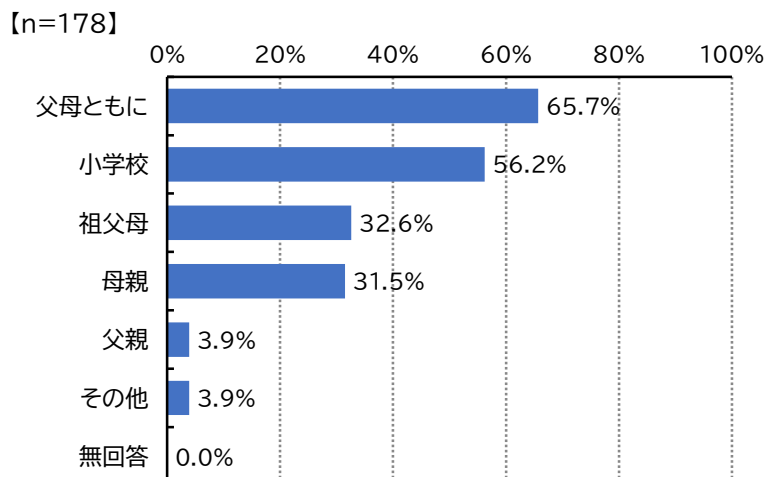


子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が61.8%と最も多く、次いで「主に母親」(35.4%)、「主に祖父母」(1.1%)と続いています。

3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

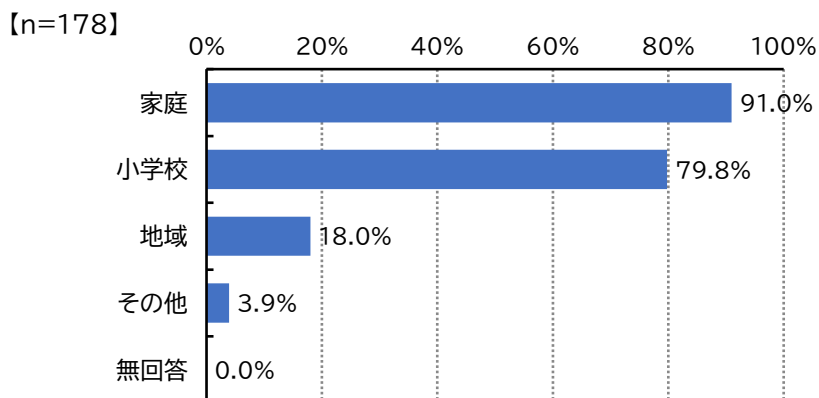
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）



子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が65.7%と最も多く、次いで「小学校」（56.2%）、「祖父母」（32.6%）、「母親」（31.5%）、「父親」（3.9%）と続いています。

(2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

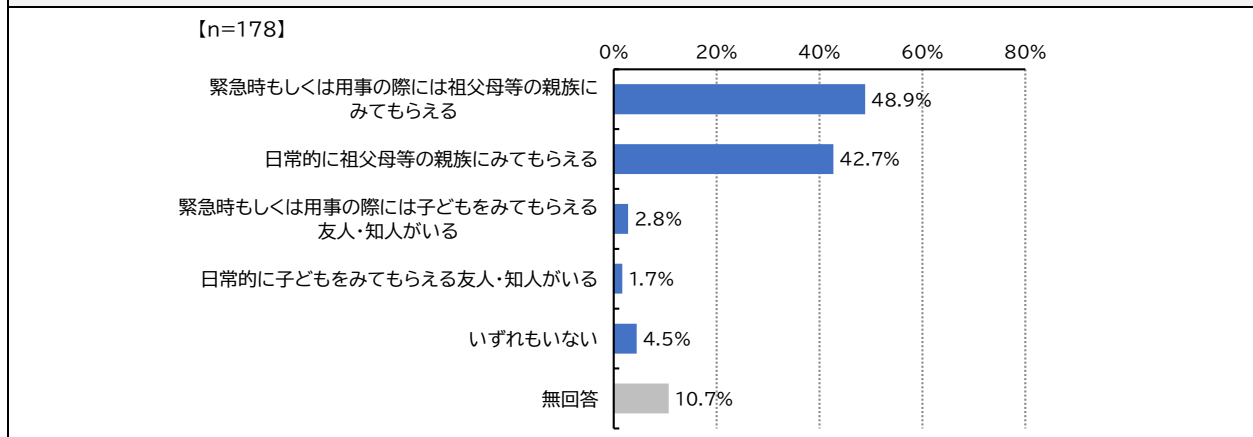
問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。（あてはまるものすべてに○）



子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が91.0%と最も多く、次いで「小学校」（79.8%）、「地域」（18.0%）と続いています。

(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



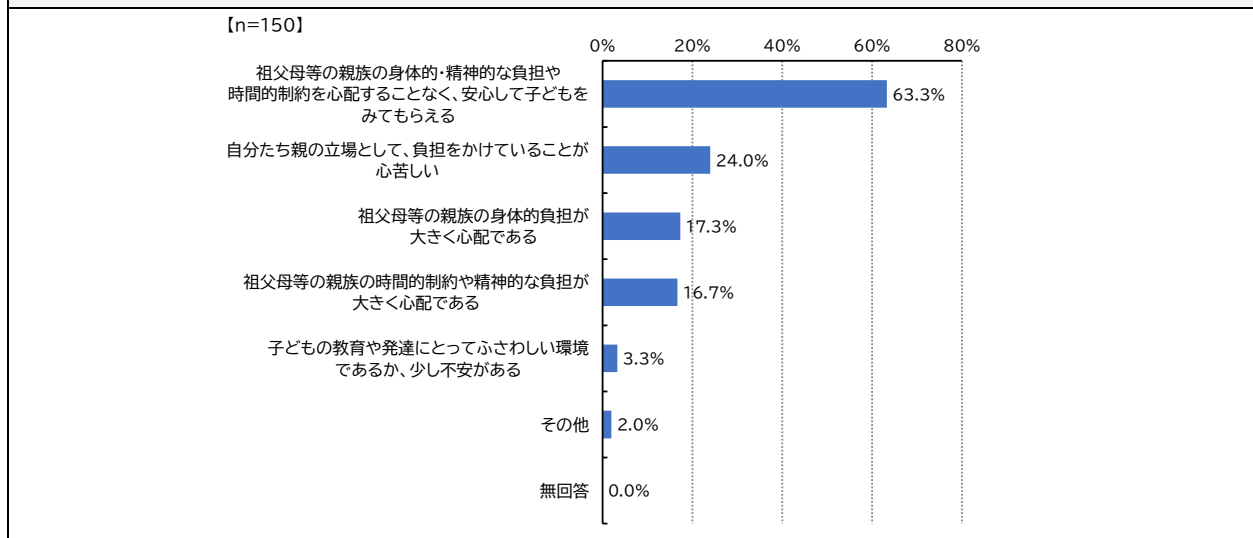
日頃、子どもを預かってもらえる親族がいるかは、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 48.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(42.7%)となっています。また、「友人・知人」に見てもらえるとの回答は、「親族」に見てもらえるとくらべて圧倒的に少なくなっています。

なお、「いずれもない」との回答は 4.5%となっています。

(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

問9-1 【問9で「1.」、「2.」に○をつけた方のみ】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

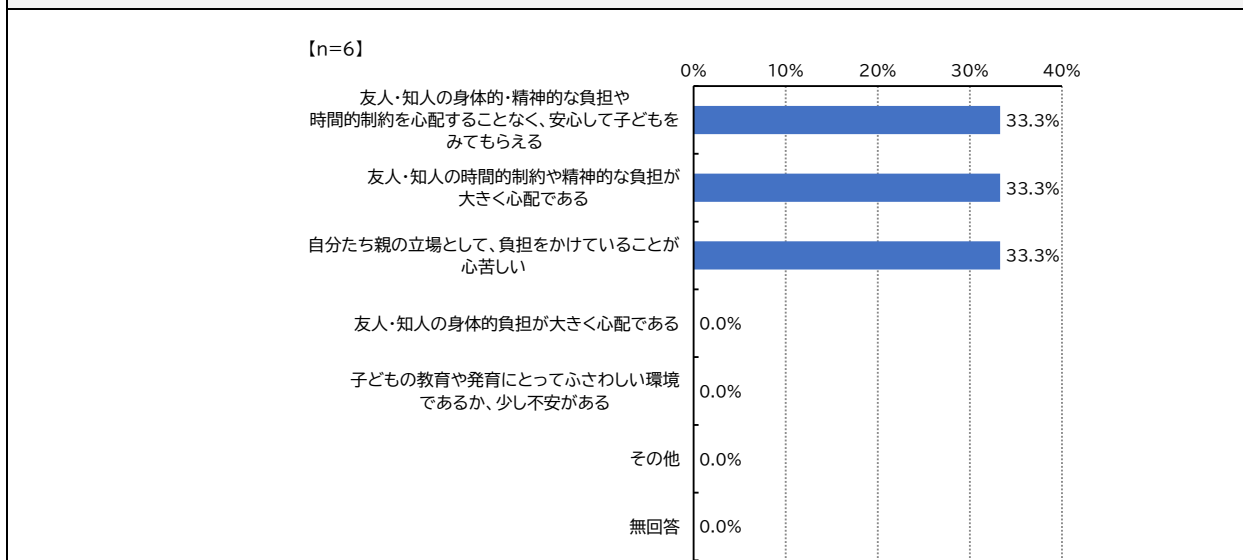


子どもを預けられる祖父母等の親族がいると回答した 150 人に、みてもらっている状況を尋ねると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 63.3%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(24.0%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(17.3%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(16.7%)、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」(3.3%)と続いています。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

問9-2 【問9で「3.」、「4.」に○をつけた方のみ】

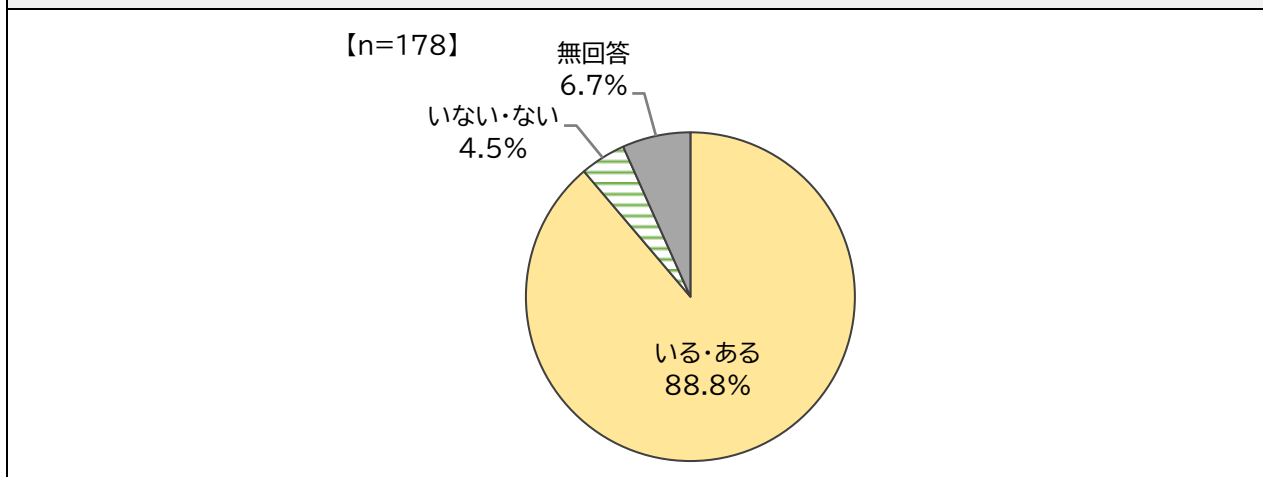
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)



子どもを預けられる友人・知人がいると回答した6人に、みてもらっている状況を尋ねると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」いずれも 33.3%となっています。

(6) 子育てに関する相談相手の有無

問10 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つに○）

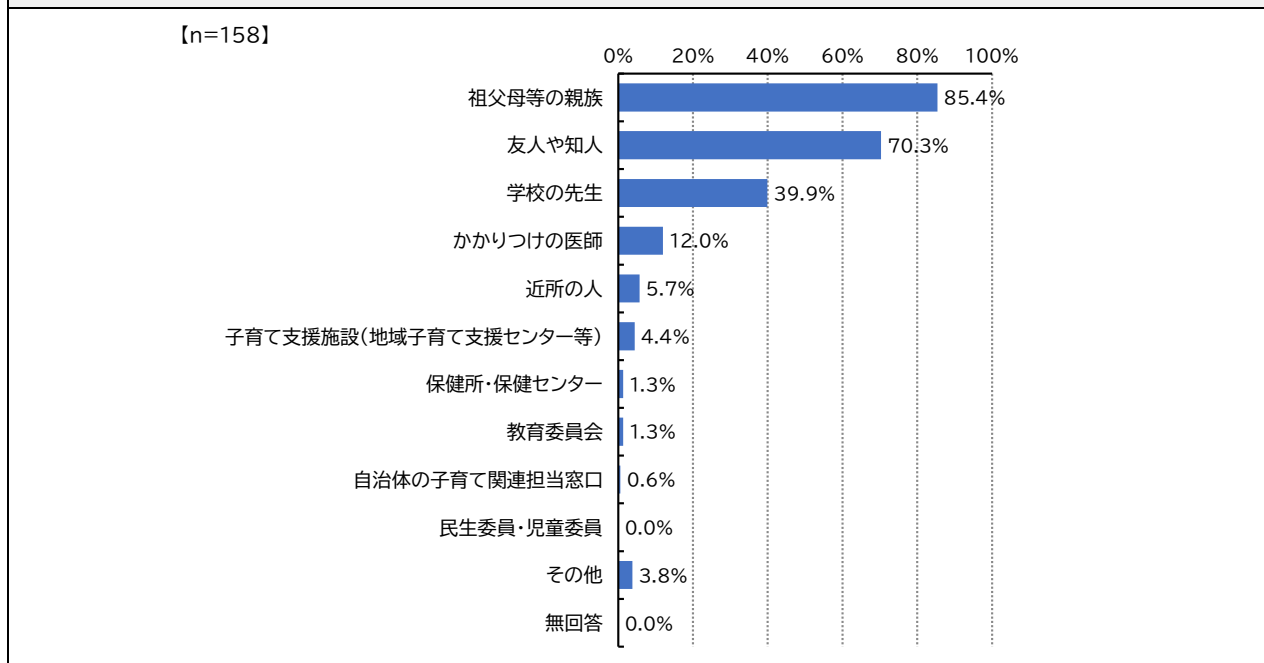


子育てをする上で、気軽に相談できる人がいるかは、「いる・ある」が 88.8%、「いない・ない」が 4.5%となっています。

(7) 子育てに関する相談先

問 10-1 【問 10「1. いる・ある」に○をつけた方のみ】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)



子育てをする上で、気軽に相談できる人がいると回答した 158 人に、相談先を尋ねると、「祖父母等の親族」が 85.4%と最も多く、次いで「友人や知人」(70.3%)、「学校の先生」(39.9%)、「かかりつけの医師」(12.0%)、「近所の人」(5.7%)と続いています。

問 11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な回答内容

- ・ 病児保育
- ・ 金銭的サポート
- ・ 土、日、祝日や親の急な用事の際に預けられる場所
- ・ 公園など子どもの遊び場
- ・ 悩み相談や情報交換できる場所
- ・ 夏休みなどの子どもの長期休暇時の預かり
- ・ 親が安心して働ける環境づくり

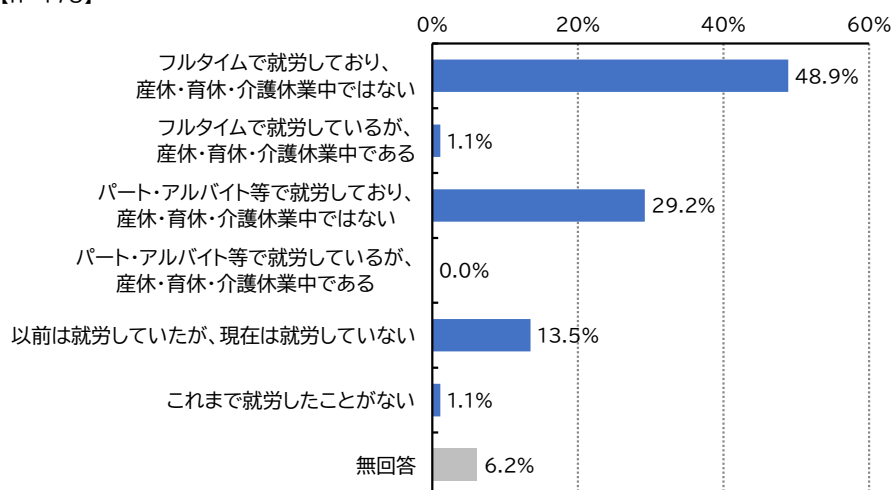
…etc

4 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

問 12 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

【n=178】



母親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、50.0%が『フルタイムでの就労』となっています。

また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、29.2%が『パート・アルバイト等での就労』となっています。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせた、14.6%は『就労していない』と回答しています。

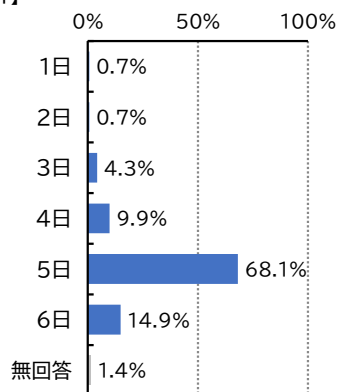
(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

問 12-1 【問 12 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字を記入）

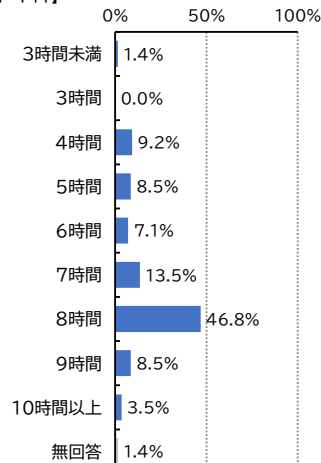
・ 1 週あたりの就労日数

【n=141】



・ 1 日あたりの就労時間

【n=141】



母親が就労していると回答した 141 人の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」、1 日あたりの就労時間は「8 時間」が最も多くなっています。

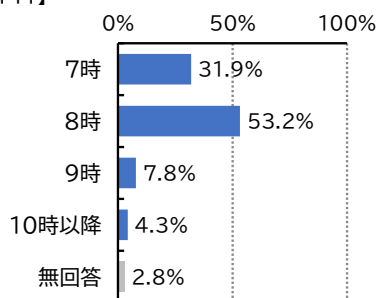
(3) 就労している母親の出勤・帰宅時間

問 12-2 【問 12 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に時間を[例]18 時のように 24 時間制で記入）

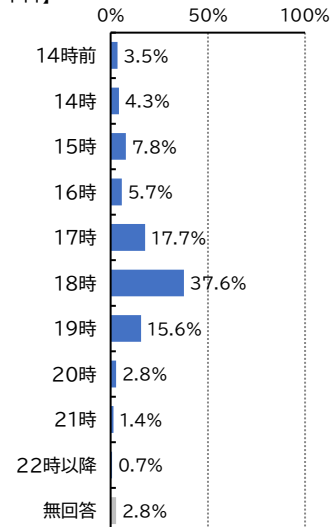
・ 家を出る時刻

【n=141】



・ 帰宅時刻

【n=141】

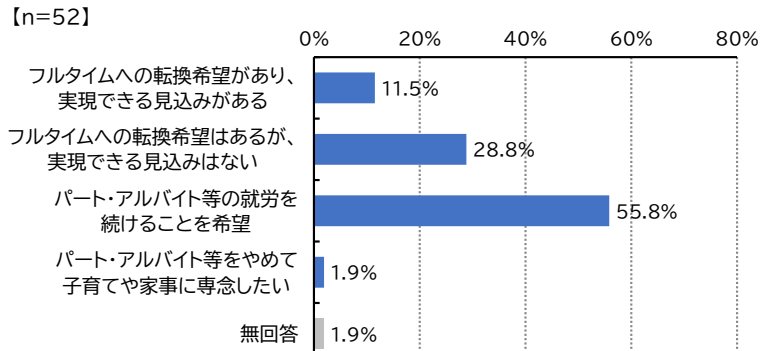


母親が就労していると回答した 141 人の家を出る時刻は、「8 時」、帰宅時間は「18 時」が最も多くなっています。

(4) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問 12-3 【問 12 で「3.」～「4.」(パート・アルバイト等で就労) に○をつけた方のみ】

フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)



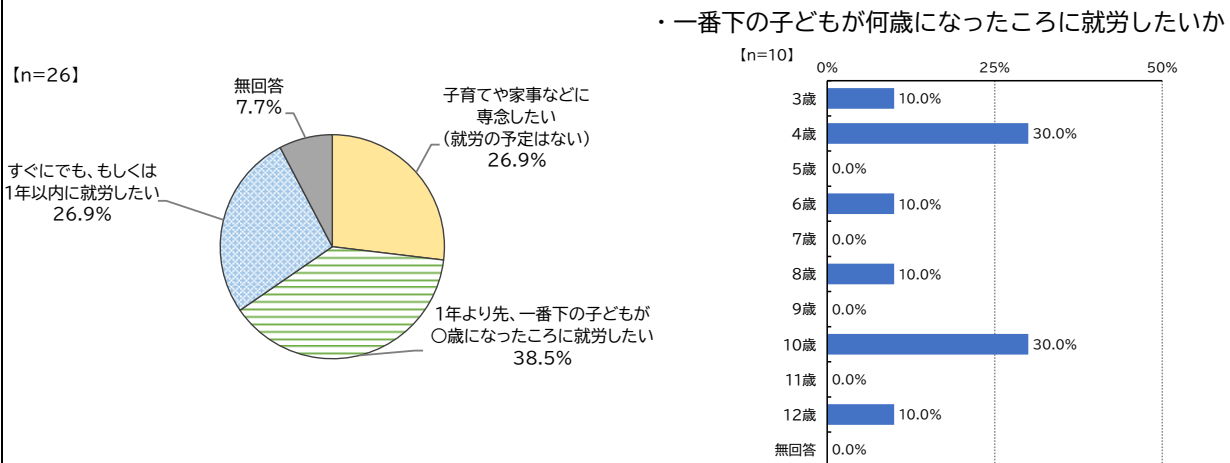
母親がパートタイム、アルバイト等で就労している 52 人にフルタイムへの転換希望があるか尋ねると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 55.8%と最も多くなっています。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた、40.3%が『フルタイムへの転換希望がある』と回答しています。

なお、1.9%は「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」と回答しています。

(5) 現在就労していない母親の就労希望

問 12-4 【問 12 で「5.」～「6.」(就労していない) に○をつけた方のみ】

就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、就労したい場合は該当する記号1つに○、□内に数字を記入)

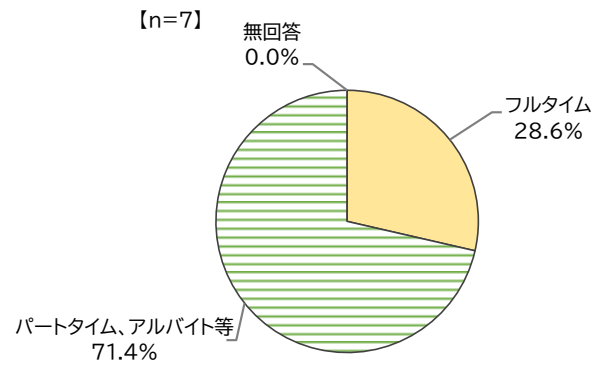


母親が現在就労していない 26 人に、就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」を合わせた、65.4%が『就労したい』と回答しています。

なお、小学生の 26.9%は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」と回答しています。また、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」と回答した 10 人に一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するかを尋ねると、「4歳」、「10歳」(ともに 30.0%)と回答しています。

(6) 就労希望のある母親が望む就労形態

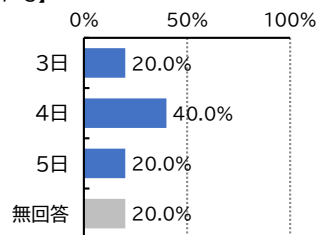
【小学生】



⇒パートタイム、アルバイトの働き方についての希望（母親）

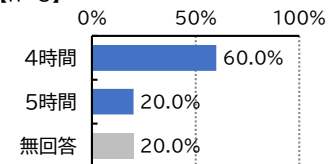
・ 1 週あたりの就労日数

【n=5】



・ 1 日あたりの就労時間

【n=5】



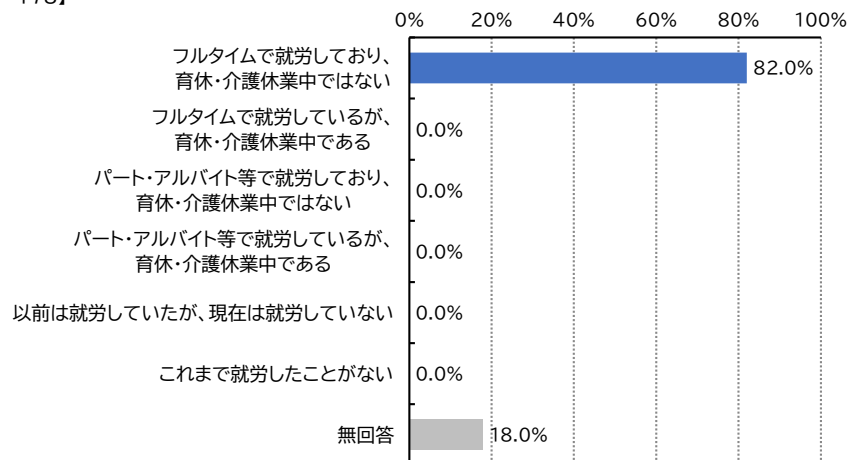
母親が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した7人に希望する就労形態を尋ねると、「フルタイム」が28.6%、「パートタイム、アルバイト等」が71.4%となっています

また、「パートタイム、アルバイト等」での就労を希望する5人に、希望の就労日数と就労時間を尋ねると、就労日数は1週あたり「4日」、就業時間は「4時間」が最も多くなっています。

(7) 父親の就労状況

問 13 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

【n=178】



父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を合わせた割合をみると、82.0%が『フルタイムでの就労』となっています。

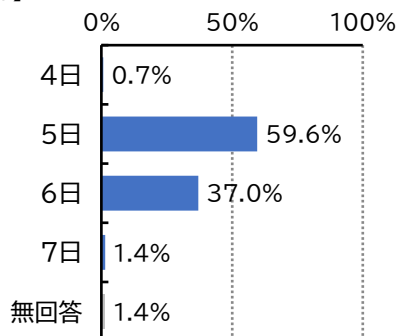
(8) 就労している父親の就労日数・就労時間

問 13-1 【問 13 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字を記入）

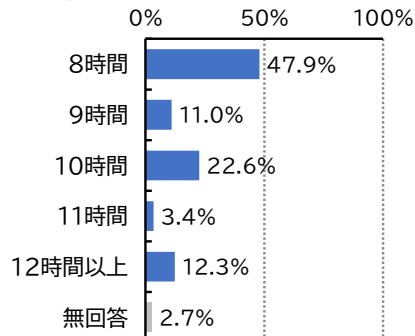
・ 1 週あたりの就労日数

【n=146】



・ 1 日あたりの就労時間

【n=146】



父親が就労していると回答した 146 人の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」、1 日あたりの就労時間は「8 時間」が最も多くなっています。

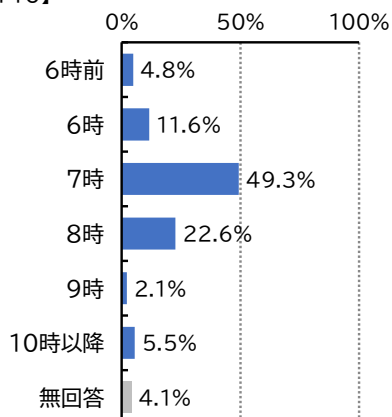
(9) 就労している父親の出勤・帰宅時間

問 13-2 【問 13 で「1.」～「4.」に○をつけた方のみ】

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に時間を[例]18 時のように 24 時間制で記入）

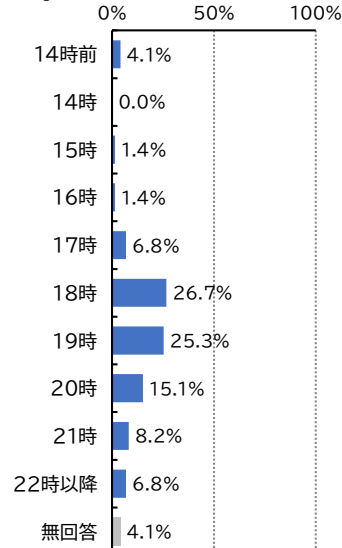
・ 家を出る時刻

【n=146】



・ 帰宅時刻

【n=146】



父親が就労していると回答した 146 人の家を出る時刻は「7 時」、帰宅時間は「18 時」が最も多くなっています。

(10) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問 13-3 【問 13 で「3.」～「4.」（パート・アルバイト等で就労）に○をつけた方のみ】

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

回答者なし

(11) 現在就労していない父親の就労希望

問 12-4 【問 12 で「5.」～「6.」（就労していない）に○をつけた方のみ】

就労したいという希望はありますか。（それぞれ1つに○、就労したい場合は該当する記号1つに○、□内に数字を記入）

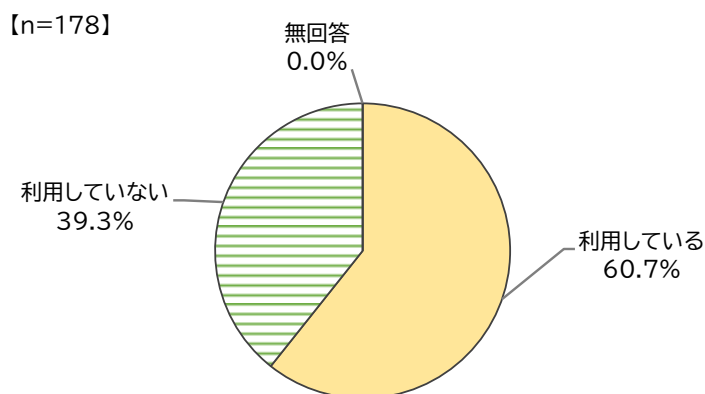
該当者なし

父親が現在就労していない就学前児童1人に就労希望があるか尋ねると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。

5 放課後児童クラブの利用について

(1) 放課後児童クラブを利用しているか

問 14 お子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。（1つに○）



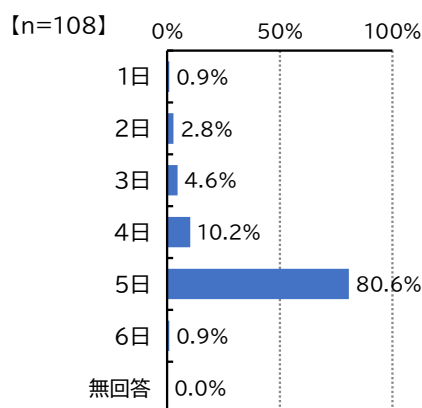
放課後児童クラブを利用しているかは、「利用している」が 60.7%、「利用していない」が 39.3%となっています。

(2) 放課後児童クラブの現在の利用状況と利用している理由

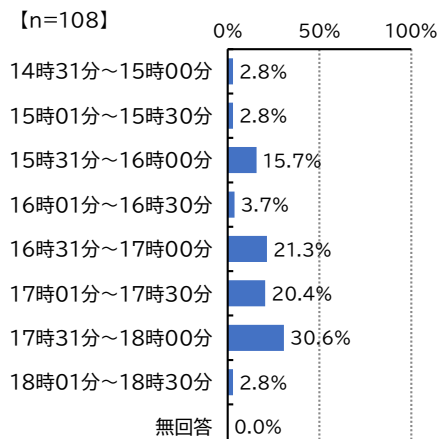
問 14-1 【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

お子さんについて、放課後児童クラブの利用日数、利用している時間帯はいつですか。
(□内に数字、時間は[例]18時30分のように24時間制で記入)

・利用している日数(週)



・利用している終了時間

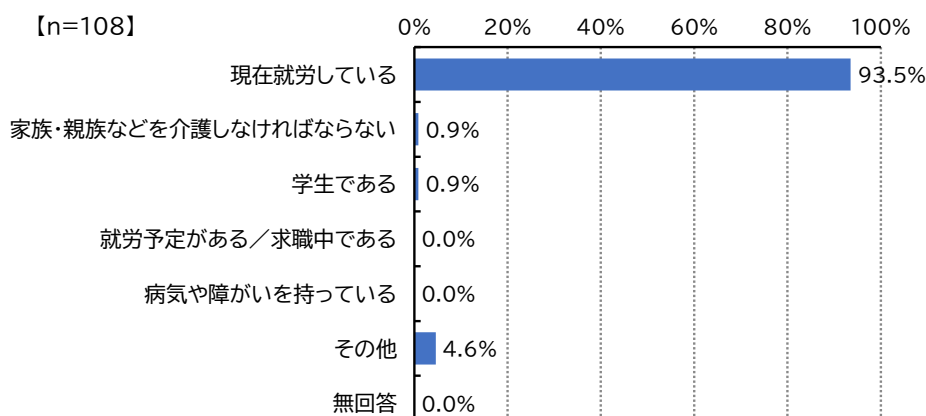


放課後児童クラブを「利用している」と回答した 108 人に、放課後児童クラブの現在の利用状況について尋ねると、1 週当たりの利用している日数は、「5 日」が 80.6%と最も多く、次いで「4 日」(10.2%)、「3 日」(4.6%)、「2 日」(2.8%)、「1 日」、「6 日」(ともに 0.9%)、となっています。

また、利用している終了時間は、「17 時 31 分～18 時 00 分」が 30.6%と最も多く、次いで「16 時 31 分～17 時 00 分」(21.3%)、「17 時 01 分～17 時 30 分」(20.4%)、「15 時 31 分～16 時 00 分」(15.7%) と続いています。

問 14-2 【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

利用している理由をお答えください。(○は1つ)

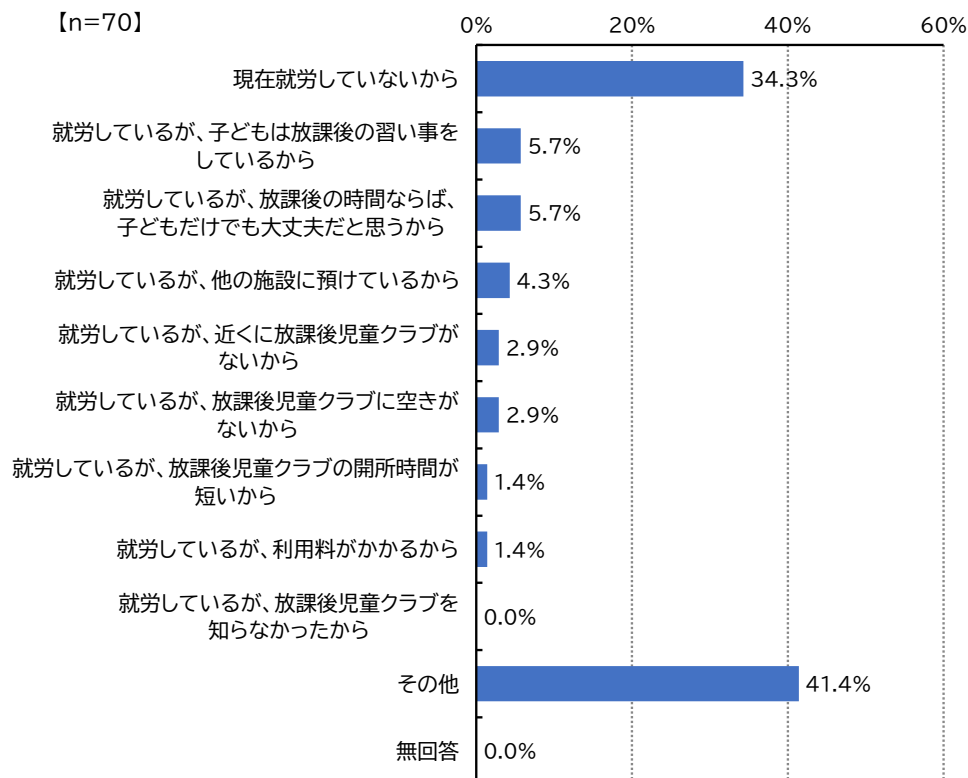


放課後児童クラブを「利用している」と回答した 108 人に、放課後児童クラブを利用している理由を尋ねると、「現在就労している」が 93.5%と最も多く、次いで「家族・親族などを介護しなければならない」、「学生である」(ともに 0.9%)、となっています。

(3) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 14－3 【問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ】

利用していない理由をお答えください。(○は1つ)



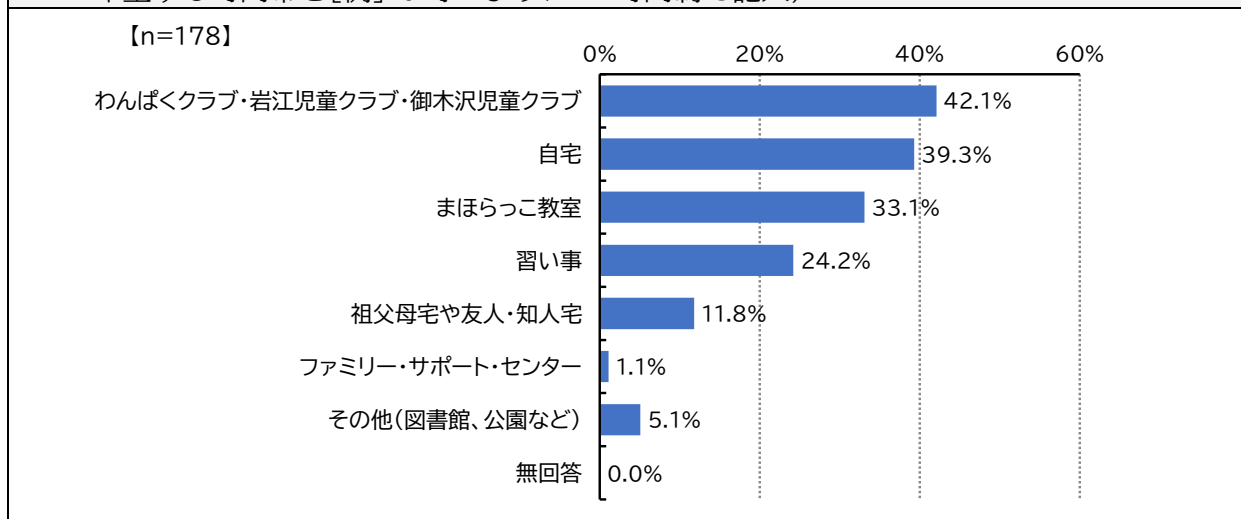
放課後児童クラブを「利用していない」と回答した 108 人に、放課後児童クラブを利用していない理由を尋ねると、「現在就労していないから」が 34.3%と最も多く、次いで「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」、「就労しているが、放課後の時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」（ともに 5.7%）、「就労しているが、他の施設に預けているから」（4.3%）と続いています。

また、41.4%が「その他」と回答しており、その内容としては「祖父母がみてるから」、「学校が終わる時間には仕事が終わっているから」という回答がみられました。

6 放課後の過ごし方について

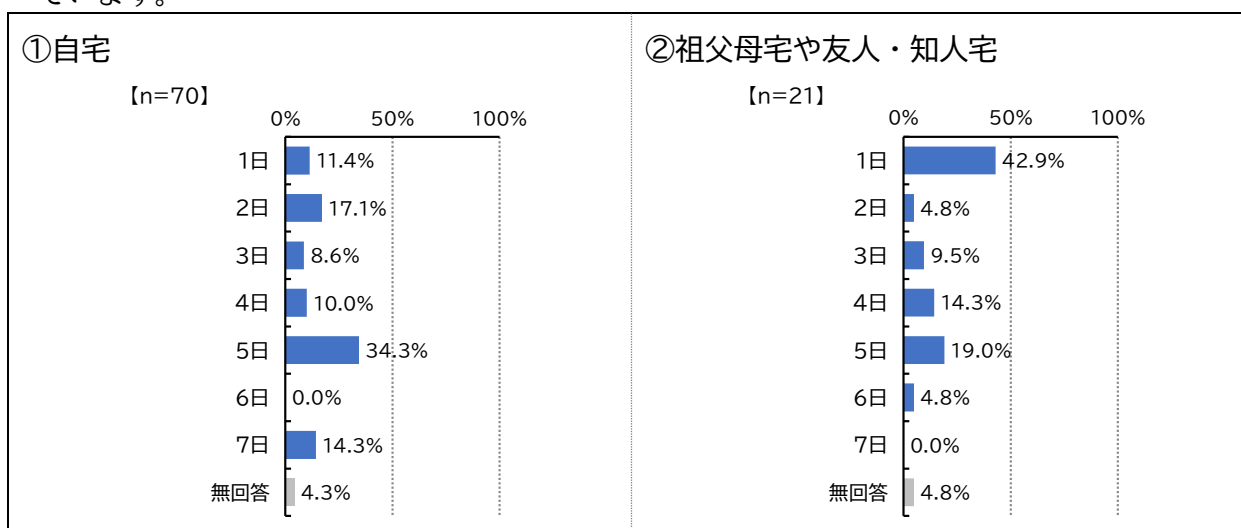
(1) 小学校低学年の子どもを放課後にどのような場所で過ごさせたいと思うか

問 15 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）では、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか、又は過ごさせたいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○、□内に希望する週あたりの日数を記入、「4. まほらっこ教室」、「5. わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」の場合には利用を希望する時間帯を[例]18時のように24時間制で記入）



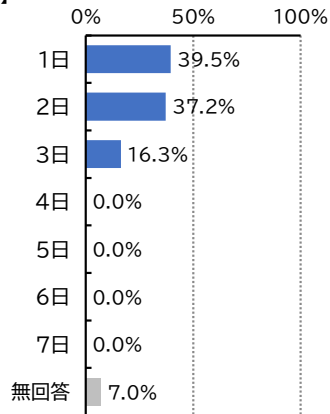
小学校低学年の子どもを放課後にどのような場所で過ごさせたいと思うかは、「わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」が42.1%と最も多く、次いで「自宅」(39.3%)、「まほらっこ教室」(33.1%)、「習い事」(24.2%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(11.8%)と続いています。

●小学校低学年の子どもを放課後過ごさせたい場所の1週あたりの日数は、次のとおりとなっています。



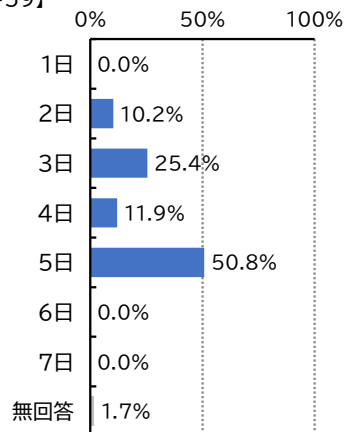
③習い事

【n=43】



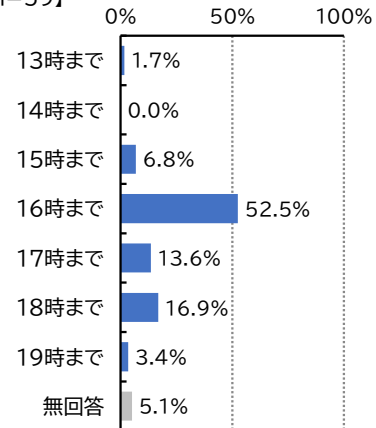
④まほらっこ教室

【n=59】



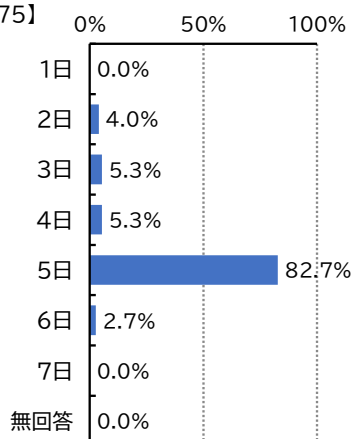
⇒まほらっこ教室の希望終了時間

【n=59】



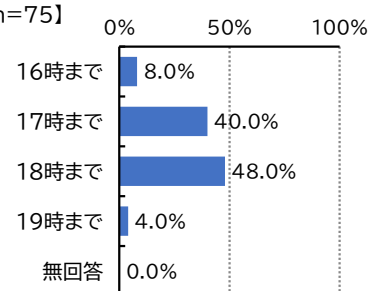
⑤わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ

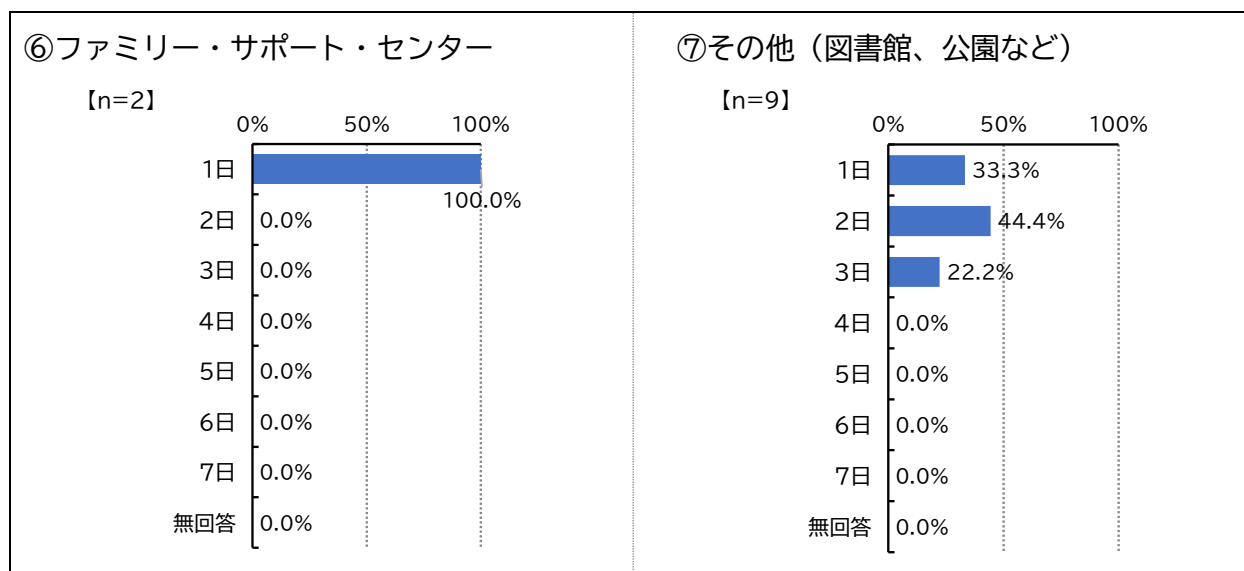
【n=75】



⇒わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブの希望終了時間

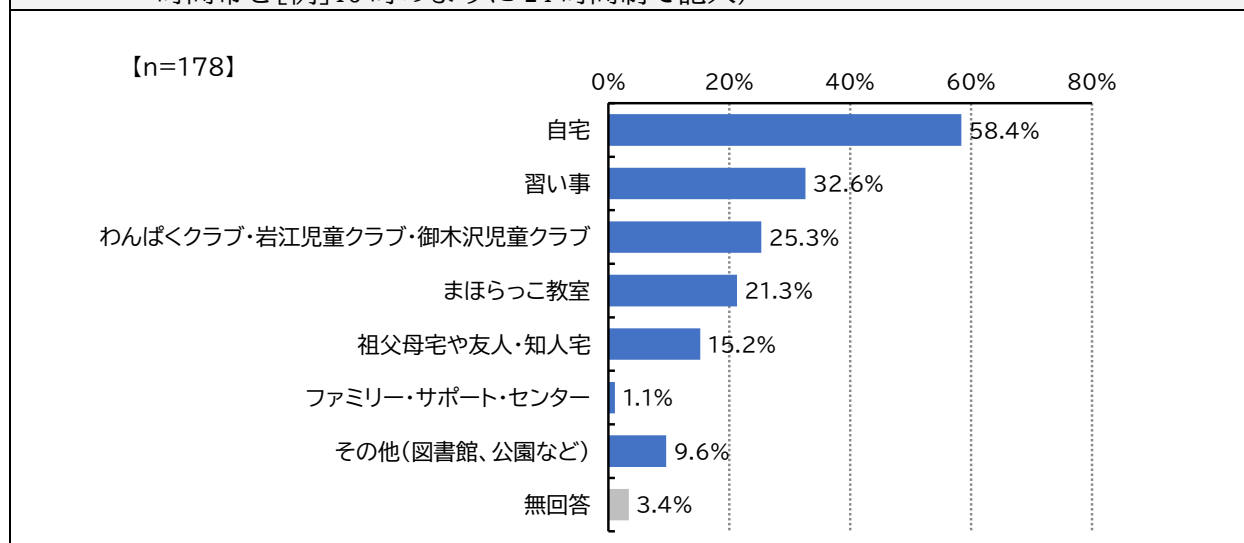
【n=75】





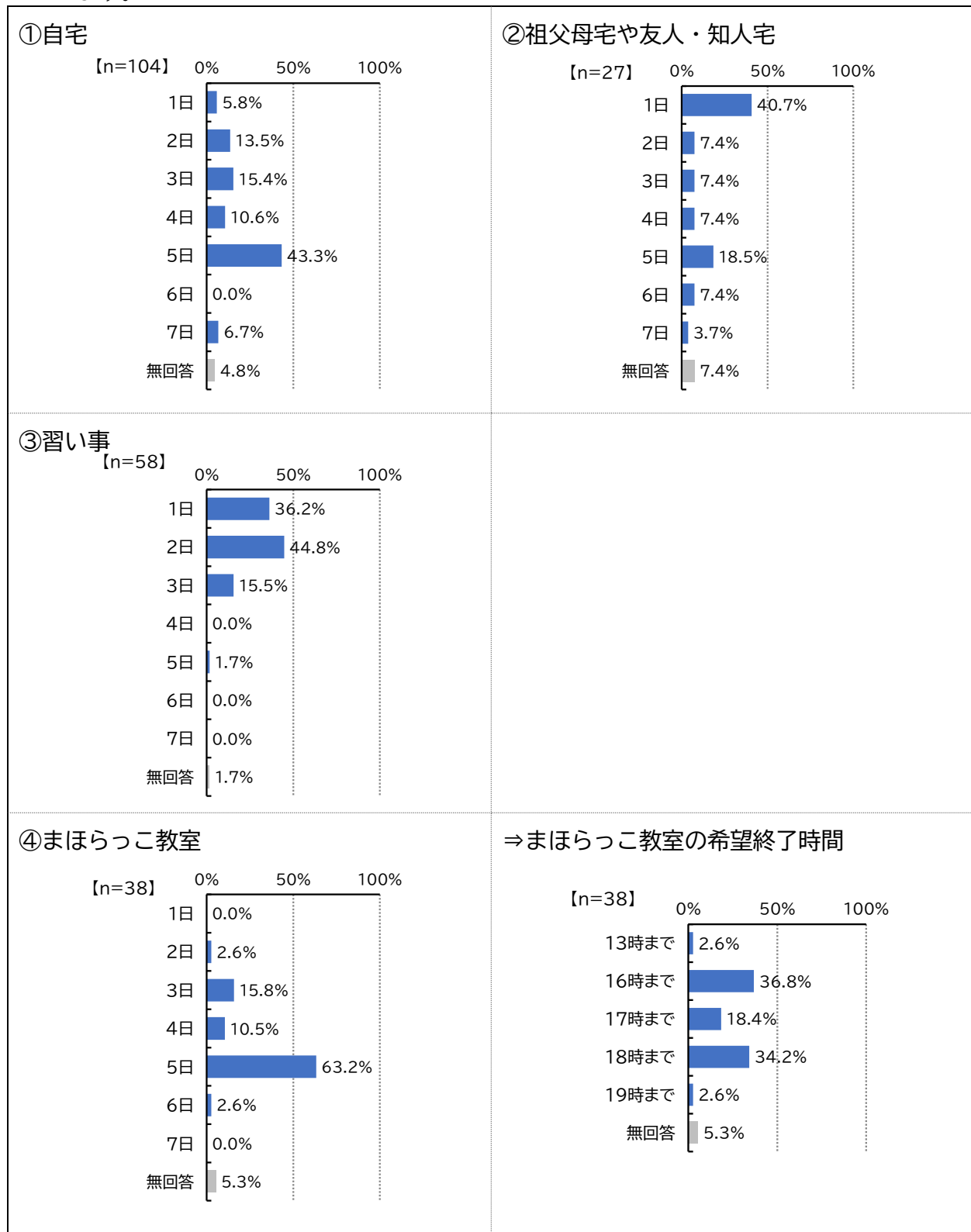
（２）小学校高学年の子どもを放課後にどのような場所で過ごさせたいと思うか

問 15-1 お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、□内に希望する週あたりの日数を記入、「４．まほらっこ教室」、「５．わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」の場合には利用を希望する時間帯を[例]18時のように24時間制で記入）

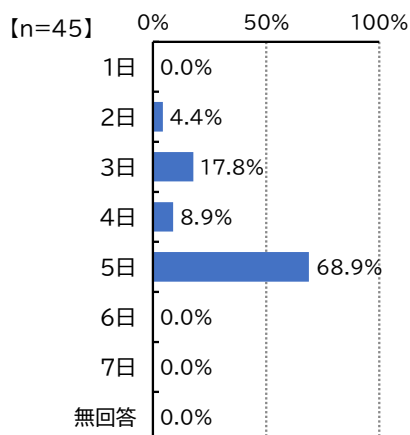


小学校高学年の子どもを放課後にどのような場所で過ごさせたいと思うかは、「自宅」が58.4%と最も多く、次いで「習い事」（32.6%）、「わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」（25.3%）、「まほらっこ教室」（21.3%）「祖父母宅や友人・知人宅」（15.2%）、となっています。

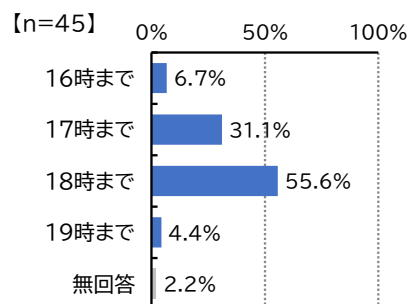
●小学校高学年の子どもを放課後過ごさせたい場所の1週あたりの日数は、次のとおりとなっています。



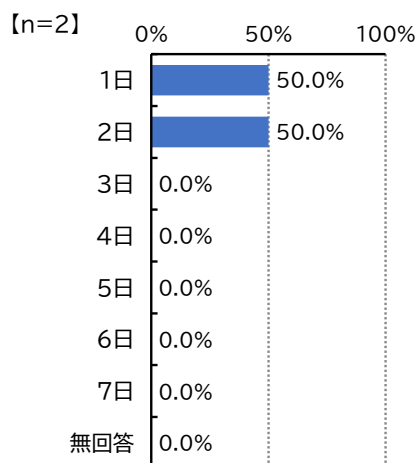
⑤わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ



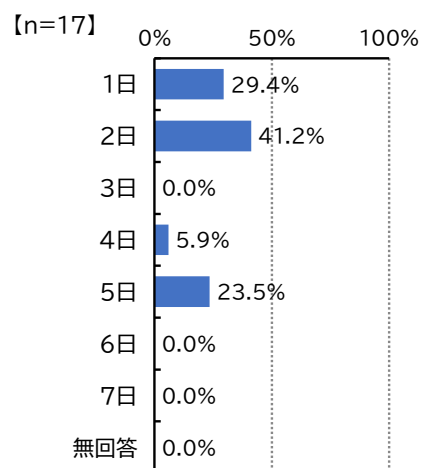
⇒わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブの希望終了時間



⑥ファミリー・サポート・センター



⑦その他（図書館、公園など）



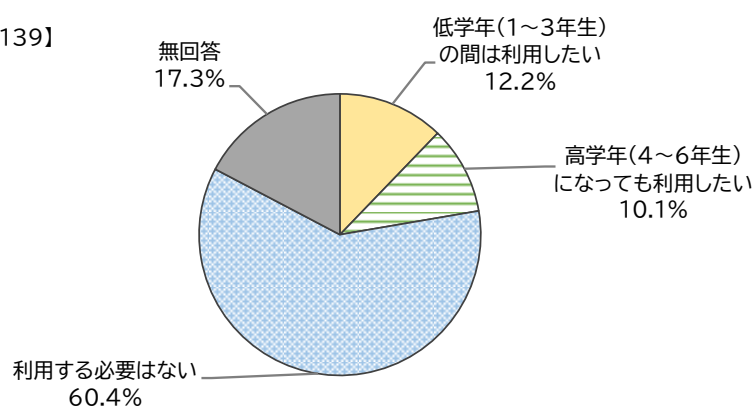
(3) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

問 16 【問 15 または問 15-1 で「4. まほらっこ教室」、「5. わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」に○をつけた方のみ】

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。（それぞれ1つに○、利用したい場合は□内に時間帯を[例]18時のように24時間制で記入）

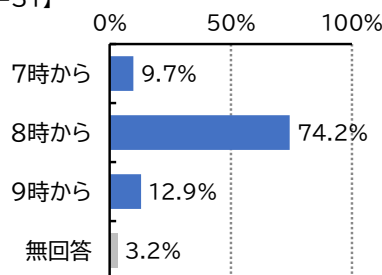
■土曜日

【n=139】



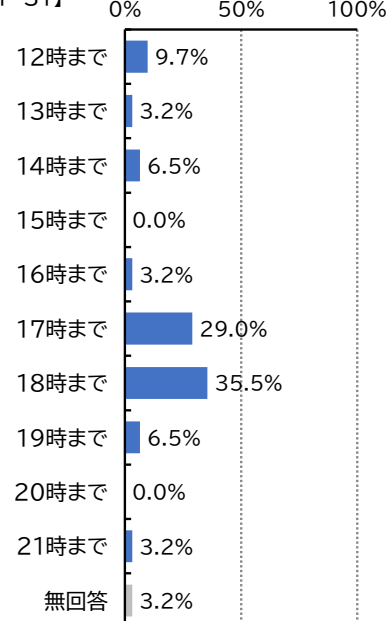
・利用したい開始時間

【n=31】



・利用したい終了時間

【n=31】

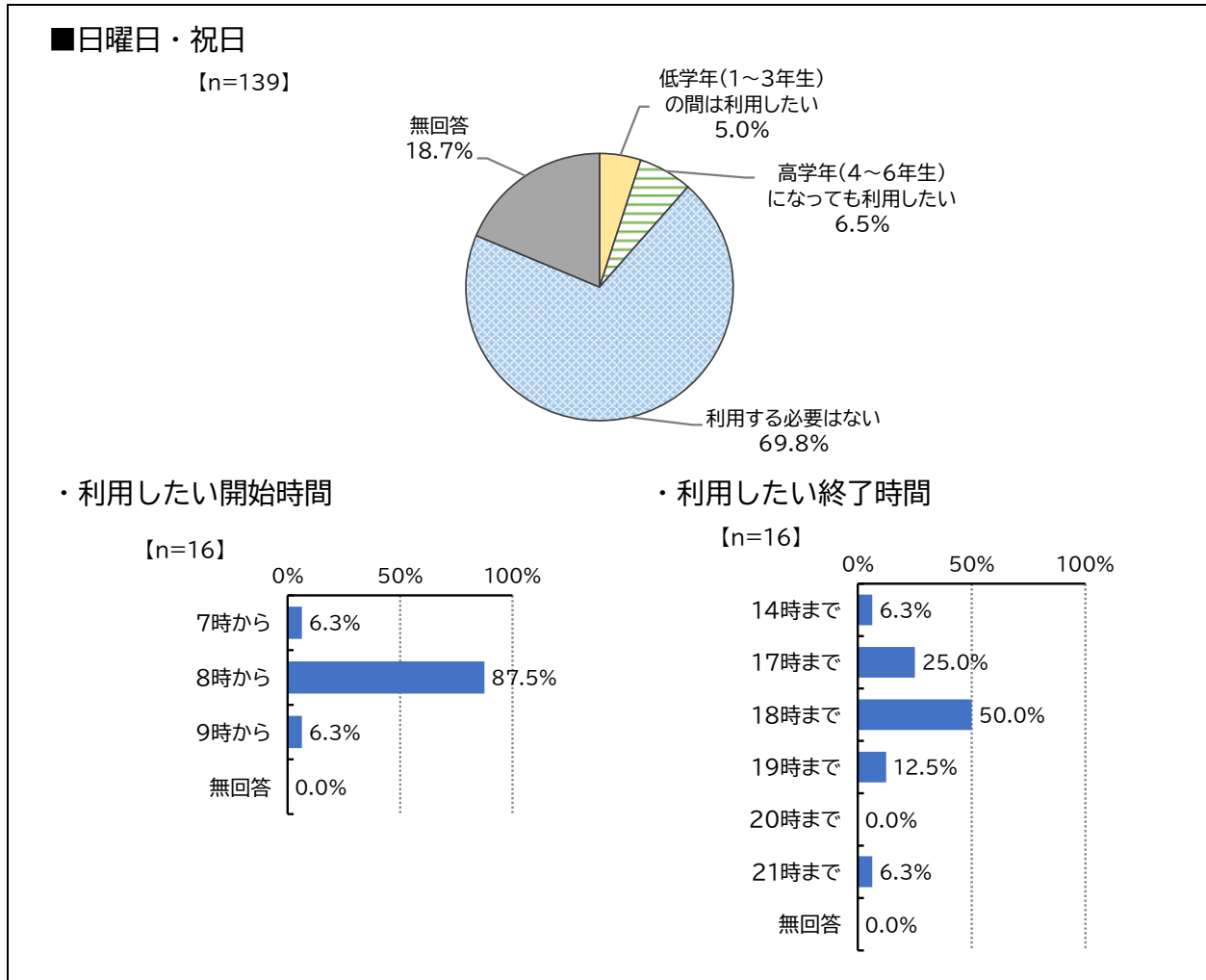


「放課後児童クラブ（学童保育）」で放課後の時間を過ごさせたいと回答した139人に、放課後児童クラブの土曜日の利用希望を尋ねると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が12.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.1%となっており、全体の22.3%に土曜日の利用希望がみられます。

なお、60.4%が「利用する必要はない」と回答しています。

また、土曜日に「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用したいと回答した31人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が74.2%と最も多く、終了時間は「18時まで」が35.5%と最も多くなっています。

(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



「放課後児童クラブ（学童保育）」で放課後の時間を過ごさせたいと回答した 139 人に、日曜日・祝日の利用希望を尋ねると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 5.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 6.5%となっており、全体の 11.5%に、日曜日・祝日の利用希望がみられます。

なお、69.8%は「利用する必要はない」と回答しています。

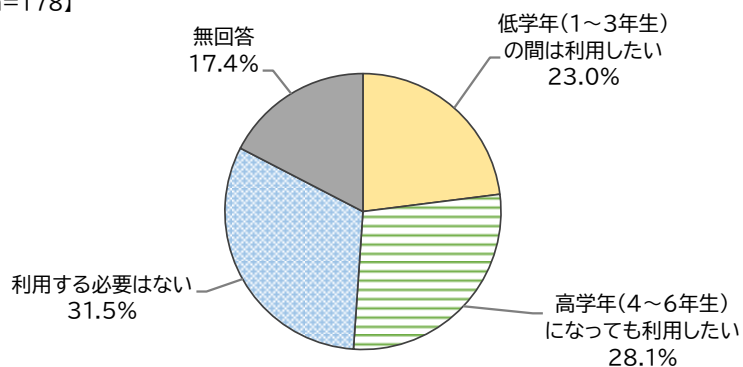
また、日曜日・祝日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した 16 人の希望の利用時間帯は、開始時間が「8時から」が 87.5%と最も多く、終了時間は「18時まで」が 50.0%と最も多くなっています。

(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 17 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のまほらっこ教室の利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の料金負担があります。
(1つに○、利用したい場合は□内に時間帯を[例]18時のように24時間制で記入)

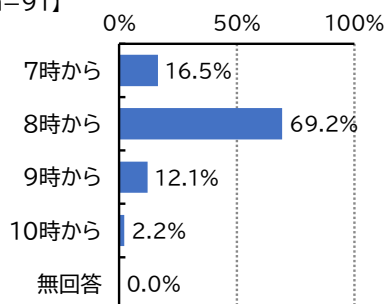
・利用希望

【n=178】



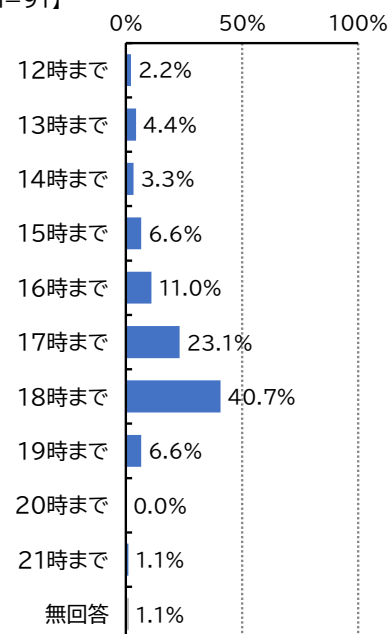
・利用したい開始時間

【n=91】



・利用したい終了時間

【n=91】



「放課後児童クラブ(学童保育)」の長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が23.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が28.1%となっており、全体の51.1%に長期の休暇期間中の利用希望がみられます。

なお、31.5%は「利用する必要はない」と回答しています。

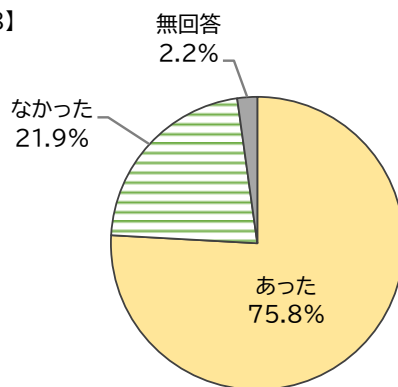
また、長期の休暇期間中に「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用したいと回答した91人に、希望の利用時間帯を尋ねると、開始時間は「8時から」が69.2%と最も多く、終了時間は「18時まで」が40.7%と最も多くなっています。

7 お子さんの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで学校を休んだ経験

問 18 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○) この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

【n=178】



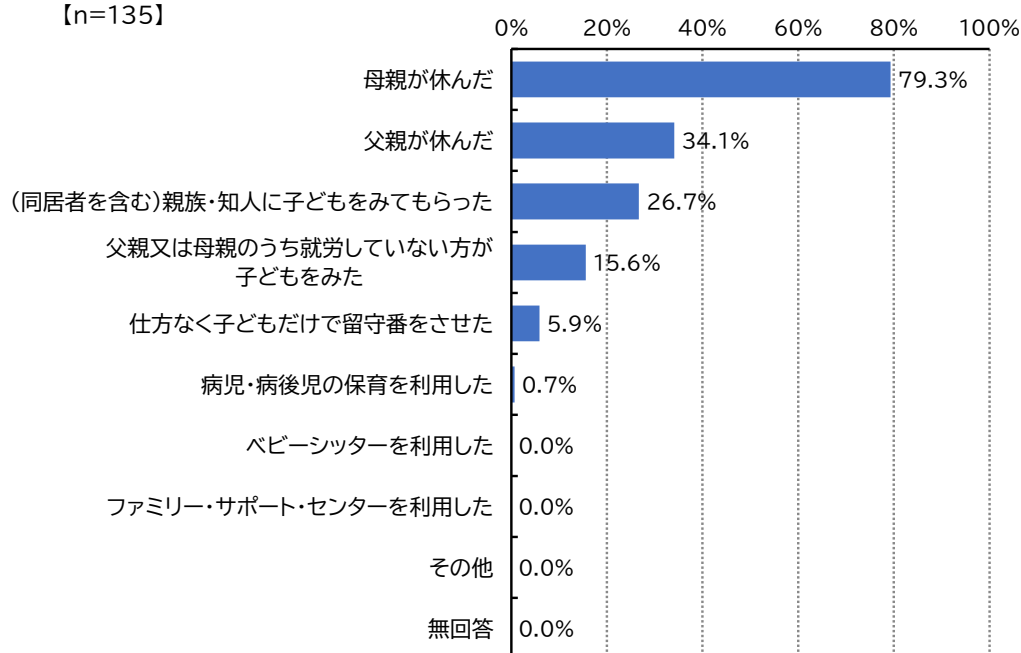
子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがあったか尋ねると、「あった」が75.8%、「なかった」が21.9%となっています。

(2) 病気やケガで学校を休んだときの対処方法

問 18-1 【問 18 で「1. あった」に○をつけた方のみ】

この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、□内にそれぞれの日数を記入、半日程度の対応の場合も1日とカウントする)

【n=135】



1年間における対処方法を尋ねると、「母親が休んだ」が79.3%と最も多く、次いで「父親が休んだ」(34.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(26.7%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(15.6%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(5.9%)と続いています。

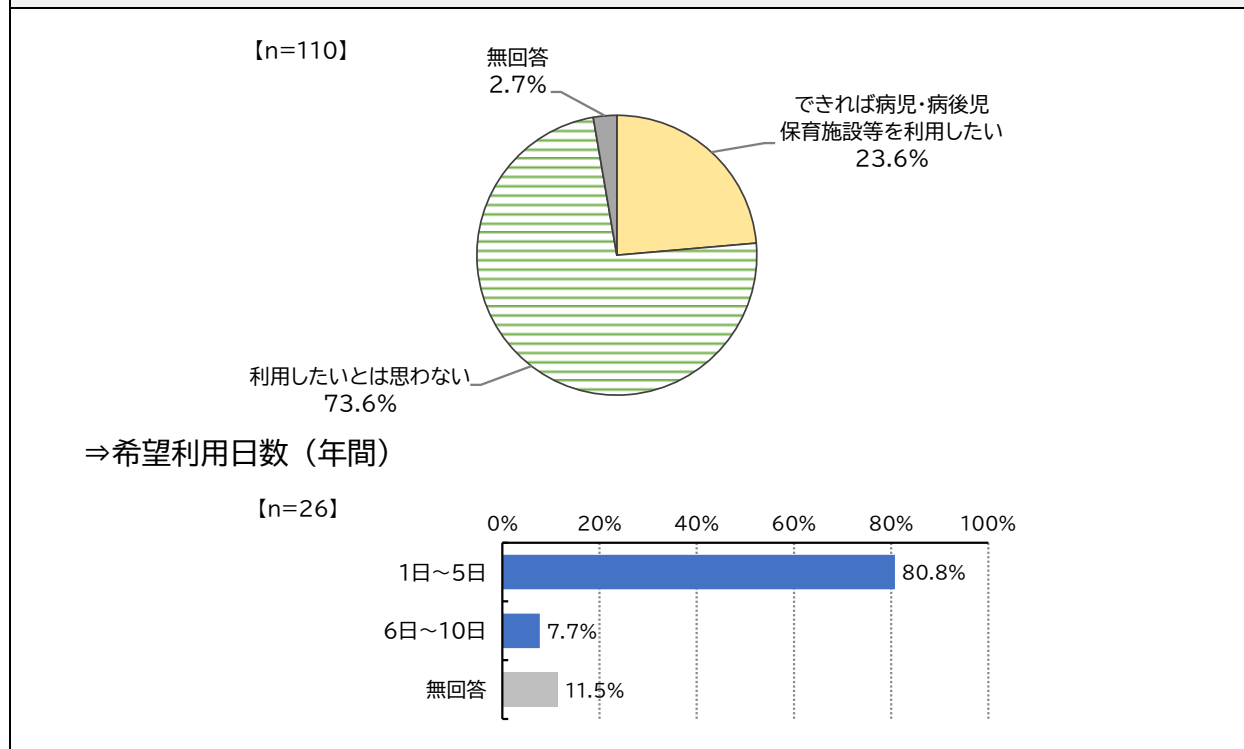
●対処方法別の日数については、次のとおりとなっています。

①父親が休んだ 【n=46】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日～5日</td> <td>73.9%</td> </tr> <tr> <td>6日～10日</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>11日～20日</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>8.7%</td> </tr> </tbody> </table>	日数	割合	1日～5日	73.9%	6日～10日	15.2%	11日～20日	2.2%	無回答	8.7%	②母親が休んだ 【n=107】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日～5日</td> <td>61.7%</td> </tr> <tr> <td>6日～10日</td> <td>24.3%</td> </tr> <tr> <td>11日～20日</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>6.5%</td> </tr> </tbody> </table>	日数	割合	1日～5日	61.7%	6日～10日	24.3%	11日～20日	7.5%	無回答	6.5%				
日数	割合																								
1日～5日	73.9%																								
6日～10日	15.2%																								
11日～20日	2.2%																								
無回答	8.7%																								
日数	割合																								
1日～5日	61.7%																								
6日～10日	24.3%																								
11日～20日	7.5%																								
無回答	6.5%																								
③（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった 【n=36】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日～5日</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>6日～10日</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>11日～20日</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>21日～30日</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table>	日数	割合	1日～5日	75.0%	6日～10日	11.1%	11日～20日	5.6%	21日～30日	5.6%	無回答	2.8%	④父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 【n=21】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日～5日</td> <td>47.6%</td> </tr> <tr> <td>6日～10日</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>11日～20日</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>21日～30日</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>14.3%</td> </tr> </tbody> </table>	日数	割合	1日～5日	47.6%	6日～10日	14.3%	11日～20日	14.3%	21日～30日	9.5%	無回答	14.3%
日数	割合																								
1日～5日	75.0%																								
6日～10日	11.1%																								
11日～20日	5.6%																								
21日～30日	5.6%																								
無回答	2.8%																								
日数	割合																								
1日～5日	47.6%																								
6日～10日	14.3%																								
11日～20日	14.3%																								
21日～30日	9.5%																								
無回答	14.3%																								
⑤病児・病後児の保育を利用した 【n=1】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3日</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	日数	割合	3日	100.0%	⑥ベビーシッターを利用した ※回答者なし																				
日数	割合																								
3日	100.0%																								
⑦ファミリー・サポート・センターを利用した ※回答者なし ⑨その他 ※回答者なし	⑧仕方なく子どもだけで留守番させた 【n=8】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>2日</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>37.5%</td> </tr> </tbody> </table>	日数	割合	1日	12.5%	2日	50.0%	無回答	37.5%																
日数	割合																								
1日	12.5%																								
2日	50.0%																								
無回答	37.5%																								

(3) 病児・病後児保育を利用したいと思ったか

問 18-2 【問 18-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ】

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つに○、利用したい場合は□内に日数を記入）



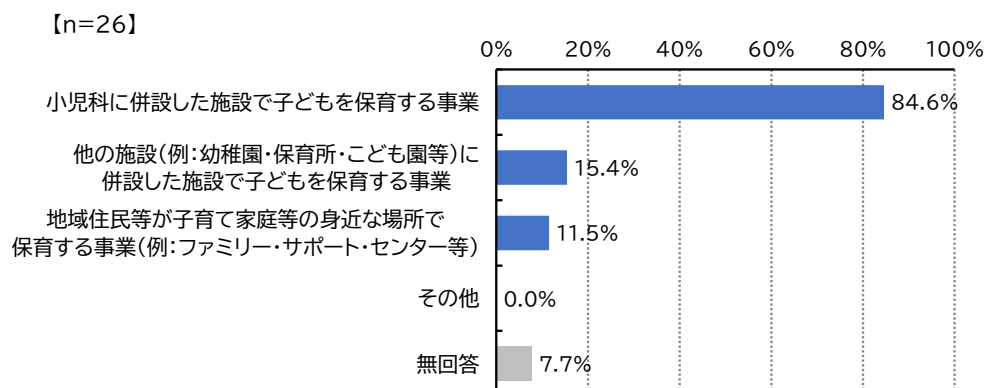
子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んだと回答した 110 人に、その際に「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか尋ねると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 23.6%、「利用したいとは思わない」が 73.6%となっています。

また、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した 26 人に、年間の希望利用日数を尋ねると、1 年あたり「1 日～5 日」が 80.8%と最も多く、次いで「6 日～10 日」（7.7%）となっています。

(4) 病児・病後児保育で望ましいと思われる事業形態

問 18-3 【問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ】

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

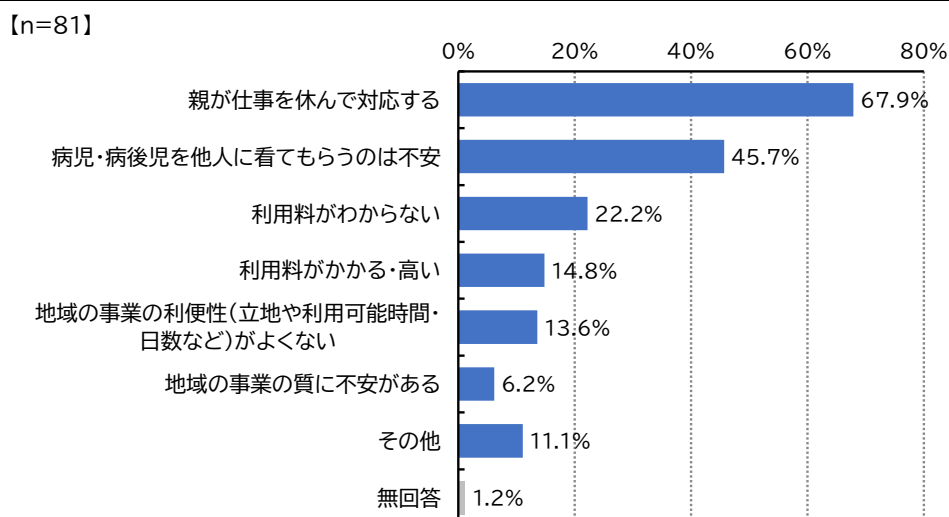


「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した 26 人に、病児・病後児保育施設の望ましい事業形態について尋ねると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 84.6%と最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」(15.4%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」(11.5%)と続いています。

(5) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

問 18-4 【問 18-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ】

そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



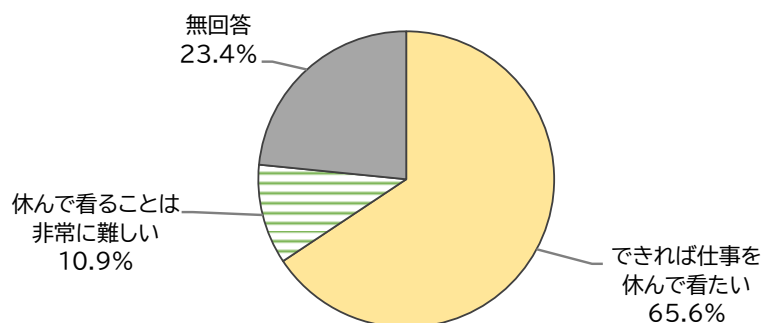
子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、病児・病後児保育施設等を「利用したいとは思わない」と回答した 81 人に、その理由を尋ねると、「親が仕事を休んで対応する」が 67.9%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(45.7%)、「利用料がわからない」(22.2%)、「利用料がかかる・高い」(14.8%)と続いています。

(6) 仕事を休んで病気やケガの子どもを看たいと思ったか

問 18-5 【問 18-1 で「3.」～「9.」に○をつけた方のみ】

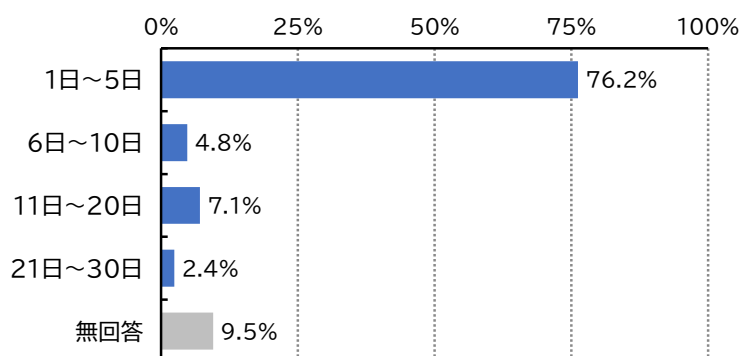
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(1つに○、「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□内に記入)

【n=64】



⇒仕事を休んで看たい日数（年間）

【n=42】



子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休むことはなかったと回答した 64 人に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか尋ねると、「できれば仕事を休んで看たい」が 65.6%、「休んで看することは非常に難しい」が 10.9%となっています。

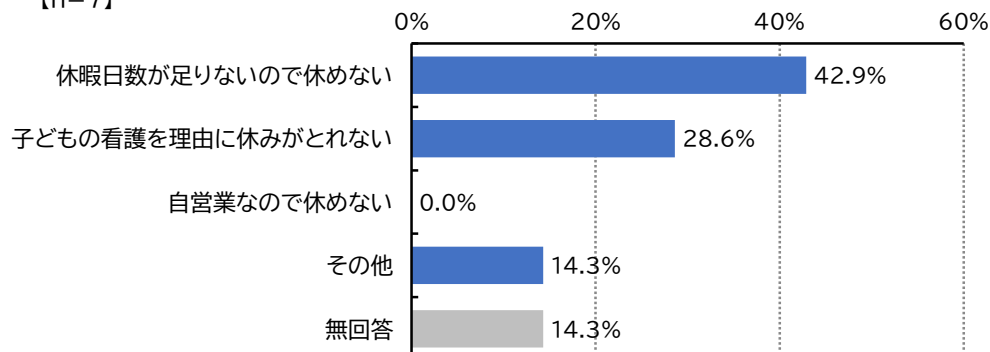
また、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した 42 人に、年間で仕事を休んで看たい日数を尋ねると、1 年あたり「1 日～5 日」が 76.2%と最も多く、次いで「11 日～20 日」(7.1%)、「6 日～10 日」(4.8%)、「21 日～30 日」(2.4%)となっています。

(7) 仕事を休んで病気やケガの子どもを看ることが難しい理由

問 18-6 【問 18-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方のみ】

そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【n=7】

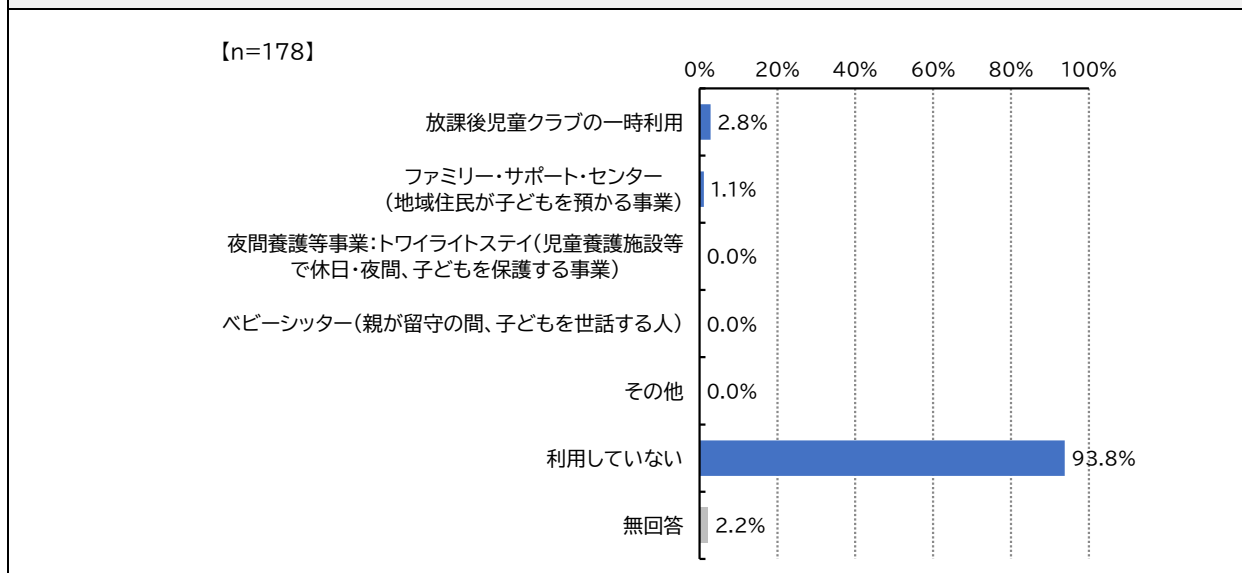


子どもが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法として、母親もしくは父親が休んで看することは非常に難しいと回答した7人に、その理由を尋ねると、「休暇日数が足りないので休めない」が 42.9%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(28.6%)となっています。

8 不定期の教育・保育事業や一時預かりの利用について

(1) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用状況

問 19 お子さんについて、保護者が私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○、□内に1年間のおおよその利用日数を記入)



私用や親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「放課後児童クラブの一時利用」が2.8%、「ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)」が1.1%となっています。

また、93.8%は「利用していない」と回答しています。

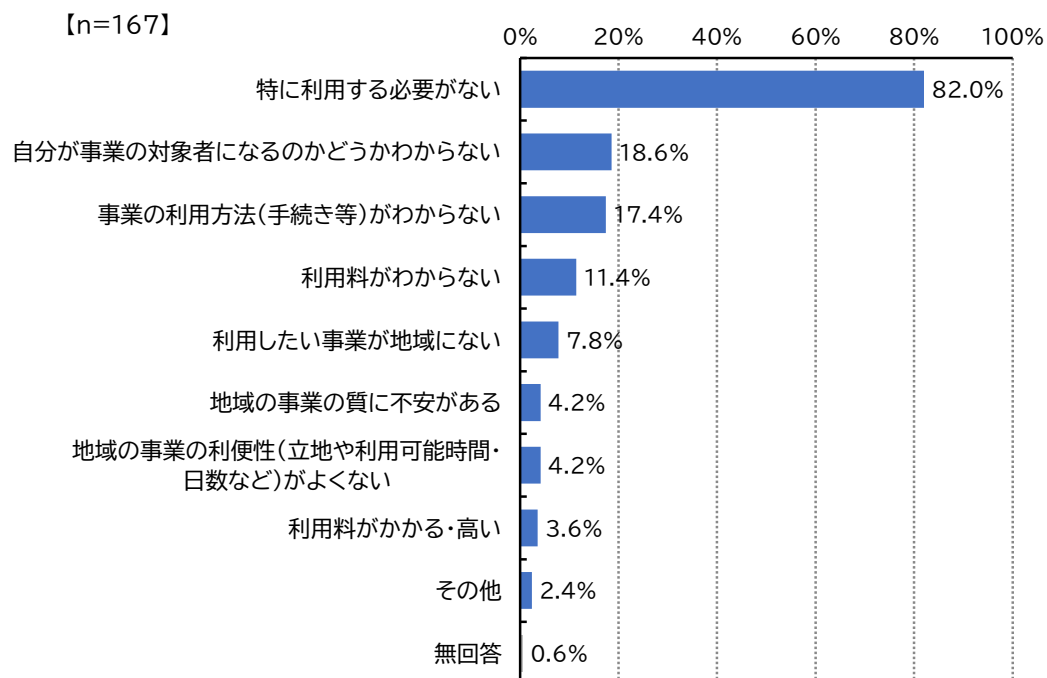
●事業ごとの1年間の利用日数については、次のとおりとなっています。

① 放課後児童クラブの一時利用 【n=5】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用日数</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6日~10日</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>11日~20日</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>21日~30日</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>31日~40日</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>41日~50日</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>51日~100日</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	利用日数	割合 (%)	6日~10日	40.0%	11日~20日	0.0%	21日~30日	0.0%	31日~40日	20.0%	41日~50日	20.0%	51日~100日	20.0%	無回答	0.0%	②ファミリー・サポート・センター 【n=2】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用日数</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>10日</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	利用日数	割合 (%)	1日	50.0%	10日	50.0%	無回答	0.0%
利用日数	割合 (%)																								
6日~10日	40.0%																								
11日~20日	0.0%																								
21日~30日	0.0%																								
31日~40日	20.0%																								
41日~50日	20.0%																								
51日~100日	20.0%																								
無回答	0.0%																								
利用日数	割合 (%)																								
1日	50.0%																								
10日	50.0%																								
無回答	0.0%																								
③夜間養護等事業 ※回答者なし	④ベビーシッター ※回答者なし																								
⑤その他 ※回答者なし																									

(2) 不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由

問 19-1 【問 19 で「6. 利用していない」に○をつけた方のみ】

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



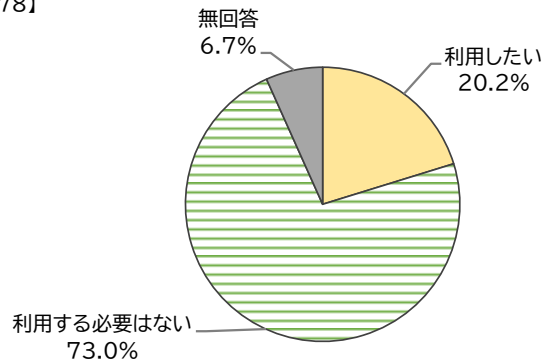
不定期の教育・保育の事業を利用していないと回答した 167 人に、その理由を尋ねると、「特に利用する必要がない」が 82.0%と最も多く、次いで「自分が事業の対象者になるのかわからない」(18.6%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(17.4%)、「利用料がわからない」(11.4%)、「利用したい事業が地域にない」(7.8%)と続いています。

(3) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望

問 20 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
(あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は□内に日数の合計と目的別の内訳の日数を記入)

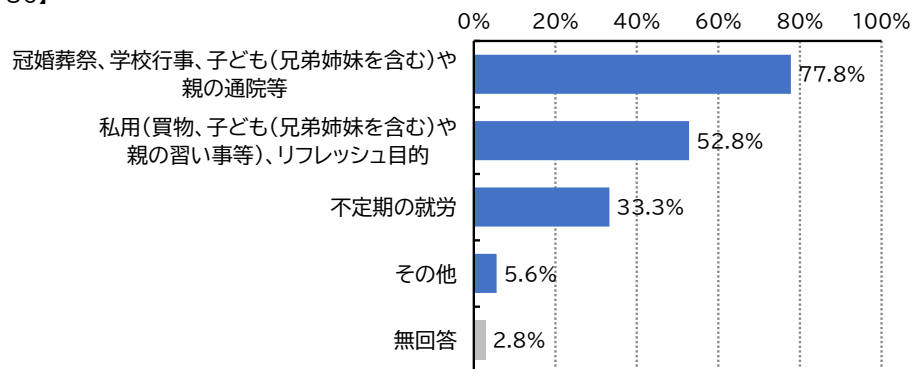
■利用希望

【n=178】



■不定期の教育・保育事業を利用したい目的

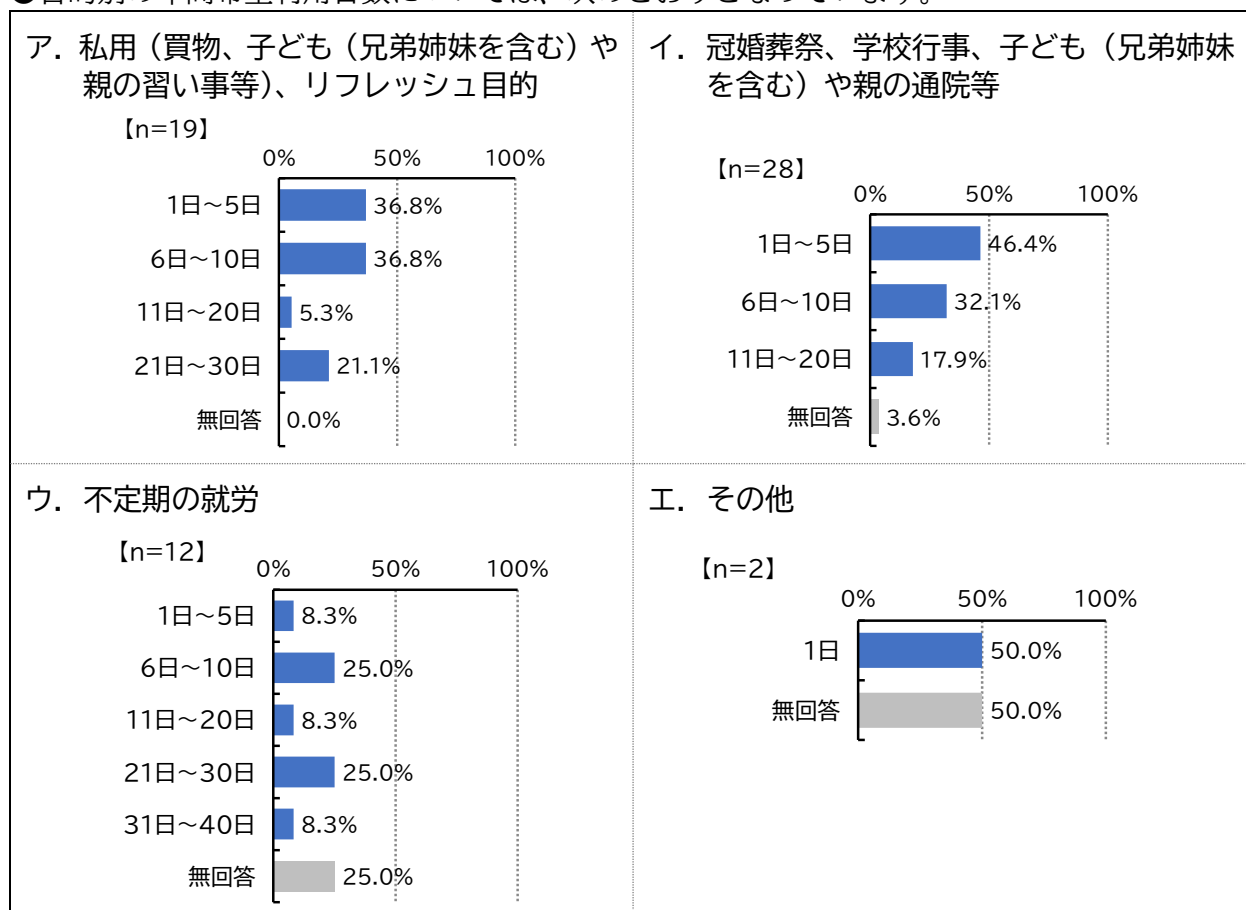
【n=36】



私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思うかは、「利用したい」が20.2%、「利用する必要はない」が73.0%となっています。

また、不定期の教育・保育事業の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が77.8%と最も多く、次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(52.8%)、「不定期の就労」(33.3%)と続いています。

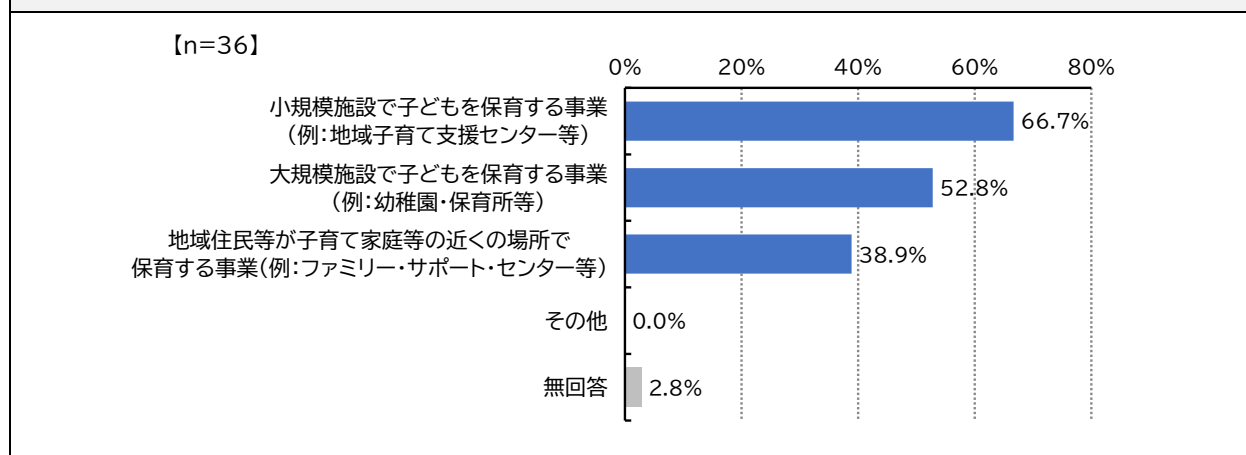
●目的別の年間希望利用日数については、次のとおりとなっています。



（４）不特定の教育・保育事業の望ましいと思われる事業形態

問 20－1 【問 20 で「１．利用したい」に○をつけた方のみ】

問 20 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
（あてはまるものすべてに○）



不特定の教育・保育事業を「利用したい」と回答した 36 人に、望ましい事業形態を尋ねると、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援センター等）」が 66.7%と最も多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」（52.8%）、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」（38.9%）と続いています。

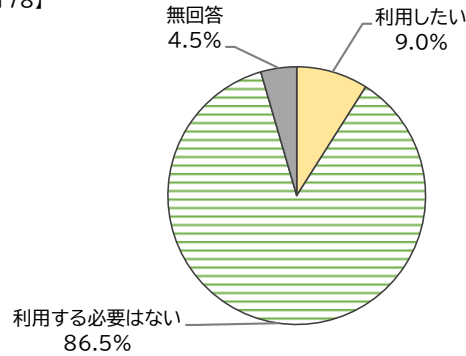
(5) 短期入所生活援助事業の利用希望

問 21 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（きょうだい含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業の利用希望をお答えください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

（あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は□内に泊数の合計と目的別の内訳の泊数を記入）

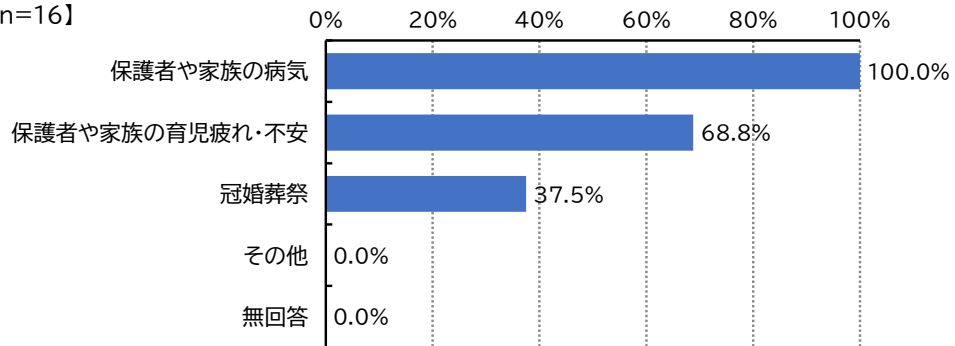
■利用希望

【n=178】



■短期入所生活援助事業を利用したい目的

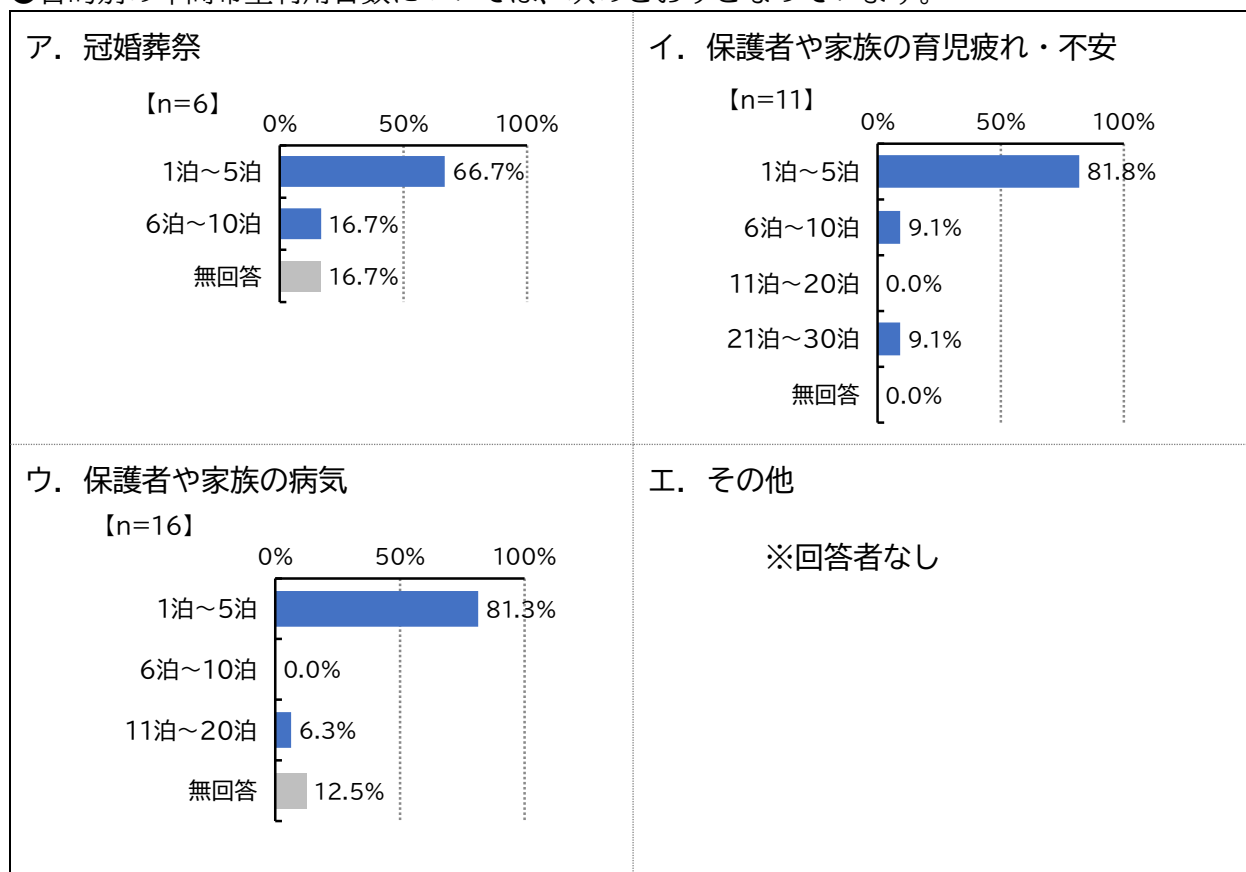
【n=16】



短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用したい」が 9.0%、「利用する必要はない」が 86.5%となっています。

また、短期入所生活援助事業を「利用したい」と回答した 16 人に、利用目的を尋ねると、「保護者や家族の病気」が 100.0%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(68.8%)、「冠婚葬祭」(37.5%)となっています。

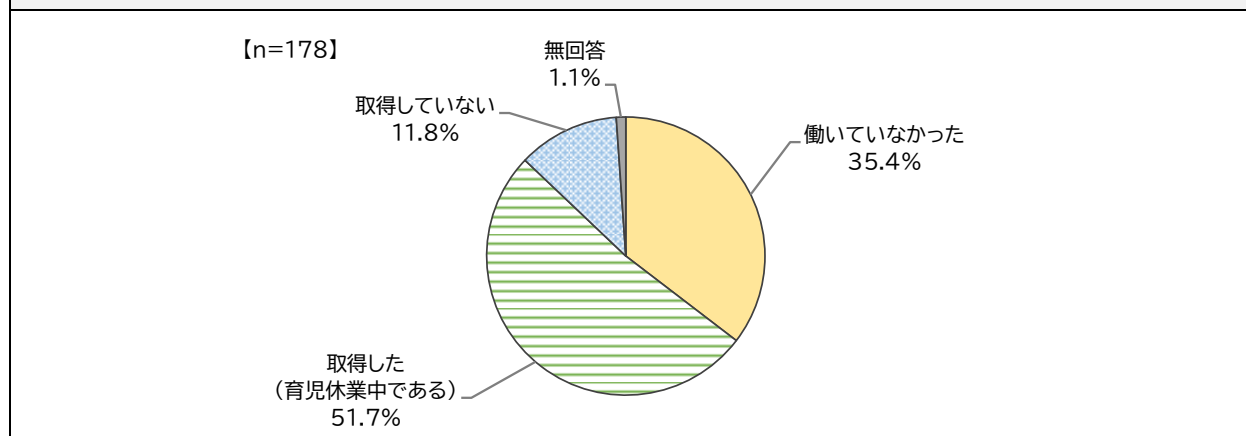
●目的別の年間希望利用日数については、次のとおりとなっています。



9 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 母親の育児休業取得状況

問 22 お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(それぞれ1つに○)



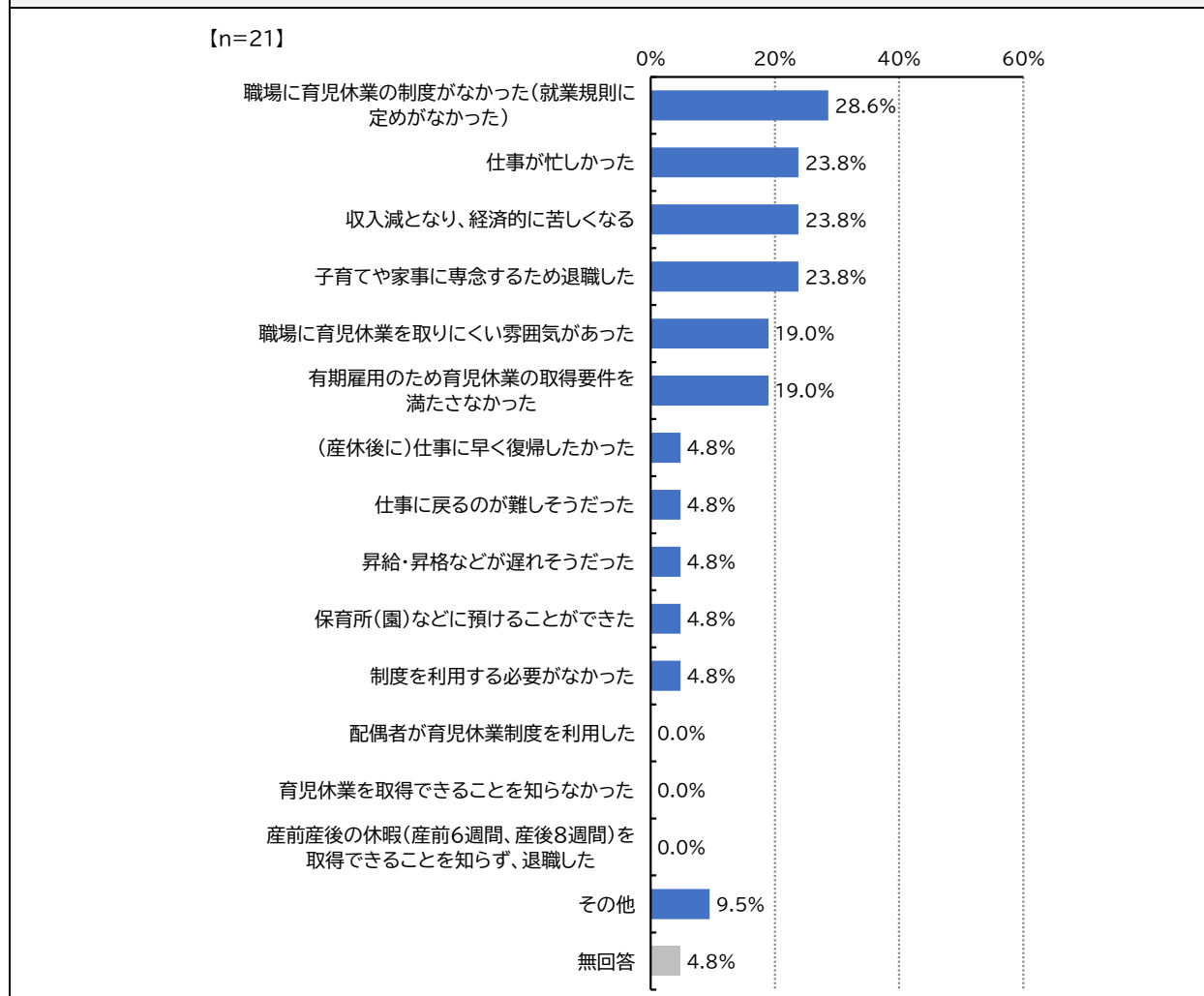
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中である）」が 51.7%、「取得していない」が 11.8%となっています。

なお、35.4%は「働いていなかった」と回答しています。

(2) 母親が育児休業を取得していない理由

問 22-1 【問 22 で「3. 取得していない」に○をつけた方のみ】

取得していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

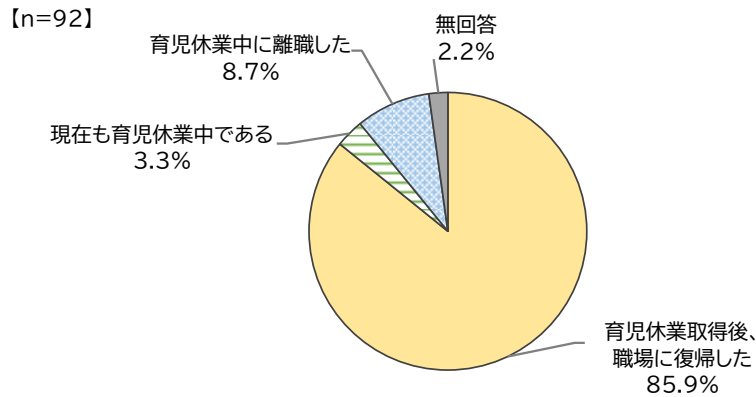


育児休業を取得していない母親 21 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 28.6%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」（いずれも 23.8%）と続いています。

(3) 母親の育児休業後の職場復帰

問 22-2 【問 22 で「2. 取得した（育児休業中である）」に○をつけた方のみ】

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1 つに○)



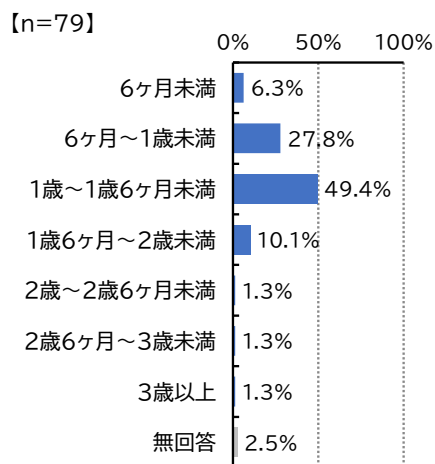
育児休業を取得した母親 92 人に、育児休業取得後、職場に復帰したかを尋ねると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 85.9%と最も多く、次いで「育児休業中に離職した」(8.7%)、「現在も育児休業中である」(3.3%)となっています。

(4) 母親の職場復帰時期

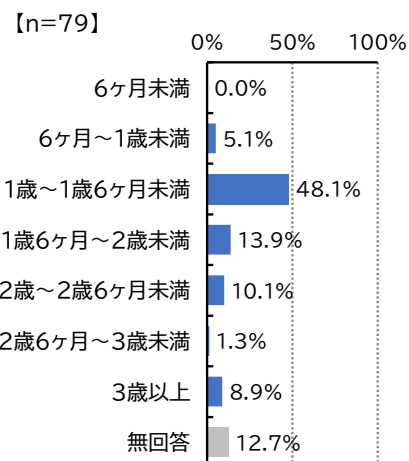
問 22-3 【問 22-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(□内に実際と希望の復帰時期を記入)

・ 実際に復帰した時期



・ 希望の復帰時期

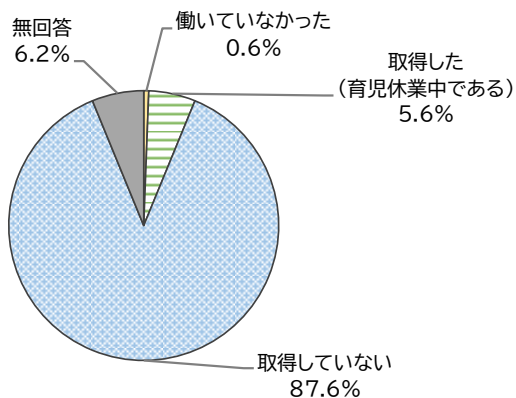


育児休業後に職場復帰した母親 79 人に、実際に復帰した時期と、希望の復帰時期を尋ねると、実際に復帰した時期は、「1歳～1歳6ヶ月未満」が 49.4%と最も多く、希望の復帰時期も「1歳～1歳6ヶ月未満」が 48.1%と最も多くなっています。

(5) 父親の育児休業取得状況

問 23 お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。(それぞれ1つに○)

【n=178】



母親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中である）」が5.6%、「取得していない」が87.6%となっています。

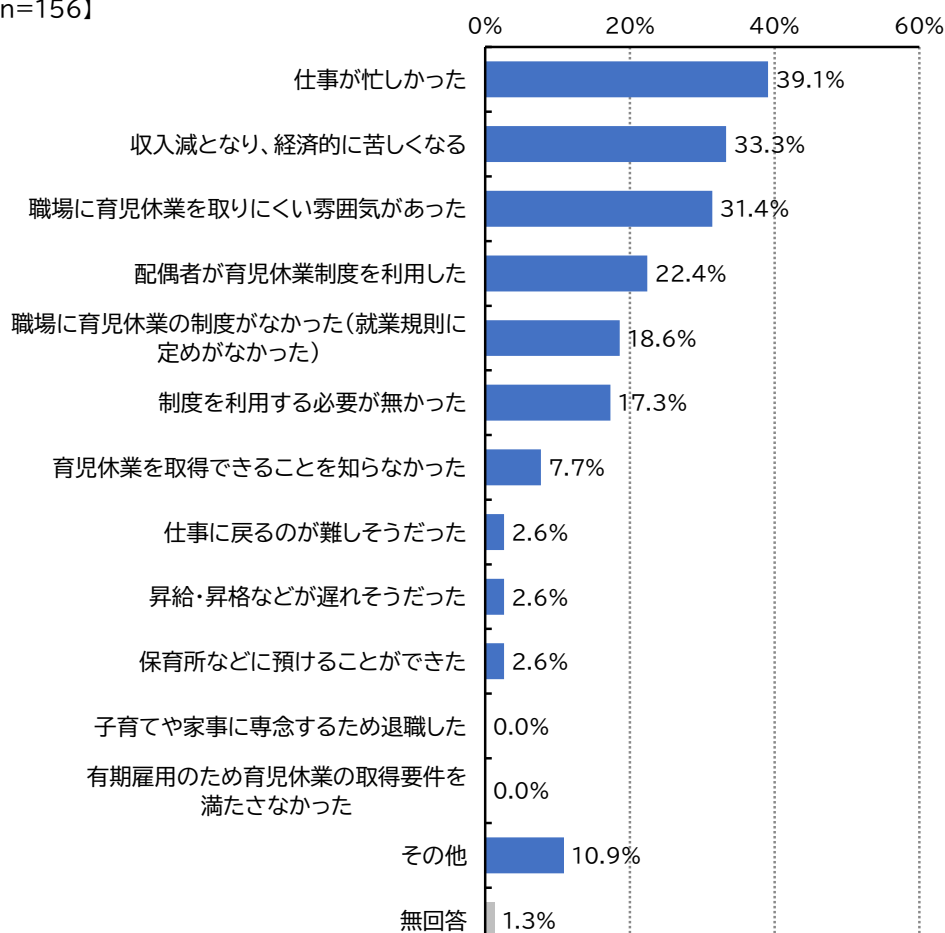
なお、0.6%は「働いていなかった」と回答しています。

(6) 父親が育児休業を取得していない理由

問 23-1 【問 23 で「3. 取得していない」に○をつけた方のみ】

取得していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【n=156】



育児休業を取得していない父親 156 人に、取得しなかった理由を尋ねると、「仕事が忙しかった」が 39.1%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」(33.3%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(31.4%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(22.4%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(18.6%)と続いています。

(7) 父親の育児休業後の職場復帰

問 23-2 【問 23 で「2. 取得した(育児休業中である)」に○をつけた方のみ】

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1 つに○)

回答者 10 人 「育児休業取得後、職場に復帰した」(10 人、100.0%)

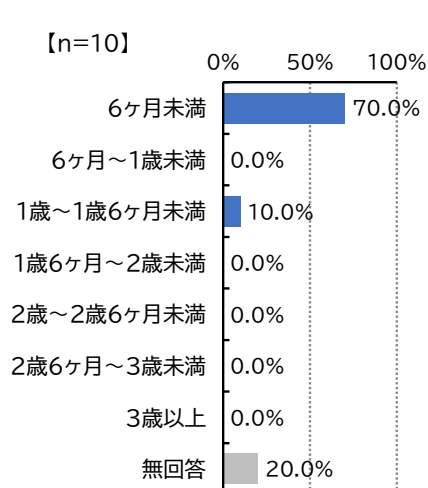
育児休業を取得した父親 10 人に、育児休業取得後、職場に復帰したかを尋ねると、全員が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答しています。

(8) 父親の職場復帰時期

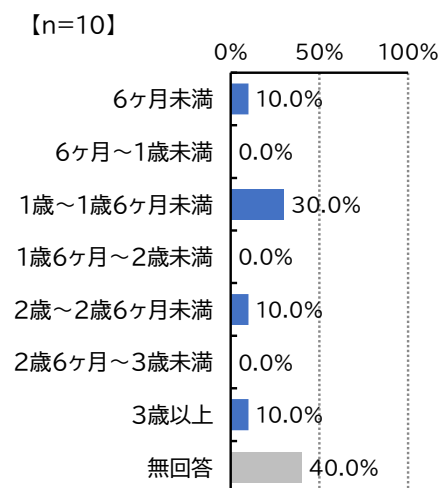
問 23-3 【問 23-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(□内に実際と希望の復帰時期を記入)

・ 実際に復帰した時期



・ 希望の復帰時期



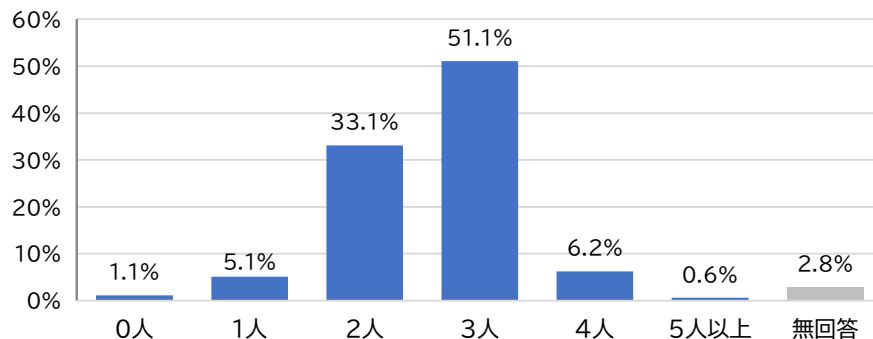
育児休業後に職場復帰した父親 10 人に、実際に復帰した時期と、希望の復帰時期を尋ねると、実際に復帰した時期は、「6ヶ月未満」が 70.0%と最も多く、希望の復帰時期は「1歳～1歳6ヶ月未満」が 30.0%と最も多くなっています。

12 子育て環境などについて

(1) 理想の子どもの人数

問 24 理想的な子どもの人数を教えてください。(1つに○)

【n=178】

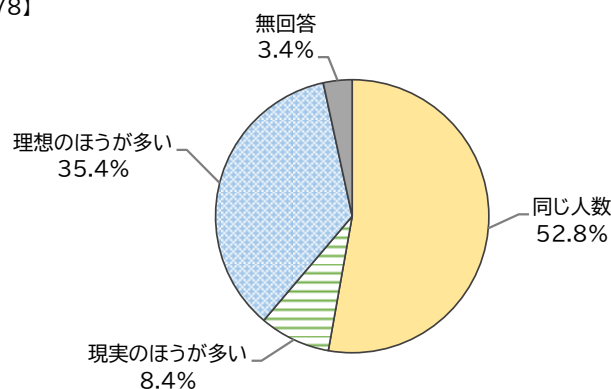


理想の子どもの人数は、「3人」が51.1%と最も多く、次いで「2人」(33.1%)、「4人」(6.2%)、「1人」(5.1%)、「0人」(1.1%)と続いています。

(2) 理想と現実の子どもの人数

問 25 子ども的人数について、理想と現実には差がありますか。(1つに○)

【n=178】

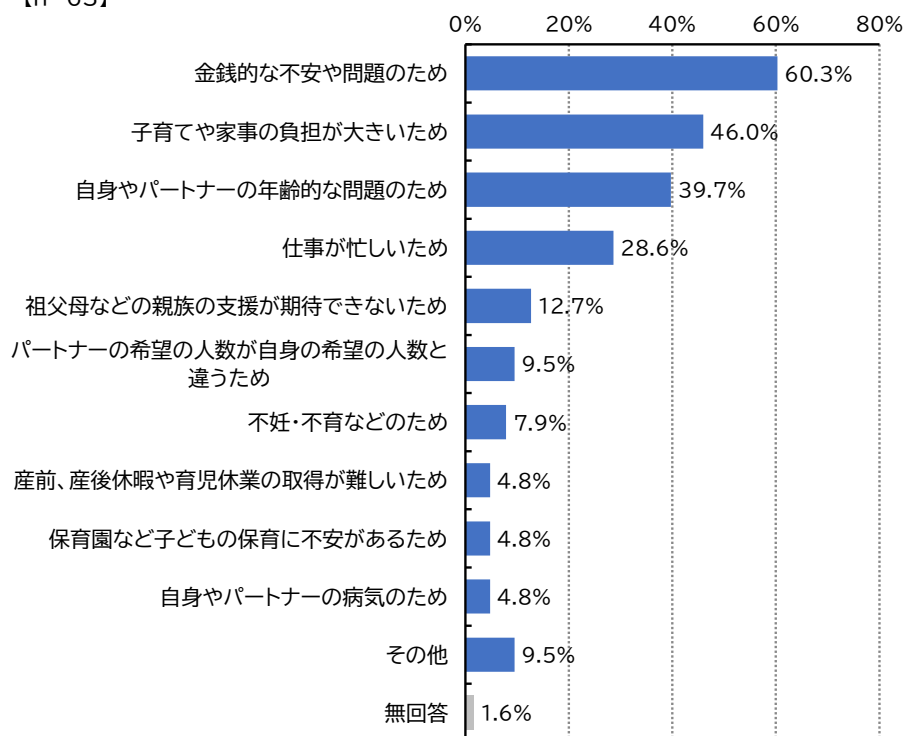


子ども的人数について、理想と現実には差があるかは、「同じ人数」が52.8%と最も多く、次いで「理想のほうが多い」(35.4%)、「現実のほうが多い」(8.4%)となっています。

問 25－1 【問 25 で「3. 理想のほうが多い」に○をつけた方のみ】

理想のほうが多いと回答した理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

【n=63】



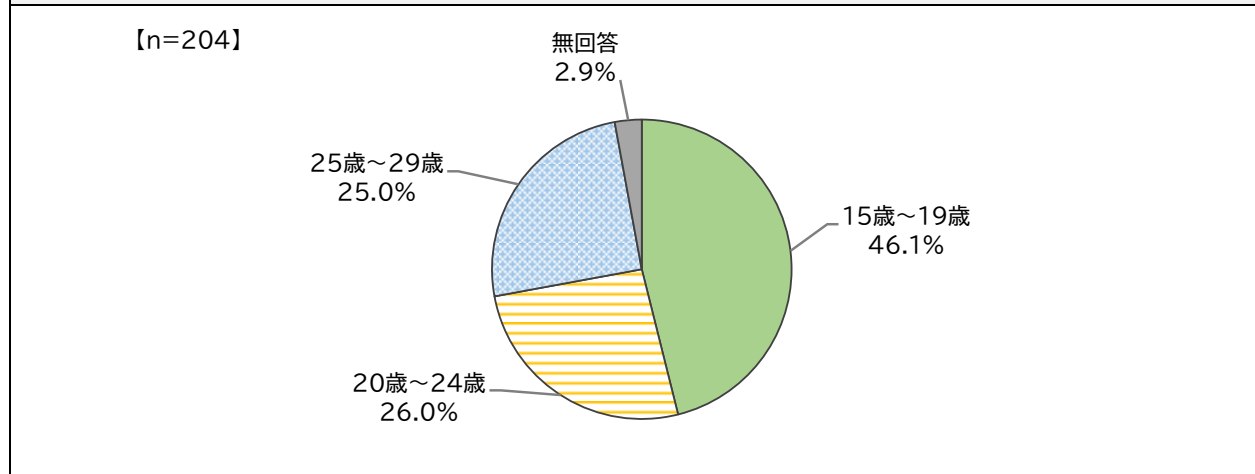
理想の現実の子どもの人数で、理想の方が多いと回答した 63 人にその理由を尋ねると、「金銭的な不安や問題のため」が 60.3%と最も多く、次いで「子育てや家事の負担が大きい」(46.0%)、「自身やパートナーの年齢的な問題のため」(39.7%)、「仕事が忙しいため」(28.6%)、「祖父母などの親族の支援が期待できないため」(12.7%)と続いています。

Ⅲ 「こども・若者意識調査」 調査結果

1 あなたの状況について

(1) 年齢

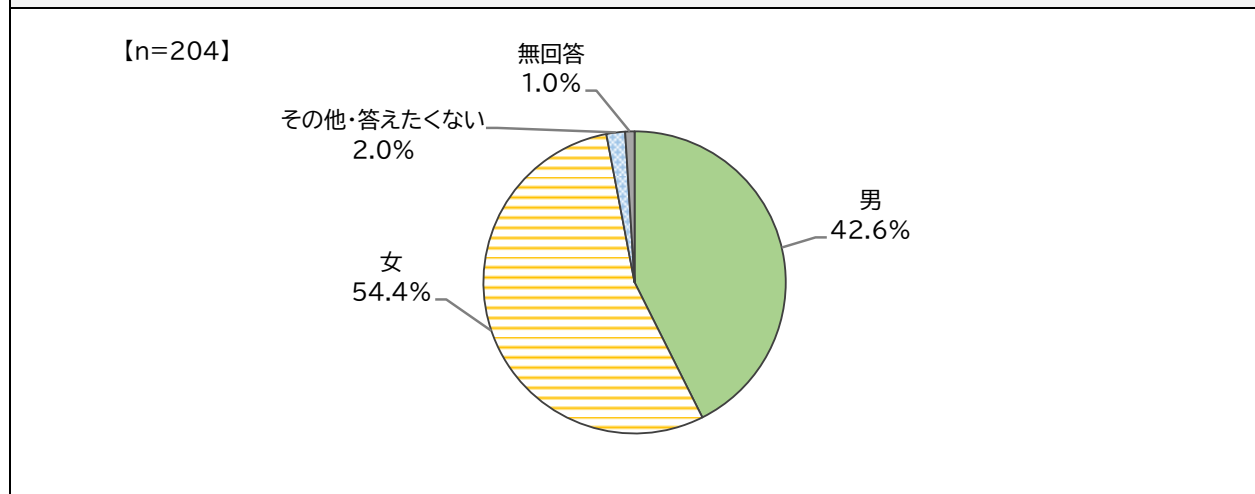
問1 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)



回答者の年齢は、「15歳～19歳」が46.1%、「20歳～24歳」が26.0%、「25歳～29歳」が25.0%となっています。

(2) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

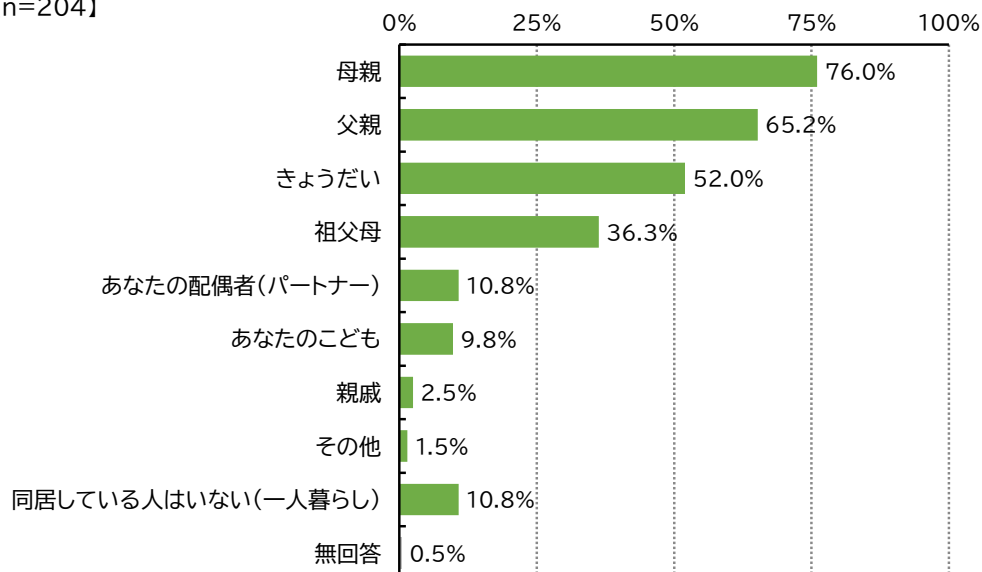


回答者の性別は、「男」が42.6%、「女」が54.4%、「その他・答えたくない」が2.0%となっています。

(3) 同居している方

問3 現在、あなたが一緒に住んでいる人をすべて選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

【n=204】

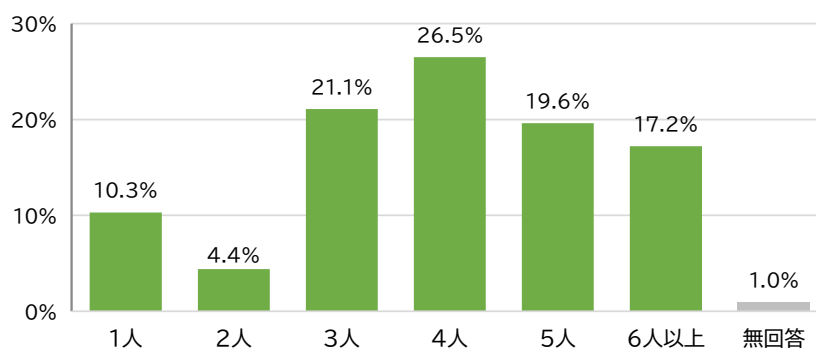


回答者と同居している方は、「母親」が 76.0%と最も多く、次いで「父親」(65.2%)、「きょうだい」(52.0%)、「祖父母」(36.3%)、「あなたの配偶者(パートナー)」(10.8%)、「あなたのこども」(9.8%)、「親戚」(2.5%)となっています。

また、「同居している人はいない(一人暮らし)」は 10.8%となっています。

問4 一緒に住んでいる家族は何人ですか。(数字を記入)

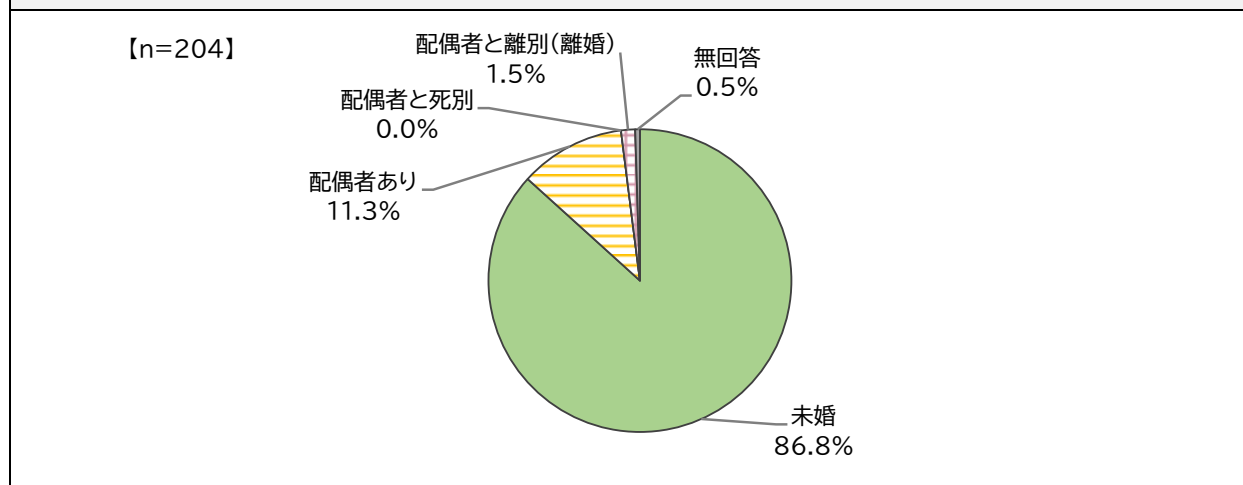
【n=204】



一緒に住んで切る家族の人数は、「4人」が 26.5%と最も多く、次いで「3人」(21.1%)、「5人」(19.6%)、「6人以上」(17.2%)、「1人」(10.3%)、「2人」(4.4%)となっています。

(4) 現在の婚姻状況

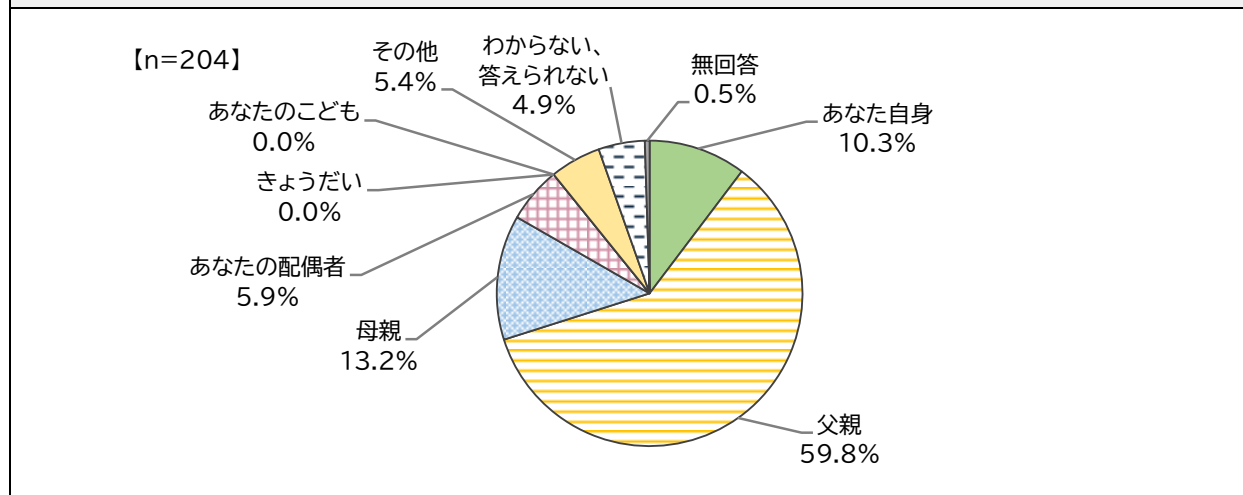
問5 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(1つに○)



調査票の婚姻状況は、「未婚」が86.8%、「配偶者あり」が11.3%、「配偶者と離別（離婚）」が1.5%となっています。

(5) 生計を支えている方について

問5 生計を支えている方は主にどなたですか。(1つに○)



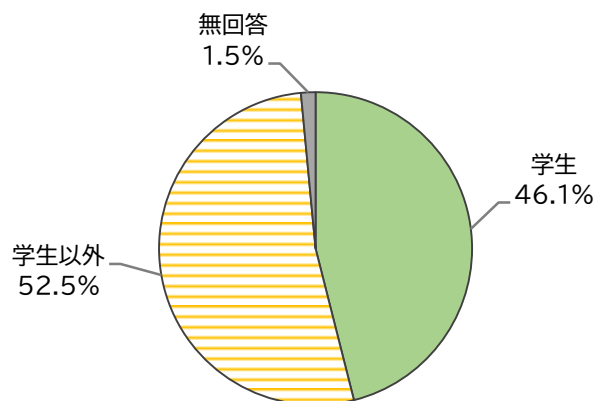
生計を支えている方は、「父親」が59.8%と最も多く、次いで「母親」(13.2%)、「あなた自身」(10.3%)、「あなたの配偶者」(5.9%)と続いています。

また、「わからない、答えられない」は4.9%となっています。

(6) 現在の職業や学校について

問7 あなたは現在、学生ですか。(1つに○)

【n=204】

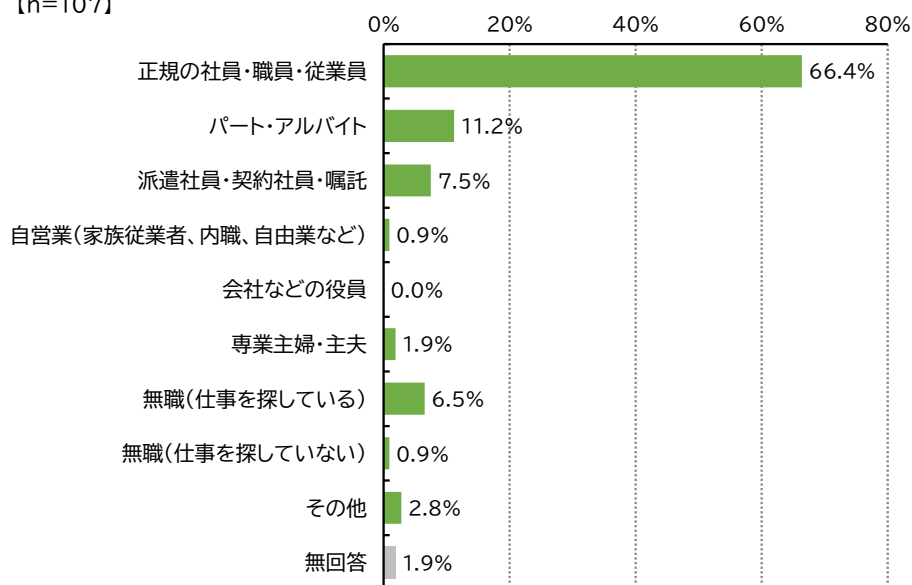


現在、学生かどうかは、「学生」が46.1%、「学生以外」が52.5%となっています。

問8 【問7で「2.」に○をつけた方にうかがいます】

あなたの現在の仕事をお答えください。(1つに○)

【n=107】



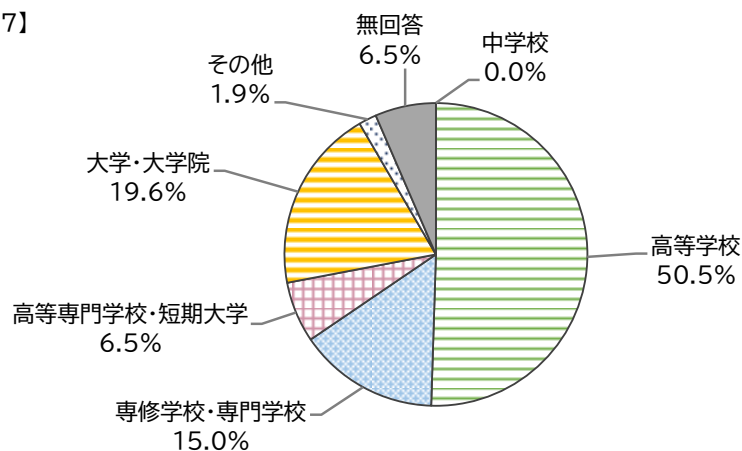
学生以外の107名に、現在の仕事を尋ねたところ、「正規の社員・職員・従業員」が66.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」(11.2%)、「派遣社員・契約社員・嘱託」(7.5%)、「無職(仕事を探している)」(6.5%)などと続いています。

また、「無職(仕事を探していない)」は0.9%となっています。

問9 【問7で「2.」に○をつけた方にうかがいます】

あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。（1つに○）

【n=107】



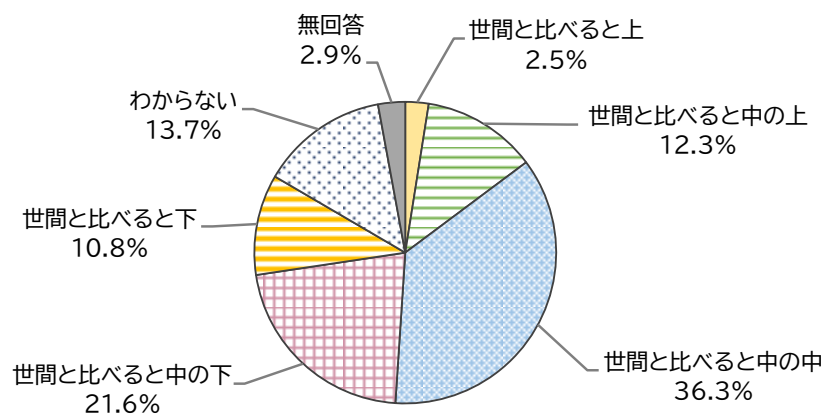
学生以外の107人に、最終学歴を尋ねたところ、「高等学校」が50.5%と最も多く、次いで「大学・大学院」（19.6%）、「専修学校・専門学校」（15.0%）、「高等専門学校・短期大学」（6.5%）と続いています。

2 あなたの暮らしについて

（1）生活水準について

問10 あなたの現在の生活水準は、世間一般と比べて、上から下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。（1つに○）

【n=204】

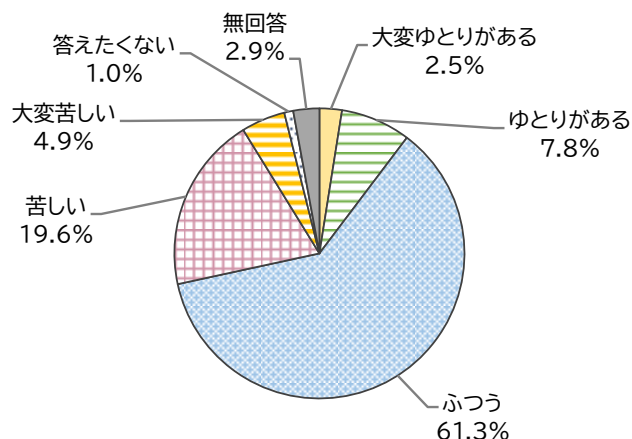


回答者の生活水準についてどう思うかは、「世間と比べると中の中」が36.3%と最も多く、次いで「世間と比べると中の下」（21.6%）、「わからない」（13.7%）、「世間と比べると中の上」（12.3%）、「世間と比べると下」（10.8%）、「世間と比べると上」（2.5%）と続いています。

(2) 生活状況について

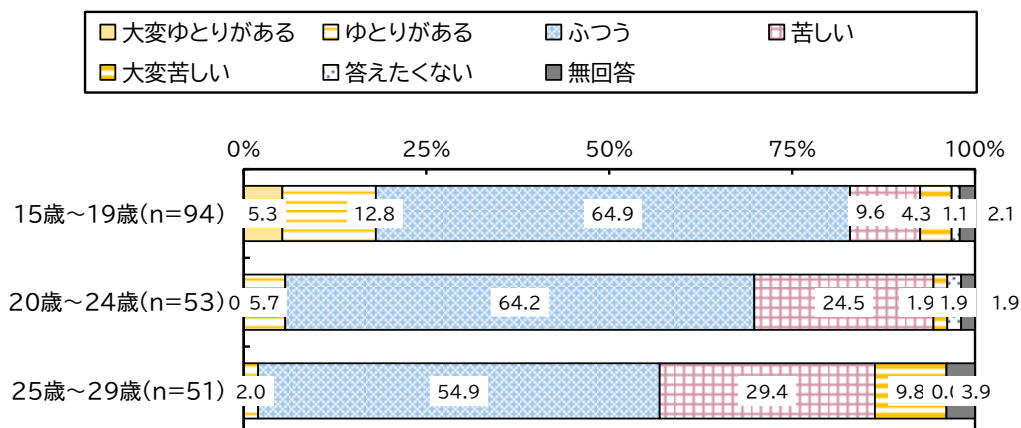
問 11 あなたは、現在の生活状況をどのように感じていますか。（1つに○）

【n=204】



現在の生活状況は、「ふつう」が61.3%と最も多く、次いで「苦しい」（19.6%）、「ゆとりがある」（7.8%）、「大変苦しい」（4.9%）、「大変ゆとりがある」（2.5%）と続いています。『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」の合計）は24.5%となっています。

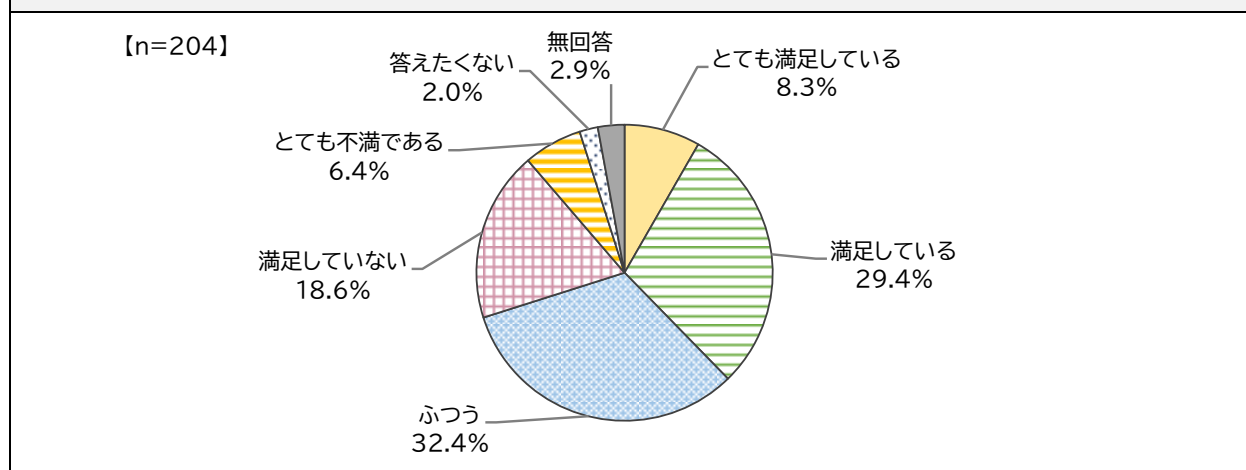
《年齢別》生活状況について



現在の生活状況について、年齢別に、『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」の合計）の割合をみると、「25歳～29歳」が39.2%と最も多く、次いで「20歳～24歳」が26.4%、「15歳～19歳」が13.9%となっています。

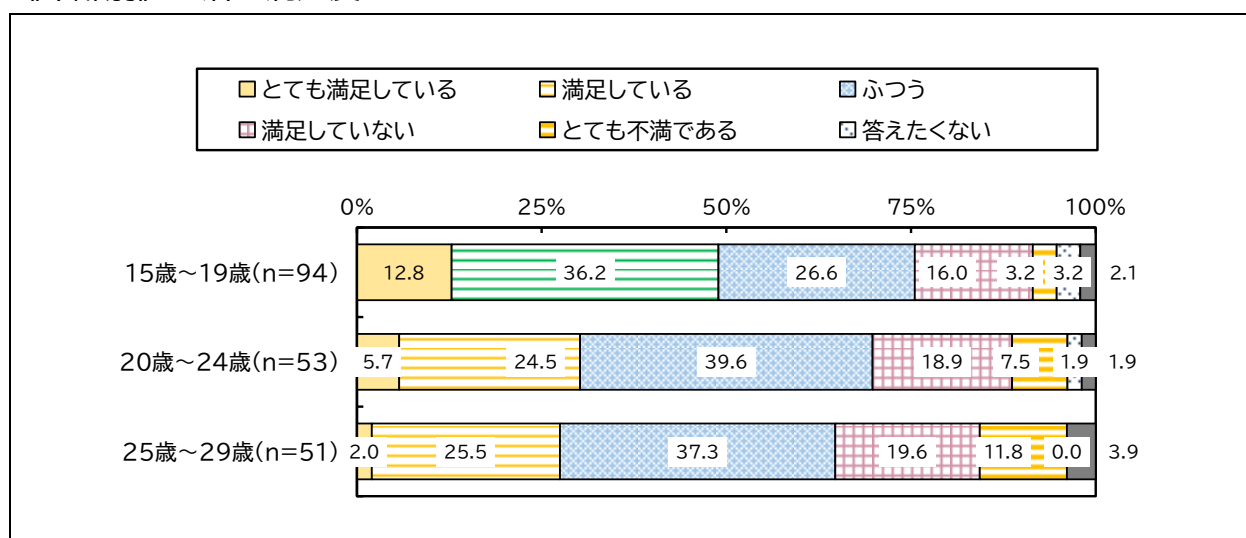
(2) 生活の満足度について

問 12 あなたは、現在の生活に満足していますか。（1つに○）



現在の生活に満足しているかは、「ふつう」が32.4%と最も多く、次いで「満足している」（29.4%）、「満足していない」（18.6%）、「とても満足している」（8.3%）、「とても不満である」（6.4%）と続いています。

《年齢別》生活の満足度について

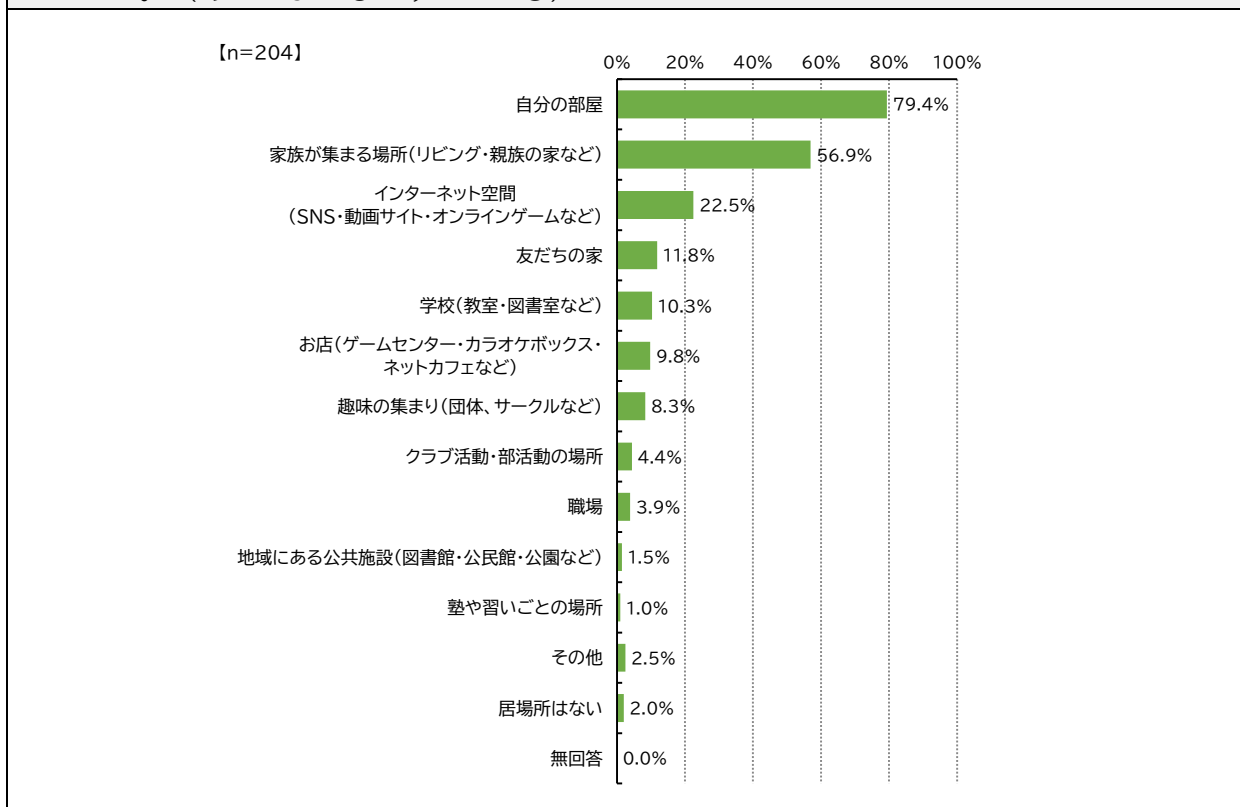


現在の生活に満足しているか、年齢別に『不満』（「とても不満である」と「満足していない」の合計）の割合をみると、「25歳～29歳」が31.4%と最も多く、次いで「20歳～24歳」が26.4%、「15歳～19歳」が19.2%となっています。

3 あなたの居場所について

(1) 安心できる場所

問 13 あなたは、「安心できる場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）」がありますか。（あてはまるものすべてに○）



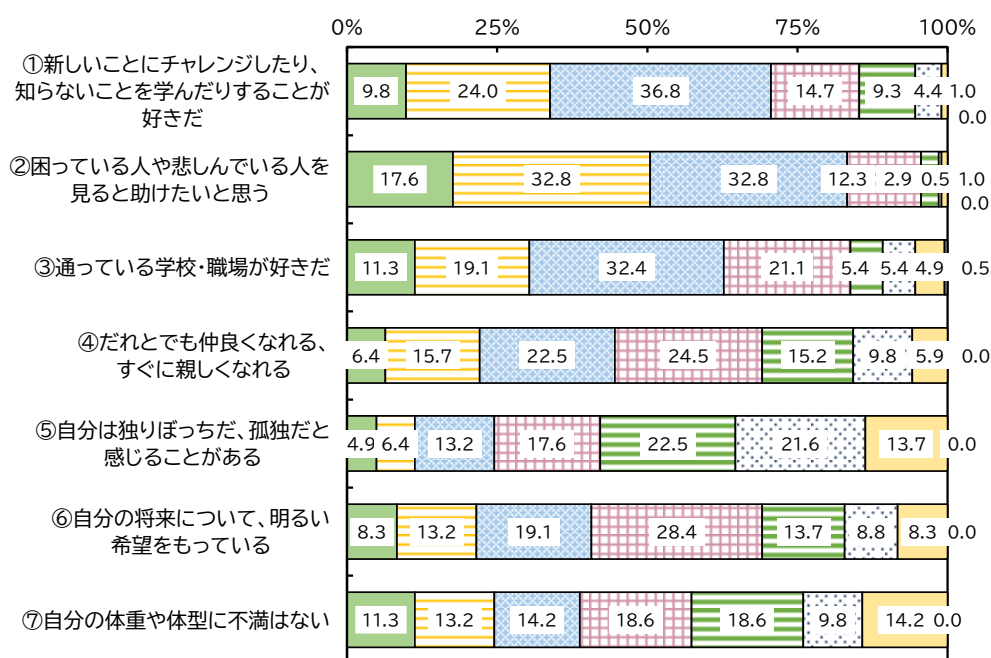
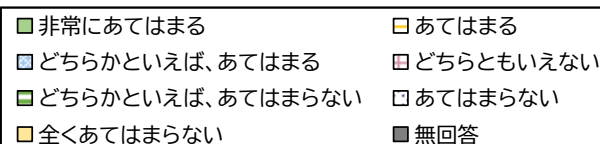
安心できる場所については、「自分の部屋」が79.4%と最も多く、次いで「家族が集まる場所（リビング・親族の家など）」（56.9%）、「インターネット空間（SNS・動画サイト・オンラインゲームなど）」（22.5%）、「友だちの家」（11.8%）、「学校（教室・図書室など）」（10.3%）などと続いています。

4 あなたの日頃の意識と生活について

(1) 自己認識について

問 14 あなたは、自身について次のことはどれくらいあてはまりますか。
(①～⑦それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

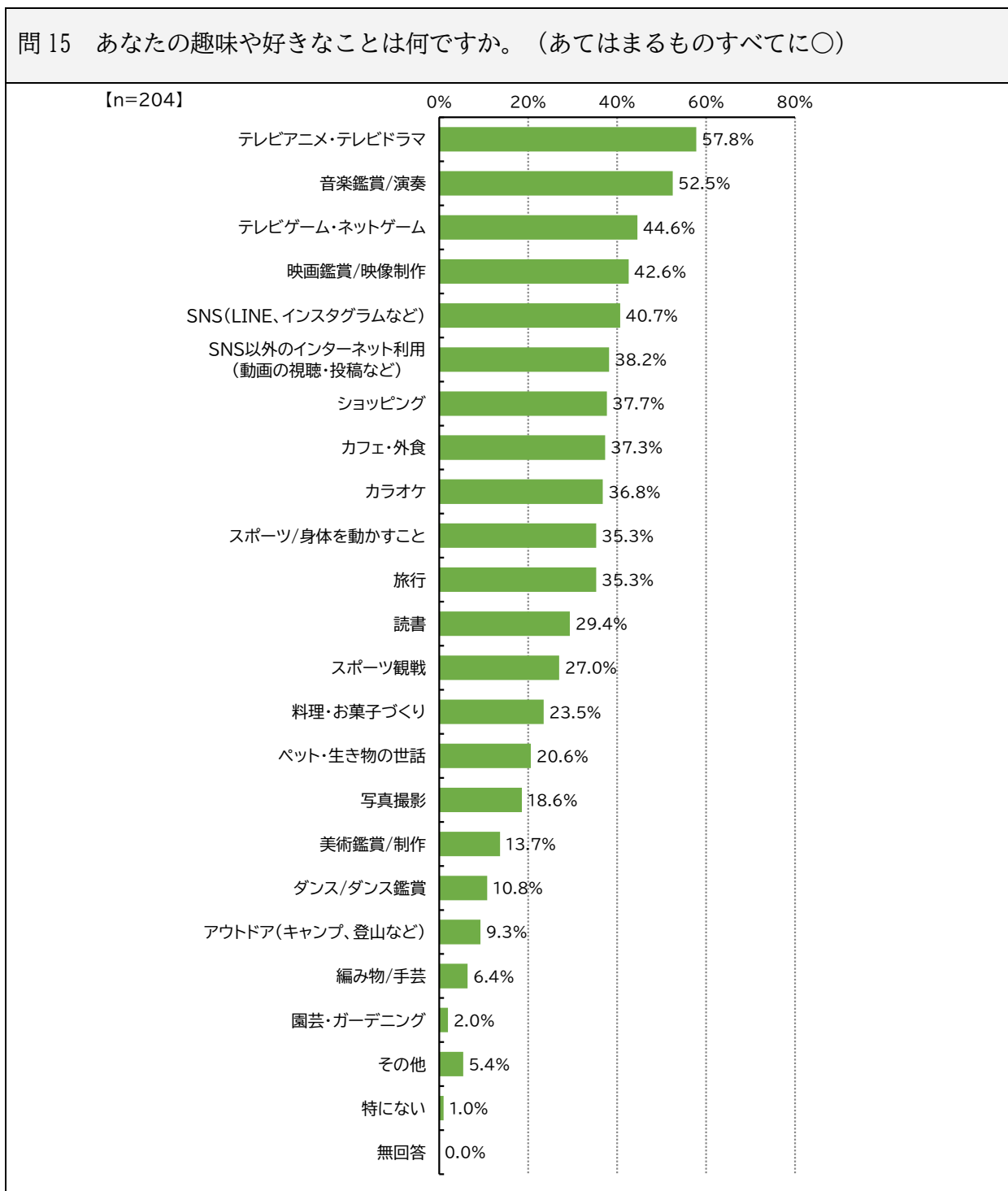
【n=204】



回答者の自己認識について、『あてはまる』（「非常にあてはまる」、「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、「②困っている人や悲しんでいる人を見ると助けたいと思う」が83.2%と最も多く、次いで「①新しいことにチャレンジしたり、知らないことを学んだりすることが好きだ」が70.6%と続いています。

一方で、『あてはまらない』（「全くあてはまらない」、「あてはまらない」、「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）の割合は、「⑤自分は独りぼっちだ、孤独だと感じることもある」が57.8%と最も多く、次いで「⑦自分の体重や体型に不満はない」が42.6%と続いています。

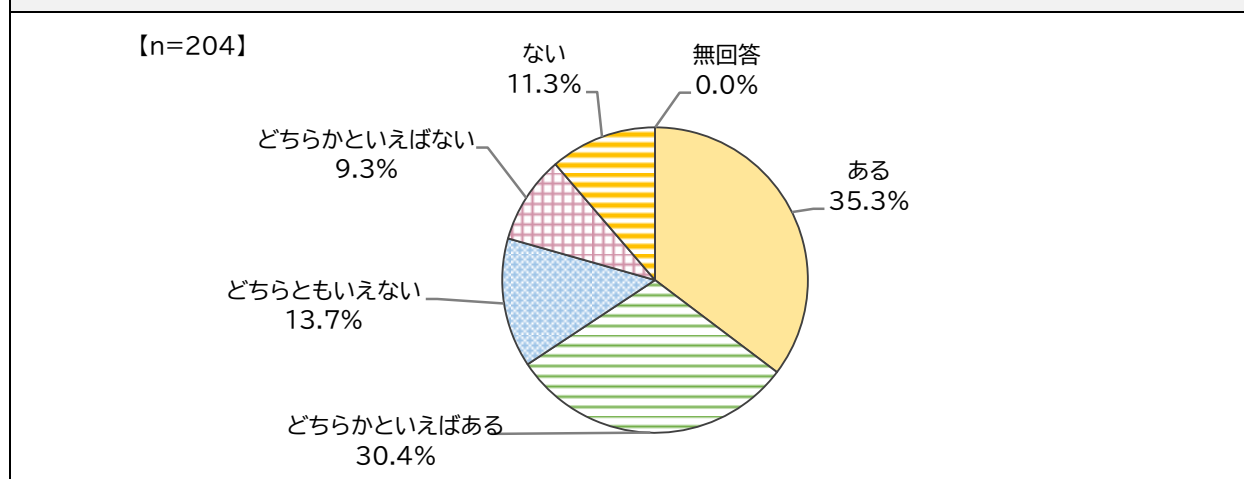
(2) 趣味や好きなこと



趣味や好きなことについては、「テレビアニメ・テレビドラマ」が57.8%と最も多く、次いで「音楽鑑賞/演奏」（52.5%）、「テレビゲーム・ネットゲーム」（44.6%）、「映画鑑賞/映像制作」（42.6%）、「SNS（LINE、インスタグラムなど）」（40.7%）などと続いています。

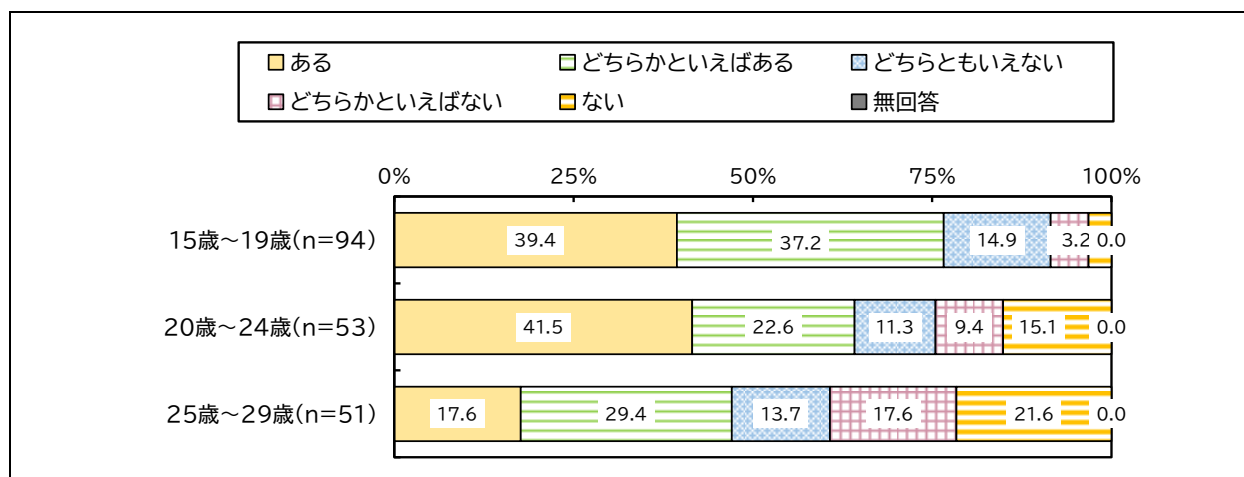
(3) 将来の夢や目標

問 16 あなたは将来の夢や目標がありますか。(1つに○)



将来の夢や目標については、「ある」が 35.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばある」(30.4%)、「どちらともいえない」(13.7%)、「ない」(11.3%)、「どちらかといえばない」(9.3%)となっています。

《年齢別》将来の夢や目標



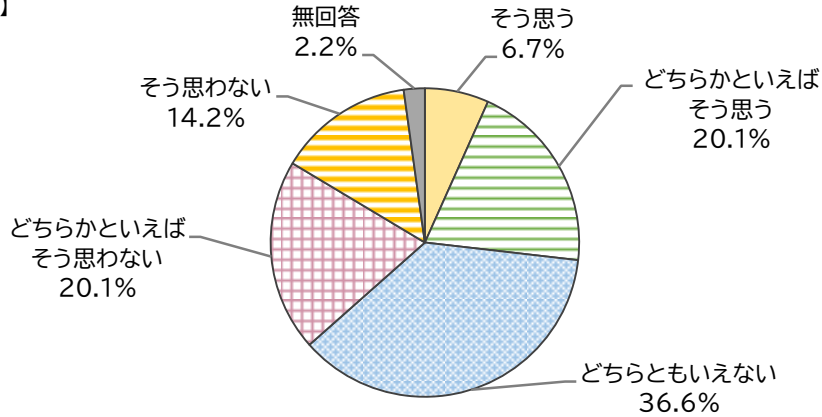
夢や目標があるか、年齢別に『ある』（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）の割合をみると、「15歳～19歳」が76.6%と最も多く、次いで「20歳～24歳」が64.1%、「25歳～29歳」が47.0%となっています。

(4) 三春町は将来の夢や目標をかなえられる場所か

問 17 【問 16 で「1.」「2.」に○をつけた方にうかがいます】

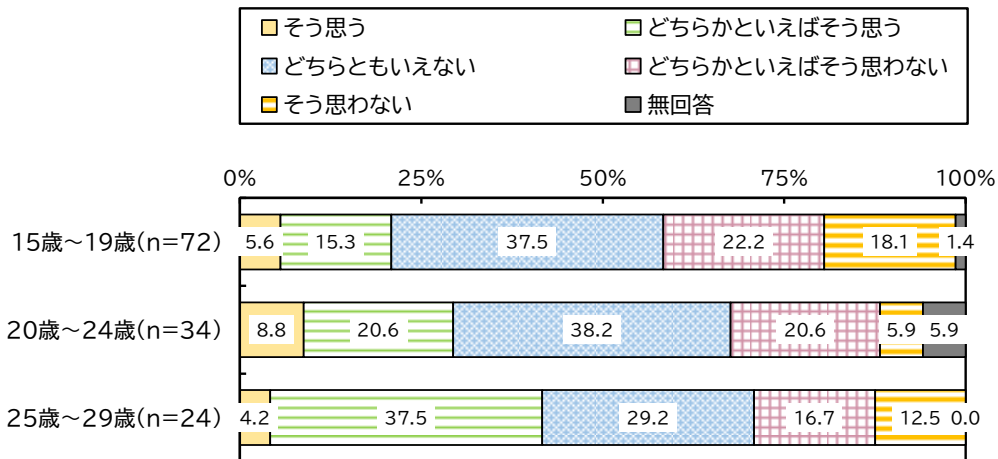
三春町はあなたの将来の夢や目標をかなえられる場所だと思いますか。（1 つに○）

【n=134】



将来の夢や目標があると回答した 134 人に、三春町は夢や目標をかなえられる場所かを尋ねたところ、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）は 26.8%、『思わない』（「思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は 34.3%となっています。

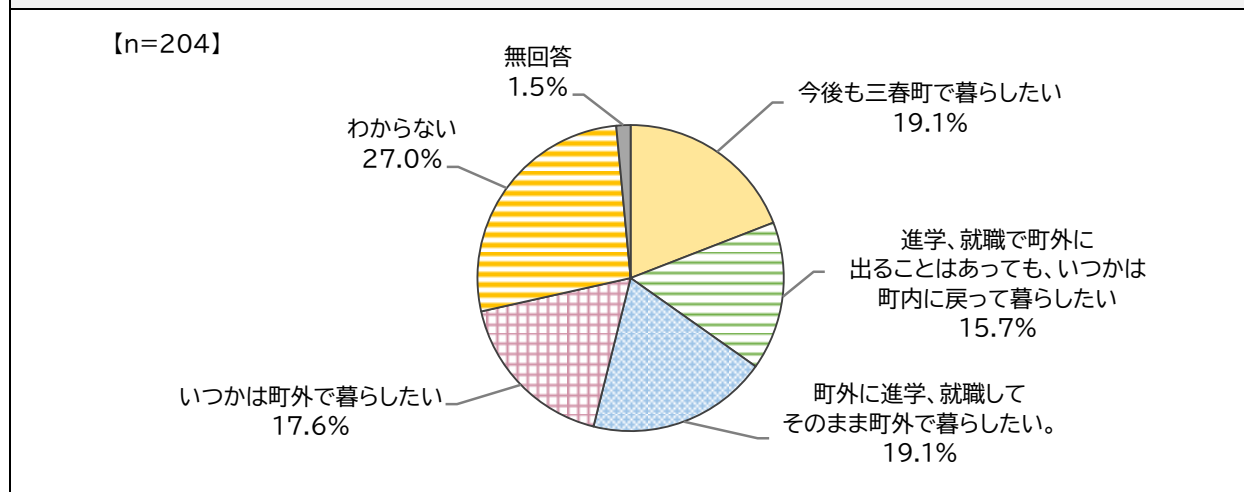
《年齢別》三春町は将来の夢や目標をかなえられる場所か



三春町は夢や目標をかなえられる場所か、年齢別に『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）をみると、「25 歳～29 歳」が 41.7%と最も多く、次いで「20 歳～24 歳」が 29.4%、「15 歳～19 歳」が 20.9%となっています。

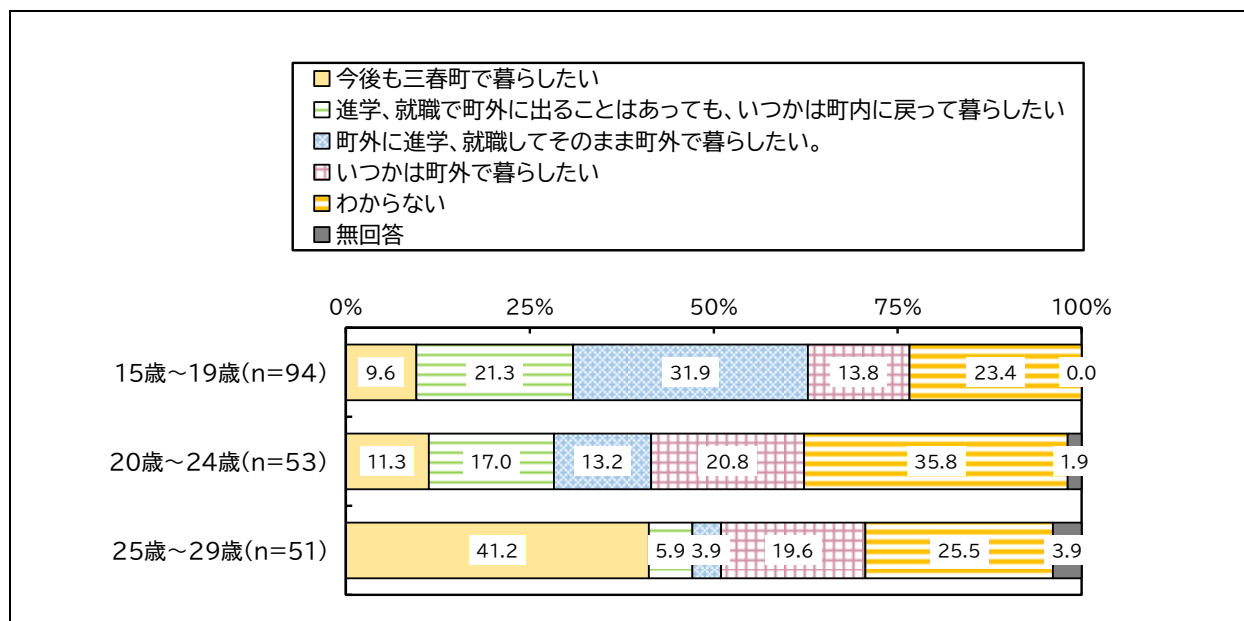
(5) 今後、どこで暮らしたいか

問 18 あなたは今後、どこで暮らしていきたいと思いますか。(1つに○)



今後、どこで暮らしていきたいかは、「わからない」が27.0%と最も多く、次いで「今後も三春町で暮らしたい」(19.1%)、「町外に進学、就職してそのまま町外で暮らしたい。」(19.1%)、「いつかは町外で暮らしたい」(17.6%)、「進学、就職で町外に出ることはあっても、いつかは町内に戻って暮らしたい」(15.7%)と続いています。

《年齢別》今後、どこで暮らしたいか



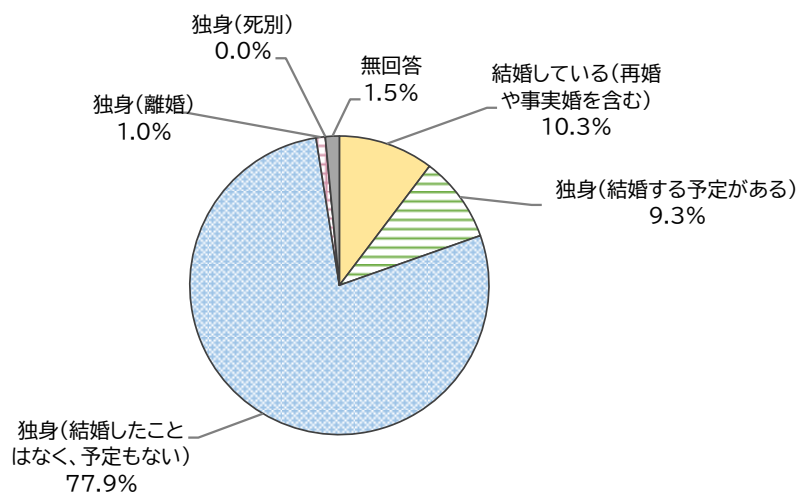
今後どこで暮らしたいかは、「今後も三春町で暮らしたい」の割合をみると「25歳～29歳」が41.2%と最も多く、「20歳～24歳」が11.3%、「15歳～19歳」が9.6%となっています。

5 結婚観について

(1) 既婚・未婚について

問 19 あなたは、次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

【n=204】

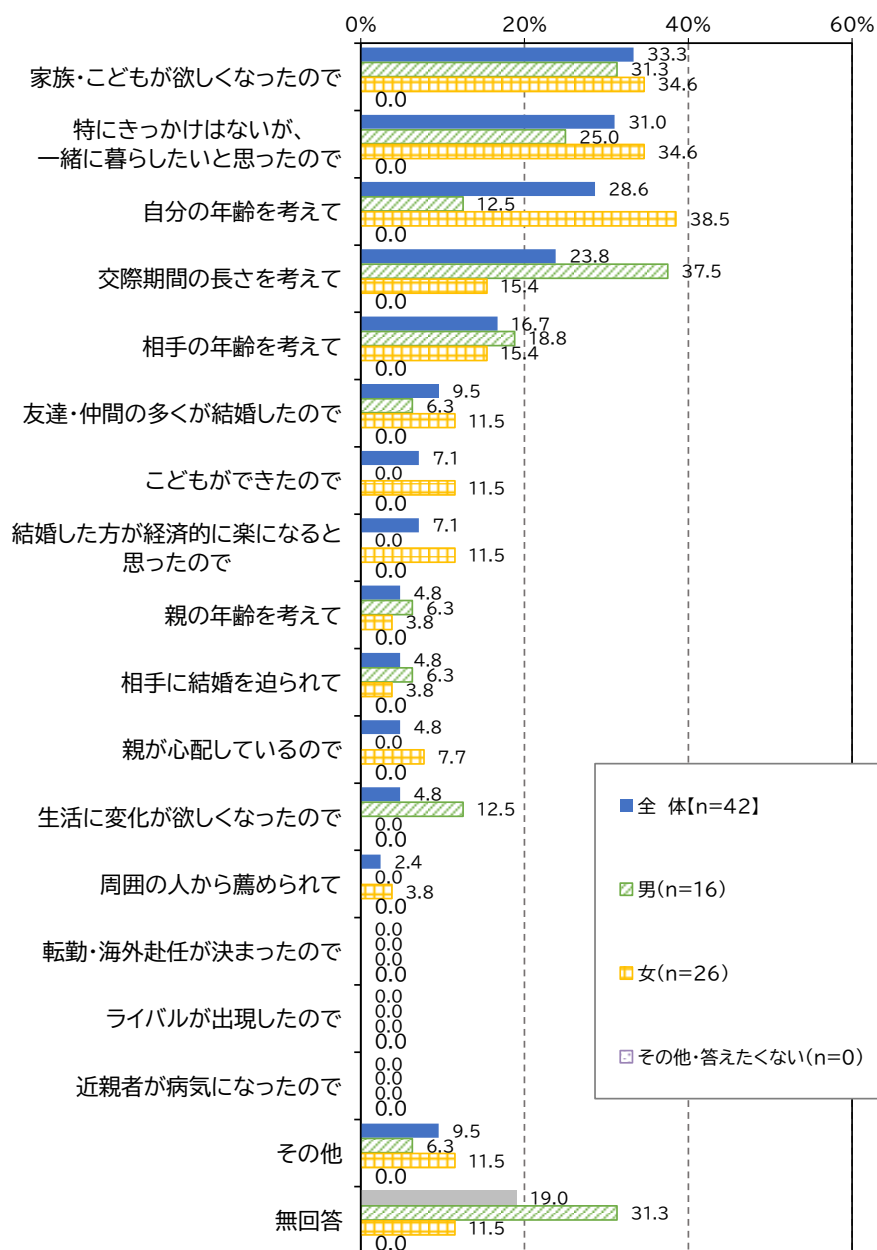


現在の既婚、未婚の状況は、「独身（結婚したことはなく、予定もない）」が77.9%と最も多く、次いで「結婚している（再婚や事実婚を含む）」（10.3%）、「独身（結婚する予定がある）」（9.3%）、「独身（離婚）」（1.0%）と続いています。

(2) 結婚を決めた理由

問19-1 【問19で「3. 独身（結婚したことはなく、予定もない）」以外に○をつけた方にうかがいます】

あなたが結婚を決めたのはどのようなことがきっかけになったからですか。
(あてはまるものすべてに○)



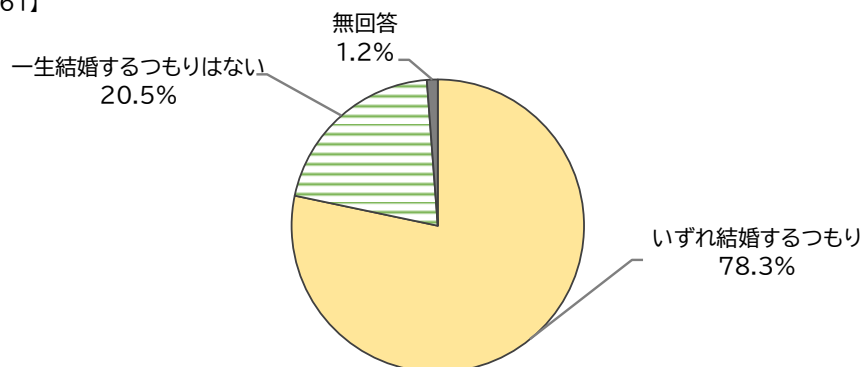
問19で「独身（結婚したことはなく、予定もない）」以外を回答した42人に、結婚を決めたきっかけを尋ねたところ、「家族・こどもが欲しくなったので」が33.3%と最も多く、次いで「特にきっかけはないが、一緒に暮らしたいと思ったので」（31.0%）、「自分の年齢を考えて」（28.6%）、「交際期間の長さを考えて」（23.8%）、「相手の年齢を考えて」（16.7%）と続いています。

(3) 将来、結婚したいと思うか

問 19-2 【問 19で「3. 独身（結婚したことはなく、予定もない）」、「4. 独身（離婚）」、「5. 独身（死別）」に○をつけた方にうかがいます】

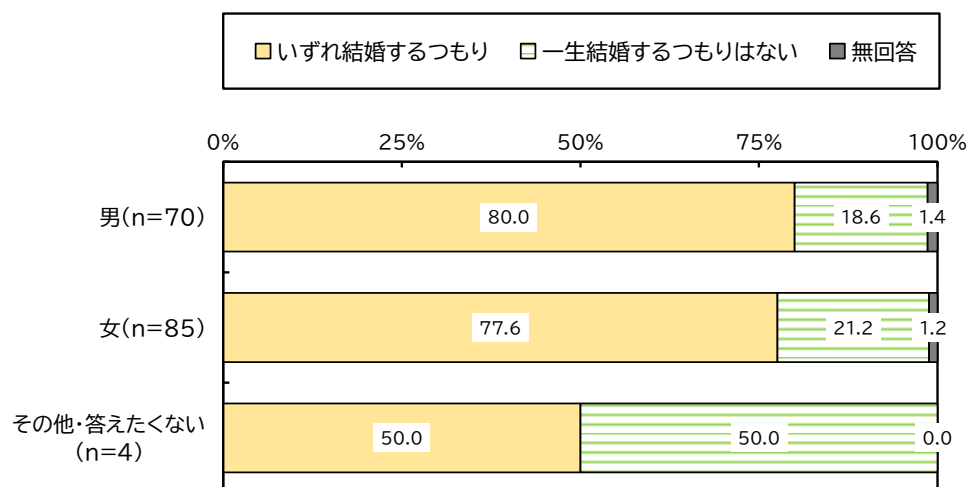
自分の一生を通じて考えた場合、あなたは結婚したいと思いますか。（1つに○）

【n=161】



現在、独身と回答した 161 人に、結婚の希望を尋ねたところ、「いずれ結婚するつもり」が 78.3%、「一生結婚するつもりはない」が 20.5%となっています。

《性別別》将来、結婚したいと思うか

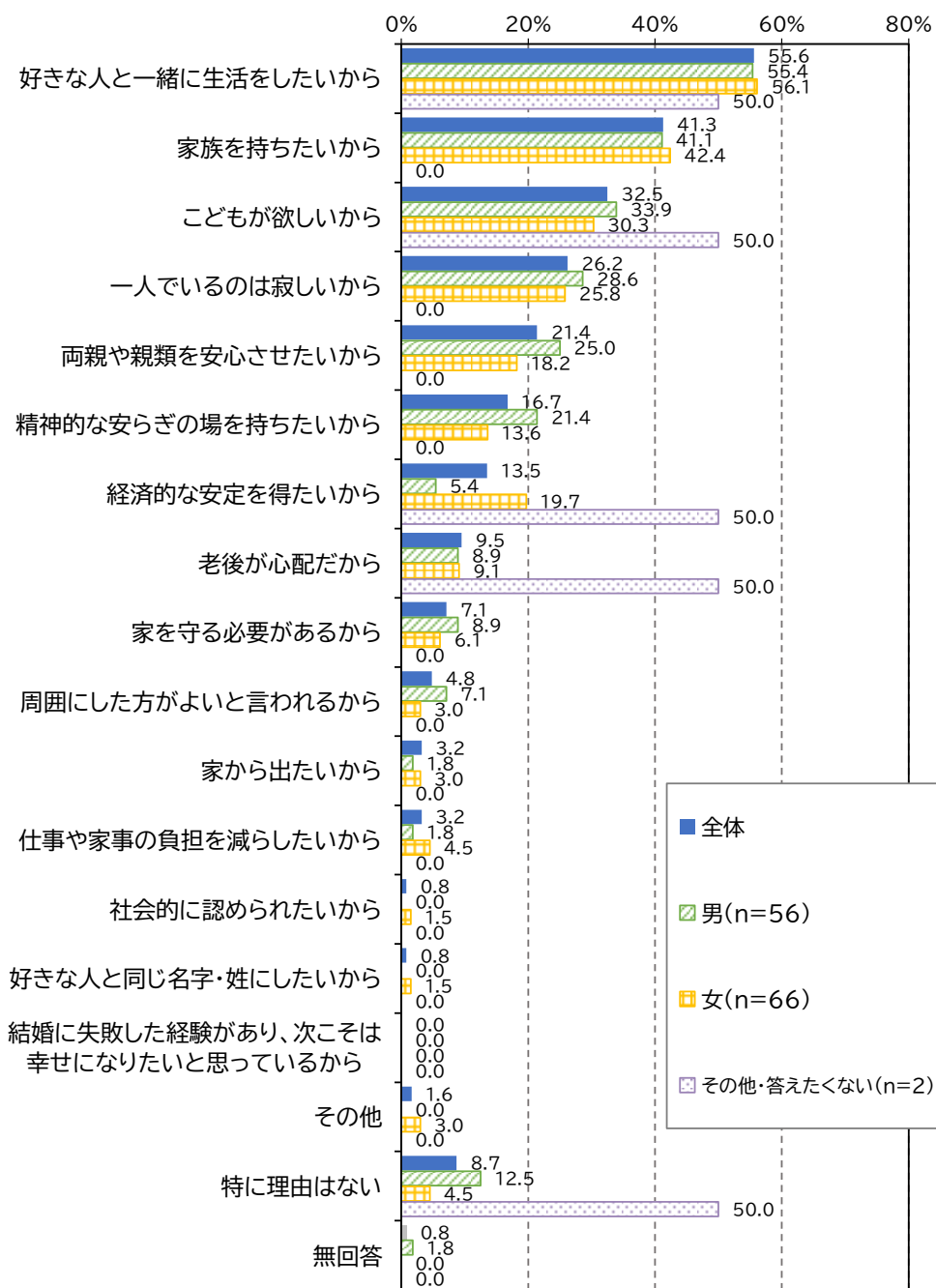


将来、結婚したいかを男女別にみると、「いずれ結婚するつもり」は「男性」が 80.0%、「女性」が 77.6%となっています。

(4) 結婚したい理由

問 19-3 【問 19-2 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方にうかがいます】

あなたがそう思った理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

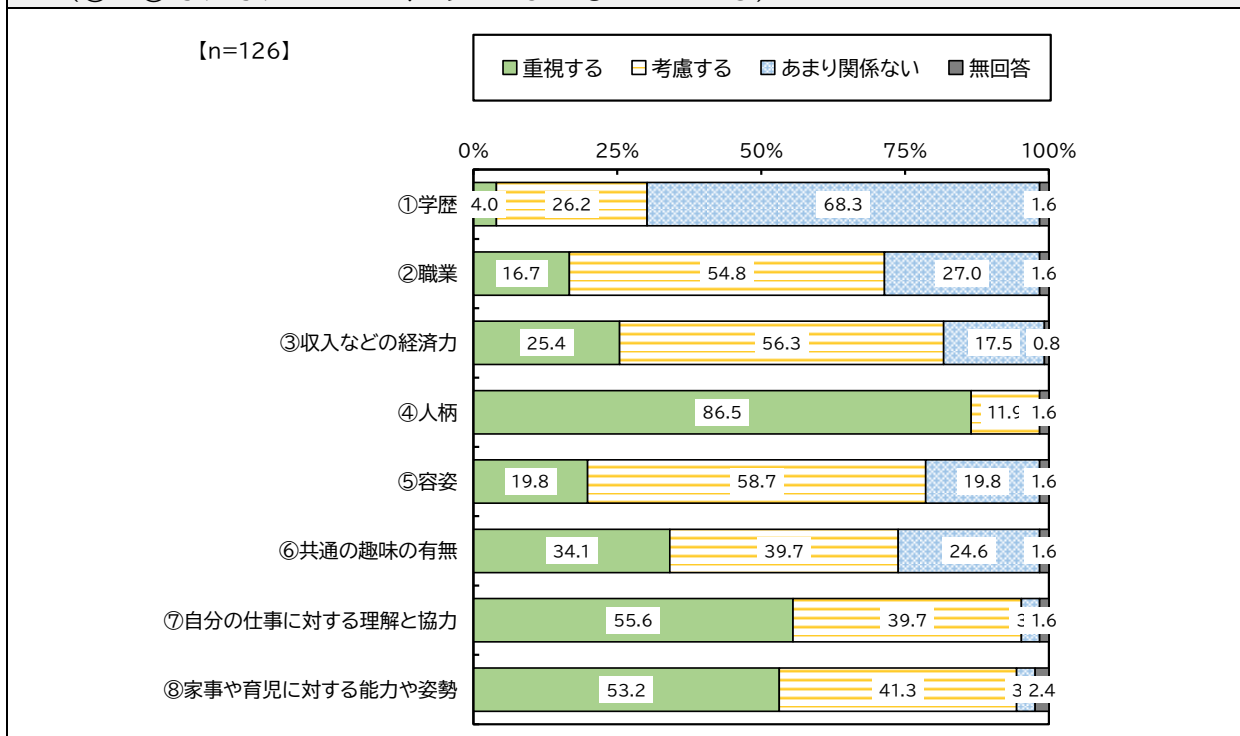


問 19-2 で「1. いずれ結婚するつもり」回答した 126 人に、その理由を尋ねたところ、「好きな人と一緒に生活をしたいから」が 55.6%と最も多く、次いで「家族を持ちたいから」（41.3%）、「こどもが欲しいから」（32.5%）、「一人でいるのは寂しいから」（26.2%）、「両親や親類を安心させたいから」（21.4%）と続いています。

(5) 結婚で重視したい項目

問 19-4 【問 19-2 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方にうかがいます】

結婚相手を決めるとき以下の項目をどの程度重視しますか。
(①～⑧それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

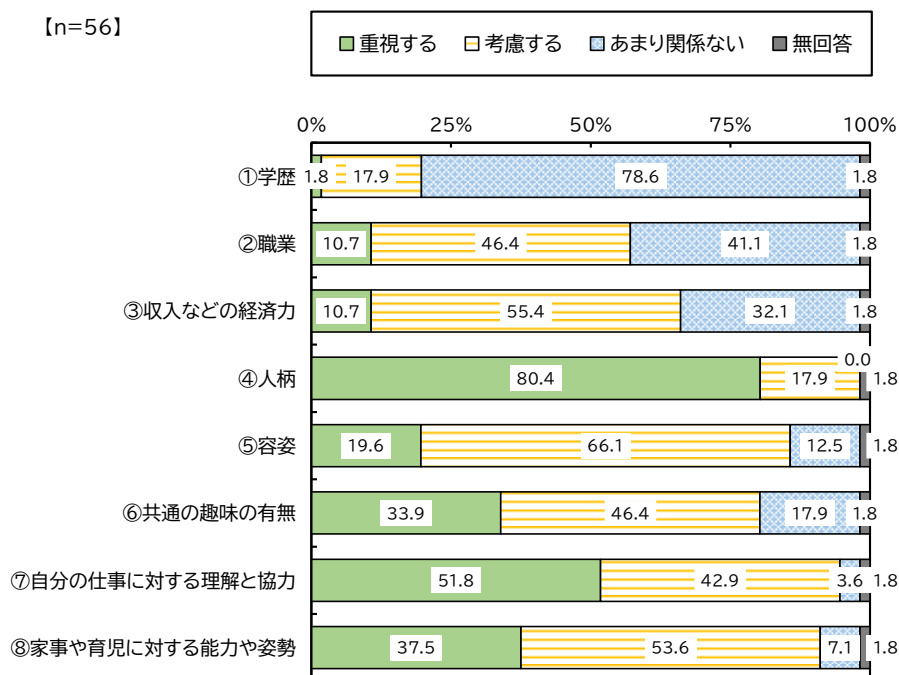


問 19-2 で「1. いずれ結婚するつもり」と回答した 126 人に、結婚で重視しているポイントを尋ねたところ、「重視する」では、「④人柄」が 86.5% で最も多く、次いで「⑦自分の仕事に対する理解と協力」(55.6%)、「⑧家事や育児に対する能力や姿勢」(53.2%)と続いています。

《性別別》将来、結婚したいと思うか

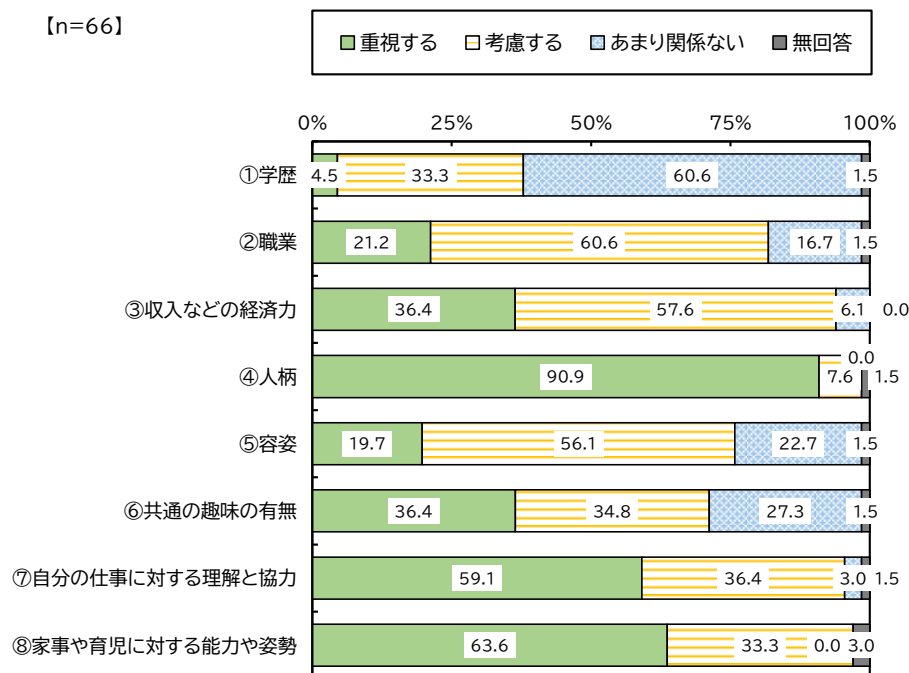
■男性

【n=56】



■女性

【n=66】



男女別に、結婚で重視するポイントを見ると。男女ともに、「④人柄」、「⑦自分の仕事に対する理解と協力」、「⑧家事や育児に対する能力や姿勢」が上位となっていますが、男性に比べ、女性で「⑧家事や育児に対する能力や姿勢」（男性 37.5%、女性 63.6%）を重視している傾向にあります。その他、女性では「②職業」、「③収入などの経済力」についても、男性に比べ重視している傾向となっています。

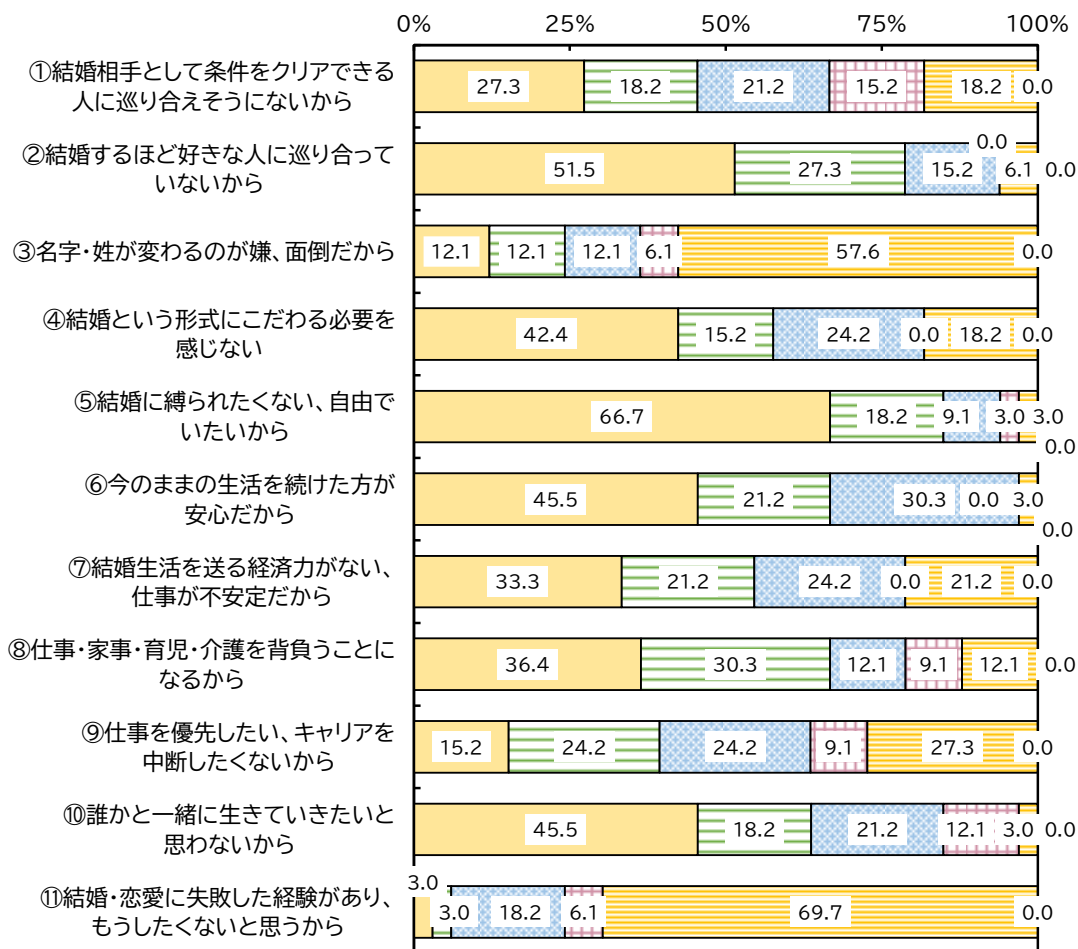
(6) 結婚しない理由

問 19-5 【問 19-2 で「2. 一生結婚するつもりはない」に○をつけた方にうかがいます】

あなたがそう思った理由は何ですか。(①～⑪それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【n=33】

あてはまる
 どちらともいえない
 あてはまらない
 どちらかといえば、あてはまる
 どちらかといえば、あてはまらない
 無回答

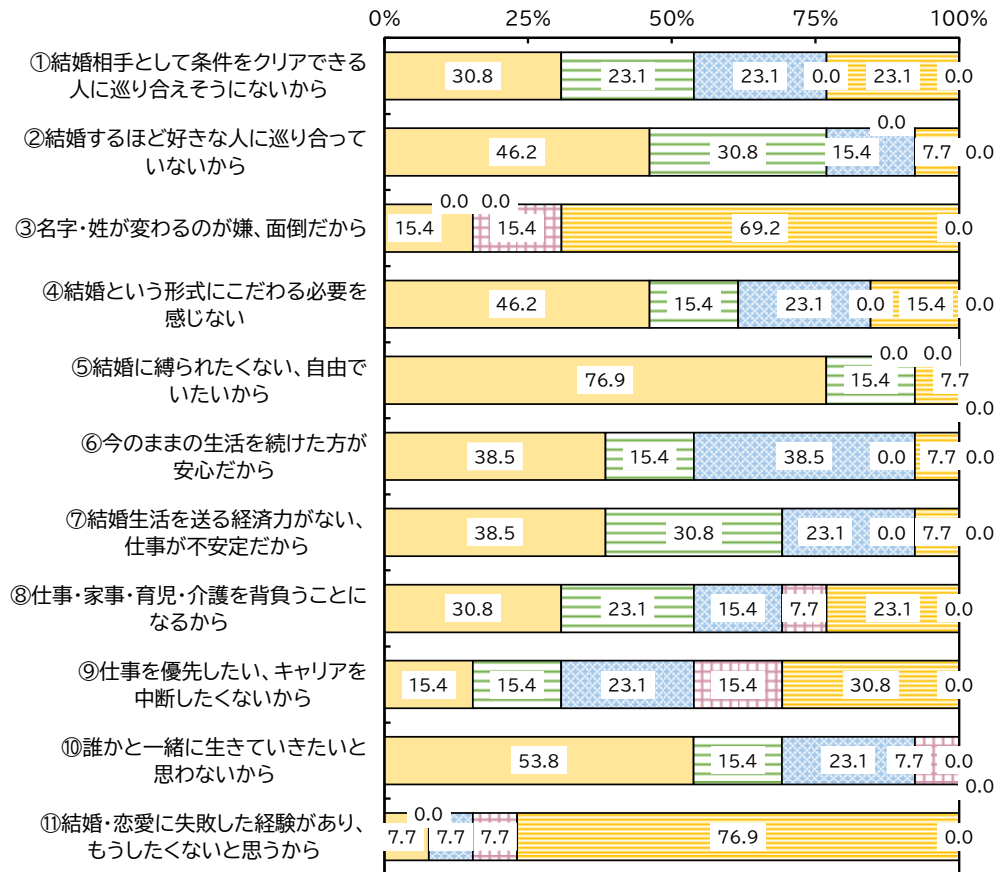


問 19-2 で「2. 一生結婚するつもりはない」と回答した 33 人に、その理由を尋ねたところ、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、「⑤結婚に縛られたくない、自由でいたいから」が 84.9%と最も多く、次いで「②結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」（78.8%）、「⑧仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」、「⑥今のままの生活を続けた方が安心」（ともに 66.7%）となっています。

《性別別》結婚しない理由

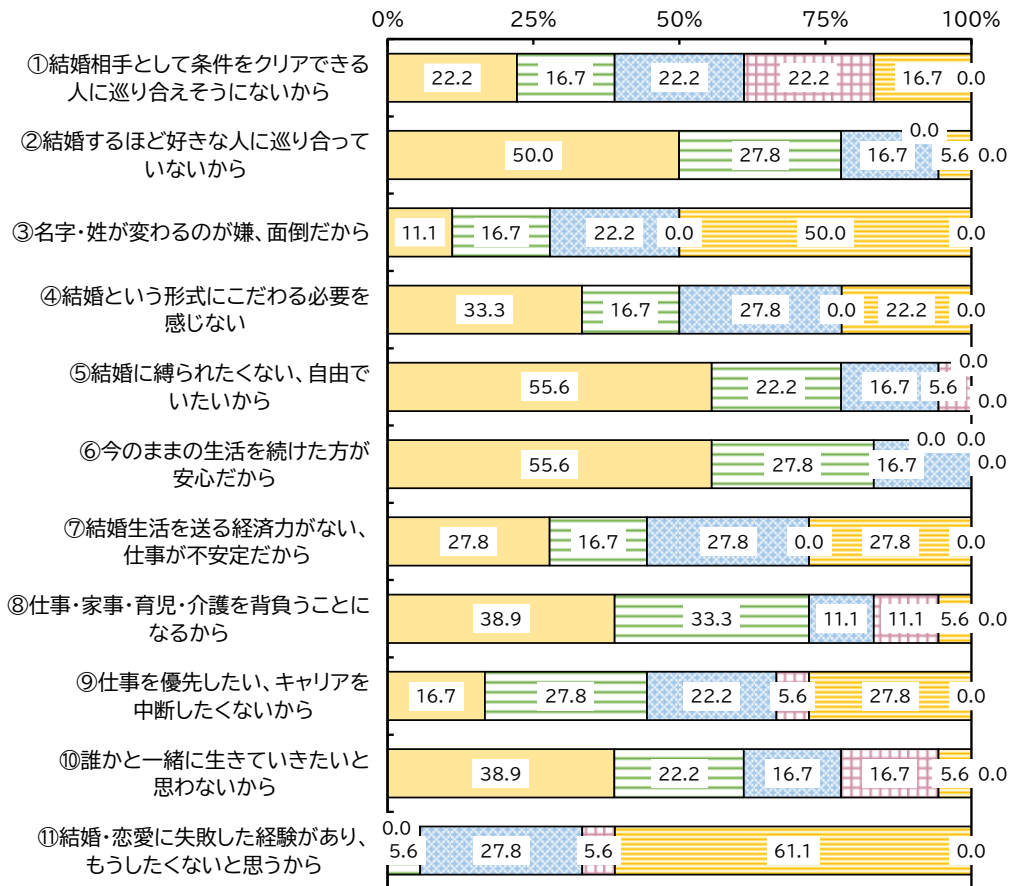
■男性

【n=13】



■女性

【n=18】



男女別に、「一生結婚するつもりはない」理由を尋ねたところ、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、男性では、「⑤結婚に縛られたくない、自由でいたいから」が 92.3%と最も多く、次いで「②結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」（77.0%）、「⑦結婚生活を送る経済力がない、仕事不安定だから」（69.3%）などとなっています。

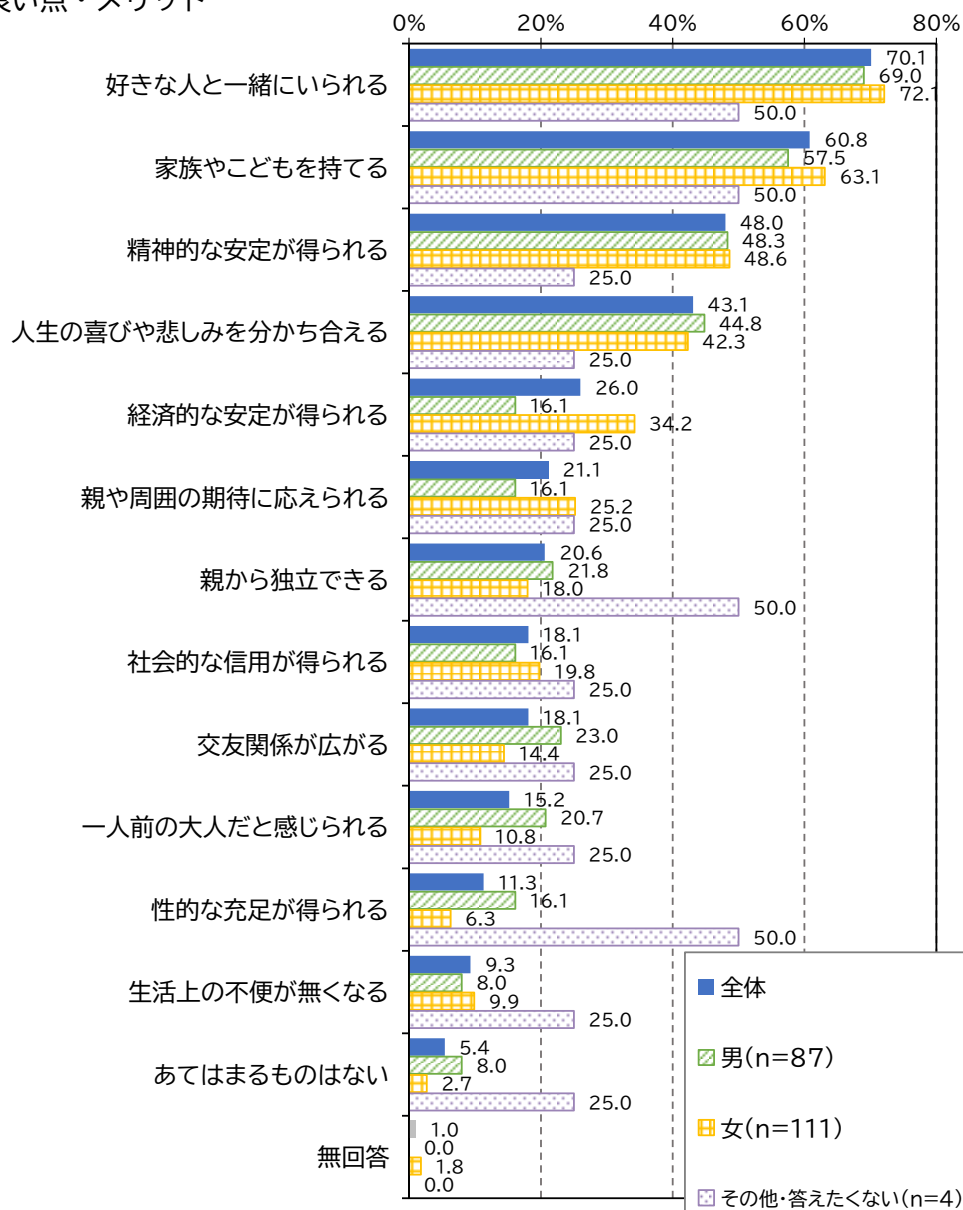
女性では、「⑥今のままの生活を続けた方が安心だから」が 83.4%と最も多く、「②結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」、「⑤結婚に縛られたくない、自由でいたいから」（ともに 77.8%）、「⑧仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」（72.2%）などとなっています。

(7) 結婚のメリット・デメリット

問 20 あなたは、結婚についてどのようにお感じですか。

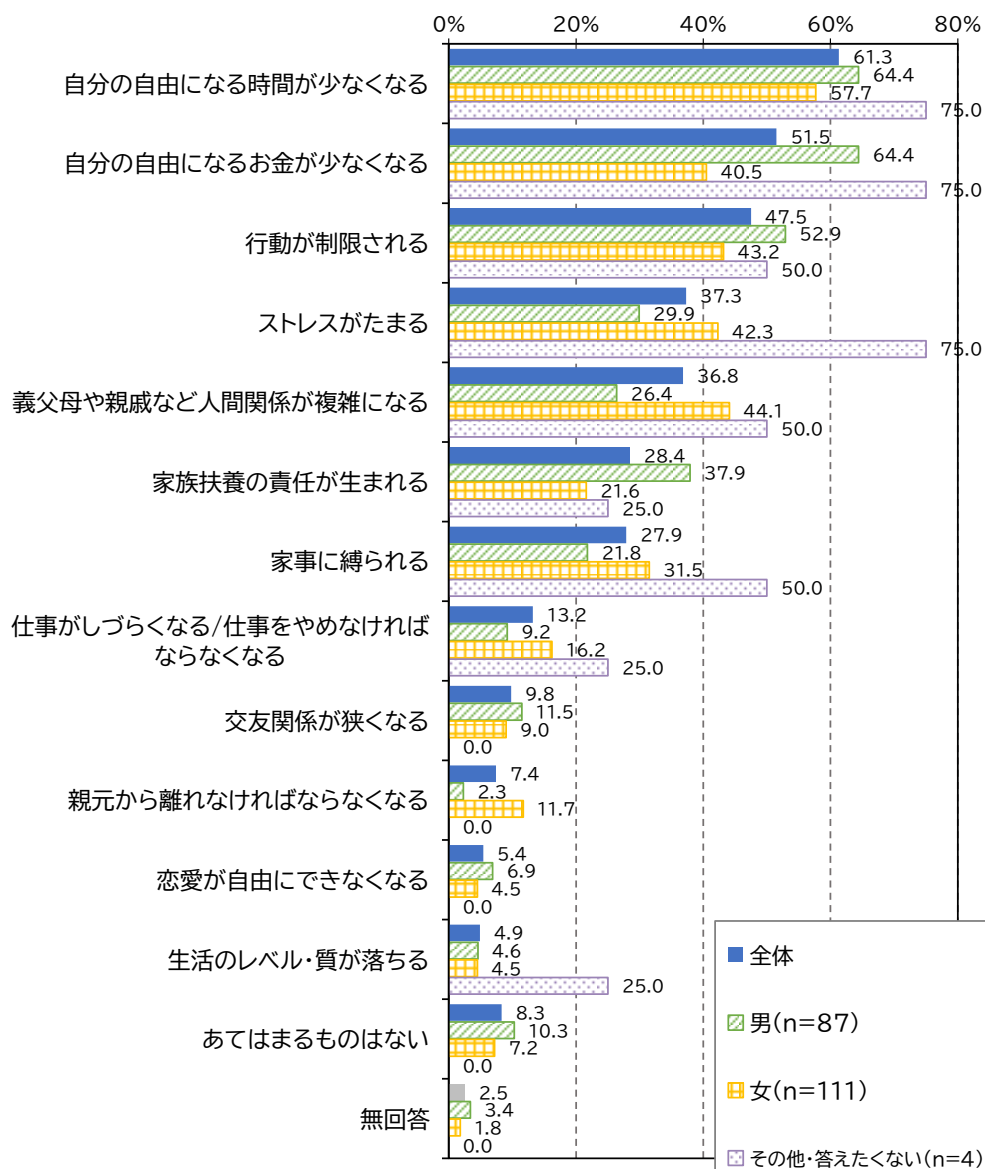
①②それぞれについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

①結婚の良い点・メリット



結婚の良い点、メリットは「好きな人と一緒にいられる」が70.1%と最も多く、次いで「家族やこどもを持てる」(60.8%)、「精神的な安定が得られる」(48.0%)などと続いています。

②結婚の悪い点・デメリット

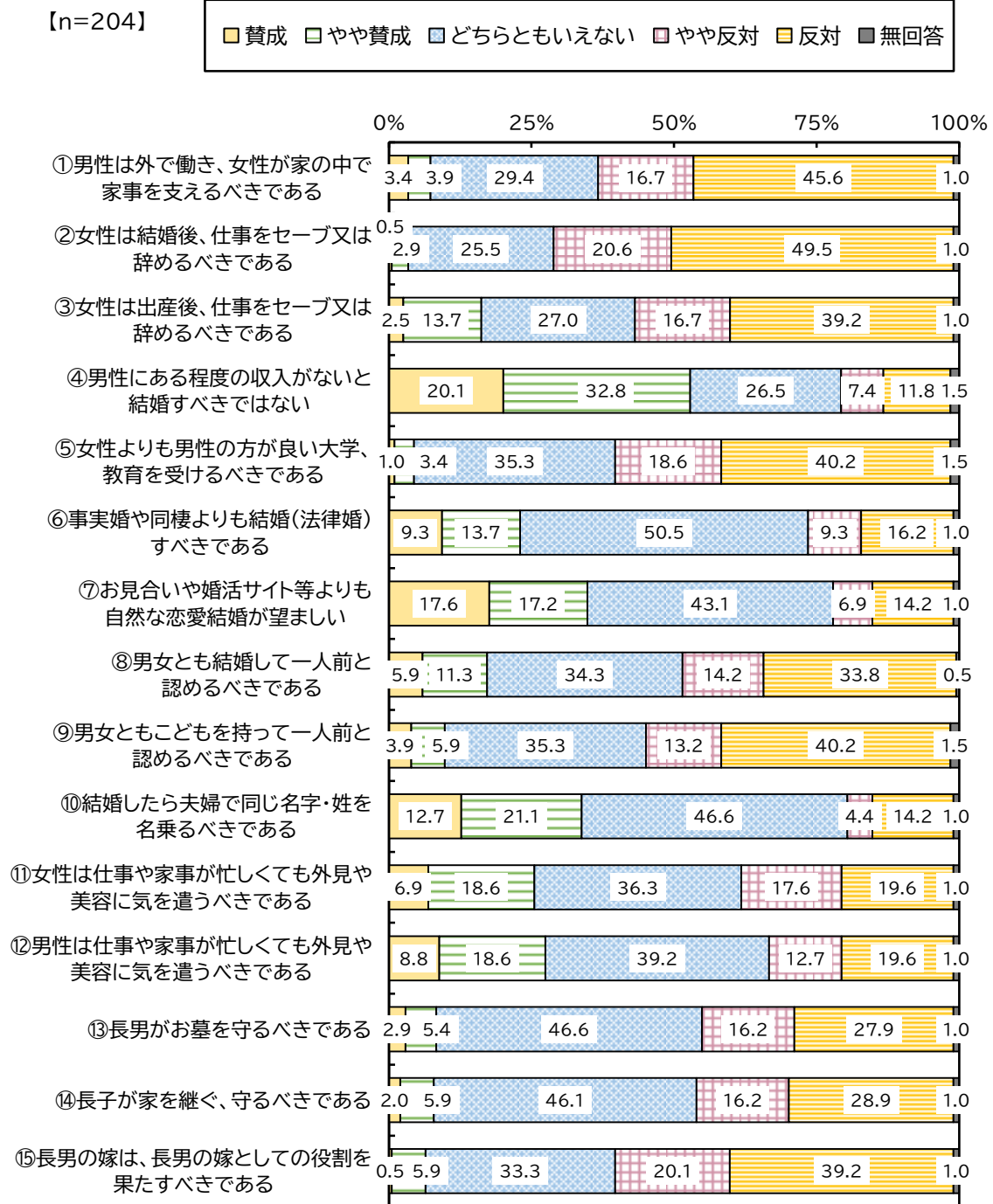


結婚の良くない点、デメリットは「自分の自由になる時間が少なくなる」が61.3%と最も多く、次いで「自分の自由になるお金が少なくなる」(51.5%)、「行動が制限される」(47.5%)などと続いています。

(8) 結婚観や男女観について

問 21 あなたは、以下のことについて、どのように思っていますか。(①～⑮それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

【n=204】



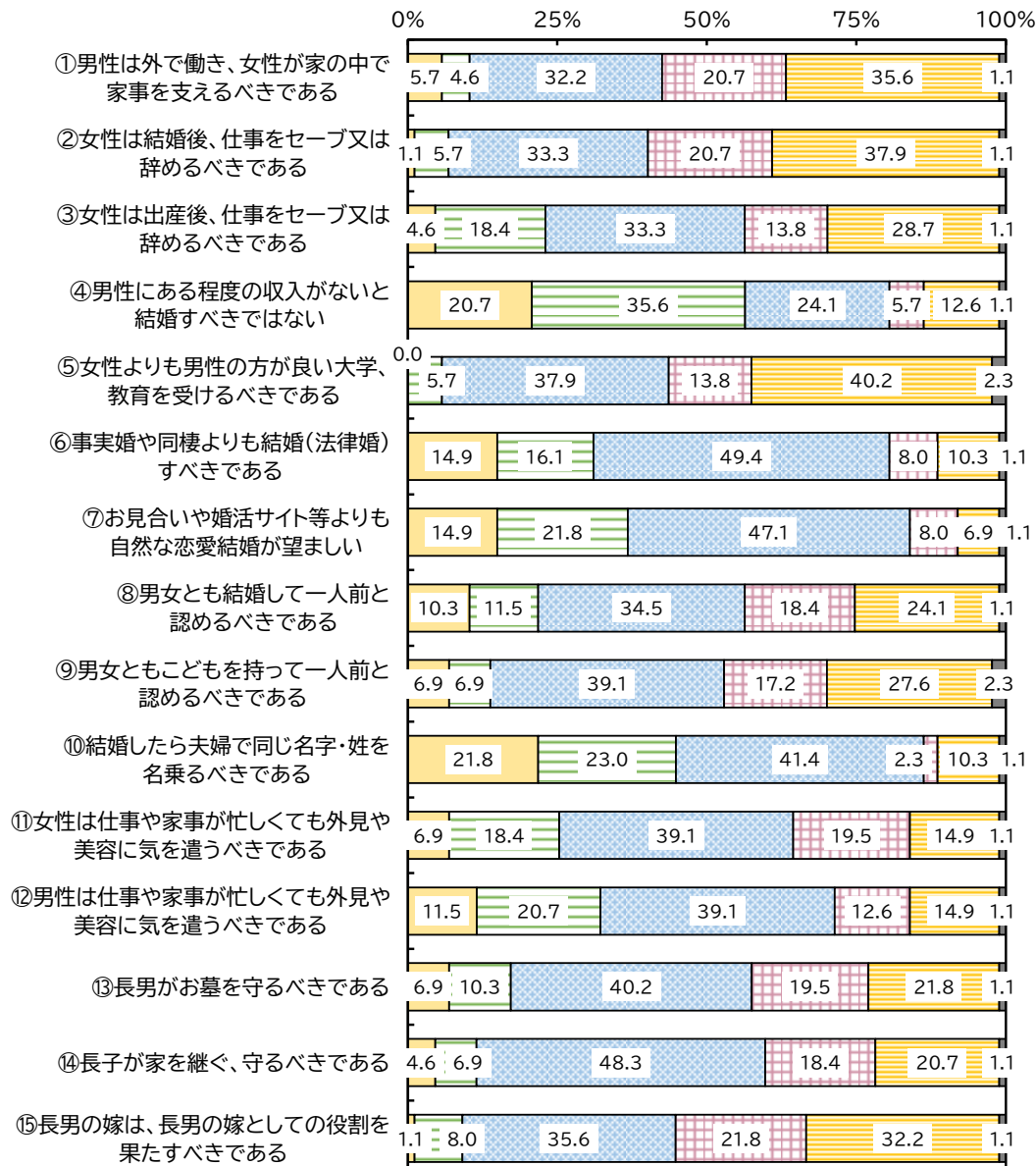
上記の15項目について、『反対』（「反対」と「やや反対」の合計）の割合をみると、「②女性は結婚後、仕事をセーブ又は辞めるべきである」が70.1%と最も多く、次いで、「①男性は外で働き、女性が家の中で家事を支えるべきである」（62.3%）、「⑮長男の嫁は、長男の嫁としての役割を果たすべきである」（59.3%）などと続いています。

《性別別》結婚観や男女観について

■男性

【n=87】

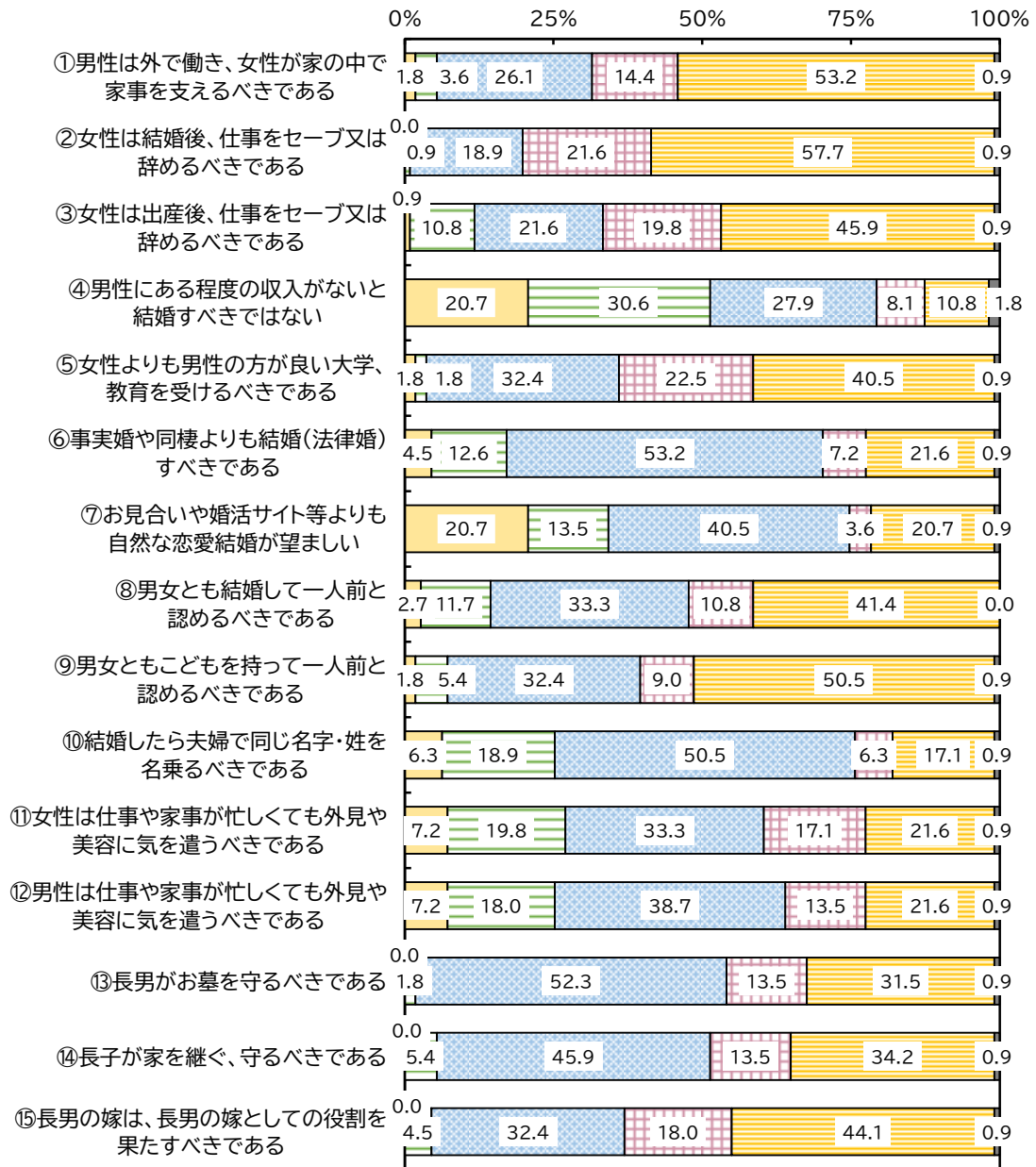
■ 賛成 ■ やや賛成 ■ どちらともいえない ■ やや反対 ■ 反対 ■ 無回答



■女性

【n=111】

■賛成 ■やや賛成 ■どちらともいえない ■やや反対 ■反対 ■無回答

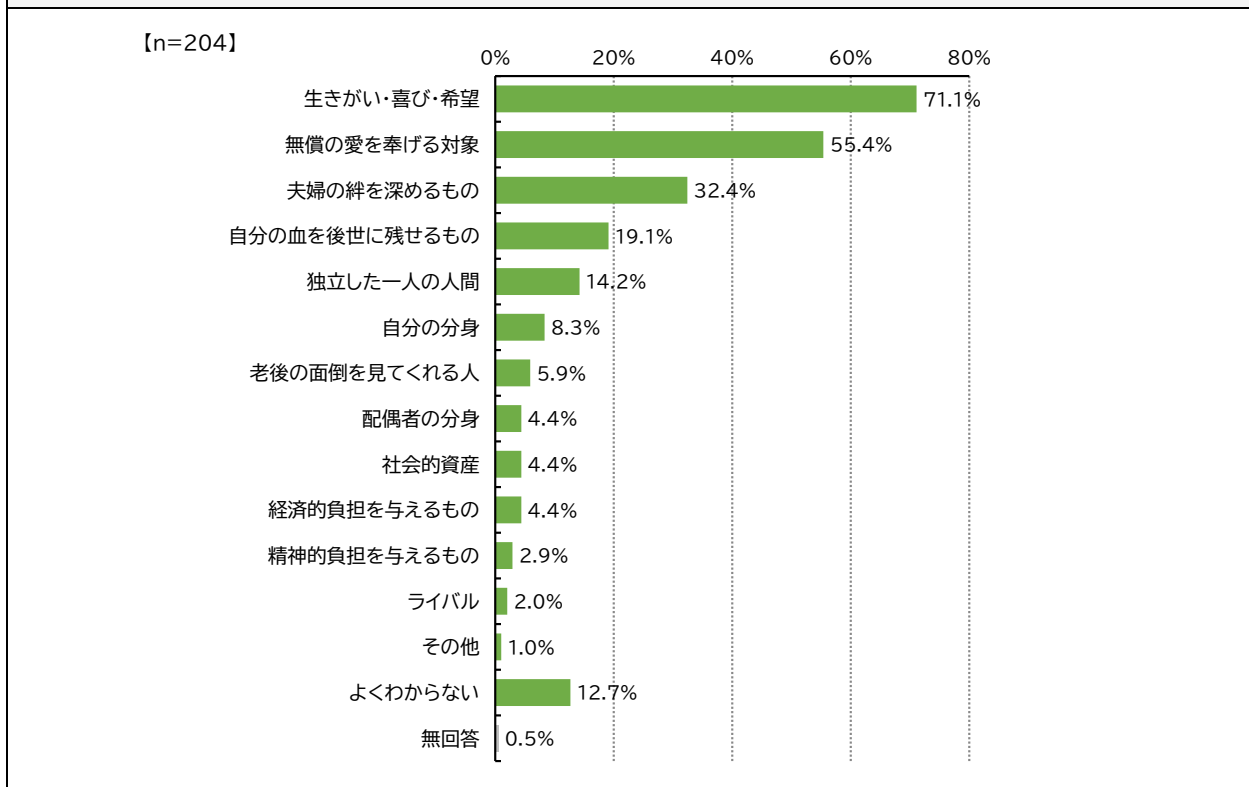


男女別に、結婚観、男女間について、『反対』（「反対」と「やや反対」の合計）の割合をみると、男性では、「②女性は結婚後、仕事をセーブ又は辞めるべきである」が58.6%と最も多く、次いで「①男性は外で働き、女性が家の中で家事を支えるべきである」（56.3%）、「⑤女性よりも男性の方が良い大学、教育を受けるべきである」（54.0%）などと続いています。

女性では、「②女性は結婚後、仕事をセーブ又は辞めるべきである」が79.3%と最も多く、次いで「①男性は外で働き、女性が家の中で家事を支えるべきである」（67.6%）、「③女性は出産後、仕事をセーブ又は辞めるべきである」（65.7%）などと続いています。

(9) こどもについて

問 22 あなたにとって、(自分の) こどもはどのようなものですか。独身の方も、仮定でお答えください。(あてはまるもの3つまでに○)

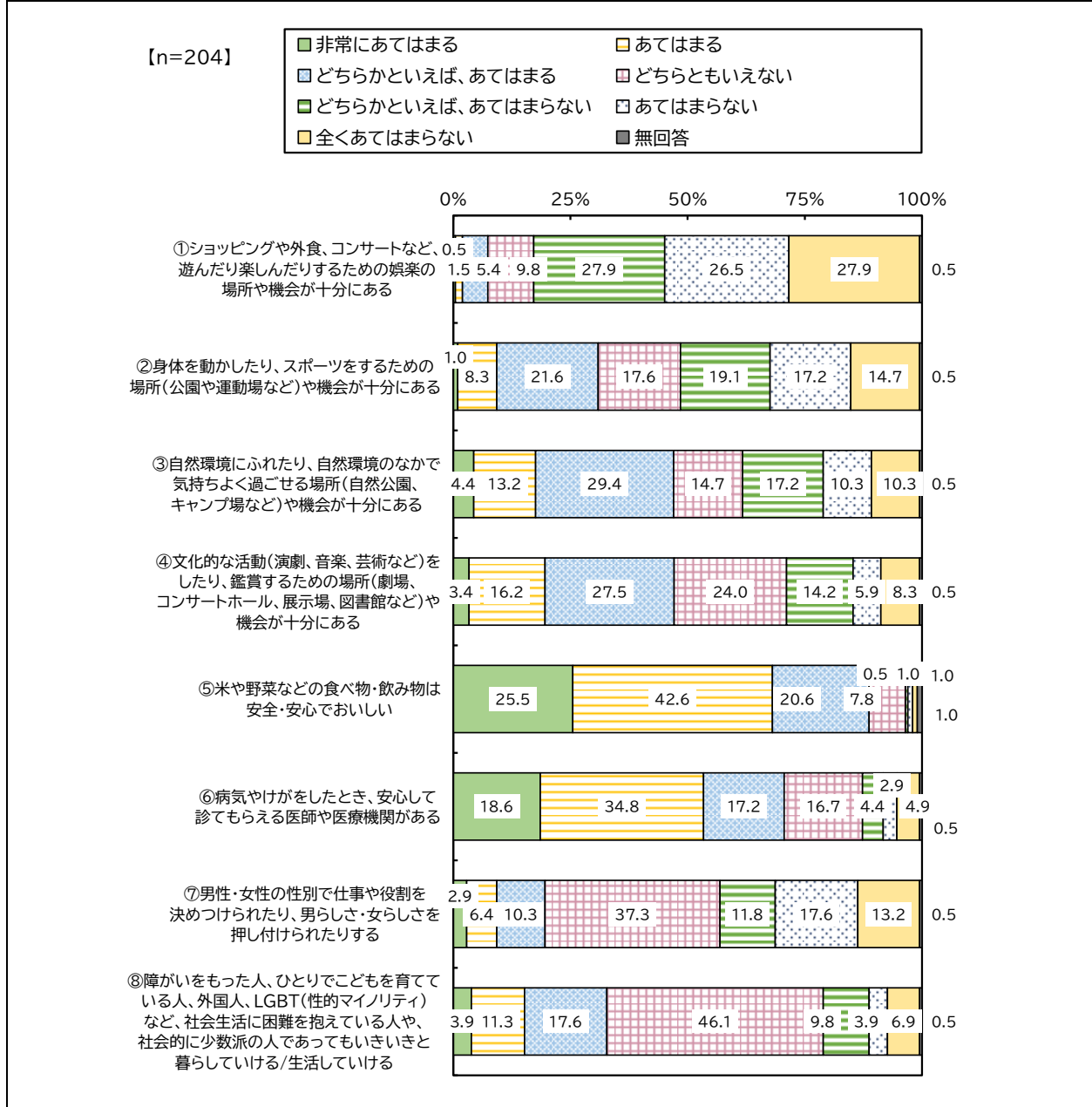


こどもの存在については、「生きがい・喜び・希望」が71.1%と最も多く、次いで「無償の愛を奉げる対象」(55.4%)、「夫婦の絆を深めるもの」(32.4%)、「自分の血を後世に残せるもの」(19.1%)、「独立した一人の人間」(14.2%)などと続いています。

6 三春町やあなた自身について

(1) 三春町について

問 23 あなたは、三春町について、どのように思っていますか。(①～⑧それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

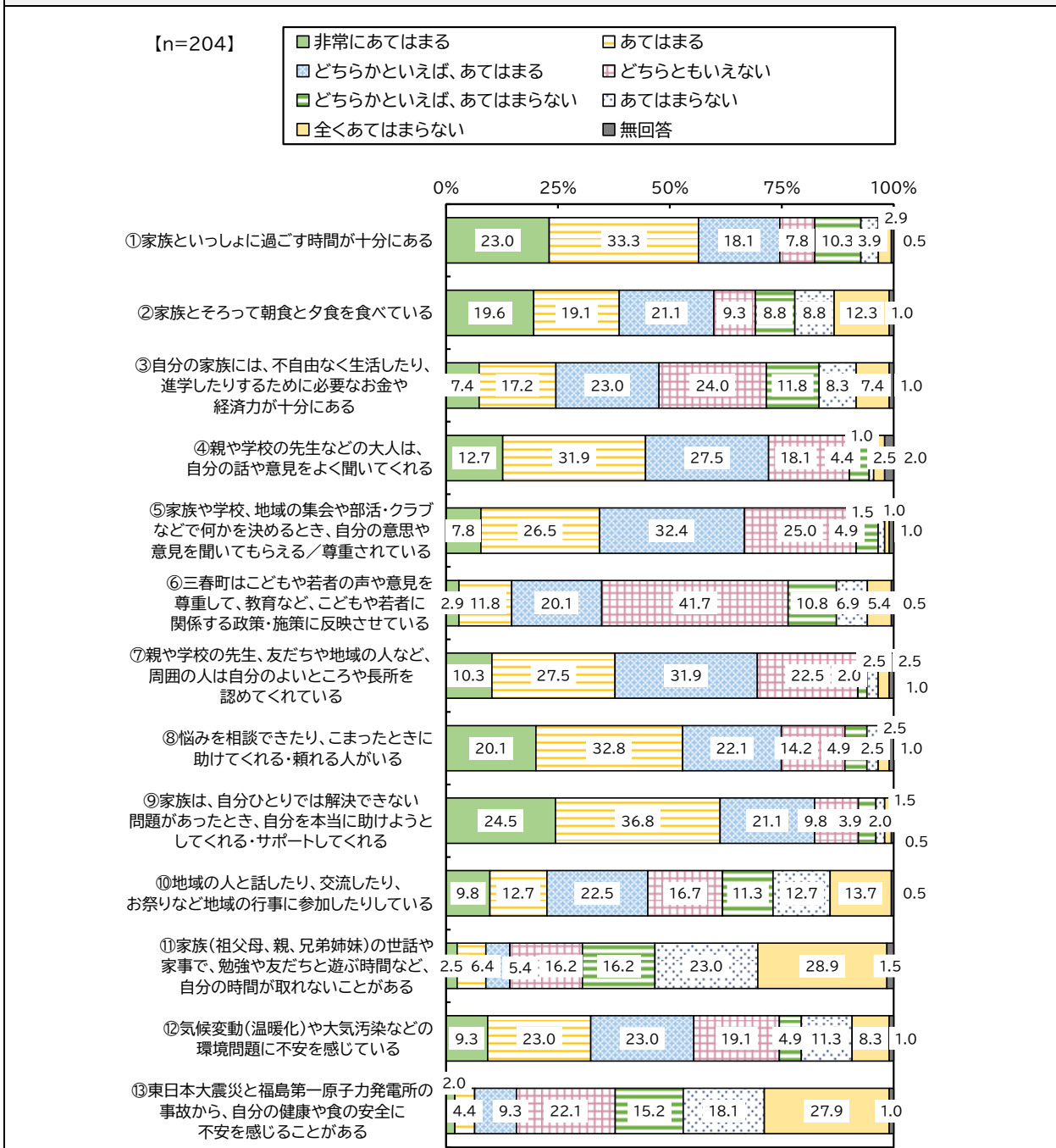


三春町について思っていることについて、『あてはまる』（「非常にあてはまる」、「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、「⑤米や野菜などの食べ物・飲み物は安全・安心でおいしい」が88.7%と最も多く、次いで「⑥病気やけがをしたとき、安心して診てもらえる医師や医療機関がある」（70.6%）、「④文化的な活動（演劇、音楽、芸術など）をしたり、鑑賞するための場所（劇場、コンサートホール、展示場、図書館など）や機会が十分にある」（47.1%）などとなっています。

また、「①ショッピングや外食、コンサートなど、遊んだり楽しんだりするための娯楽の場所や機会が十分にある」が7.4%と最も少なくなっています。

(2) あなたの状況について

問 24 あなたの今の状況について、以下のことはどれくらいあてはまりますか。(①～⑬それぞれについて、あてはまるもの1つに○)



自分自身の状況について、『あてはまる』（「非常にあてはまる」、「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、「⑨家族は、自分ひとりでは解決できない問題があったとき、自分を本当に助けようとしてくれる・サポートしてくれる」が 82.4%と最も多く、次いで「⑧悩みを相談できたり、こまったときに助けてくれる・頼れる人がある」（75.0%）、「①家族といっしょに過ごす時間が十分にある」（74.4%）などとなっています。

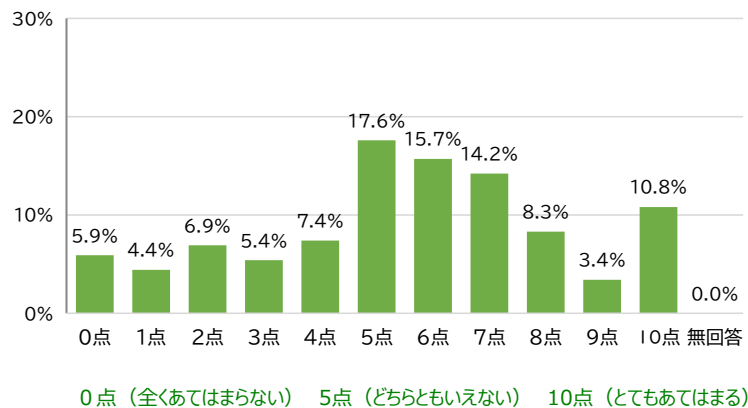
また、「⑪家族（祖父母、親、兄弟姉妹）の世話や家事で、勉強や友だちと遊ぶ時間など、自分の時間が取れないことがある」が 14.3%と最も少なくなっています。

(3) 自分自身について

問 25 次のことについて、どれくらいあてはまりますか。10 点満点で採点しあてはまる点数をお答えください。(①～④それぞれについて、点数 1 つに○)

①今の自分が好きだ

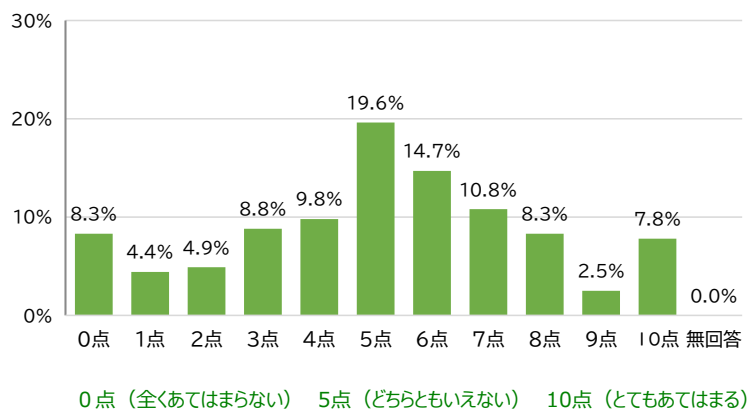
【n=204】



今の自分が好きかどうかは、「5点 (どちらともいえない)」が17.6%と最も多く、次いで「6点」(15.7%)、「7点」(14.2%)、「10点 (とてもあてはまる)」(10.8%)、「8点」(8.3%)と続いています。平均は5.51点となっています。

②自分自身に満足している

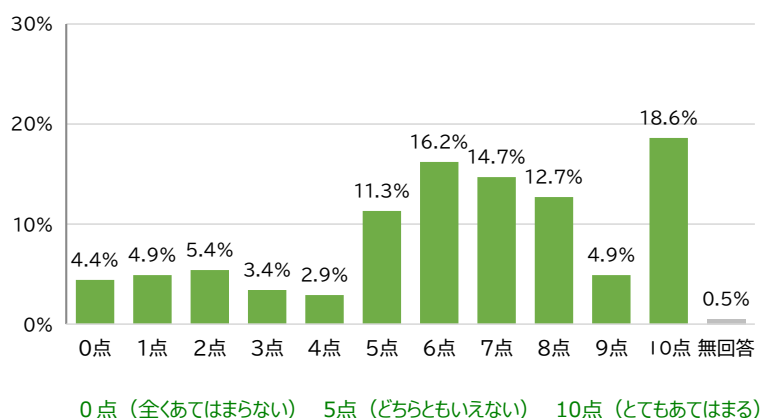
【n=204】



自分自身に満足しているかどうかは、「5点 (どちらともいえない)」が19.6%と最も多く、次いで「6点」(14.7%)、「7点」(10.8%)、「4点」(9.8%)、「3点」(8.8%)と続いています。平均は5.09点となっています。

③自分には自分らしさというものがある

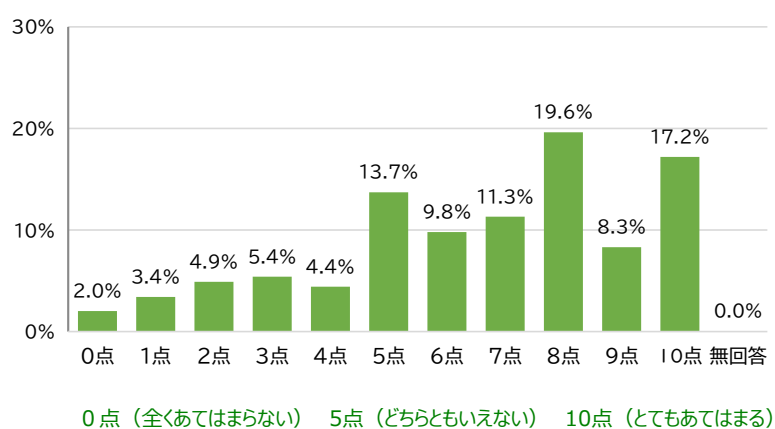
【n=204】



自分には自分らしさというものがあるかどうかは、「10点 (とてもあてはまる)」が18.6%と最も多く、次いで「6点」(16.2%)、「7点」(14.7%)、「8点」(12.7%)、「5点 (どちらともいえない)」(11.3%)と続いています。平均は6.3点となっています。

④自分は今、幸せである

【n=204】



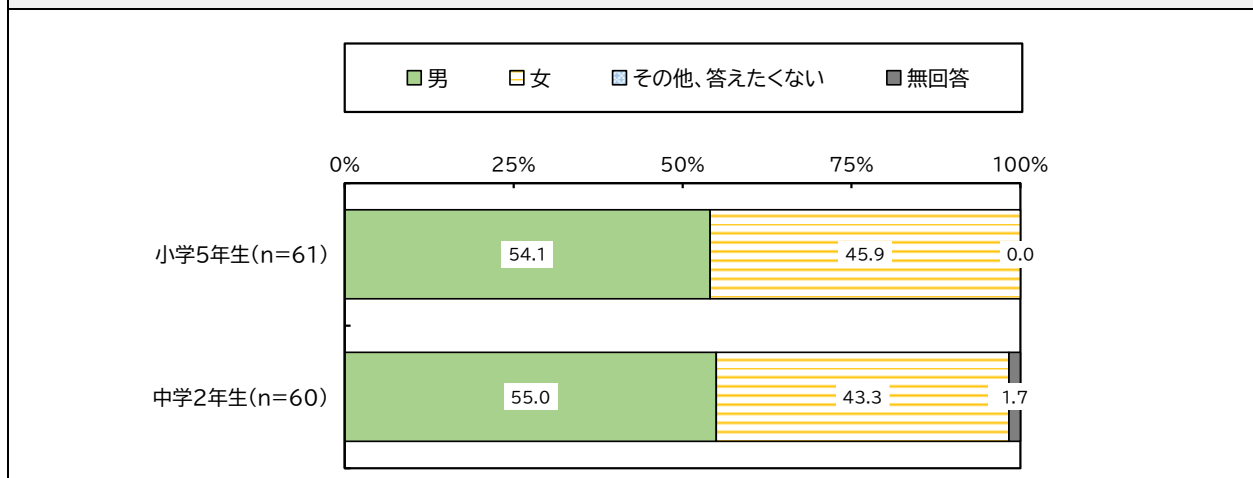
自分は今、幸せかどうかは、「8点」が19.6%と最も多く、次いで「10点 (とてもあてはまる)」(17.2%)、「5点 (どちらともいえない)」(13.7%)、「7点」(11.3%)、「6点」(9.8%)と続いています。平均は6.57点となっています。

Ⅲ 「こどもの生活に関する実態調査」 こども用調査 調査結果

1 あなたのことについて

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

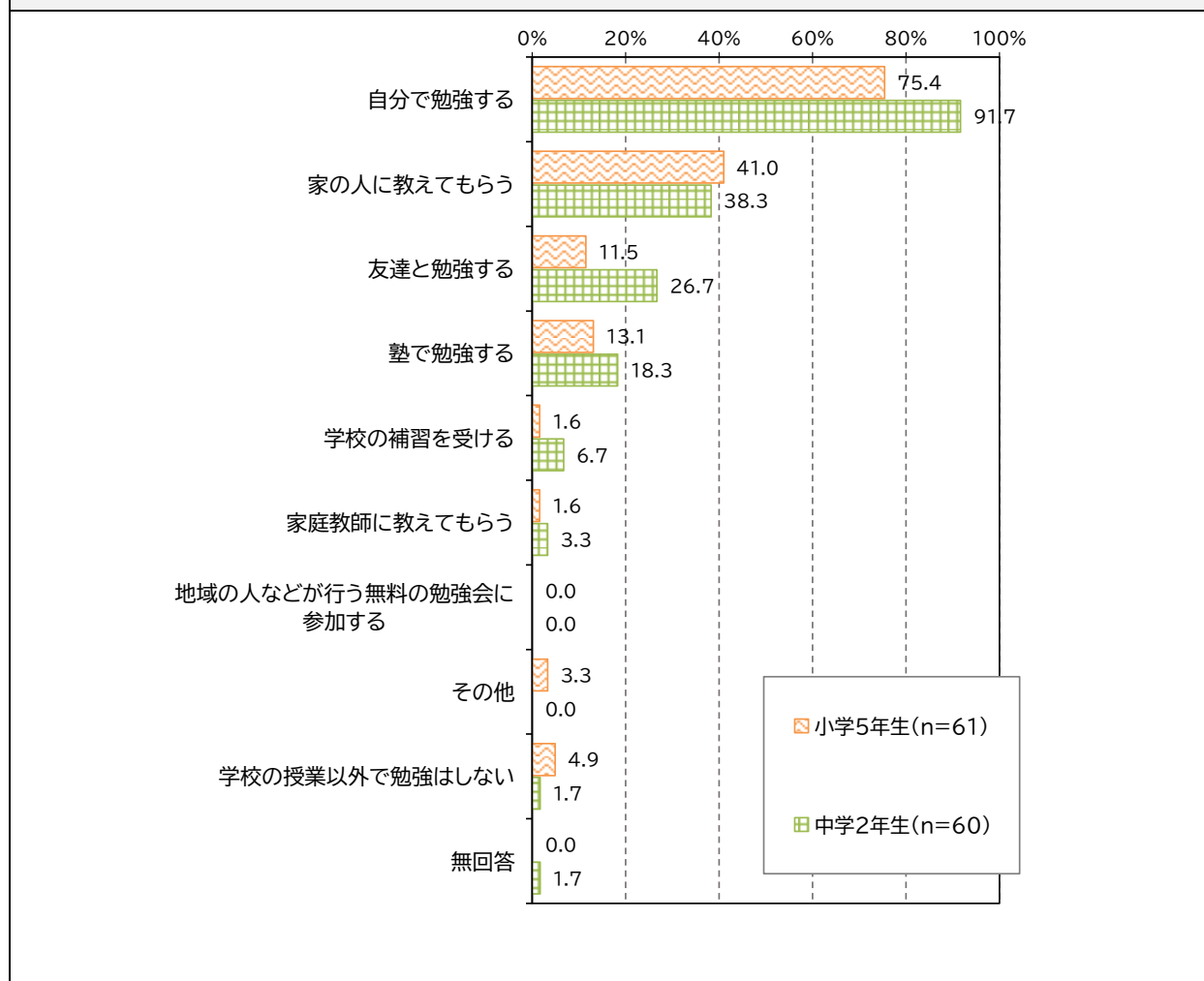


回答者の性別は、小学5年生では「男」54.1%、「女」が45.9%、中学2年生では、「男」55.0%、「女」が43.3%、「その他、答えたくない」が1.7%となっています。

2 学業や進学について

(1) 学校の授業以外で、どのように勉強をしているか

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○）



ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしているかは、小学5年生では「自分で勉強する」が75.4%と最も多く、次いで「家の人に教えてもらう」（41.0%）、「塾で勉強する」（13.1%）と続いています。

中学2年生では、「自分で勉強する」が91.7%と最も多く、次いで「家の人に教えてもらう」（38.3%）、「友達と勉強する」（26.7%）と続いています。

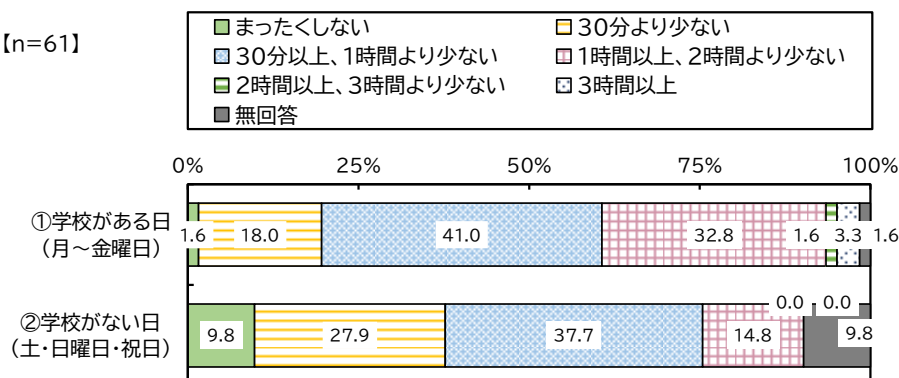
また、「学校の授業以外で勉強はしない」は小学5年生が4.9%、中学2年生が1.7%となっています。

(2) 学校の授業以外で、どのくらいの時間勉強をしているか

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(①、②それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

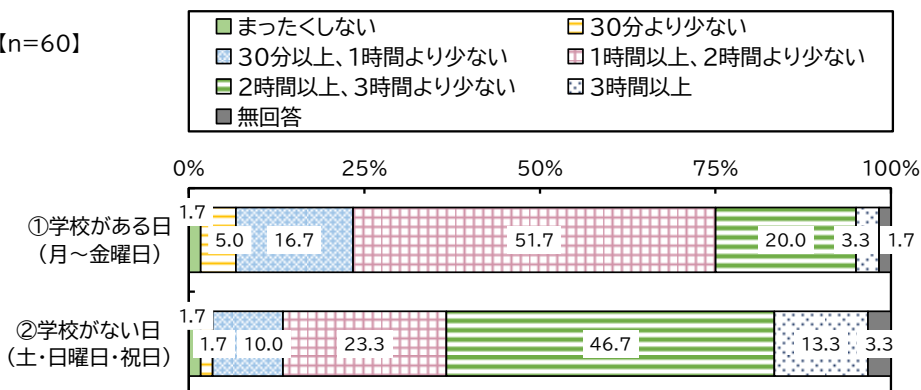
小学5年生

【n=61】



中学2年生

【n=60】

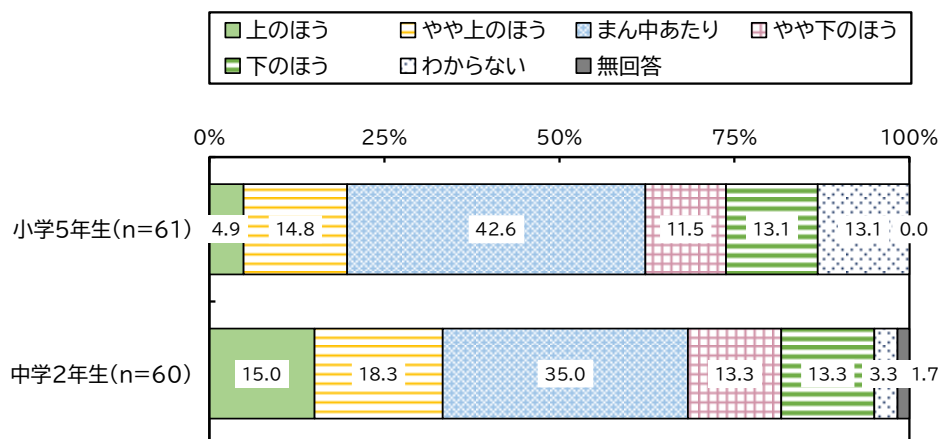


学校の授業以外でどのくらいの時間勉強をしているかは、小学生の学校のある日では、「30分以上、1時間より少ない」が41.0%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」(32.8%)、「30分より少ない」(18.0%)と続いています。学校のない日では、「30分以上、1時間より少ない」が37.7%と最も多く、次いで「30分より少ない」(27.9%)、「1時間以上、2時間より少ない」(14.8%)と続いています。

中学生の学校のある日では、「1時間以上、2時間より少ない」が51.7%と最も多く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」(20.0%)、「30分以上、1時間より少ない」(16.7%)と続いています。学校のない日では、「2時間以上、3時間より少ない」が46.7%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」(23.3%)、「3時間以上」(13.3%)と続いています。

(3) 成績についての自己評価

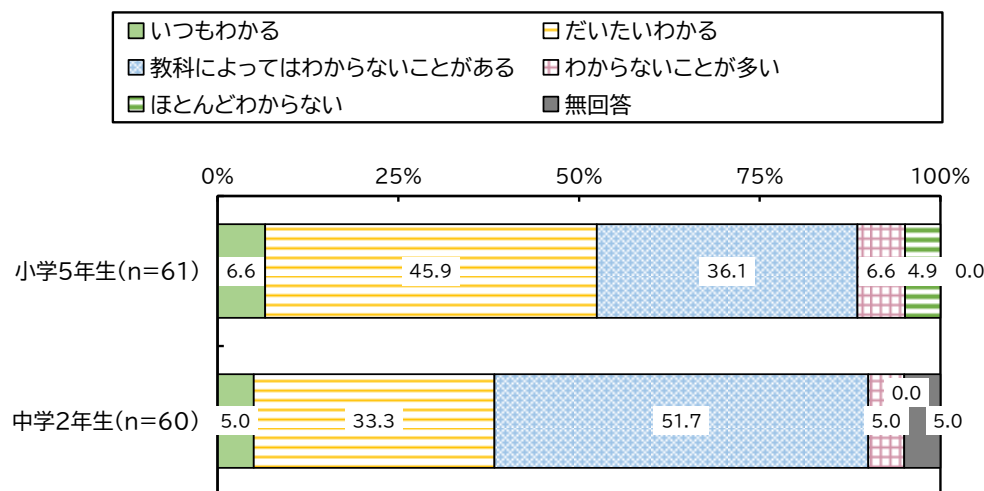
問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(1つに○)



成績がクラスの中でどのくらいだと思うかについて、『上のほう』（「上のほう」と「やや上のほう」の合計）の割合は、小学5年生が19.7%、中学2年生が33.3%となっています。

(4) 学校の授業の内容を理解しているか

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)



学校の授業の内容を理解しているかについて、『わからない』（「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」の合計）の割合は、小学5年生では11.5%、中学2年生では5.0%となっています。

また、「いつもわかる」の割合は、小学5年生では6.6%、中学2年生では5.5%と中学2年生の方が少なくなっています。

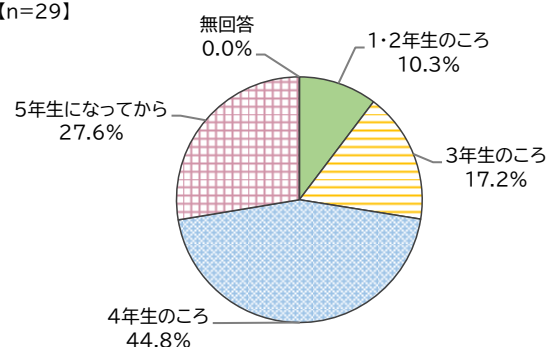
(5) いつごろから授業を理解できなくなったか

問5-1【問5で「3. 教科によってはわからないことがある」、「4. わからないことが多い」、「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします】

いつごろから、授業でわからないことがあるようになりましたか。（1つに○）

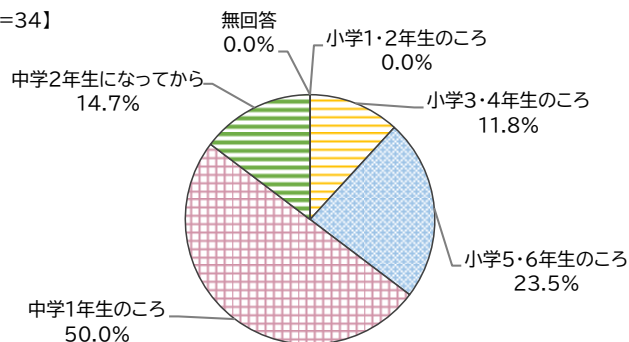
●小学5年生

【n=29】



●中学2年生

【n=34】

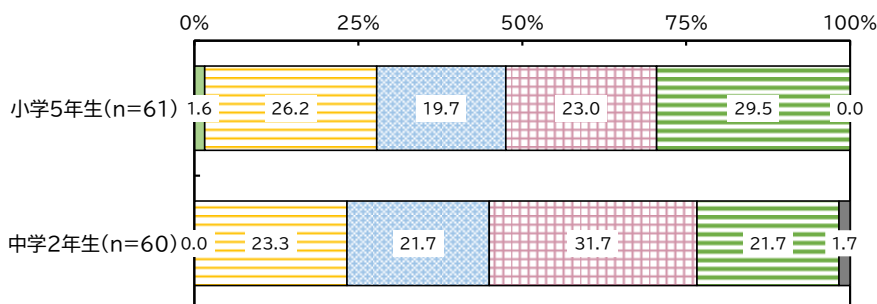
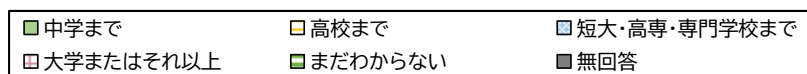


問5で「3. 教科によってはわからないことがある」、「4. わからないことが多い」、「5. ほとんどわからない」と答えた小学5年生 29 人と中学2年生 34 人に、いつごろから授業でわからないことがあるようになったか尋ねると、小学5年生では「4年生のころ」が 44.8%と最も多く、次いで「5年生になってから」(27.6%)、「3年生のころ」(17.2%)、「1・2年生のころ」(10.3%)となっています。

中学2年生では、「中学1年生のころ」が 50.0%と最も多く、次いで「小学5・6年生のころ」(23.5%)、「中学2年生になってから」(14.7%)、「小学3・4年生のころ」(11.8%)となっています。

(6) 進学先の希望について

問6 あなたは、将来、どの段階の学校まで進学したいですか。（1つに○）



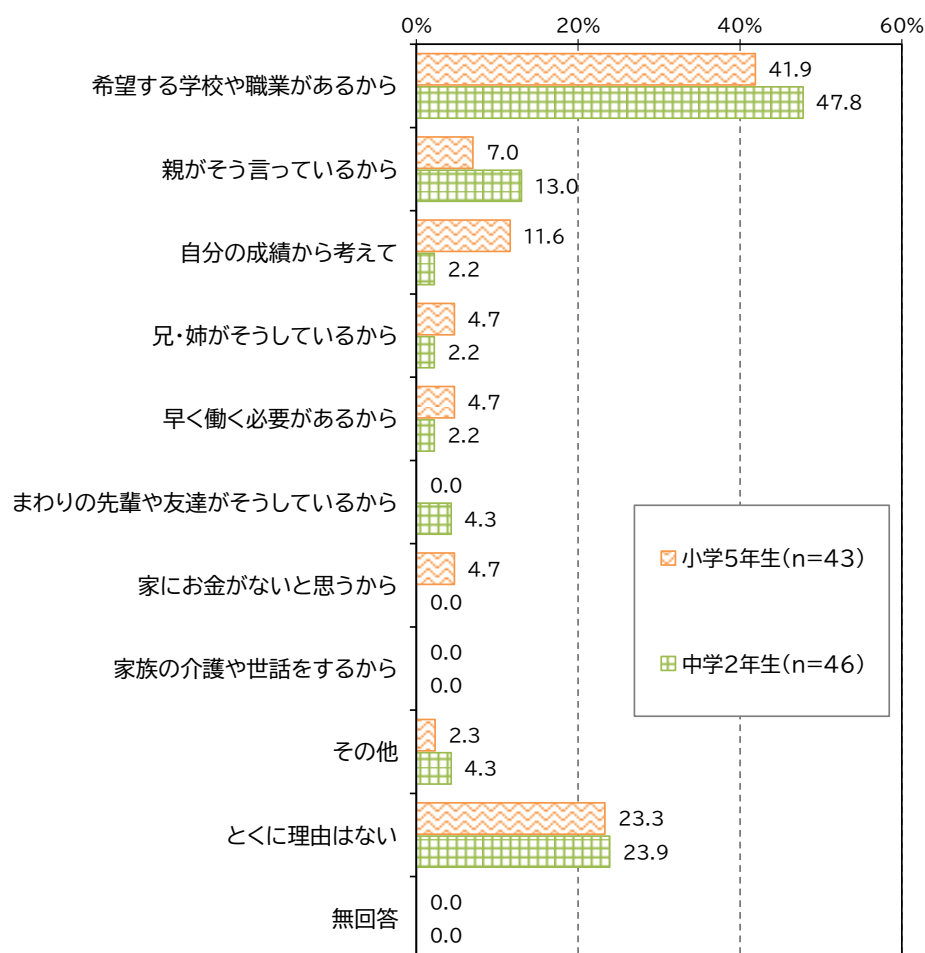
どの学校まで進学したいと思うかは、小学5年生では「まだわからない」が 29.5%と最も多く、次いで「高校まで」(26.2%)、「大学またはそれ以上」(23.0%)と続いています。

中学2年生では、「大学またはそれ以上」が 31.7%と最も多く、次いで「高校まで」(23.3%)、「まだわからない」、「短期大学・高等専門学校」(ともに 21.7%)と続いています。

(7) その進学先を希望する理由

問6-1【問6で「1. 中学まで」、「2. 高校まで」、「3. 短大・高専・専門学校まで」、「4. 大学またはそれ以上」と答えた人にお聞きします】

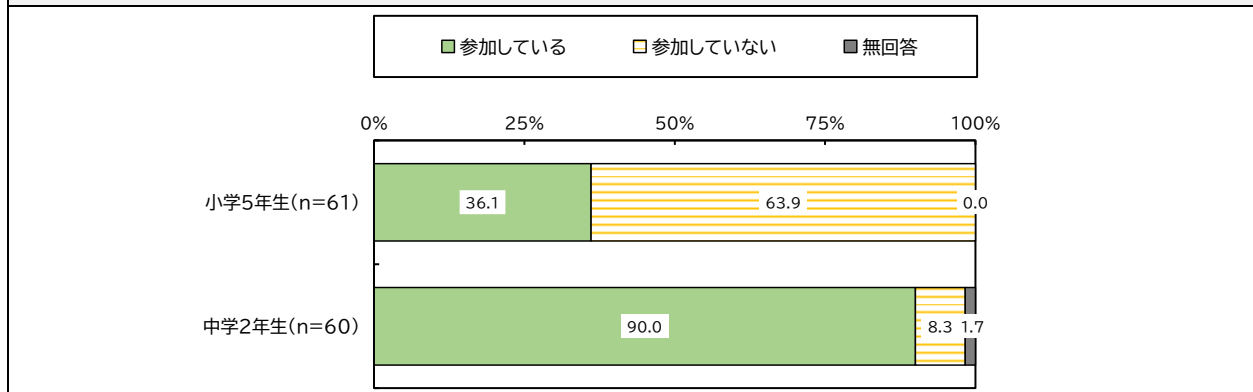
問6で「1.」～「4.」と答えた一番の理由は何ですか。（1つに○）



問6で希望の進学先を回答した、小学5年生43人。中学2年生46人に、その進学先を希望する理由を尋ねると、小学5年生では「希望する学校や職業があるから」が41.9%と最も多く、次いで「自分の成績から考えて」(11.6%)、「親がそう言っているから」(7.0%)と続いています。中学2年生では「希望する学校や職業があるから」が47.8%と最も多く、次いで、「親がそう言っているから」(13.0%)、「まわりの先輩や友達がそうしているから」(4.3%)と続いています。

(8) クラブ活動や部活動への参加状況

問7 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、（学校の部活動）に参加していますか。（1つに○）

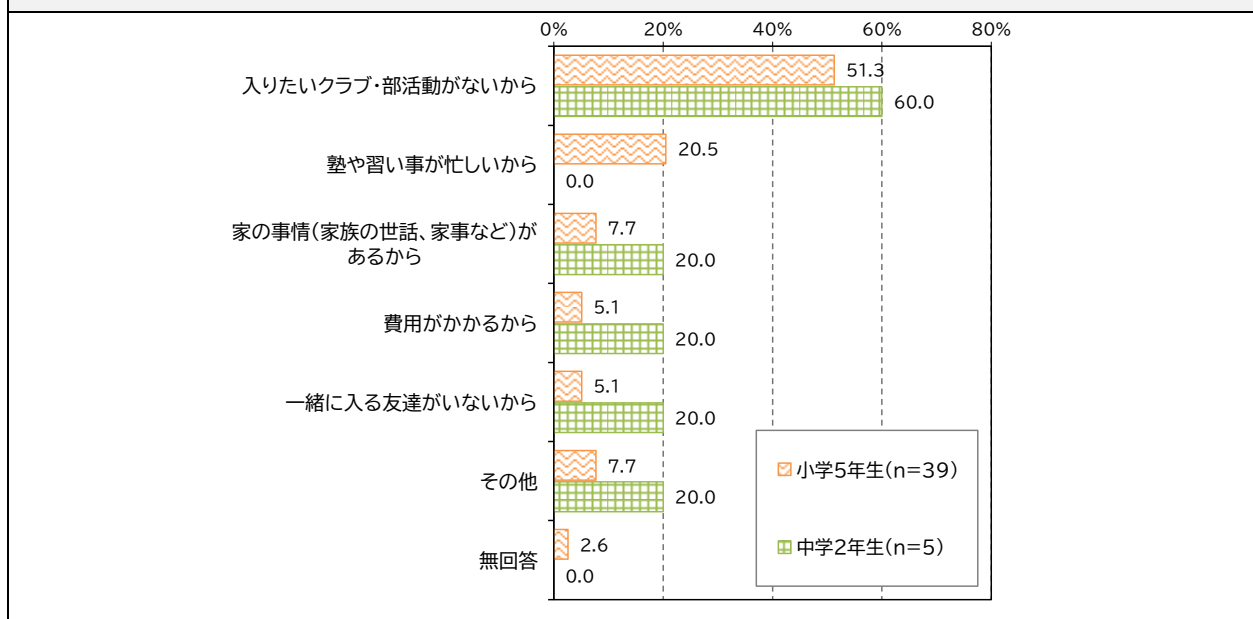


クラブ活動や部活動への参加状況について「参加している」の割合をみると、小学5年生では36.1%、中学2年生では90.0%となっています。

(9) クラブ活動や部活動へ参加していない理由

問7-1 【問7で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします】

参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてお選びください）



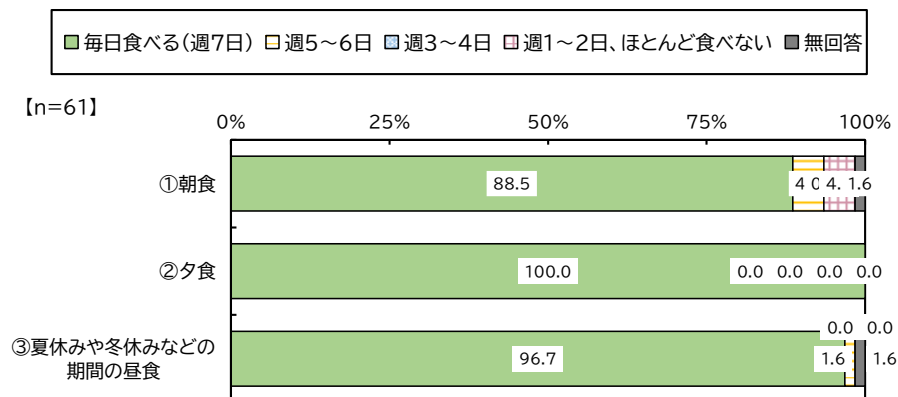
問7で「2. 参加していない」と回答した、小学5年生39人、中学2年生5人に、その理由を尋ねると、小学5年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」が51.3%と最も多く、次いで「塾や習い事が忙しいから」（20.5%）、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」（7.7%）と続いています。中学2年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」が60.0%と最も多く、次いで、「塾や習い事が忙しいから」、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」、「費用がかかるから」、「一緒にいる友達がいないから」（いずれも20.0%）となっています。

3 ふだんの生活状況について

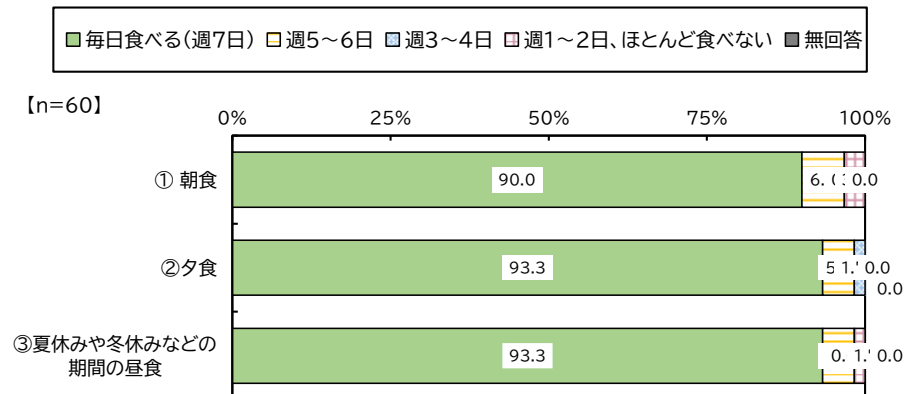
(1) 食事の状況

問8 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(①～③それぞれについて、1つに○)

●小学生



●中学生

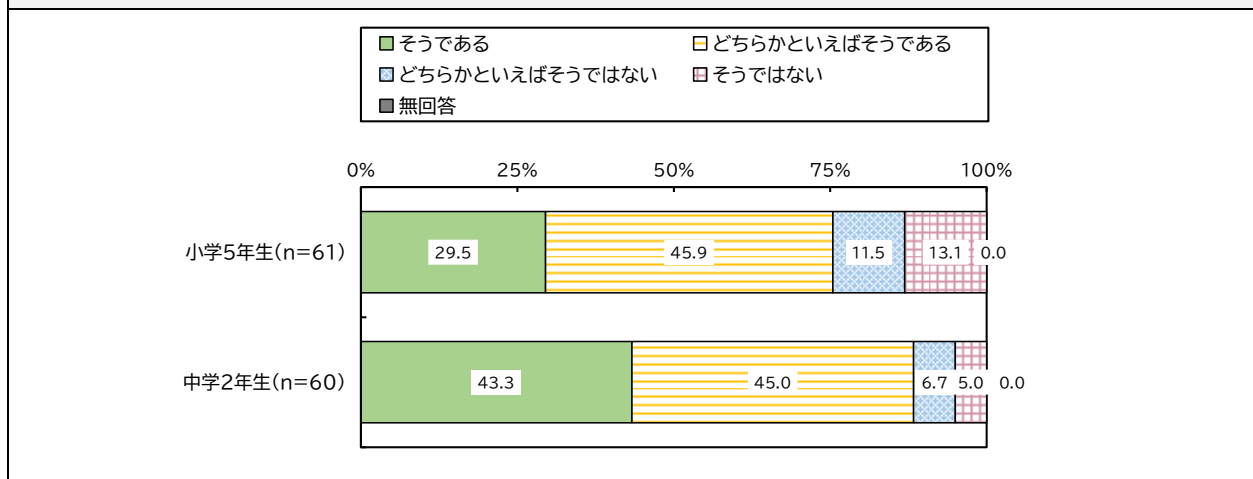


食事の摂取状況について「毎日食べる(週7日)」の割合をみると、小学5年生では、「①朝食」が88.5%、「②夕食」が100%、「③夏休みや冬休みなどの期間の昼食」が96.7%となっています。中学2年生では、「①朝食」が90.0%、「②夕食」が93.3%、「③夏休みや冬休みなどの期間の昼食」が93.3%となっています。

小学5年生、中学2年生ともに朝食の割合が低くなっています。

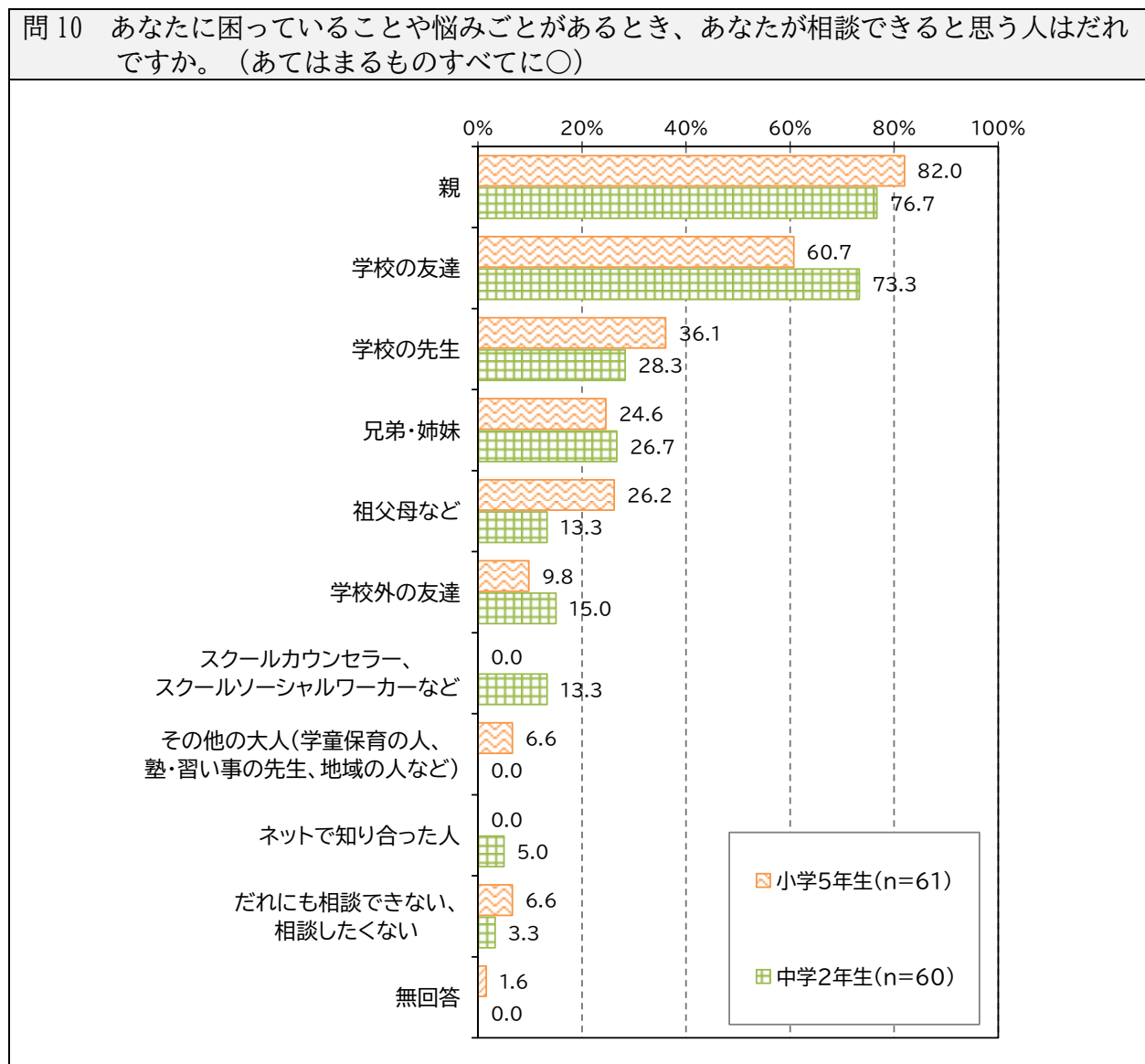
(2) 就寝時間について

問9 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(1つに○)



ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ているかは、『そうである』(「『そうである』と『どちらかといえばそうである』の合計)の割合をみると、小学5年生は75.4%、中学2年生88.3%となっています。

(3) 困りごとと悩みごとの相談先



悩みごとなどを相談できる人は、小学5年生では、「親」が82.0%と最も多く、次いで「学校の友達」（60.7%）、「学校の先生」（36.1%）と続いています。中学2年生では、「親」が76.7%と最も多く、次いで「学校の友達」（73.3%）、「学校の先生」（28.3%）と続いています。

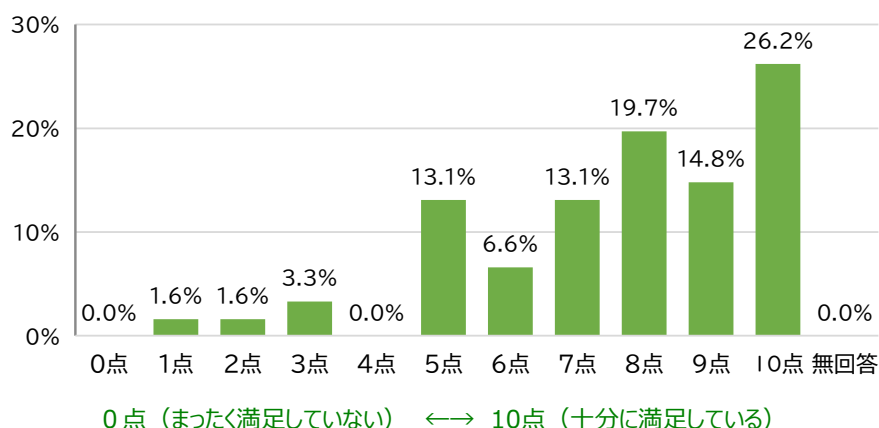
また、「だれにも相談できない、相談したくない」は小学生が6.6%、中学生が3.3%となっています。

(4) 生活の満足度

問 11 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。（1つに○）

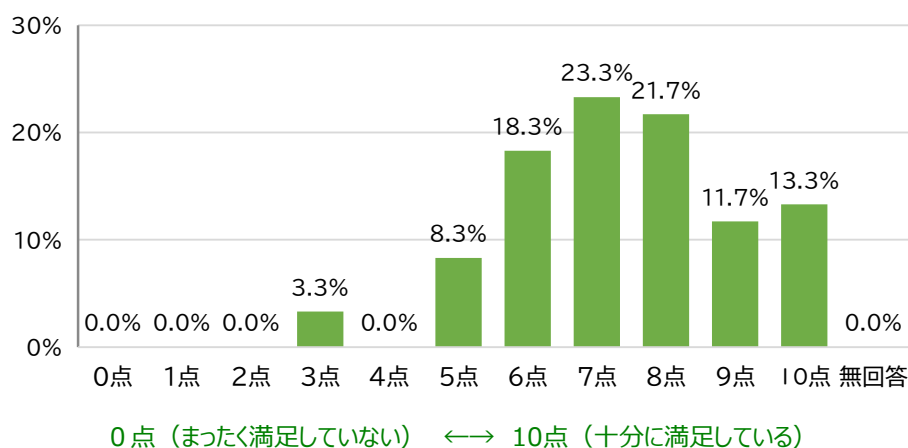
●小学5年生

【n=61】



●中学2年生

【n=60】



現在の生活への満足度は、小学5年生では、「10点（十分に満足している）」が26.2%と最も多く、次いで「8点」（19.7%）、「9点」（14.8%）、「5点」（13.1%）、「7点」（13.1%）と続いています。

中学2年生では、「7点」が23.3%と最も多く、次いで「8点」（21.7%）、「6点」（18.3%）、「10点（十分に満足している）」（13.3%）、「9点」（11.7%）と続いています。

小学5年生の平均は7.64点、中学2年生の平均は7.37点となっています。

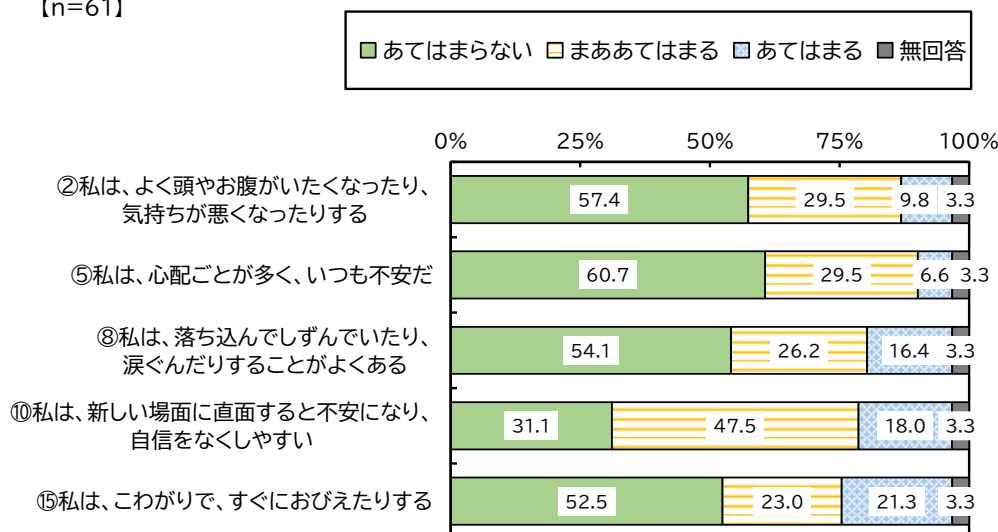
※問 12 の設問は、「子どもの強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」を参考に、「情緒の問題」、「仲間関係問題」、「向社会的な問題」を測定する設問です。

(5) 情緒の問題

問 12 次のそれぞれの質問について、「1. あてはまらない」「2. まああてはまる」「3. あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのこ半年くらいのことを考えて答えてください。(①～⑤それぞれについて、1つお選びください)

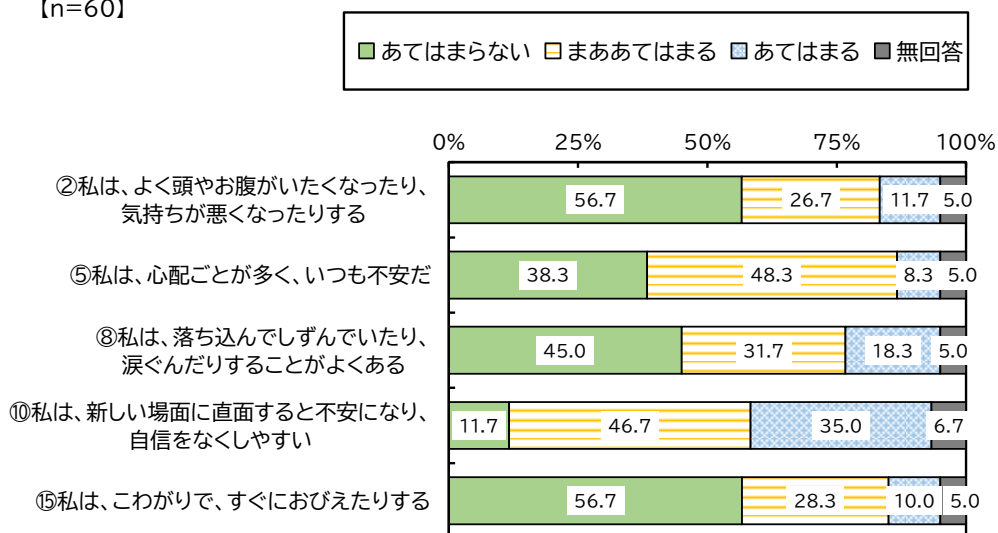
●小学5年生

【n=61】



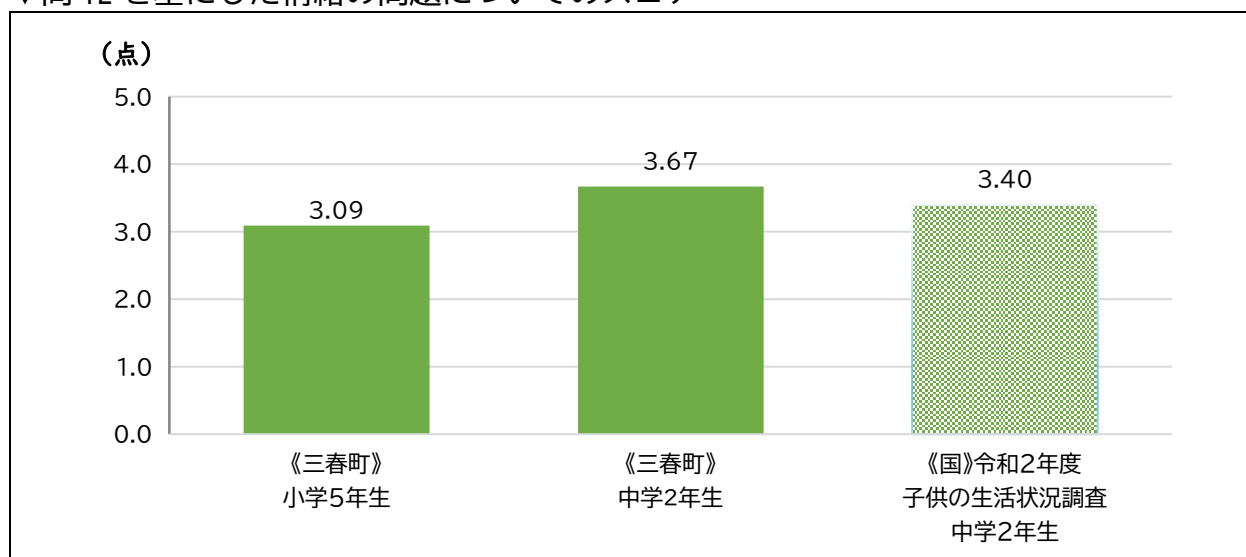
●中学2年生

【n=60】



情緒の問題について、「あてはまる」（「まああてはまる」と「あてはまる」の合計）の割合は、「⑩私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい」が小学5年生では、65.5%、中学2年生では、81.7%と最も多くなっています。

▼問 12 を基にした情緒の問題についてのスコア



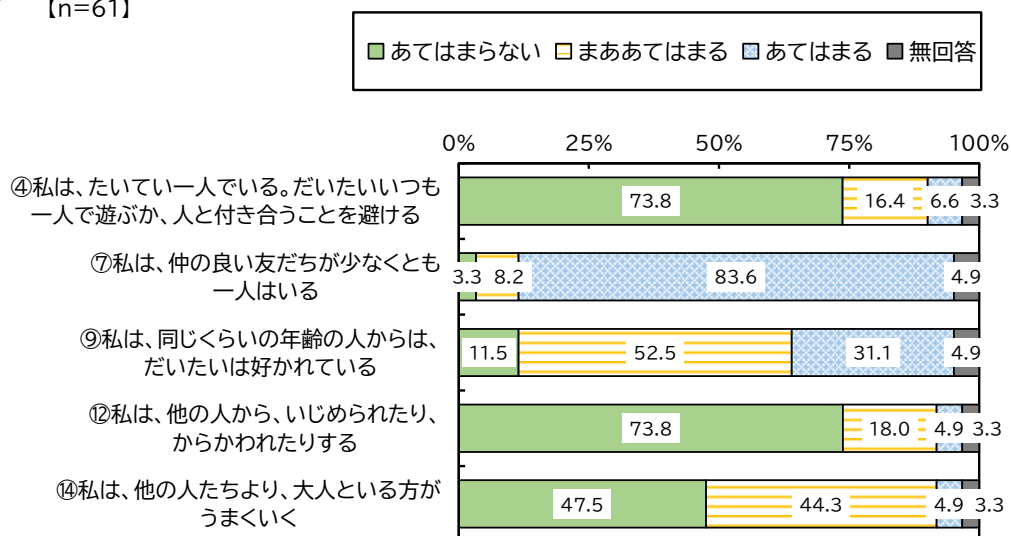
情緒の問題について、「強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」を参考に、対応する設問の「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点として合計したスコア (0～10点、得点が高いほど、情緒に関する問題性が高いと考えられる) の平均値は、小学5年生では3.09点、中学2年生では3.67点となっています。

また、国で行われた「令和2年度子供の生活状況調査」の中学2年生の平均値は3.40点となっています。

(6) 仲間関係の問題

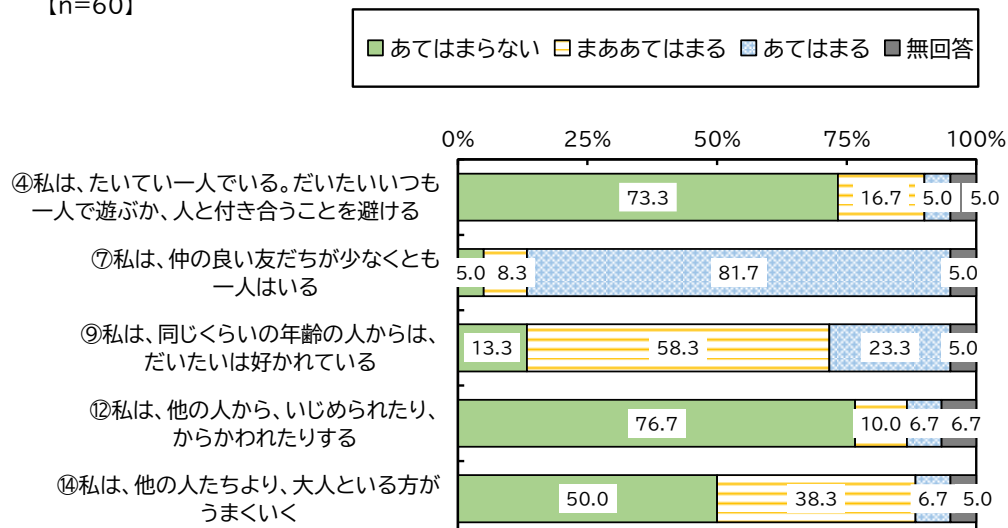
●小学5年生

【n=61】



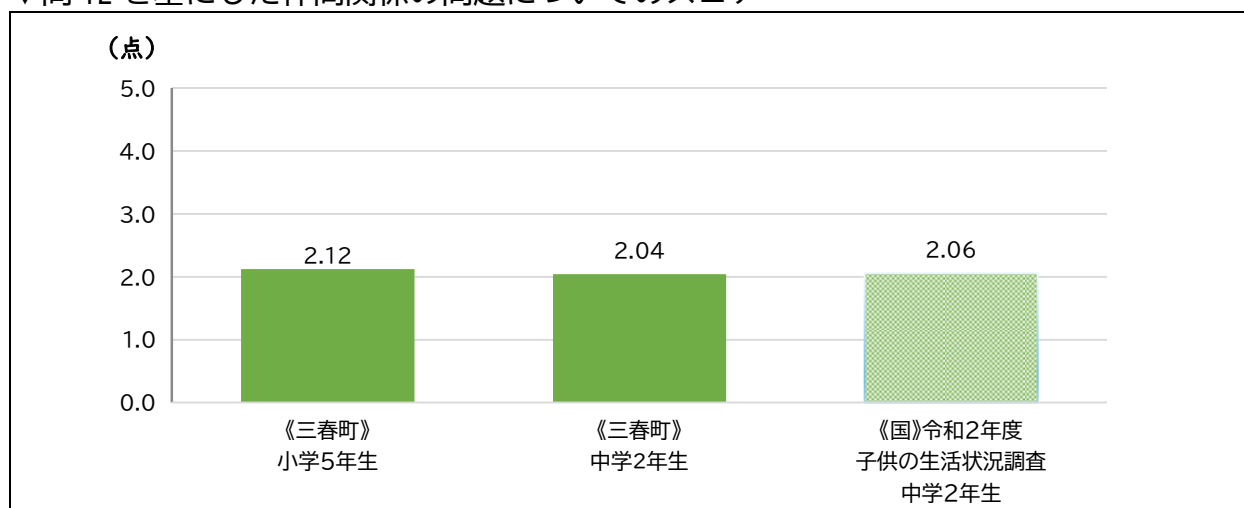
●中学2年生

【n=60】



仲間関係の問題について、「あてはまる」（「まああてはまる」と「あてはまる」の合計）の割合は、「⑦私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる」が小学5年生では、91.8%、中学2年生では、90.0%と最も多くなっています。

▼問 12 を基にした仲間関係の問題についてのスコア

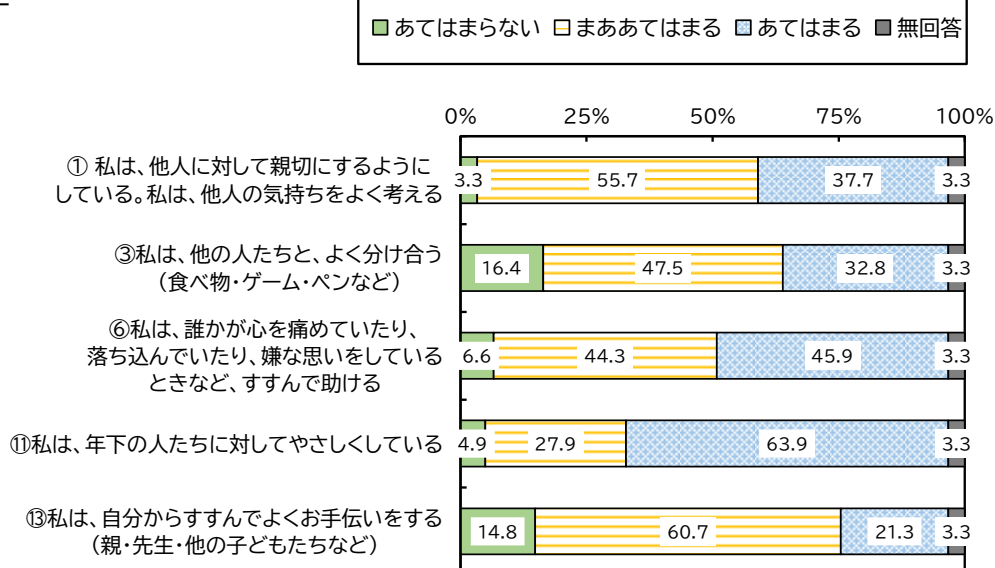


情緒の問題について、「強さと困難さアンケート（SDQ：Strengths and Difficulties Questionnaire）」を参考に、対応する設問の「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点として合計したスコア（0～10点、得点が高いほど、仲間関係に関する問題性が高いと考えられる）の平均値は、小学5年生では2.12点、中学2年生では2.04点となっています。

また、国で行われた「令和2年度子供の生活状況調査」の中学2年生の平均値は2.06点となっています。

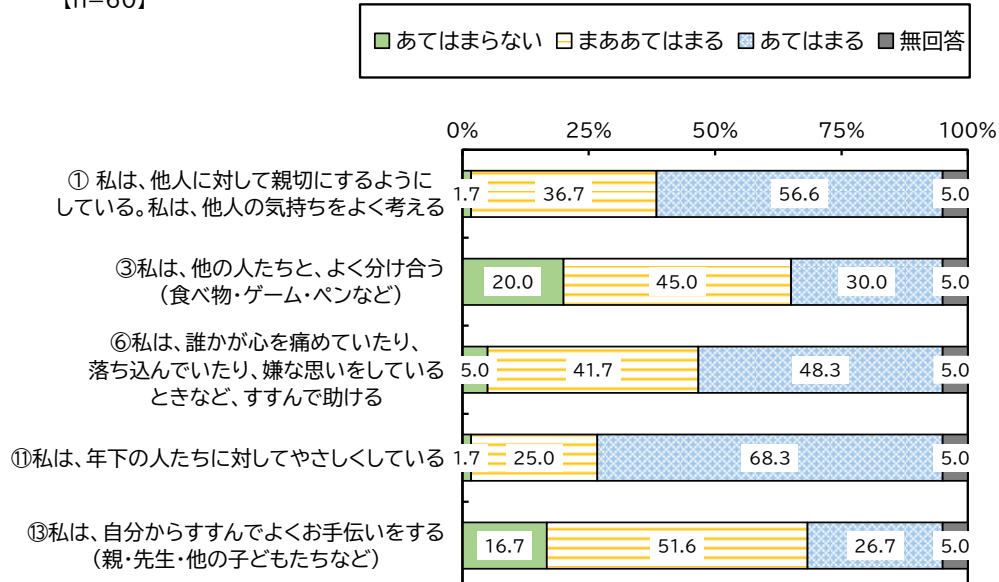
(7) 向社会性の問題

●小学5年生 【n=61】



●中学2年生

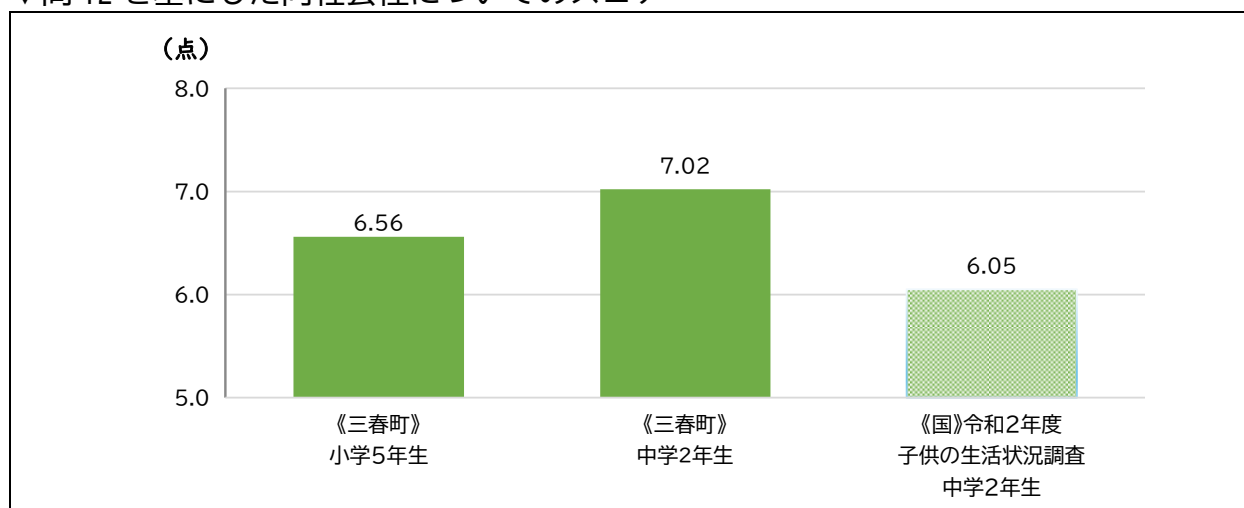
【n=60】



向社会性の問題について、「あてはまる」（「まああてはまる」と「あてはまる」の合計）の割合は、小学5年生では、「①私は、他人に対して親切にしようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える」が93.4%と最も多くなっています。

中学2年生では、「①私は、他人に対して親切にしようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える」、「⑪私は、年下の人たちに対してやさしくしている」がともに93.3%と最も多くなっています

▼問 12 を基にした向社会性についてのスコア



向社会性について、「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」を参考に、対応する設問の「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点として合計したスコア (0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる) の平均値は、小学5年生では6.56点、中学2年生では7.02点となっています。

また、国で行われた「令和2年度子供の生活状況調査」の中学2年生の平均値は6.05点となっています。

(8) 逆境体験について

問 13 あなたは今までに、以下の①～⑧のようなことがありましたか。あったという事柄の個数を下の枠から選んでください。(1つに○)

- ① 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を強く言われる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- ② 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- ③ 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- ④ 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- ⑤ 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- ⑥ 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- ⑦ 一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- ⑧ 一緒に住んでいる人、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる



逆境体験について、『3個以上あてはまる』（「3～4個あてはまる」、「5～6個あてはまる」、「すべてあてはまる（8個）」の合計）の割合は、小学5年生では1.6%、中学2年生では3.3%となっています。

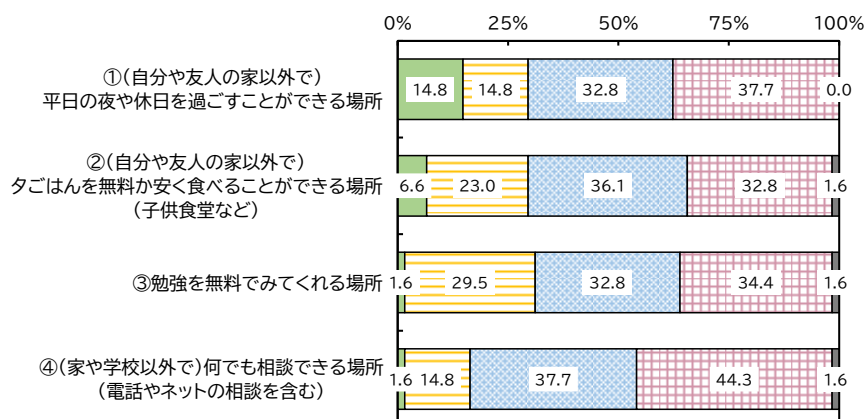
(9) 居場所について

問 14 あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(①～④それぞれについて、1つに○)

●小学5年生

【n=61】

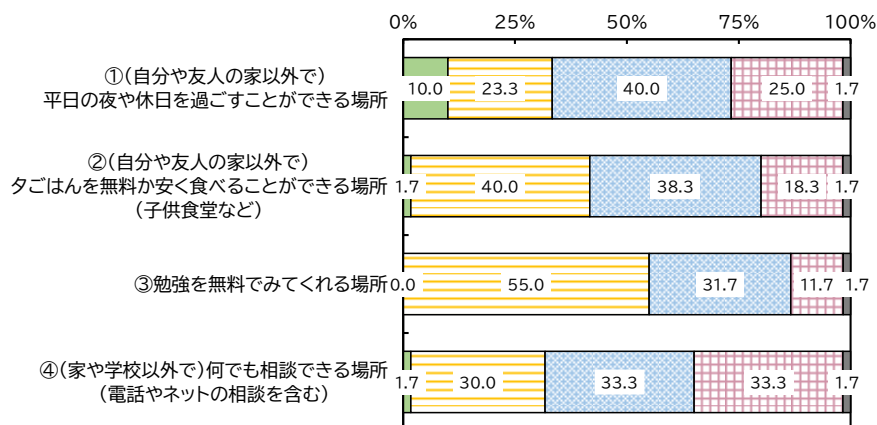
- 利用したことがある
- 利用したことはない、あれば利用したいと思う
- 利用したことはない、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはない、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



●中学2年生

【n=60】

- 利用したことがある
- 利用したことはない、あれば利用したいと思う
- 利用したことはない、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはない、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答

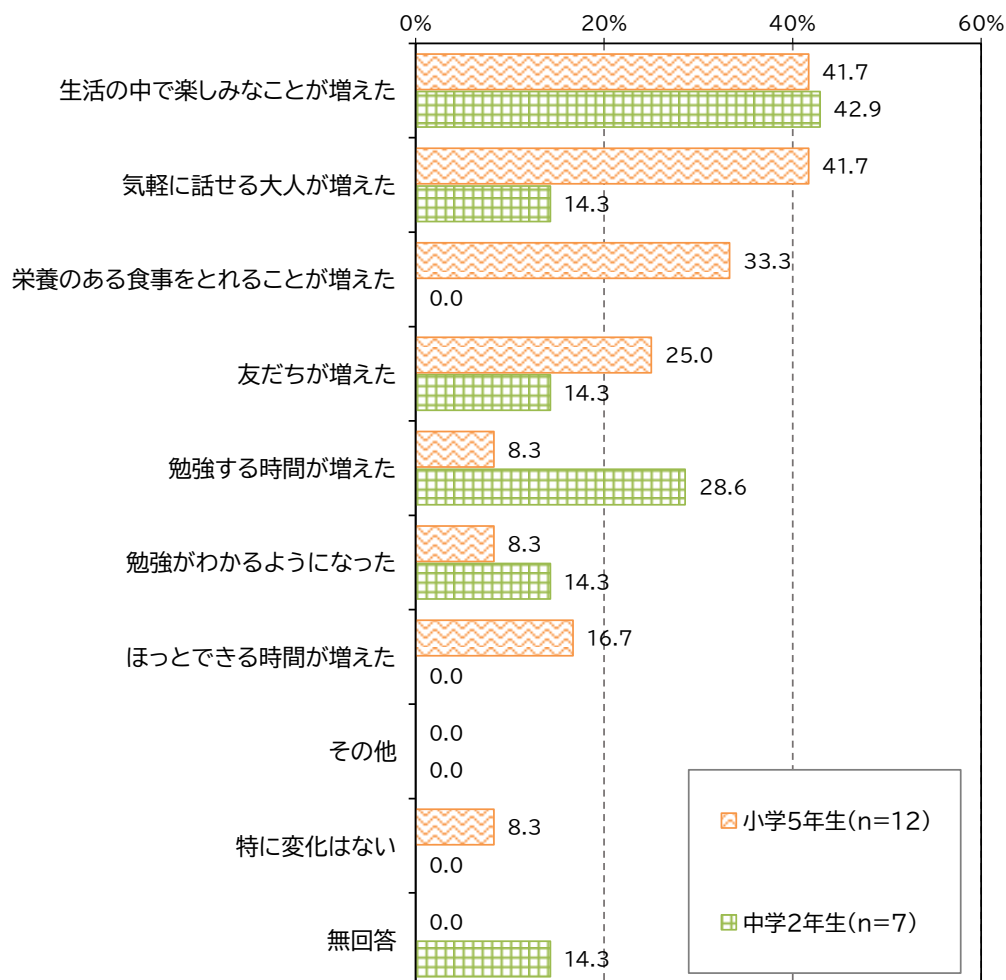


家や学校など以外の居場所について、「利用したことがある」と回答した割合を見ると、「①(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所」が、小学5年生で14.8%、中学2年生で10.0%と最も多くなっています。

また、「利用したことはない、あれば利用したい」との回答では「③勉強を無料でみてくれる場所」が、小学5年生で29.5%、中学2年生で55.0%と最も多くなっています。

問 14－1 【問 14 で1つでも「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします】

そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）



問 14 で1つでも「利用したことがある」と答えた小学5年生 12 人、中学2年生 7 人に、利用後の変化を尋ねたところ、小学5年生では「生活の中で楽しみなことが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」がともに 41.7%と最も多く、次いで「栄養のある食事をとれることが増えた」（33.3%）、「友だちが増えた」（25.0%）と続いています。

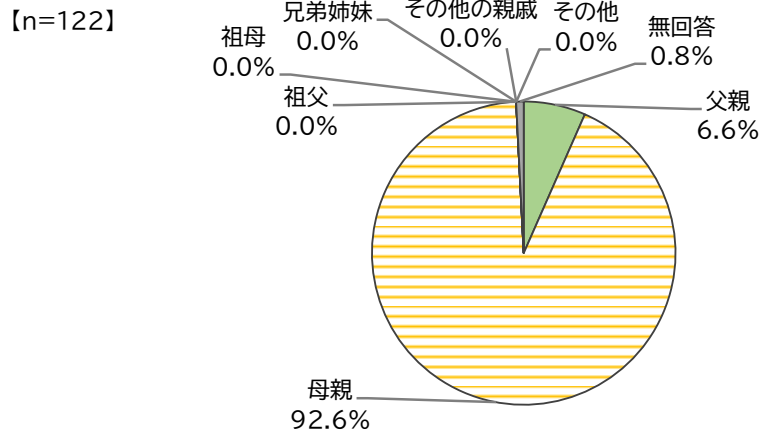
中学2年生では、「生活の中で楽しみなことが増えた」が42.9%と最も多く、次いで、「勉強する時間が増えた」（28.6%）、「気軽に話せる大人が増えた」、「友達が増えた」、「勉強がわかるようになった」（いずれも 14.3%）と続いています。

IV 「こどもの生活に関する実態調査」 保護者用調査 調査結果

1 あなたの世帯のことについて

(1) 回答者

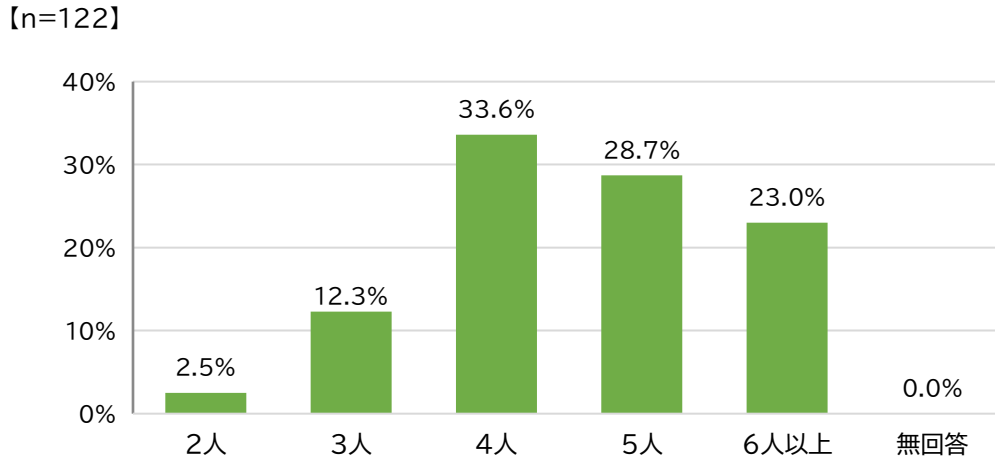
問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）



調査票の回答者は、「母親」が92.6%と最も多く、次いで「父親」が6.6%となっています。

(2) 同居している世帯の人数について

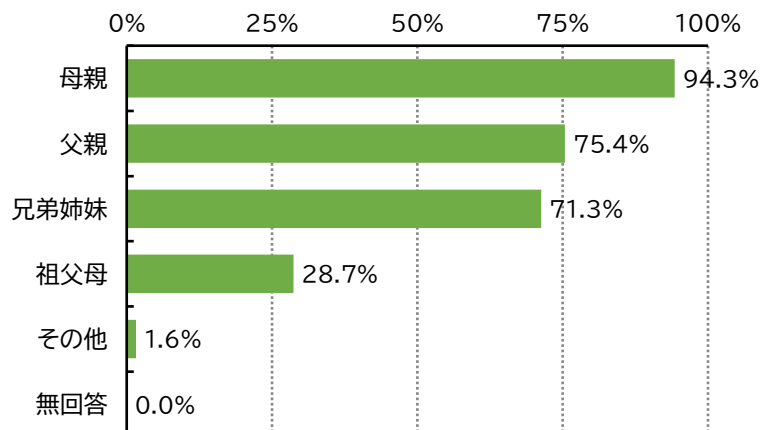
問2 お子さんと同居し生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む）をお答えください。※単身赴任中の方は含めないでください。



同居している世帯の人数は、「4人」が33.6%と最も多く、次いで「5人」(28.7%)、「6人以上」(23.0%)、「3人」(12.3%)、「2人」(2.5%)と続いています。

問3 問2で回答したご家族には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

【n=122】

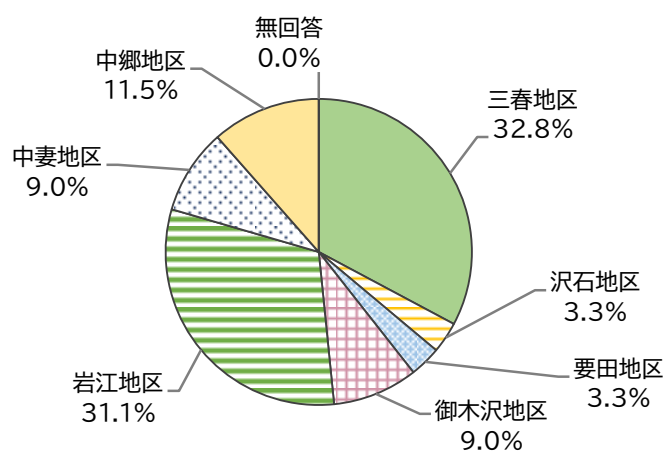


お子さまからみた同居している家族については、「母親」が94.3%と最も多く、次いで「父親」（75.4%）、「兄弟姉妹」（71.3%）、「祖父母」（28.7%）と続いています。

（3）居住地区

問4 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

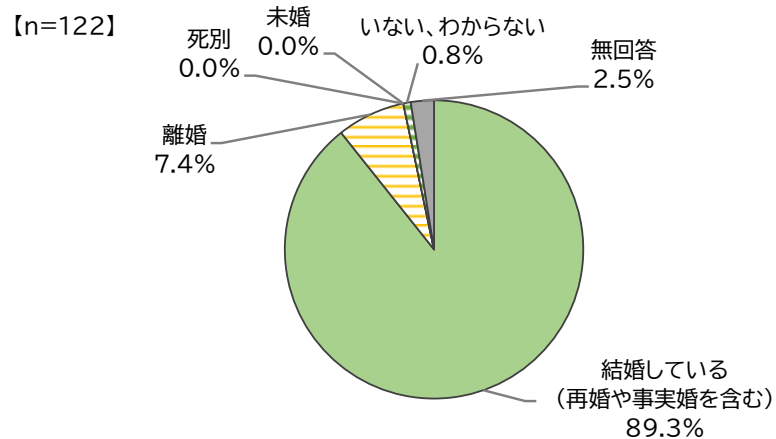
【n=122】



回答者の居住地区は、「三春地区」が32.8%と最も多く、次いで「岩江地区」（31.1%）、「中郷地区」（11.5%）、「御木沢地区」、「中妻地区」（ともに9.0%）、「沢石地区」、「要田地区」（ともに3.3%）と続いています。

(4) 親の婚姻状況

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(1つに○)

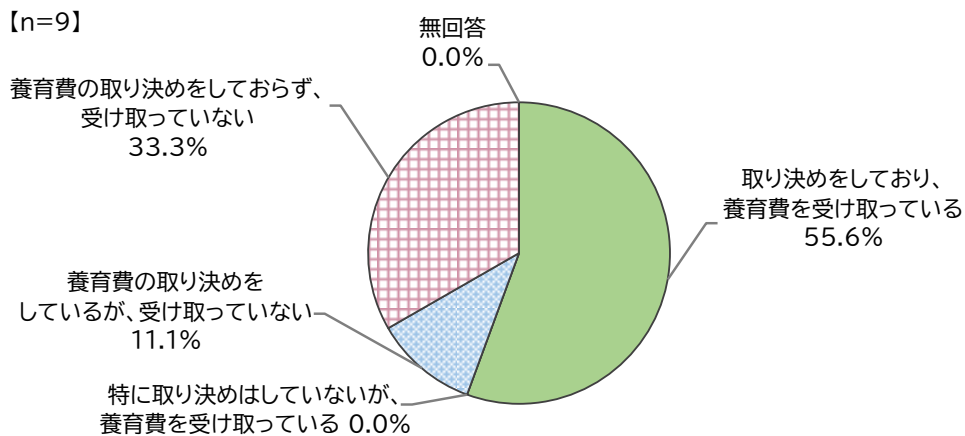


親の婚姻状況は、「結婚している(再婚や事実婚を含む)」が 89.3%、次いで「離婚」が 7.4%となっています。

(5) 離婚相手からの養育費について

問5-1 【問5で「2. 離婚」と答えた方におうかがいします】

離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(1つに○)

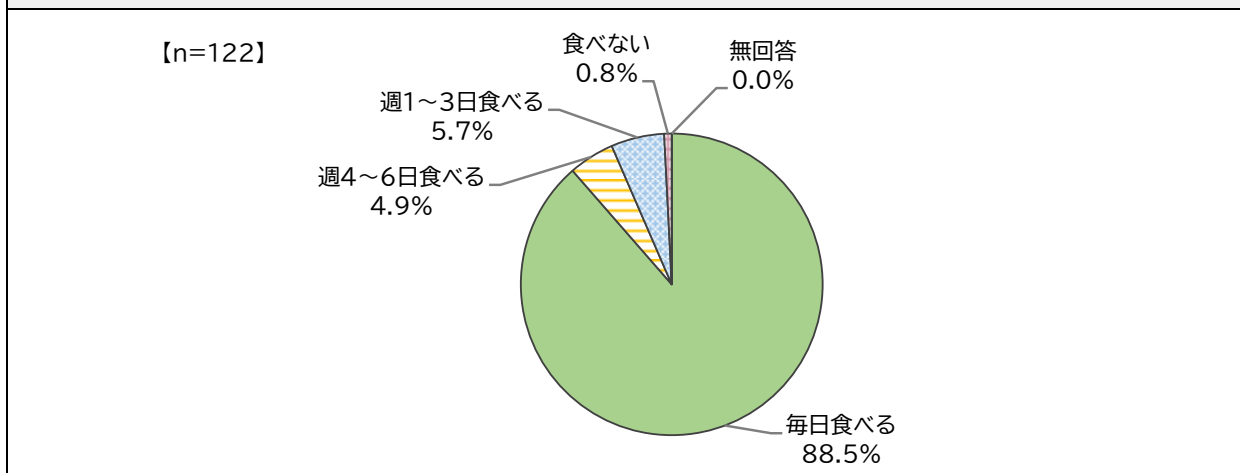


問5で「離婚」と回答した9人に、養育費について尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 55.6%と最も多く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っていない」(33.3%)、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」(11.1%)と続いています。

2 お子さんの食事について

(1) お子さんの朝食の状況

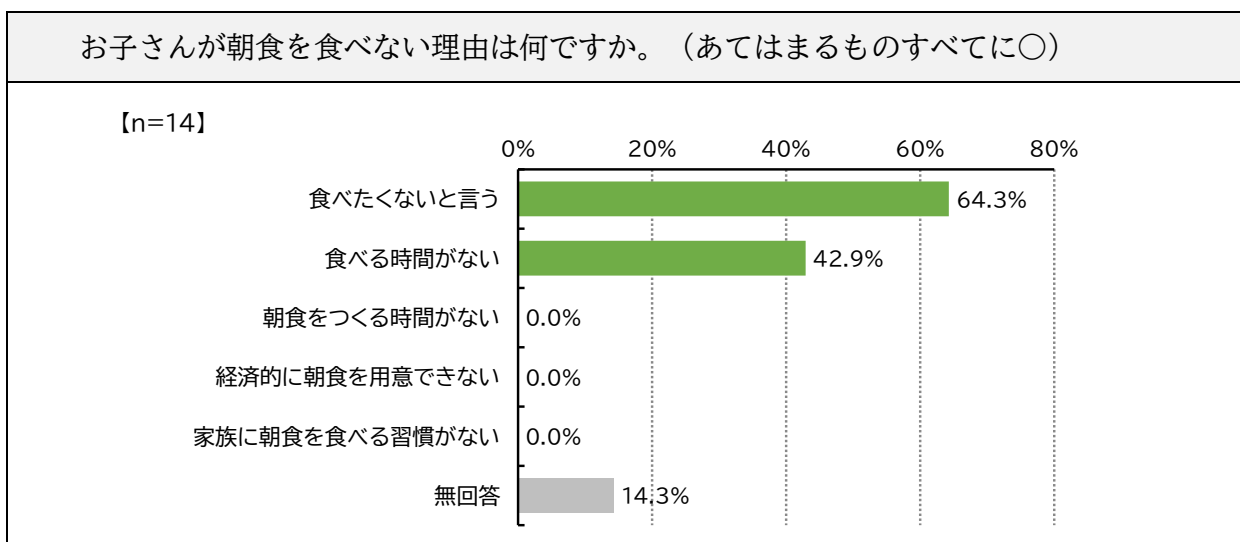
問6 お子さんの朝食の状況についてお答えください。(1つに○)



お子さんの朝食の状況は、「毎日食べる」が 88.5%と最も多く、次いで「週1～3日食べる」(5.7%)、「週4～6日食べる」(4.9%)となっています。また、「食べない」は0.8%となっています。

(2) 朝食を食べない理由

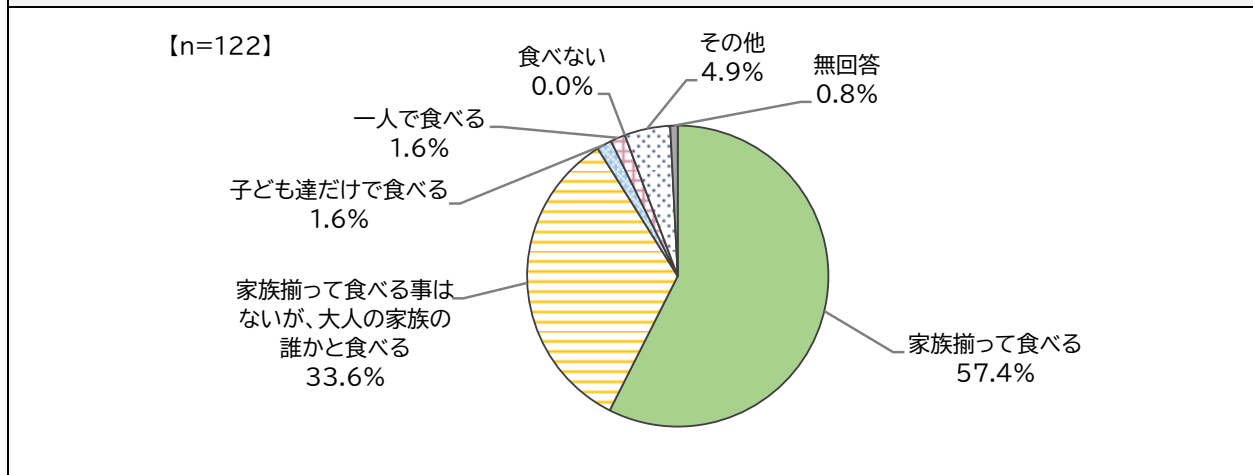
問6-1 【問6で「2. 週4～6日食べる」、「3. 週1～3日食べる」、「4. 食べない」と答えた方におうかがいします】



問6で朝食を「2. 週4～6日食べる」、「3. 週1～3日食べる」、「4. 食べない」と回答した14人にその理由を尋ねたところ、「食べたくないと言う」が64.3%、「食べる時間がない」が42.9%となっています。

(3) お子さんの夕食の状況

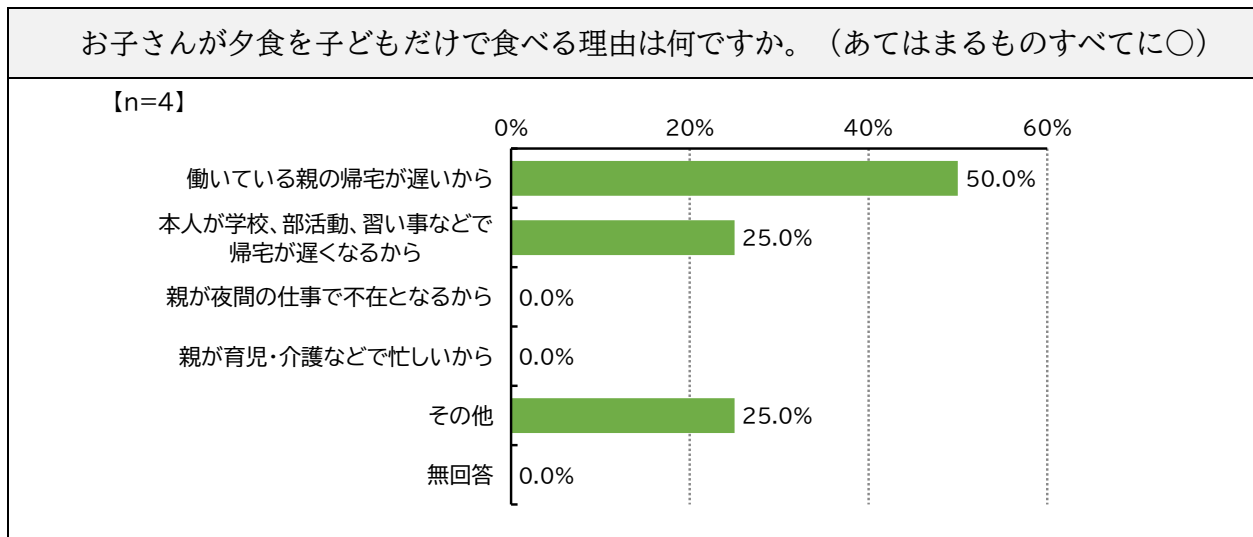
問7 お子さんの夕食の状況についてお答えください。(1つに○)



お子さんの夕食の状況は、「家族揃って食べる」が57.4%と最も多く、次いで「家族揃って食べる事はないが、大人の家族の誰かと食べる」(33.6%)、「その他」(4.9%)、「子ども達だけで食べる」(1.6%)と続いています。また、「一人で食べる」は1.6%となっています。

(4) 夕食を子どもだけで食べる理由

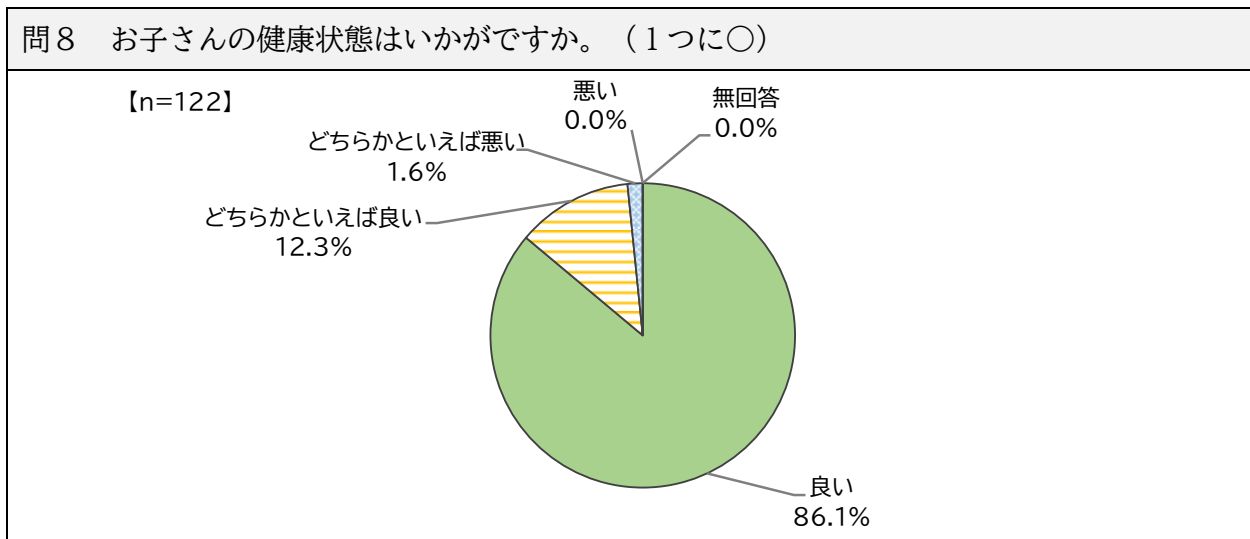
問7-1 【問7で「3. 子ども達だけで食べる」、「4. 一人で食べる」と答えた方におうかがいします】



問7で夕食を「3. 子ども達だけで食べる」、「4. 一人で食べる」と回答した4人にその理由を尋ねたところ、「働いている親の帰宅が遅いから」が50.0%、「本人が学校、部活動、習い事などで帰宅が遅くなるから」が25.0%となっています。また、「その他」は25.0%となっており、「生活時間帯がそれぞれ違うので個々に用意する」や「親の仕事、子どもの習い事など日によって違う」などの回答がありました。

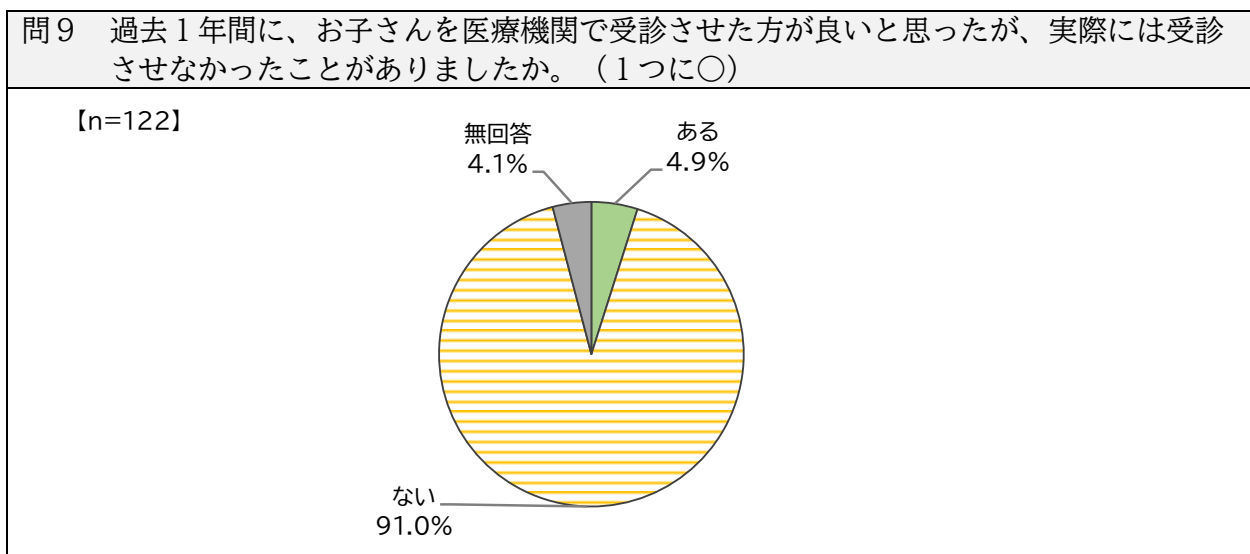
3 健康状態について

(1) お子さんの健康状態



お子さんの健康状態は、「良い」が86.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば良い」が12.3%、「どちらかといえば悪い」が1.6%となっています。

(2) お子さんの受診経験

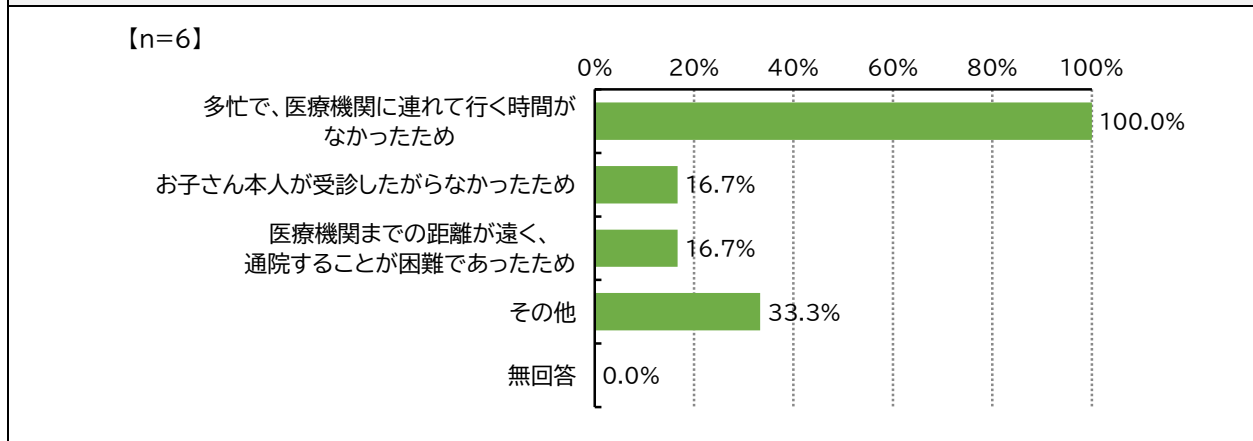


お子さんを医療機関で受診させた方が良かったと思っただが、実際には受診させなかったことがあるか、は、「ある」が4.9%、「ない」が91.0%となっています。

(3) 受診させなかった理由

問9-1 【問9で「1. ある」と答えた方におうかがいします】

お子さんを受診させなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

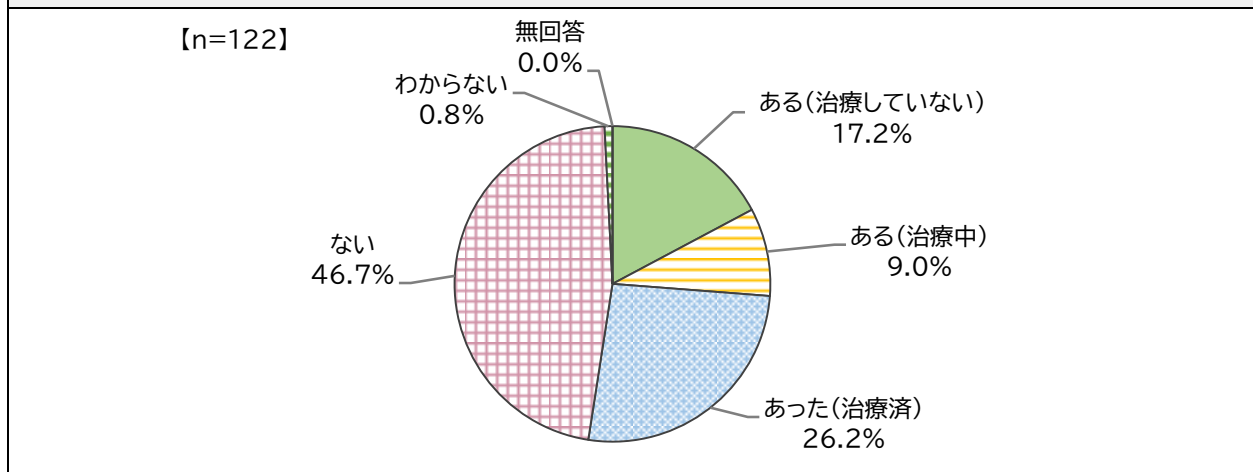


問9で「1. ある」と回答した6人にその理由を尋ねたところ、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が100.0%と最も多く、次いで「お子さん本人が受診しなかったため」（16.7%）、「医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため」（16.7%）と続いています。

また、「その他」は33.3%となっており、「部活動が終わる時間に医療機関が開いていない」などの回答がありました。

(4) お子さんのむし歯の状況

問10 お子さんのむし歯の状況についてお答えください。（1つに○）



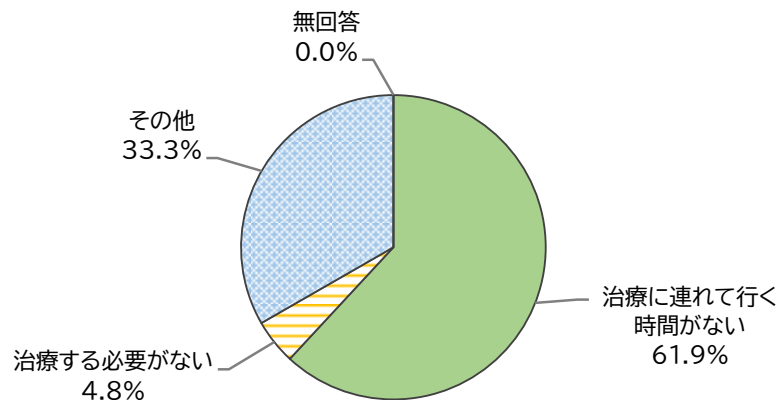
お子さんのむし歯の状況については、「ない」が46.7%と最も多く、次いで「あった（治療済）」（26.2%）、「ある（治療中）」（9.0%）、「ある（治療していない）」（17.2%）、「わからない」（0.8%）と続いています。

(5) 受診させなかった理由

問 10-1 【問 10 で「1. ある（治療していない）」と答えた方におうかがいします】

むし歯を治療していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【n=21】



問 10 で「1. ある（治療していない）」と回答した 21 人にその理由を尋ねたところ、「治療に連れて行く時間がない」が 61.9% と最も多く、「治療する必要がある」が 4.8% となっています。

また、「その他」は 33.3% となっており、「子ども本人が行きたがらない」などの回答がありました。

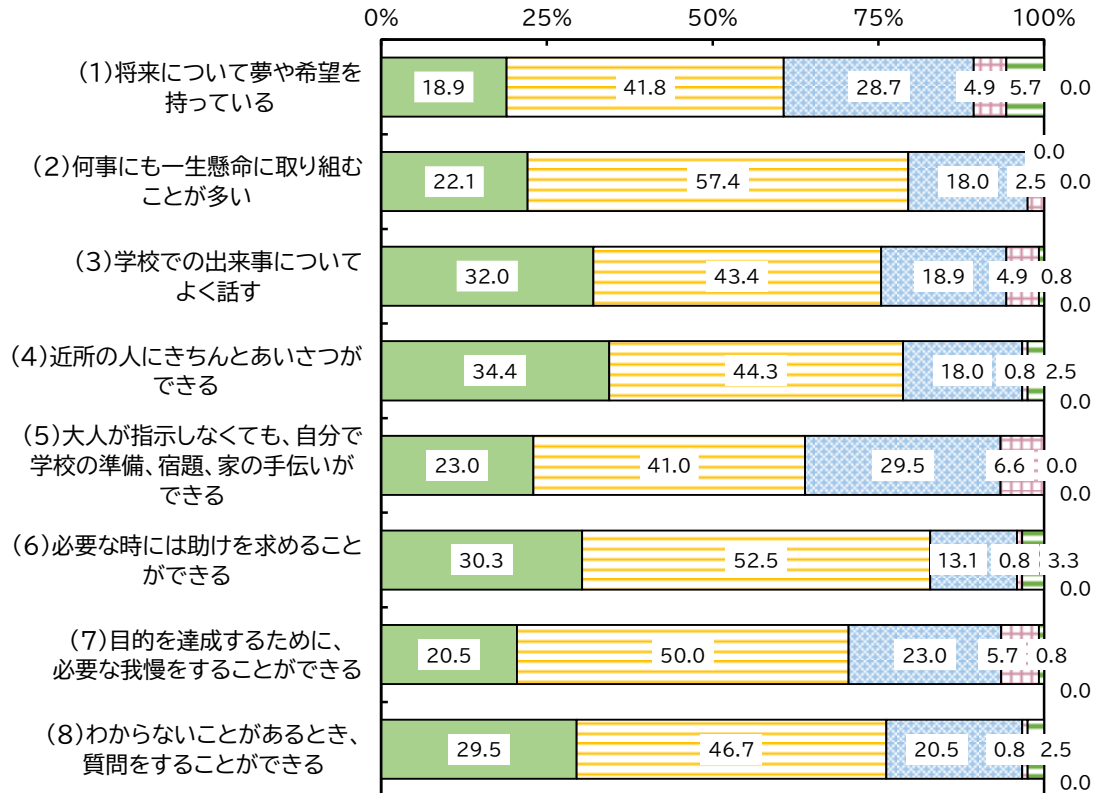
4 家庭・学校生活について

(1) お子さんの様子

問 11 次の(1)～(8)について、ここ1か月のお子さんの様子について、それぞれ最も近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

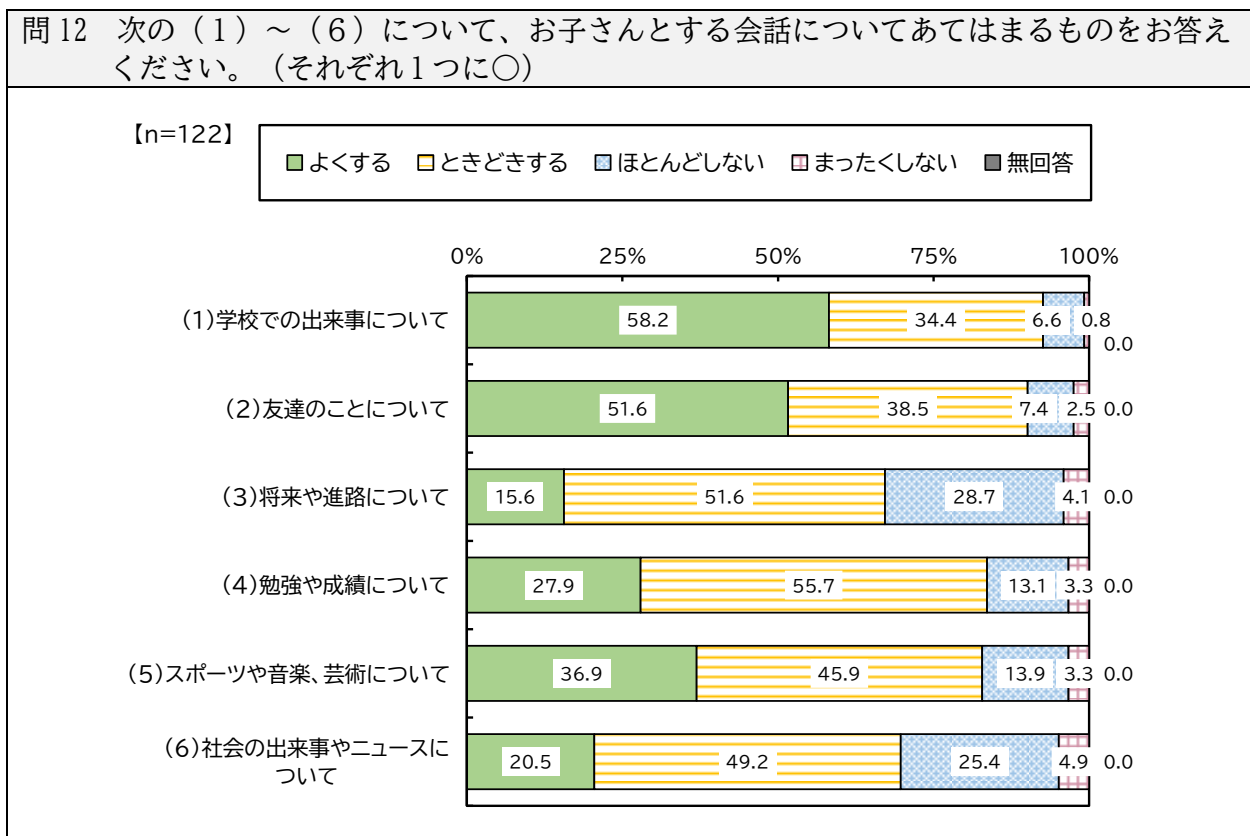
【n=122】

■ よくあてはまる ■ だいたいあてはまる ■ あまりあてはまらない
■ まったくあてはまらない ■ わからない ■ 無回答



お子さんの様子について、『あてはまる』（「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」の合計）の割合を見ると、「(6) 必要な時には助けを求めることができる」が82.8%と最も多く、次いで「(2) 何事にも一生懸命に取り組むことが多い」（79.5%）、「(4) 近所の人にきちんとあいさつができる」（78.7%）と続いています。

(2) お子さんとの会話について

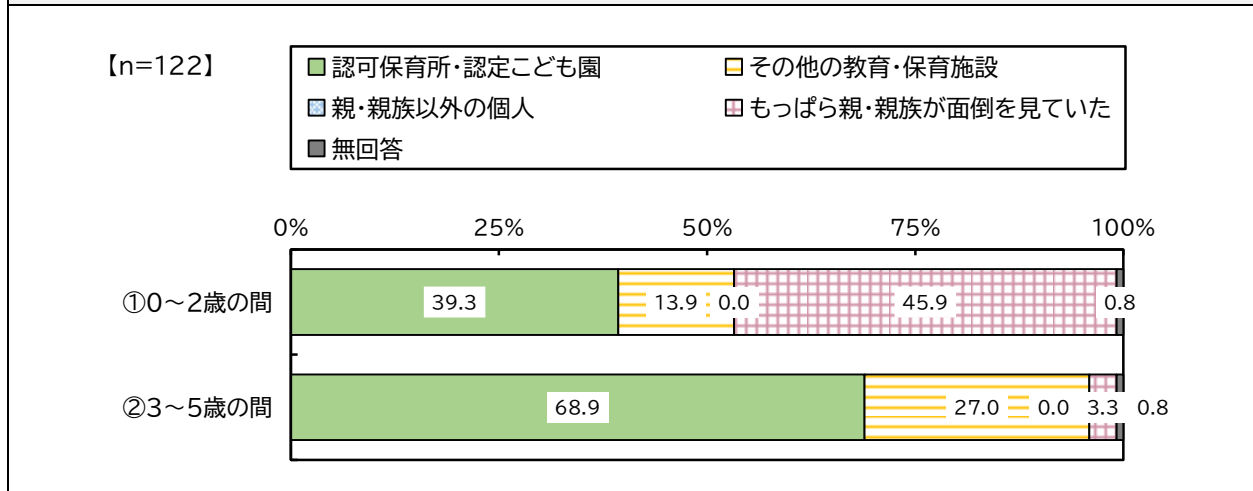


お子さんとの会話について、『する』（「よくする」と「ときどきする」の合計）の割合を見ると「(1)学校での出来事について」が92.6%と最も多く、次いで「(2)友達のことについて」(90.1%、「(4)勉強や成績について」(83.6%)と続いています。また、「(6)社会の出来事やニュースについて」が69.7%で最も少なくなっています。

(3) お子さんが通っていた教育・保育施設等

問 13 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（1つに○）

問 14 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（1つに○）

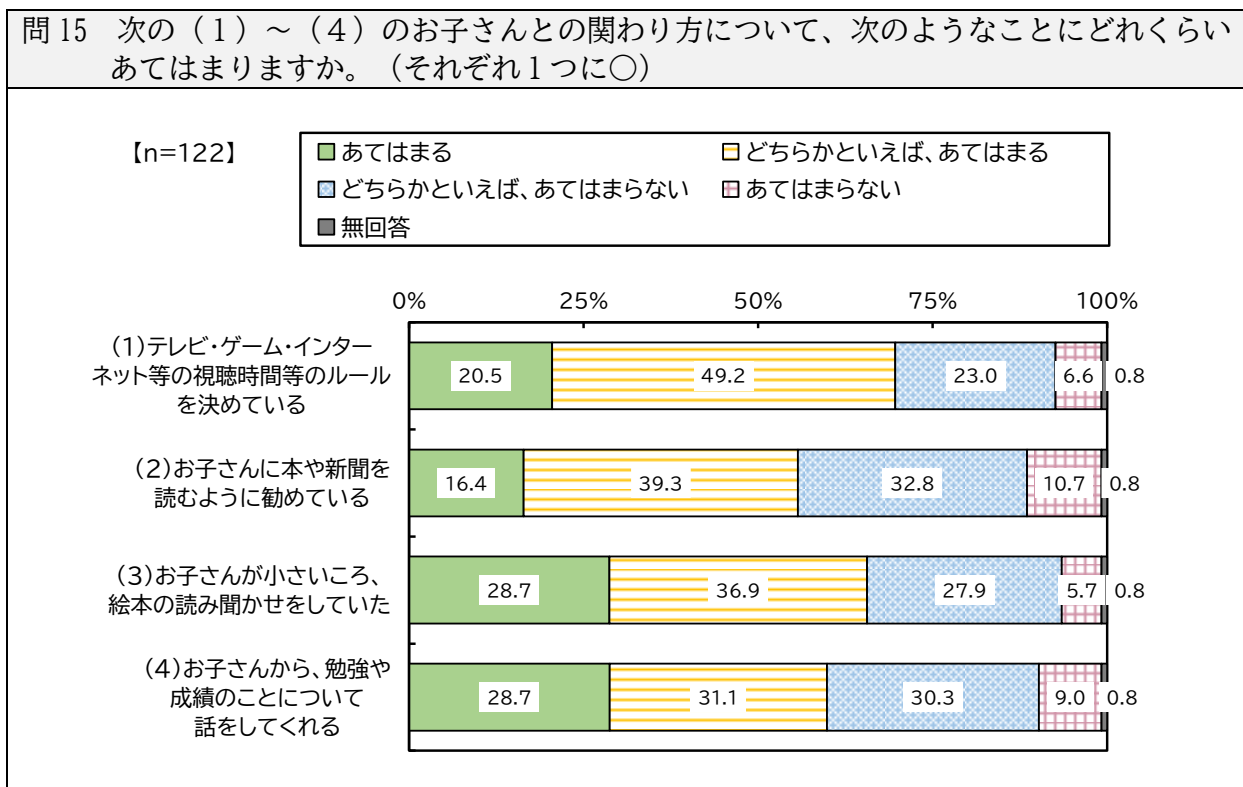


お子さんが小学校就学前に通っていた施設については、0～2歳の間では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が45.9%と最も多く、次いで「認可保育所・認定こども園」(39.3%)、「その他の教育・保育施設」(13.9%)となっています。

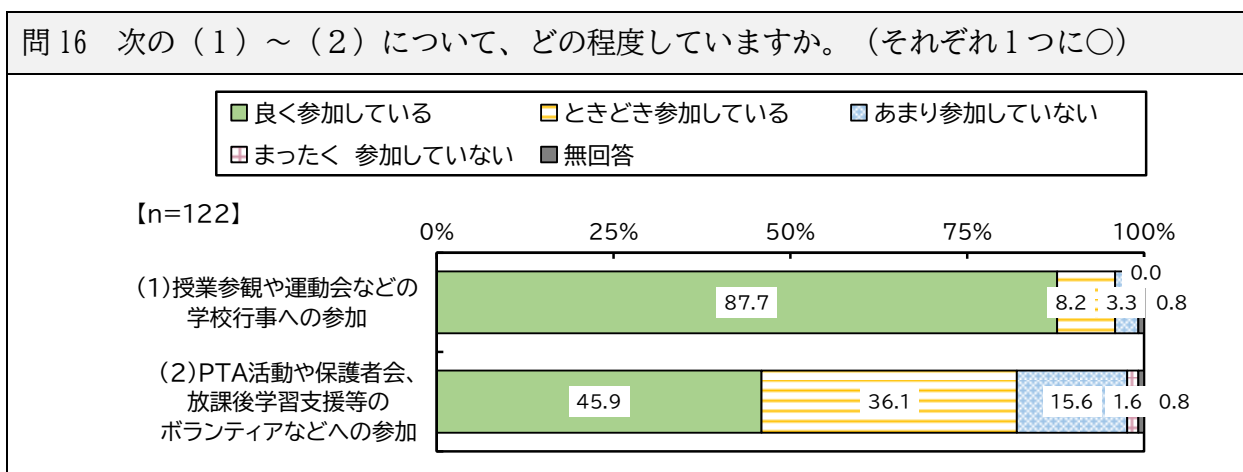
3～5歳の間では、「認可保育所・認定こども園」が68.9%と最も多く、次いで「その他の教育・保育施設」(27.0%)、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」(3.3%)となっています。

5 お子さんとの関りについて

(1) お子さんとの関りについて



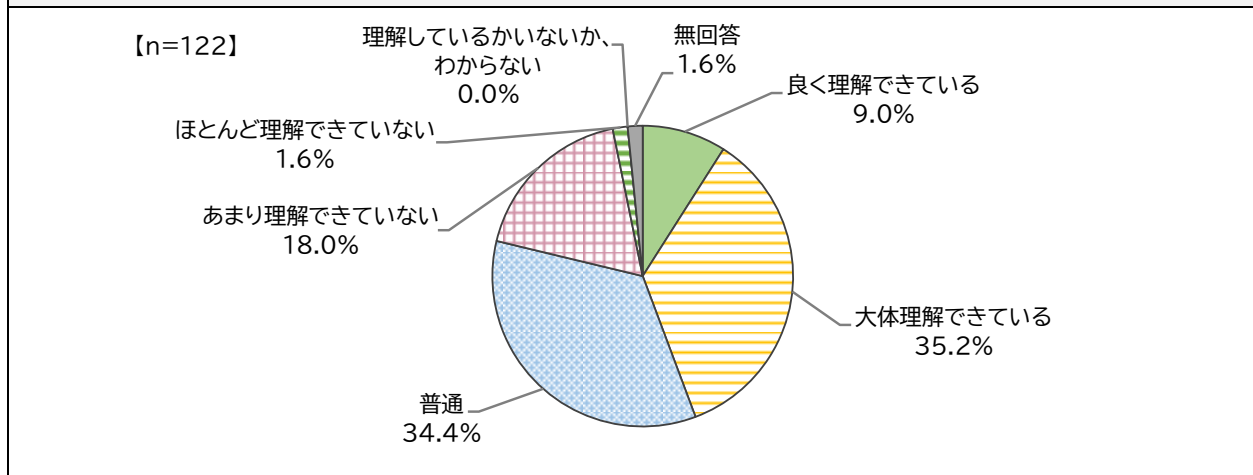
お子さんとの関わり方について、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合を見ると、「(1) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」が69.7%と最も多く、「(3) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」(65.6%)、「(4) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」(59.8%)、「(2) お子さんに本や新聞を読むように勧めている」(55.7%)となっています。



授業参観やPTA活動については、「良く参加している」の割合を見ると、「(1) 授業参観や運動会などの学校行事への参加」が87.7%、「(2) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」が45.9%となっています。

(2) お子さんの学習状況

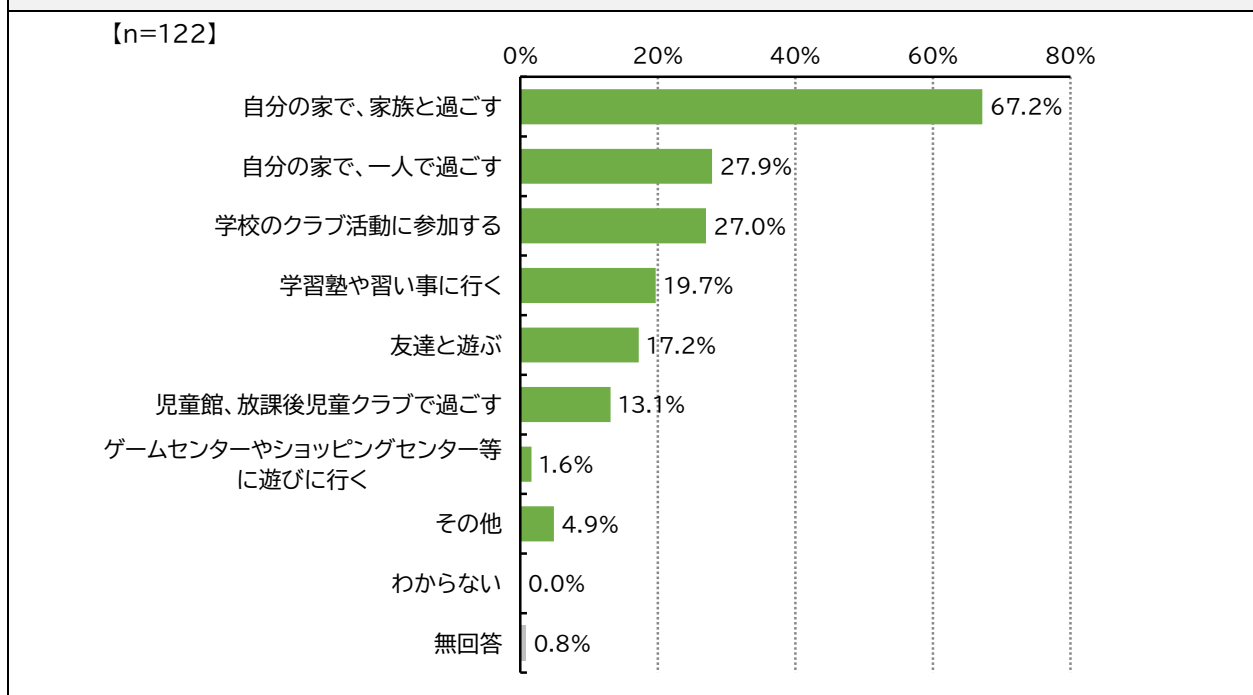
問 17 お子さんの学校での学習の理解状況はいかがですか。(1つに○)



お子さんの学習の理解状況は、「大体理解できている」が 35.2%と最も多く、次いで「普通」(34.4%)、「あまり理解できていない」(18.0%)、「良く理解できている」(9.0%)、「ほとんど理解できていない」(1.6%)と続いています。

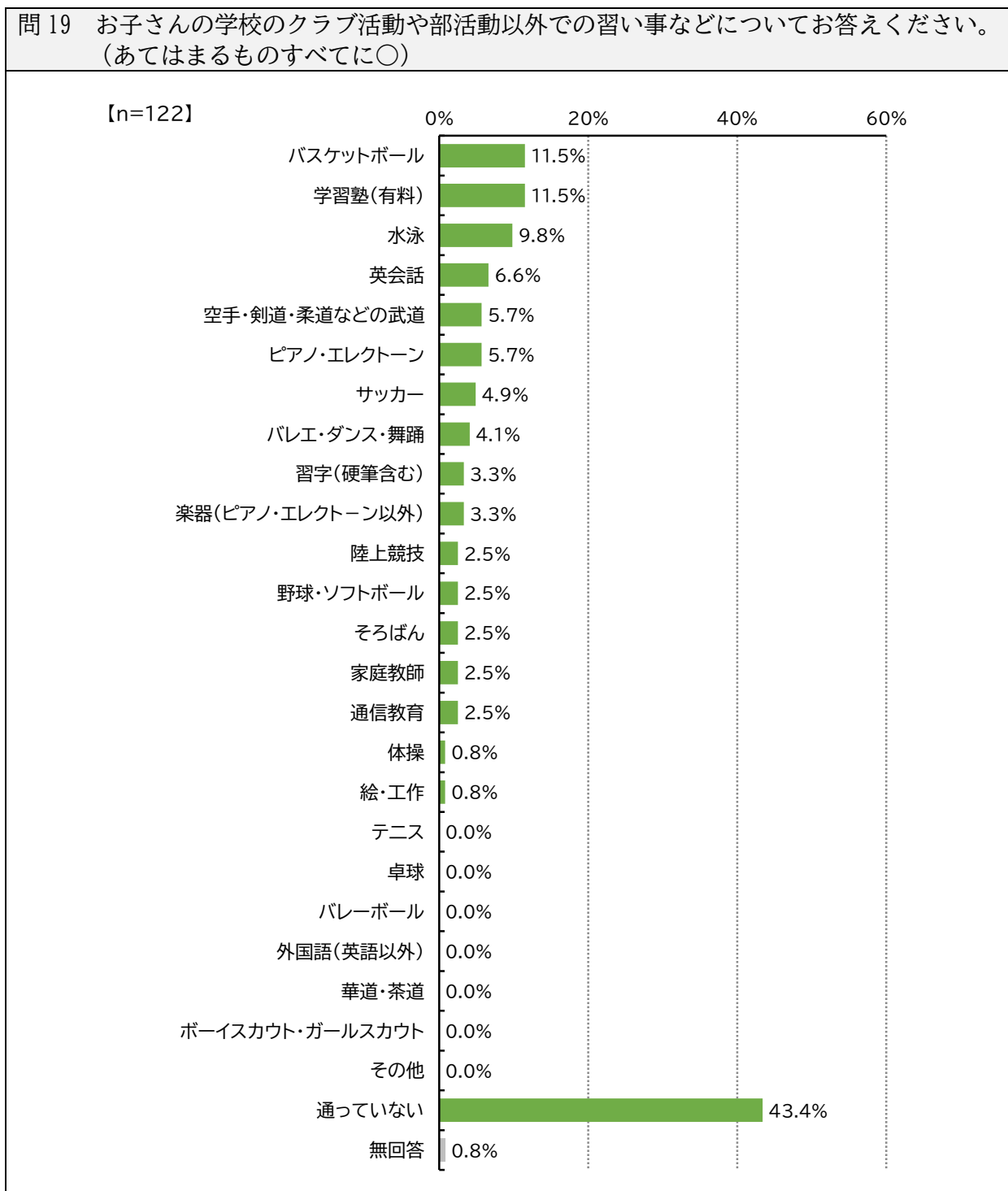
(3) 学校が終わった後の過ごし方

問 18 お子さんの平日の学校が終わった後の過ごし方をお答えください。(1つに○)



お子さんの学校が終わった後の過ごし方は、「自分の家で、家族と過ごす」が 67.2%と最も多く、次いで「自分の家で、一人で過ごす」(27.9%)、「学校のクラブ活動に参加する」(27.0%)、「学習塾や習い事に行く」(19.7%)、「友達と遊ぶ」(17.2%)などと続いています。

(4) 学校のクラブ活動や部活動以外の習い事



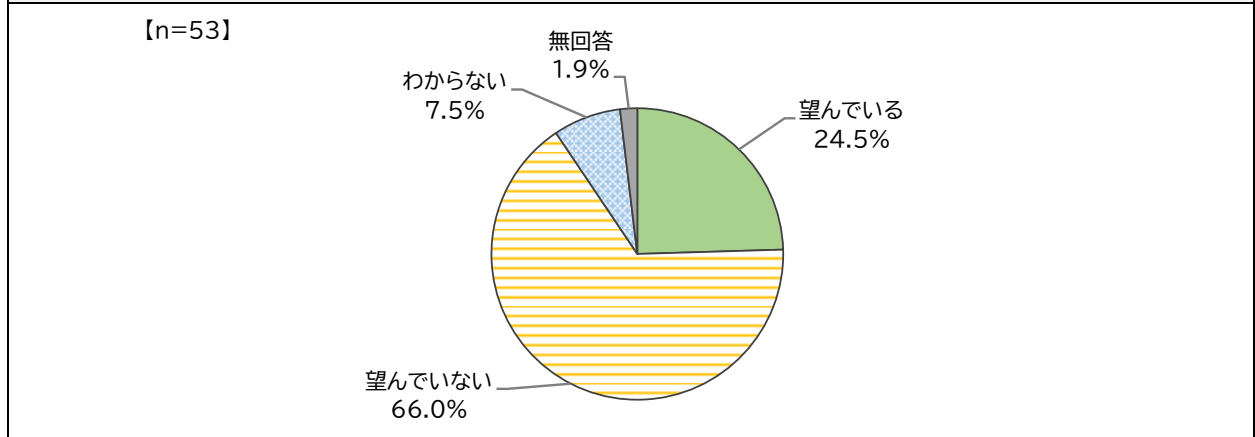
学校のクラブ活動や部活動以外での習い事は、「バスケットボール」と「学習塾（有料）」がともに11.5%と最も多く、次いで、「水泳」（9.8%）、「英会話」（6.6%）、「空手・剣道・柔道などの武道」、「ピアノ・エレクトーン」（ともに5.7%）、「サッカー」（4.9%）と続いています。

また、「通っていない」は43.4%となっています。

(5) 習い事に通っていない理由

問 19-1 【問 19 で「25. 通っていない」と答えた方におうかがいします】

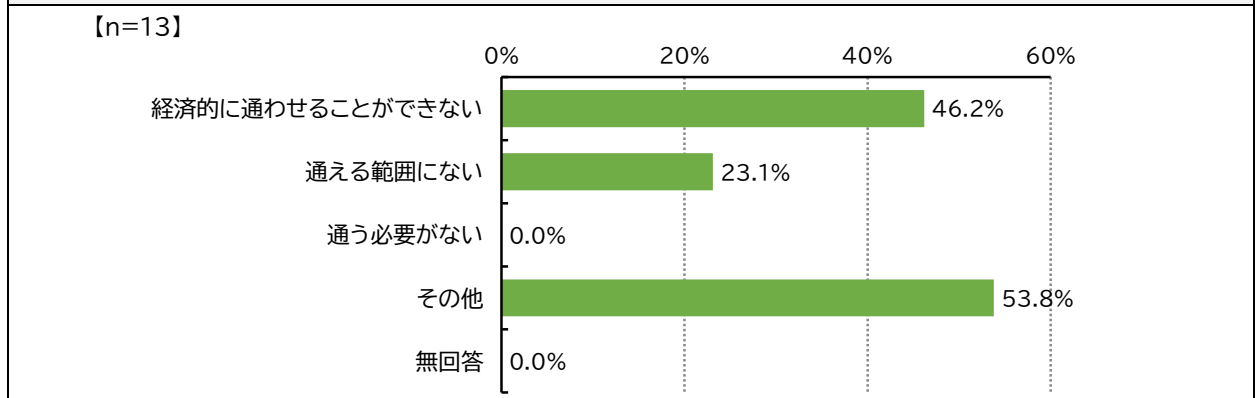
お子さんが問 19 の「1. 」～「24. 」の中で通ってみたいと望んでいますか。(1 つに○)



問 19 で「25. 通っていない」と回答した 53 人に習い事に通いたい希望があるかは、「望んでいない」が 66.0%と最も多く、次いで「望んでいる」(24.5%)、「わからない」(7.5%)となっています。

問 19-2 【問 19-1 で「1. 望んでいる」と答えた方におうかがいします】

お子さんが望んでいる習い事に通えていない理由はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)



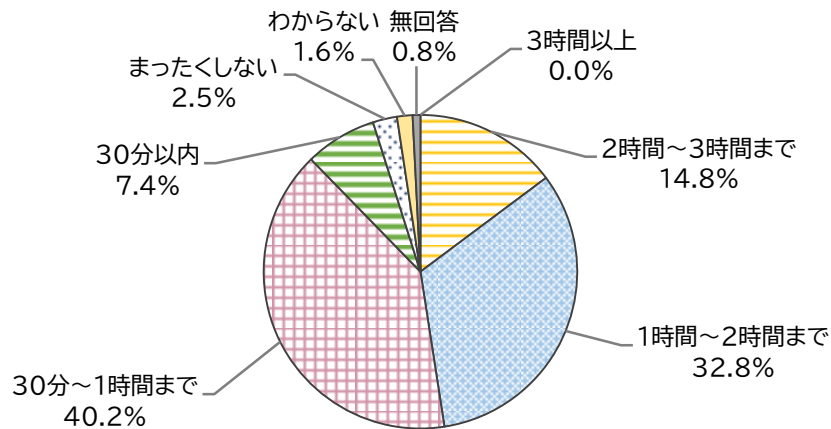
問 19-1 で「1. 望んでいる」と回答した 13 人に習い事に通えていない理由は、「経済的に通わせることができない」が 46.2%と最も多く、次いで「通える範囲にない」が 23.1%となっています。

また、「その他」は 53.8%となっており、「送迎ができない」、「検討中」などの回答がありました。

(6) お子さんの学習状況

問 20 お子さんは学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。塾などの時間も含みます。（1つに○）

【n=122】

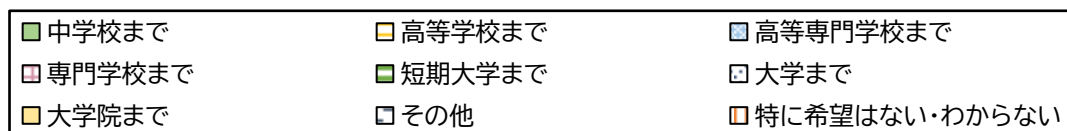


学校の授業以外の勉強時間は、「30分～1時間まで」が40.2%と最も多く、次いで「1時間～2時間まで」（32.8%）、「2時間～3時間まで」（14.8%）、「30分以内」（7.4%）となっています。また、「まったくしない」は2.5%となっています。

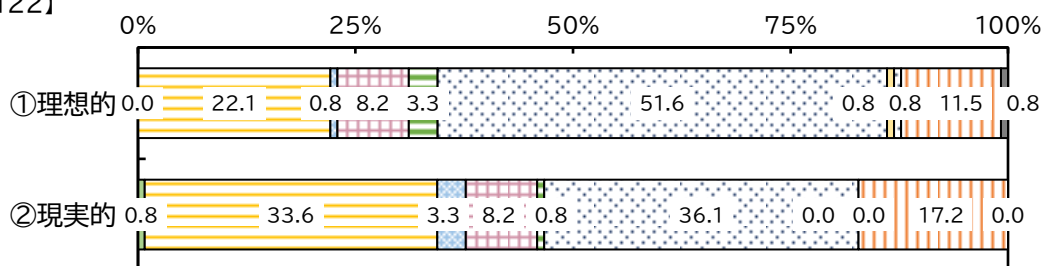
(7) お子さんの理想、現実的な進学先

問 21 お子さんに理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいですか。（1つに○）

問 22 お子さんが現実的にはどの段階の学校まで進むと考えていますか。（1つに○）



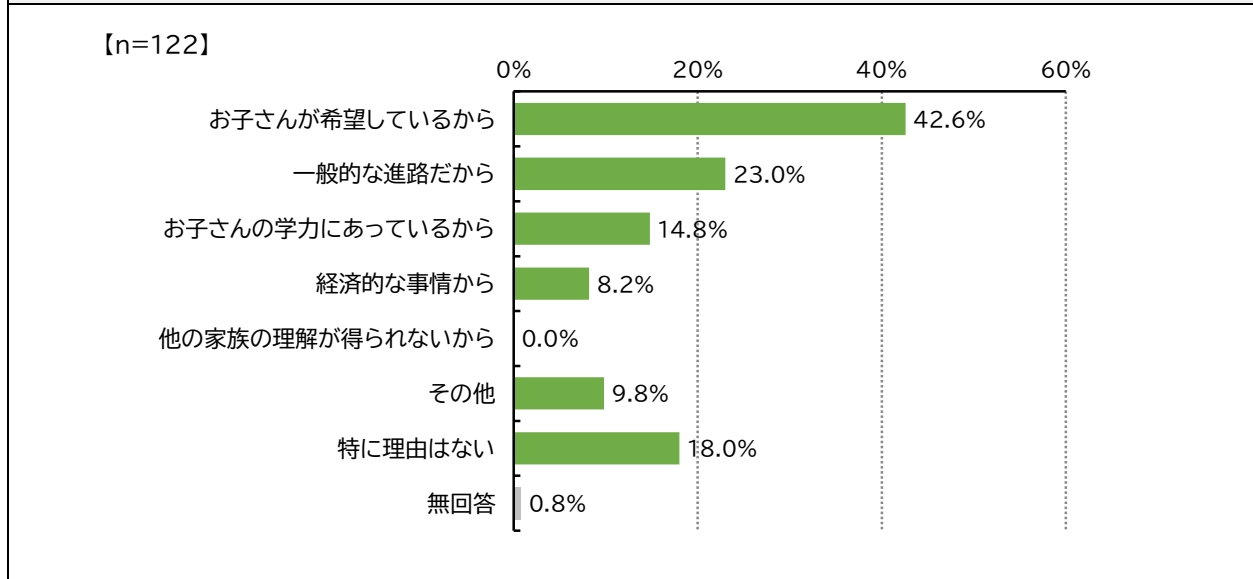
【n=122】



お子さんの理想的、現実的な進学先については、理想的には、「大学まで」が51.6%と最も多く、次いで「高等学校まで」（22.1%）、「特に希望はない」（11.5%）、「専門学校まで」（8.2%）、「短期大学まで」（3.3%）と続いています。

現実的には、「大学まで」が36.1%と最も多く、次いで「高等学校まで」（33.6%）、「わからない」（17.2%）、「専門学校まで」（8.2%）、「高等専門学校まで」（3.3%）と続いています。

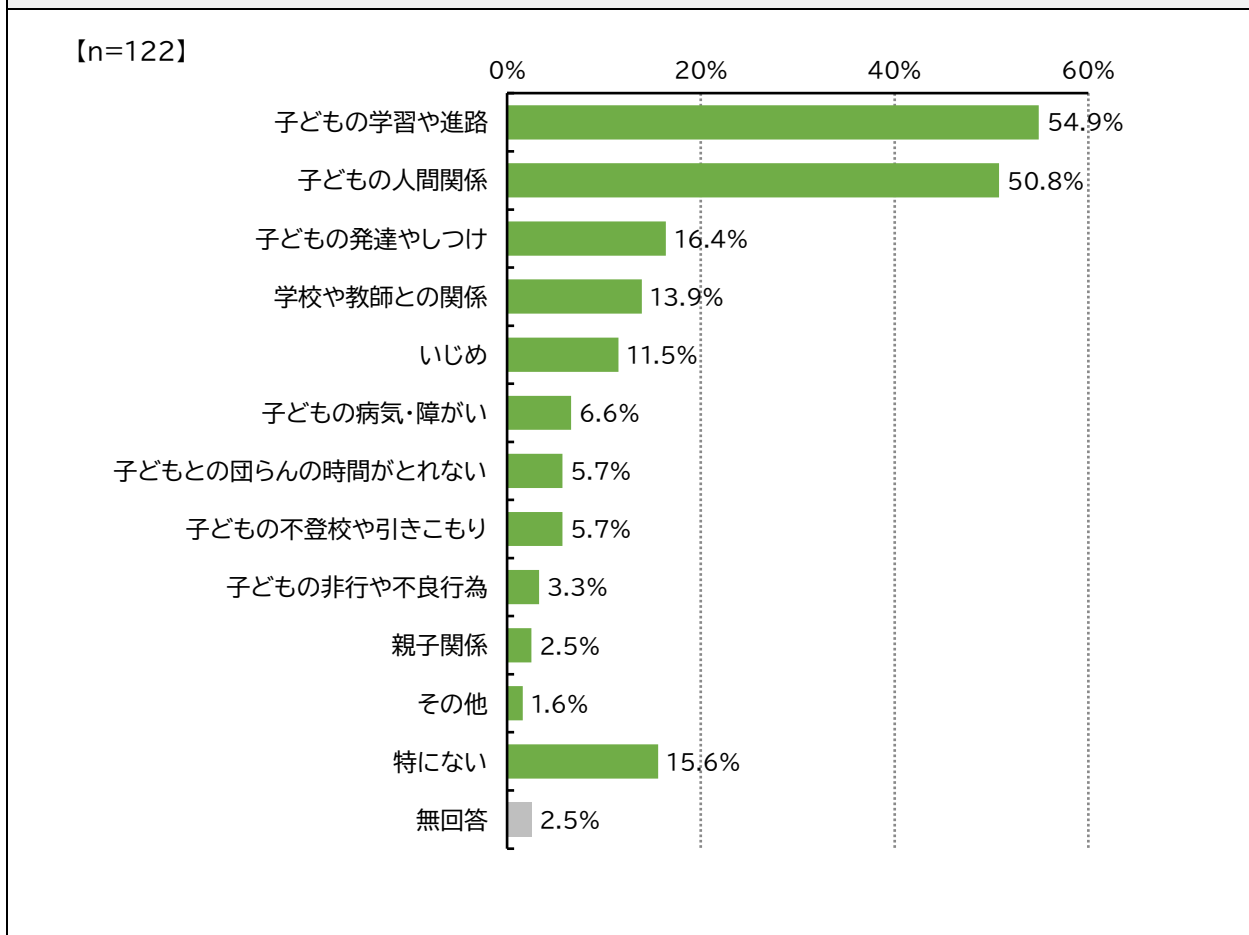
問 23 問 22 のように考える理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



お子さんの進学先を選択した理由は、「お子さんが希望しているから」が 42.6%と最も多く、次いで「一般的な進路だから」（23.0%）、「特に理由はない」（18.0%）、「お子さんの学力にあっているから」（14.8%）、「経済的な理由から」（8.2%）と続いています。

(8) お子さんの教育のついて心配なこと

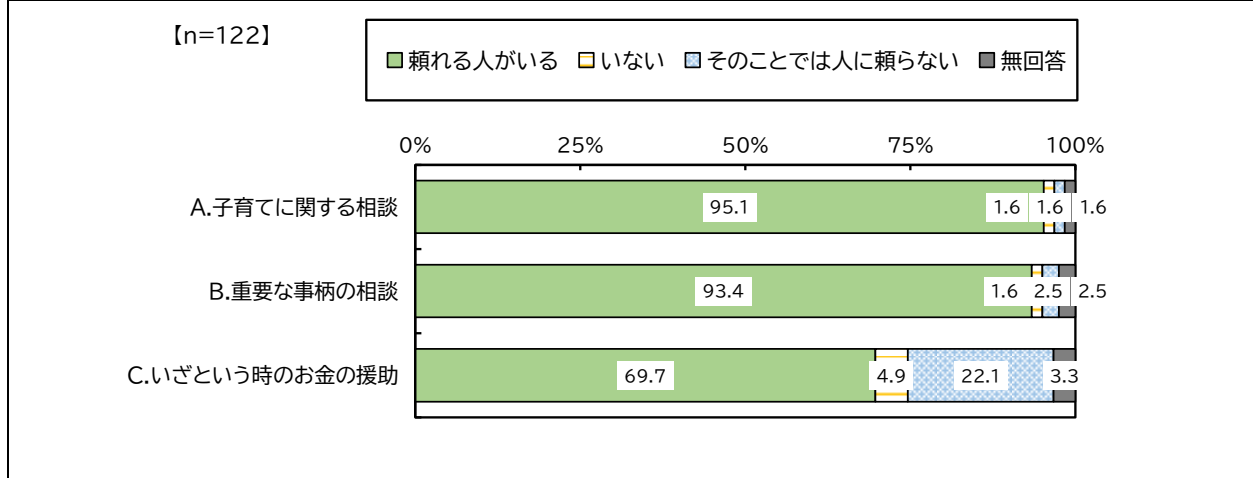
問 24 お子さんの教育に関して心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



お子さんの教育について心配なことは、「子どもの学習や進路」が54.9%と最も多く、次いで「子どもの人間関係」(50.8%)、「子どもの発達やしつけ」(16.4%)、「学校や教師との関係」(13.9%)、「いじめ」(11.5%)などと続いています。

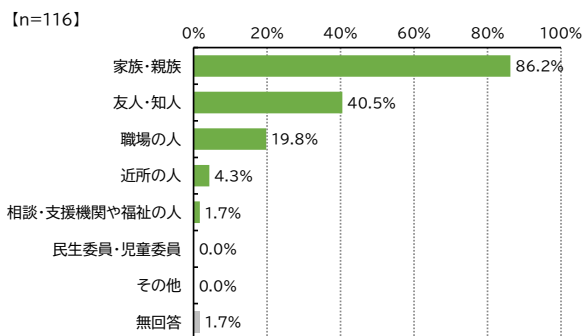
(9) 相談事を頼れる人

問 25 あなたは次のA～Cの事柄で頼れる人はいますか。（それぞれ1つに○）
※1に○をつけた場合、①～⑦のあてはまるものにも○をつけてください。

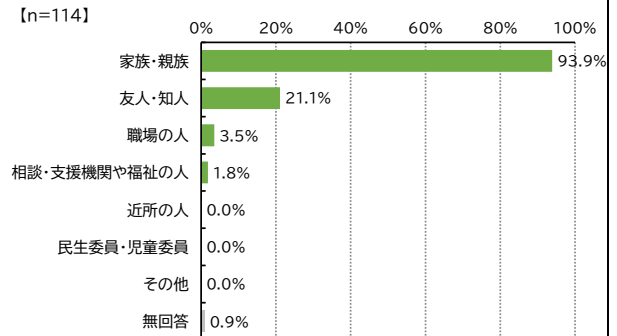


【相談の頼れる人】

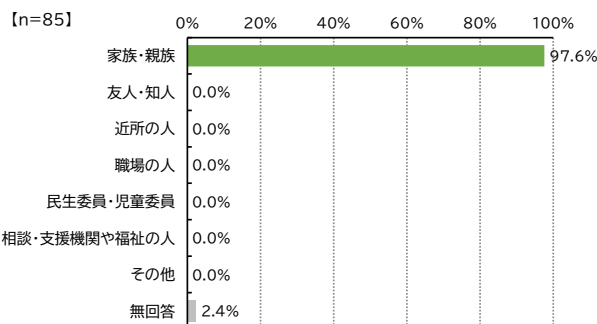
●子育てに関する相談



●重要な事柄の相談



●いざという時のお金の援助



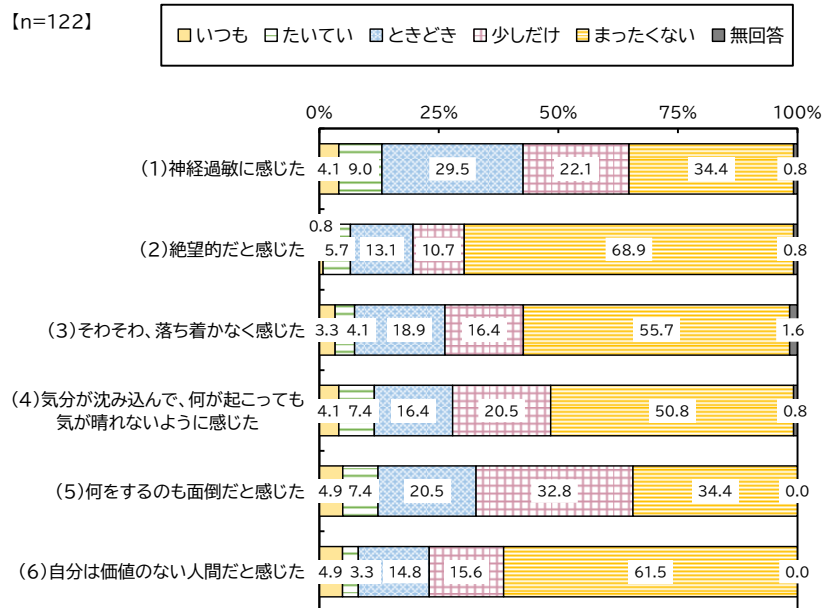
子育てなどに関する相談事に頼れる人がいるかは、「頼れる人がいる」の割合を見ると、「A. 子育てに関する相談」が95.1%、「B. 重要な事柄の相談」が93.4%、「C. いざという時のお金の援助」が69.7%となっています。

それぞれの相談事の頼れる人については、すべての相談事で、「家族・親族」が最も多くなっています。「相談・支援機関や福祉の人」については、「A. 子育てに関する相談」で1.7%、その他の相談事では0%となっています。

(10) ここ1か月の気持ち

問 26 次の(1)～(6)について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。
(それぞれ1つに○)

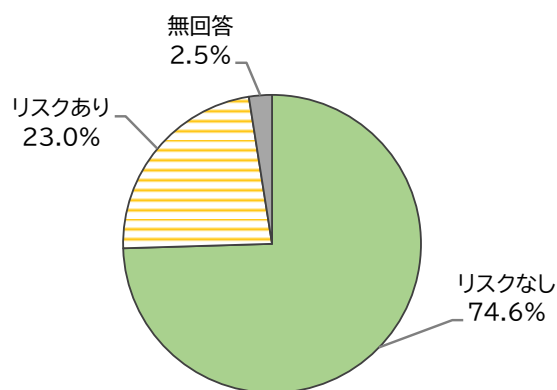
[n=122]



●気分障害・不安障害のリスクの有無

※(1)～(6)の6つの質問について5段階、「まったく」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)で点数化し、合計が9点以上で、気分障害・不安障害のリスクありと判定されます。

[n=122]

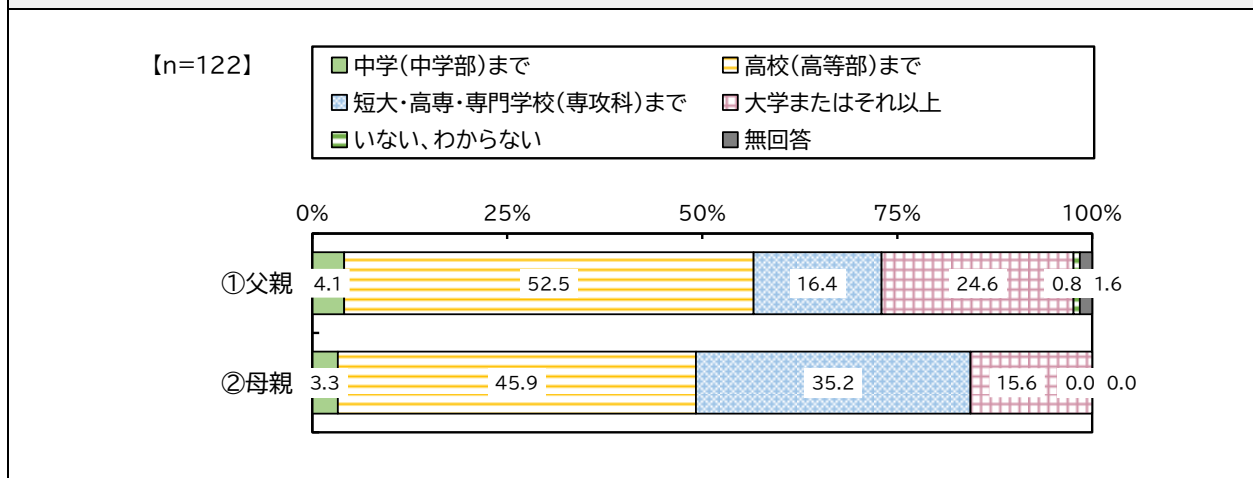


(1)～(6)の6項目の回答から、気分障害、不安障害のリスク状況を判定すると、リスクありとの判定は23.0%、リスクなしが74.6%となっています。

6 就業状況などについて

(1) 両親の最終学歴について

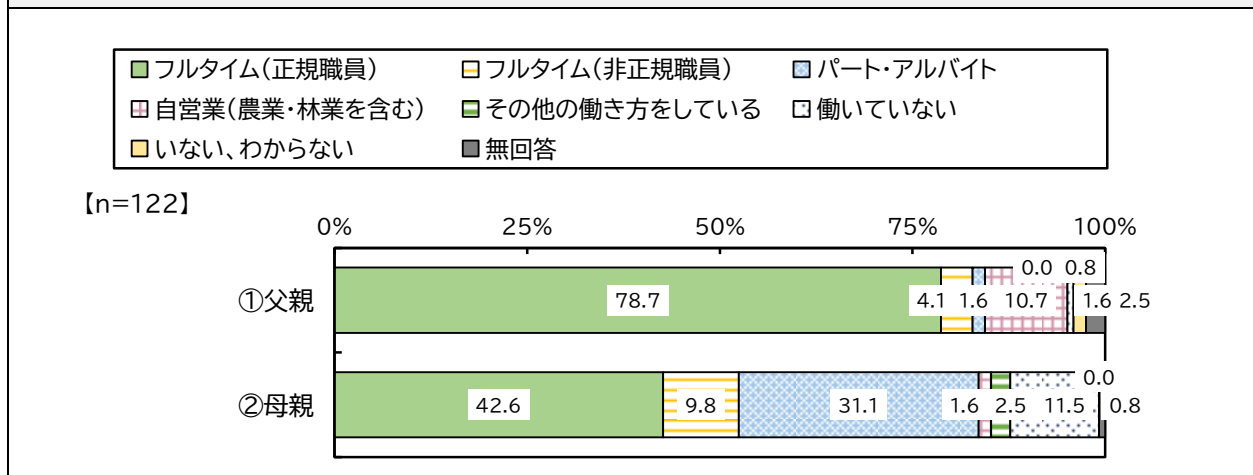
問 27 お子さんの両親の最終学歴について教えてください。(①、②それぞれ1つに○)



お子さんの両親の最終学歴は、父親、母親ともに「高校（高等部）まで」が最も多くなっています。

(2) 両親の就業形態について

問 28 お子さんの両親のお仕事についてお答えください。(①、②それぞれ1つに○)



お子さんの両親の就業形態は、父親は、「フルタイム（正規職員）」が78.7%と最も多く、次いで「自営業（農業・林業を含む）」（10.7%）、「フルタイム（非正規職員）」（4.1%）、「パート・アルバイト」（1.6%）と続いています。

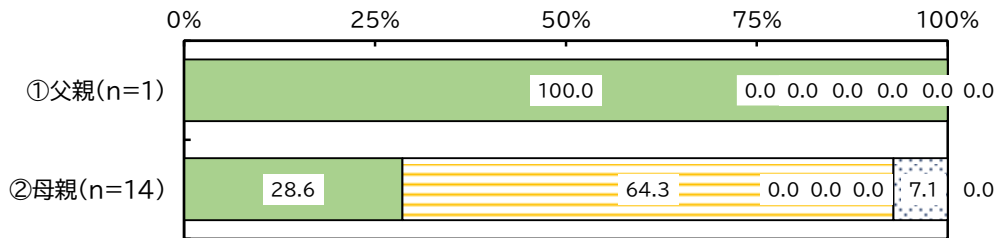
母親は「フルタイム（正規職員）」が42.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」（31.1%）、「フルタイム（非正規職員）」（9.8%）、「その他の働き方をしている」（2.5%）と続いています。

「働いていない」は、父親が0.8%、母親が11.5%となっています。

問 28-1 【問 28 で「6. 働いていない」と答えた方におうかがいします】

現在の状況に近いものは何ですか。（①、②それぞれ1つに○）

■ 仕事を探している ■ 専業主婦(夫) ■ 定年退職 ■ 学生 ■ 療養中である □ その他 ■ 無回答



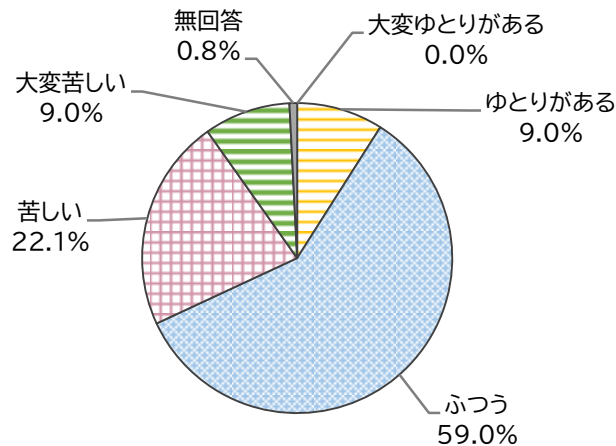
問 28 で「6. 働いていない」と回答した、父親 1 人、母親 14 人に現在の状況を尋ねたところ、父親の 1 人は「仕事を探している」と回答しています。

母親は、「専業主婦(夫)」が 64.3%と最も多く、次いで「仕事を探している」(28.6%)、「その他」(7.1%)と続いています。

(3) 現在の暮らしの状況

問 29 現在の暮らしの状況をどう感じていますか。（1つに○）

【n=122】

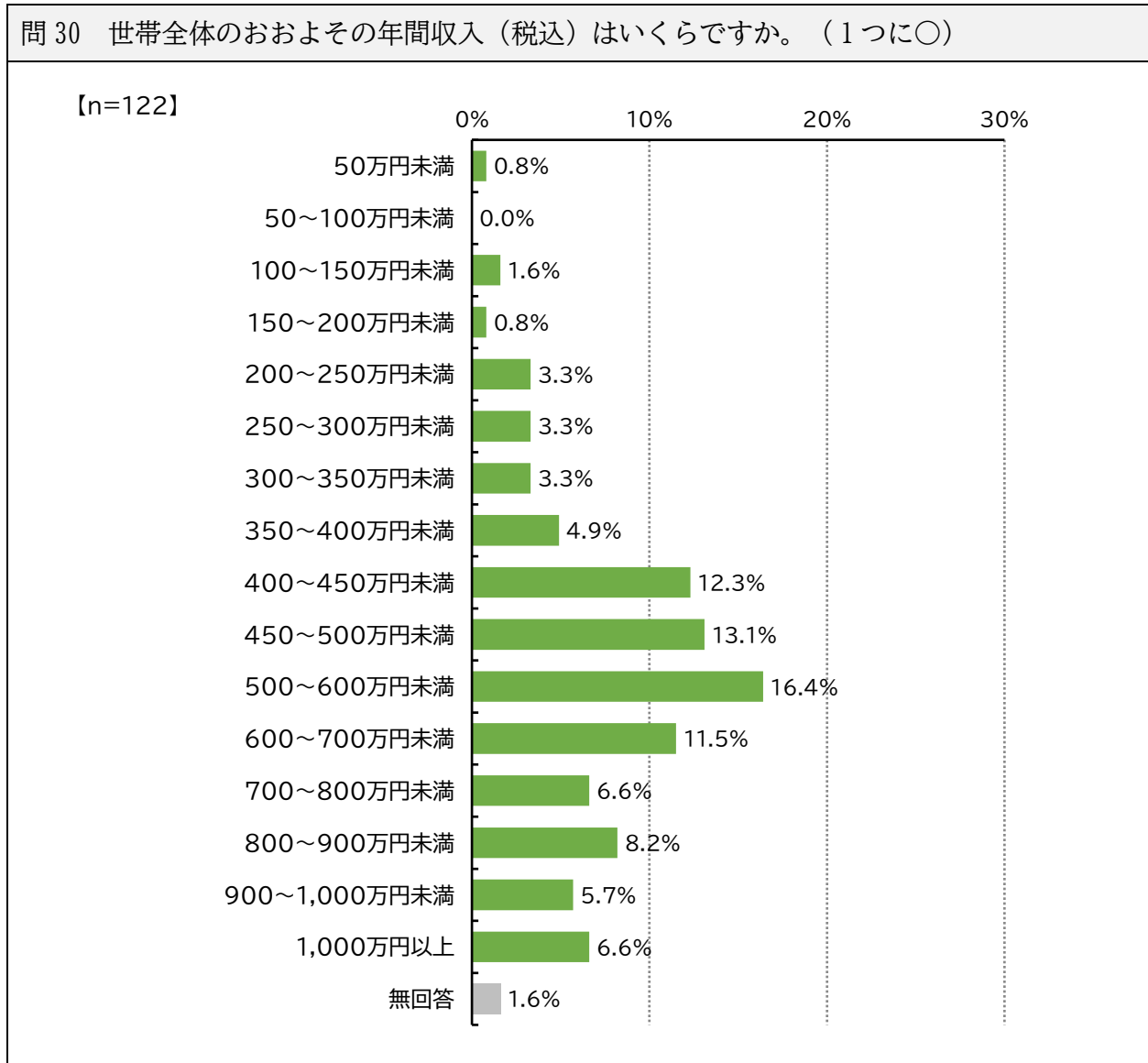


現在の暮らしの状況は、「通常」が 59.0%と最も多く、次いで「苦しい」(22.1%)、「ゆとりがある」(9.0%)、「大変苦しい」(9.0%)と続いています。

7 収入の状況などについて

(1) 世帯全員の収入の合計額

問 30 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（1つに○）



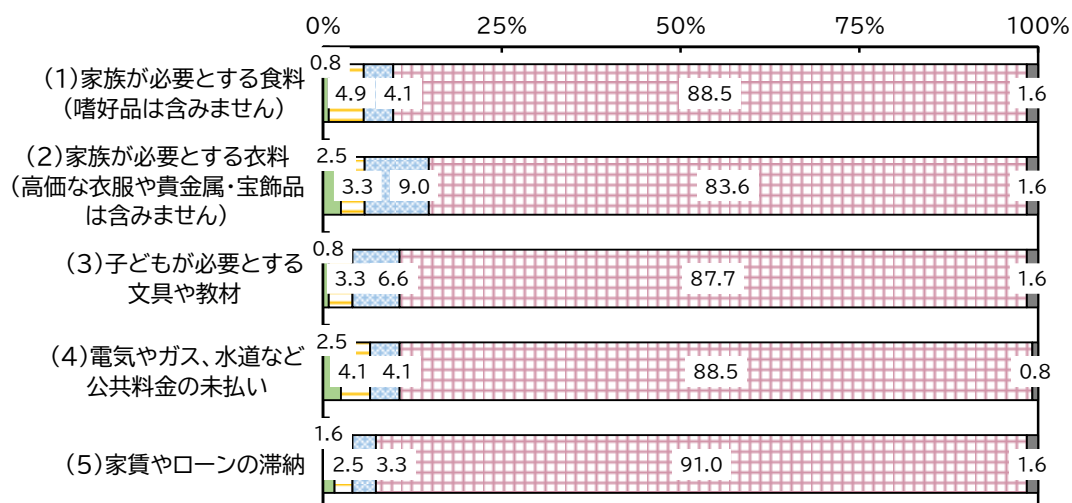
世帯全員の収入の合計額は、「500～600 万円未満」が 16.4%と最も多く、次いで「450～500 万円未満」（13.1%）、「400～450 万円未満」（12.3%）、「600～700 万円未満」（11.5%）、「800～900 万円未満」（8.2%）と続いています。

(2) 経済的な理由による経験について

問 31 過去1年の間に、お金が足りなくて、以下のものが買えないこと・支払えないことがありましたか。（それぞれ1つに○）

【n=122】

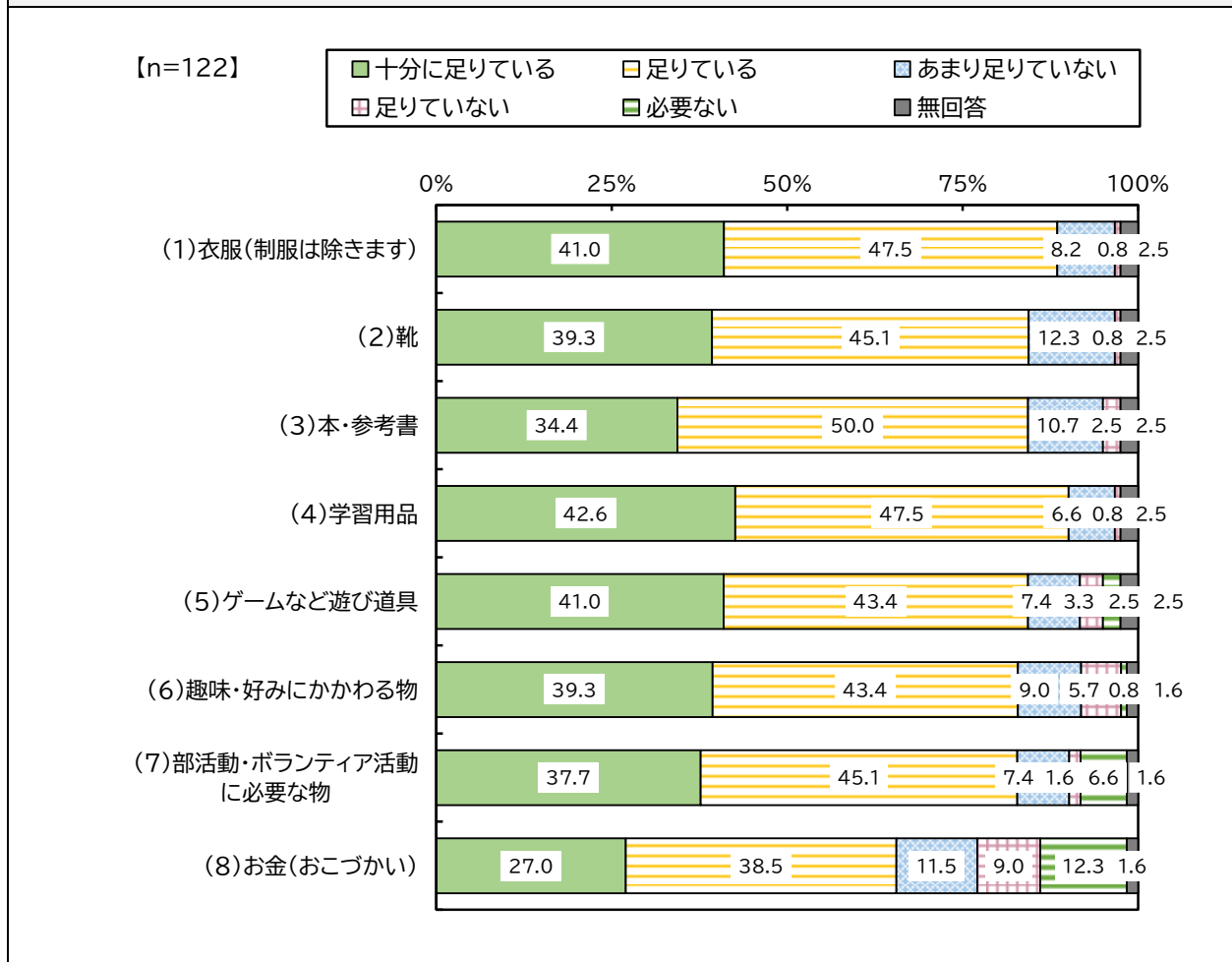
■よくあった □ときどきあった ■まれにあった ■まったくなかった ■無回答



経済的な理由による経験について、『ある』（「よくあった」と「ときどきあった」の合計）の割合は、「(4) 電気やガス、水道など公共料金の未払い」が6.6%と最も多く、次いで「(2) 家族が必要とする衣料（高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません）」（5.8%）、「(1) 家族が必要とする食料（嗜好品は含みません）」（5.7%）、「(3) 子どもが必要とする文具や教材」、「(5) 家賃やローンの滞納」（ともに4.1%）となっています。

(3) 必要なものの充足度

問 32 保護者としてお子さん達のもの（１）～（８）が足りていると思いますか。
（それぞれ１つに○）

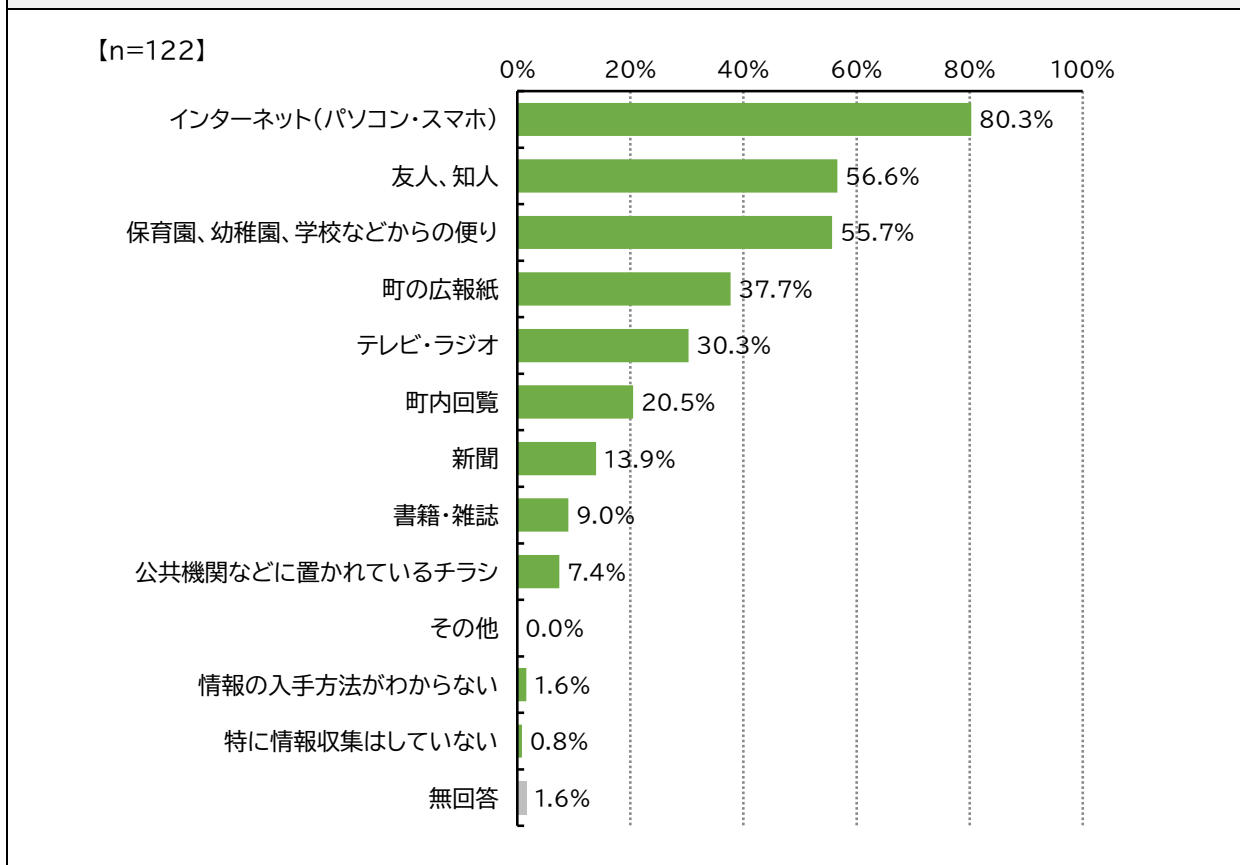


お子さんたちに必要なものの充足度は、『足りていない』（「足りていない」と「あまり足りていない」の合計）の割合は、「（８）お金（おこづかい）」が20.5%と最も多く、「（６）趣味・好みにかかわる物」（14.7%）、「（３）本・参考書」（13.2%）、「（２）靴」（13.1%）、「（５）ゲームなど遊び道具」（10.7%）、「（１）衣服（制服は除きます）」、「（７）部活動・ボランティア活動に必要な物」（ともに9.0%）、「（４）学習用品」（7.4%）となっています。

8 公的支援の利用などについて

(1) 情報の入手先

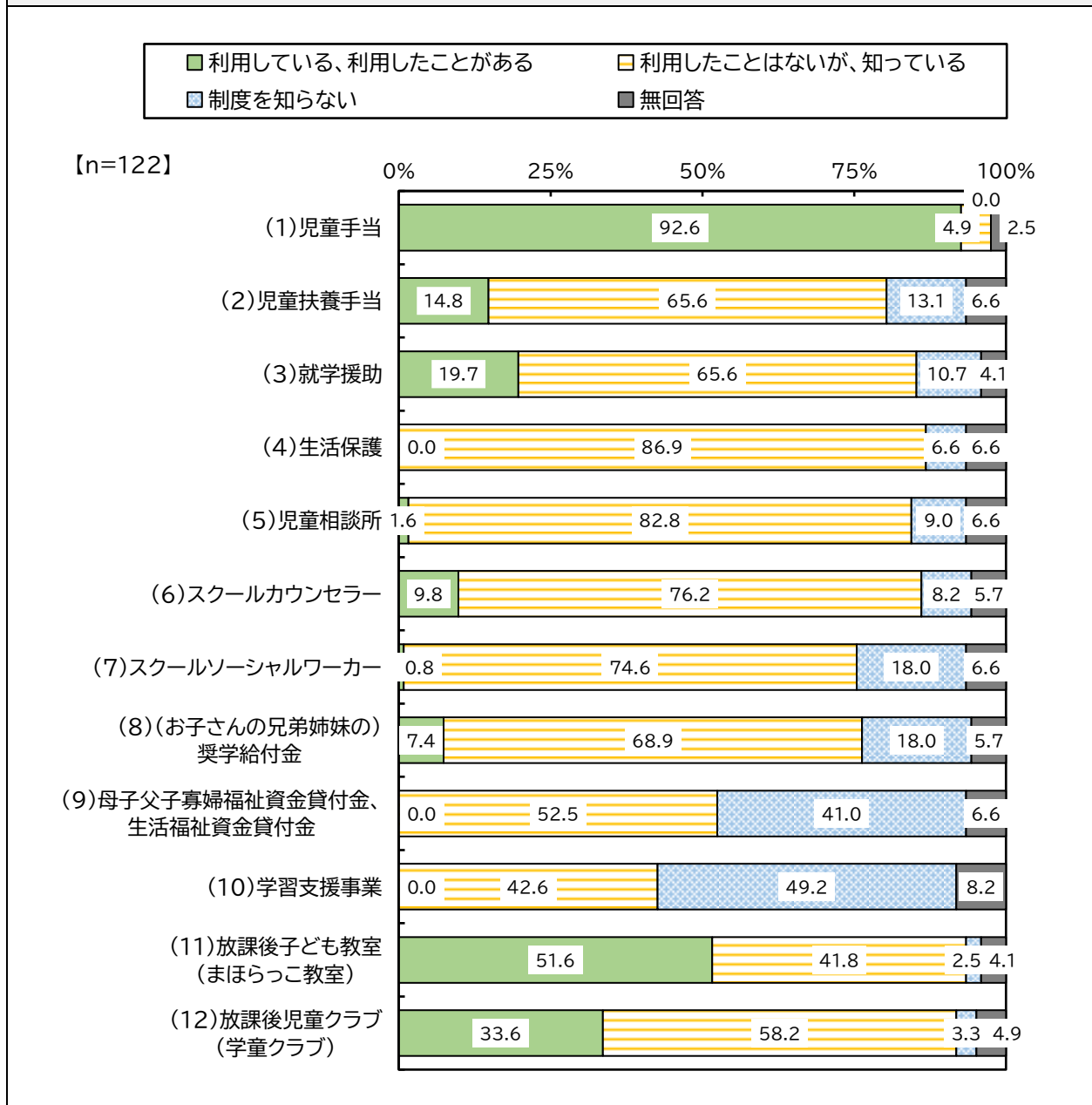
問 33 子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)



子育てに関する情報の入手先は、「インターネット（パソコン・スマホ）」が80.3%と最も多く、次いで「友人、知人」（56.6%）、「保育園、幼稚園、学校などからの便り」（55.7%）、「町の広報紙」（37.7%）、「テレビ・ラジオ」（30.3%）、「町内回覧」（20.5%）などと続いています。

(2) 公的制度の利用経験

問 34 以下の公的制度を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。
（それぞれ1つに○）

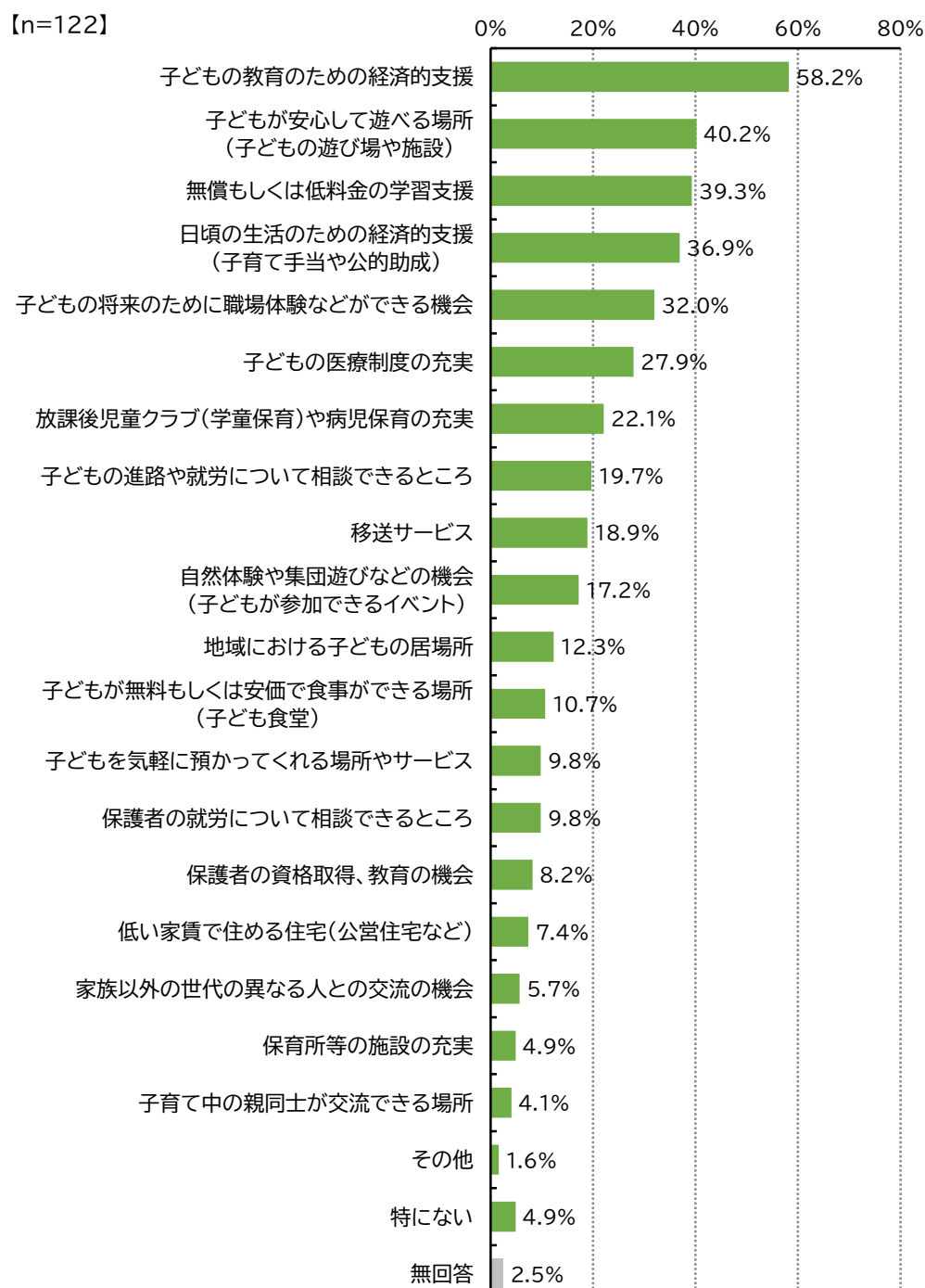


公的支援制度の利用状況について、「利用している、利用したことがある」は、「(1)児童手当」が92.6%で最も多く、次いで「(11)放課後子ども教室(まほらっこ教室)」(51.6%)、「(12)放課後児童クラブ(学童クラブ)」(33.6%)、「(3)就学援助」(19.7%)となっています。

また、「制度を知らない」は、「(10)学習支援事業」が49.2%、「(9)母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金」が41.0%などとなっています。

(3) 必要、重要だと思う支援

問 35 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。
(主なものを5つまでに○)



必要、重要だと思う支援は、「子どもの教育のための経済的支援」が58.2%と最も多く、次いで「子どもが安心して遊べる場所(子どもの遊び場や施設)」(40.2%)、「無償もしくは低料金の学習支援」(39.3%)、「日頃の生活のための経済的支援(子育て手当や公的助成)」(36.9%)、「子どもの将来のために職場体験などができる機会」(32.0%)などと続いています。

V 調査結果まとめ

1 調査結果のまとめ

(1) 子ども・子育てニーズ調査

現在、平日に幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用している就学前児童保護者は、85.1%となっています。

「定期的な教育・保育事業」を利用していない保護者の主な理由は、「子どもがまだ小さい」や「利用する必要がない（就労していない子どもの父親又は母親がみている）」が多くなっています。

また、「子どもが小さい」と回答した保護者では、「1歳」になったら利用したいとの回答が45.0%となっており、低年齢児の利用ニーズの高まりも見られます。

「利用したいが、定員などに空きがない」との回答もあり、希望する教育・保育事業・施設を利用できる体制整備が重要です。

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人・場所が「いない／ない」が就学前児童保護者で4.4%、就学生児童保護者で4.5%となっています。気軽に相談できる相手がない割合が一定数見られます。

また、相談できる場所が「いる／ある」と回答した方の相談先は、「祖父母などの親族」が圧倒的に多く、公的な相談窓口などの利用は少数となっています。

子育てに関する相談内容は、育児、教育、親子関係、保護者の就労、経済的困窮など、多岐にわたるため、子育て世帯が迷わずに安心して相談することができるよう、関係機関等との連携体制の整備、分かりやすい情報提供など包括的な支援体制の充実が重要です。

お子さんの就学後の居場所の利用希望は、小学校1～3年生の時期は「わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」が40.5%、「まほらっこ教室」が37.8%となっています。

小学校4～6年生の時期になると、「わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ」が32.4%、「まほらっこ教室」が29.7%となり利用希望は減少し、代わりに「自宅」や「塾や習い事」が増え、ニーズの変化がうかがえます。

また、小学校1～3年生の保護者に対して小学4～6年生の時期の放課後の居場所について聞いたところ、「自宅」が6.9%と最も多くなっています。子どもの年齢が上がるにつれ保護者のニーズも変化するため、ニーズの変化に対応しながら事業を進めていく必要があります。

直近の一年間で病児・病後児保育事業を利用した割合は、就学前児童保護者で1.7%、小学生児童保護者で0.7%となっています。一方、病児・病後児保育事業を利用せず保護者がみて対応した人のうち、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った割合は就学前児童保護者が36.8%、小学生児童保護者が23.6%と実際の利用状況と比較して利用ニーズが高くなっています。

また、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「利用料がわからない」が就学前児童保護者で17.7%、小学生児童保護者が22.2%となっています。

事業内容や利用料金、利用手続きの周知を図り、いざという時により利用しやすい環境を整備していくことも重要です。

育児休業の取得状況について、父親の「所得した（育児休業中である）」の割合をみると、未就学児童保護者で16.5%（母親は66.7%）、小学生児童保護者で5.6%（母親は51.7%）となっています。育児休業給付金など育児休業に関する情報の提供など、事業所、男性従業員が育児休業を取得しやすい環境づくりも重要です。

理想の現実の子どもの人数について、理想のほうが多いとの回答が、就学前児童保護者では51.0%、小学生児童保護者では35.4%となっています。

理想の方が多い理由について、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「金銭的な不安や問題のため」、「子育てや家事の負担が大きいため」との回答が多くなっています。

子育てをめぐる家庭の状況は、様々であることから、家庭の状況に応じた生活支援、就業支援、経済的支援などの充実を図るとともに関係機関等との連携による訪問や相談支援体制の充実を図るとともに、困っている家庭や子どもの置かれた状況の早期把握、対応など総合的な支援が重要です。

（２）こども・若者意識調査

アンケート回答者の46.1%が「学生」、52.5%が「学生以外」で、「学生以外」の6.5%が「無職」となっています。

現在の生活状況について、「大変苦しい」と「苦しい」の合計は24.5%となっており、回答者の年齢が上がるほどその割合は増加していく傾向となっています。

若者の就労支援は、若者が自立する基本であるだけでなく、社会の活力を維持する上でも極めて重要であることから、一人でも多くの若者が就労につながるよう様々な取組を推進していくことが重要です。

安心できる場所は、「自分の部屋」、「家族が集まる場所（リビング・親族の家など）」との回答が多く、5割以上となっています。また、「インターネット空間（SNSやオンラインゲームなど）」は22.5%と3番目に多くなっています。

SNS等を利用した、サイバー犯罪に巻き込まれないようにするためにも、こども・若者がインターネットの危険性と有用性の認知やネットリテラシー（理解力）を高めていく教育の推進が重要です。

今後、どこで暮らしたいかでは、「今後も三春町で暮らしたい」が19.1%となっており、年齢が低くなるほど、その割合は減少している傾向となっています。地域への愛着意識、永住意識を高める取り組みを検討、実施していくことが重要です。

また、三春町は夢や目標をかなえられる場所かを尋ねたところ、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は34.3%となっています。

家庭環境や健康状態、障がいの有無など様々な要因にかかわらず、学習、就労支援など、こども・若者がその能力や個性を発揮し、仮に失敗しても何度でもチャレンジできる機会を与えられるような環境を整備することが重要です。

結婚観については、「一生結婚するつもりはない」が20.5%となっており、その理由については、「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」が78.8%、また、「仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」が66.7%、「結婚生活を送る経済力がない、仕事が不安定だから」が54.5%となっており、結婚、出産後の育児の負担や経済的な不安を抱えている方も多くいます。

結婚を希望する人に対する、出会いの場の支援や結婚、出産後も安心して働ける環境づくりとともに、子育ての尊さや喜びを伝えるなど、若いうちから結婚や子育てに対してすばらしさ、大変さを含め、受け入れ、希望を持ってライフプランに取り入れられる意識の啓発が重要です。

自分自身のことについて、肯定的な回答（0点から10点の選択肢のうち6点以上）をみると、「今の自分が好きか」は52.4%、「自分自身に満足している」は44.1%、「自分には自分らしさというものがある」は、67.1%。「自分は今、幸せである」は66.2%となっています。

自己肯定感、健全な成長のために大切であると言われていたことから、個性を認め合い、多様な価値観を尊重し、子ども・若者が健全に成長できるよう、幼少期から自己肯定感を高める取り組みが重要です。

（3）生活実態調査

食事の状況について、朝食を「毎日食べる」割合は、小学生が88.5%、中学生が90.0%となっています。睡眠について、ほぼ毎日同じ時間に寝ている割合は、小学生が29.5%、中学生が43.3%となっています。

子どものころから基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、家庭への情報提供や意識啓発を通じた家庭教育の支援、また、健康状態やこころの状態の悪化から不登校などにつながるような、学校、地域、関係機関等との連携により子どもの生活や健康に対する見守り体制の充実が重要です。

保護者の心の状態については、気分障害・不安障害のリスクがある人は23.0%となっています。また、現在の暮らしの状況は「大変苦しい」、「苦しい」が31.1%となっています。

生活困難に陥りやすい傾向にある家庭の早期把握を行うとともに、本人の希望を尊重しながら、必要な支援制度や専門相談へとつなげることが重要です。

また、すべての家庭において、いざとなったときの相談相手は特に重要であり、地域とのつながりの確保やアウトリーチの支援も含めた相談窓口の充実が必要です。

経済的な悩みを抱えている家庭に対して、行政の支援のみならず社会福祉協議会の生活困窮者自立支援事業等、適切な支援の制度への理解や利用に結び付けるための取り組みが重要です。

将来の進学希望は、小学生では「高校まで」が26.2%、「大学またはそれ以上」が23.0%、中学生では「大学またはそれ以上」が31.7%となっています。その理由は小学生、中学生ともに「希望する学校や職業があるから」が最も多くなっています。

保護者が現実的、理想的にどの段階まで進学してほしいかでは、「大学」までは理想としては51.6%、現実的には36.1%となっています。

また、その理由については、「お子さんがそう希望しているから」が42.6%で最も多く、「経済的な事情から」は8.2%となっています。

現在必要、重要と思う支援について、「子どもの教育のための経済的支援」が58.2%と最も多くなっています。

生活状況に関わらず、子どもの健やかな育ち、学びが保障されるよう、すべての子どもが質の高い教育を受けられる環境整備と自立する力の育成や多様な体験ができる機会の充実、経済的理由から進学をあきらめることがないよう、家庭の経済状況にかかわらず、安心して希望する高等教育を受けることができる支援の充実が重要です。

今後、利用してみたいものとして、「勉強を無料で見てくれる場所（塾など）」が小学生は29.5%、中学生は55.0%、「夕ご飯を無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」が、小学生は23.0%、中学生は40.0%となっています。

子ども食堂などの居場所づくりについては、利用希望も多く子どもが安心できる居場所、気軽に相談できる場所づくりにもつながることから、年齢や就学状況によるニーズなどを踏まえ効果的な実施が求められます。

各種支援制度の利用中、利用したことがあるのものは、「児童扶養手当」が92.6%、「放課後子ども教室（まほらっこ教室）」が51.6%などとなっています。

また、制度自体を知らないは、「学習支援事業」が49.2%と最も多くなっています。

子育てに関する情報の入手先は、「インターネット（パソコン・スマホ）」が80.3%と最も多くなっています。

支援制度については、保護者の子育ての悩みや不安の軽減、地域からの孤立の解消のため、その対象者や制度の内容・目的、利用方法などの情報が必要とする人に届き、適切な利用に結びつくよう、SNSのさらなる活用など、必要な情報が早く、正確に、わかりやすく届くよう周知方法の工夫と、それぞれの生活状況に寄り添う相談体制の充実が重要です。

「三春町こども計画」策定のためのアンケート調査
調査結果報告書

令和6年9月

発 行 : 福島県 三春町

企画・編集 : 子育て支援課
